

長久手市市民意識調査 報告書

平成29年3月
長久手市

目 次

1. 調査の概要.....	2
(1) 調査の目的.....	1
(2) 調査の方法.....	1
(3) 調査の内容.....	1
(4) 回収状況.....	1
(5) 集計結果（図表）の見方.....	2
(6) 標本誤差.....	2
(7) 調査結果のポイント.....	3
2. 長久手市の住み心地について.....	7
(1) 住み心地の評価.....	7
(2) 定住意向とその理由.....	9
3. 行政サービスについて.....	17
(1) 市政への関心.....	17
(2) 情報の入手手段.....	19
(3) 事業参加の決め手.....	22
4. 市民活動について.....	25
(1) 地域の活動への参加状況とその理由.....	25
(2) 参加している地域活動の種類.....	31
(3) 地域活動への参加の頻度.....	37
(4) 市民と行政との協働のあり方.....	39
(5) 地域共生ステーションの認知度.....	48
(6) まちづくり協議会の認知度.....	51
5. 第5次総合計画について.....	54
(1) 市政全般の満足度.....	54
(2) 施策ごとの重要度.....	58
(3) 施策ごとの推進度.....	59
(4) 施策ごとの重要度・推進度の関係.....	64
6. 将来のまちづくりについて.....	74
(1) 「長久手未来まちづくりビジョン」の認知度.....	74
(2) 将来像の実現のための手段.....	76
(3) 今後力を入れたい将来像.....	83
(4) 今後力を入れるべき施策.....	85
7. 市政全般について（自由意見）.....	89
8. 回答者の属性.....	96
参考資料 調査票.....	108

1. 調査の概要

(1) 調査の目的

長久手市では、「第5次総合計画」（平成21年3月策定）にもとづき、まちの将来像「人が輝き緑があふれる 交流都市 長久手」の実現に向けて、まちづくりを進めている。

本調査は、これまでの市政全般の成果を検証するとともに、市民のこれからのまちづくりに対する意向を把握し、今後の市政運営等に反映することを目的とする。

(2) 調査の方法

- ①調査地域 長久手市
- ②調査対象 長久手市に在住する満18歳以上の市民
(平成28年10月時点 人口：56,181人、18歳以上人口：44,051人)
- ③標本数 5,000人
- ④抽出方法 住民基本台帳による無作為抽出
- ⑤調査方法 郵送配布・郵送回収
- ⑥調査期間 平成28年10月～11月

(3) 調査の内容

- ①長久手市の住み心地について
- ②行政サービスについて
- ③市民活動について
- ④第5次総合計画について
- ⑤将来のまちづくりについて
- ⑦市政全般について
- ⑧回答者自身について

(4) 回収状況

標本数	5,000 (100.0%)
回収数 (率)	2,366 (47.3%)
有効回収数 (率)	2,366 (47.3%)

(5) 集計結果（図表）の見方

- 比率はすべてパーセントで表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出した。そのため、合計は必ずしも100%にはならない。
- 基数となるべき実数はサンプル数（n=〇〇）として掲載した。したがって比率はサンプル数を100%として算出している。また、性別・年齢別・居住小学校区別などで件数が全体数と一致しないが、これはそれぞれの回答が不明なものがあったためである。
- 複数回答が可能な設問は、その項目を選択した回答者が全体の何%を占めるかを表している。そのため、各項目の比率を合計しても100%にはならない。
- 本報告書中の図表の見出し及び文章中において、設問及び回答選択肢などの表現は、一部省略してある場合がある。

(6) 標本誤差

- 本調査では、2,366票の有効回答が得られたが、この結果がどの程度の精度を持った回答結果であるのかを検討することを標本誤差の算出という。
- 下表の見方は、例えば、ある設問で「A」という回答が50%、「B」という回答が20%であった場合、仮に、同じ質問を全市民にたずねた時の回答との誤差の範囲は、「A」が $50 \pm 1.96\%$ 、「B」は $20 \pm 1.57\%$ となる。
- したがって、本調査において回答が最も分散した場合でも、全体の結果は1.96%の誤差しか生じないと考えられ、統計学上有効な調査であるといえる。

	母集団 M	有効回収数 n	50%	40%	30%	20%	10%
				60%	70%	80%	90%
全体	44,051	2,366	1.96	1.92	1.80	1.57	1.18

(7) 調査結果のポイント

■長久手市の住み心地について

- 長久手市の住み心地については、「住みよい」と「まあ住みよい」を合わせると約9割。
 - ・20歳未満で「住みよい」が高い。[p. 7~8]
 - ・東小学校では、「住みよい」がやや少ない。[p. 8]
- 今後の定住意向については、「住み続けたい」が約8割で、前々回、前回から徐々に増加。住み続けたい理由としては、愛着や、買い物や交通の利便性の高さ、緑や田園など自然環境の良さを評価。[p. 9~13]
 - ・年齢が上がるほど定住意向が高い。[p. 9]
 - ・北小学校区と西小学校区では、「住み続けたい」人がやや少ない。[p. 10]
 - ・住み続けたい理由としては、長久手小学校区と東小学校区では長久手市への愛着、南小学校区、市が洞小学校区では買い物の利便性、西小学校区では交通の利便性が評価されている。[p. 12]

■行政サービスについて

- 市政への関心度については、「ある程度関心がある」と「非常に関心がある」を合わせると7割弱。「非常に関心がある」人は、前々回、前回から徐々に減少。[p. 17~18]
 - ・70歳以上では8割強、20歳未満と20歳代では半数に満たない。（「非常に関心がある」と「ある程度関心がある」の合計）[p. 17]
- 情報の入手手段については、広報紙が8割と突出。その他、議会だより、回覧板が4割程度。議会だよりは前回調査より少なくなっているが、広報紙と回覧板は増加。インターネットは前回調査と変わらず2割弱。[p. 19~21]
 - ・議会だより、新聞、回覧板は年齢が高いほど多く、インターネットは年齢が低いほど多い。[p. 19]
 - ・市政への関心が高いほど、情報媒体の利用率が高い。[p. 21]
- 事業参加の決め手としては、20歳代以下の若い世代では事業自体の魅力が求められ、40歳以上では広報紙やHPでの情報掲載が求められている。[p. 22~24]
 - ・ツイッターやフェイスブックなどのSNSは、20歳代以下の若い世代で2割程度。[p. 22]
 - ・市政への関心がまったくない人では、事業自体の魅力に加えて、広報紙やHPへの情報掲載よりも、参加すると報酬やポイント、記念品がもらえることを決め手とする人が多い。[p. 24]

■市民活動について

- 過去3年以内の地域活動への参加率は53.6%で、前回より約5ポイント増加。参加した理由としては、「当番で回ってくるから」が多く、次いで「当然の義務だから」が多い。参加しない理由としては、「仕事が忙しい」が45.5%と最も多く、次いで「興味のある活動が地域にないから」が多い。前回調査からは、「健康面の理由で参加することができない」が増加。〔p. 25～30〕
 - ・20歳代の地域活動への参加率は3割強。〔p. 25〕
 - ・東小学校の地域活動への参加率は75.7%と他の学区より高い。〔p. 26〕
 - ・市政への関心が高いほど、地域活動への参加率が高い。〔p. 26〕
 - ・いつも回覧板で情報を入手している人で、地域活動への参加率が高い。〔p. 27〕
- 参加している地域活動の種類は、区や自治会の活動、祭りなど伝統的な行事、防災・防犯の活動が多い。〔p. 31～36〕
 - ・20歳代では祭りなど伝統的な行事が多く、その他の年齢では区や自治会の活動が多い。〔p. 31〕
 - ・30歳代と40歳代では、PTAや子ども会など子どもに関する活動が多い。〔p. 31〕
 - ・70歳以上ではシニアクラブの活動が多い。〔p. 31〕
 - ・東小学校区では祭りなど伝統的な行事や環境美化・自然保護活動が他の小学校区と比べて多い。〔p. 32〕
 - ・祭りなど伝統的な行事と防災・防犯の活動は市政への関心が高いほど多い。〔p. 32〕
- 地域活動への参加頻度については、月に1回程度が2割強と最も多い。週に1日以上活動している人は、全体の約16%程度。〔p. 37～38〕
 - ・30歳代を境に年齢が低いほど、また年齢が高いほど参加頻度が多い。〔p. 37〕
- 市民と行政との協働のあり方について、市民の意見を聞く機会の充実については4割弱、市政への市民の意見の反映については5割強、市政に関する情報提供については6割弱が評価。また、地域活動やボランティア活動、NPO活動に参加したいと思っている人は4割弱。さらに、今後のまちづくりにおいて市民の参画や協働が必要という考え方については、8割強が肯定している。〔p. 39～47〕
 - ・市民と行政との協働の現状について、いずれの項目においても、東小学校での評価が他の小学校区と比べて低い。〔p. 40、42、43、45、46〕
- 地域共生ステーションの認知度は、「知っている」が2割強、「名前をはじめて聞いた」は4割強。〔p. 48～49〕
- まちづくり協議会の認知度は、「知っている」が約5%、「名前をはじめて聞いた」は5割強。〔p. 51～53〕

■第5次総合計画について

- 市政全般の満足度は、「満足している」と「まあ満足している」を合わせると4割弱。「どちらともいえない」が5割強。〔p. 54～57〕
 - ・東小学校では「満足している」と「まあ満足している」を合わせると約25%と満足度がやや低い。〔p. 54〕
 - ・住み心地がよいと感じているほど、市政への満足度が高い。〔p. 54〕
 - ・地域活動に参加している人の方が満足度がやや高い。〔p. 57〕
- 施策の重要度については、防災・防犯、医療・保健、子育て支援、消防・救急など「基本方針3 人がいきいきとつながるまち」の項目が上位を占めている。〔p. 58〕
- 施策の推進度については、商業施設の立地、道路や上下水道、公園などの都市基盤整備、緑地や河川などの自然環境、医療機関や保健サービスの充実に対する評価が高い。〔p. 59～63〕
- 最優先で改善が求められる（施策の重要度が高く、推進度が低い）項目は、防犯、防災、交通安全、公共交通の利便性、障がい者や高齢者の福祉、教育の7項目である。〔p. 64～73〕

■将来のまちづくりについて

- 「長久手未来まちづくりビジョン」の認知度は、「知っている」が約3%、「名前をはじめて聞いた」は7割弱。〔p. 74〕
- 将来像の実現のための手段として、どの項目も「市民と行政が協働で進めるべき」が約3割以上を占めている。「行政が先導し、市民が部分的に関わるべき」が最も多いのは、「集積している教育・研究機能を使いこなし、地域に引き込む」、「市街地の緑を増やし、丘陵地の自然を守るにより、人々が憩える緑をつなぐ」、「市民の移動を容易にする空間と仕組みをつくる」である。〔p. 76～82〕
 - ・20歳未満では、多くの項目で「市民主体で進めるべき」や「市民が主体的に進め、行政がサポートすべき」が他の年齢と比べて多い。〔p. 77～82〕
- 今後、実現に向けて力を入れたい将来像としては、「市街地の緑を増やし、丘陵地の自然を守るにより、人々が憩える緑をつなぐ」、「一人ひとりが身も心も健全であり続け、健康寿命を延ばして生涯を全うする」、「誰でも希望を持って暮らせる」が多い。〔p. 83～84〕
- 今後、力を入れていくべき施策は、高齢者福祉の充実、学校教育の充実、防犯対策、公共交通機関の整備、乳幼児・児童福祉の充実などが多い。前回調査と比較すると、生活道路・幹線道路の整備、高齢者福祉の充実が多くなる一方、学校教育の充実、日常の買い物施設の充実、防災対策、防犯対策が少なくなっている。〔p. 85～88〕
 - ・日常の買い物施設の充実、生活道路の整備、幹線道路の整備は、東小学校区で多い。〔p. 87〕

■回答者の属性

- 【性別】女性の割合が男性より2割弱多い。前回調査よりもやや女性が増えている。[p. 96]
- 【年齢】30歳代、40歳代がそれぞれ約2割前後を占めているが、前回よりは少なく、年齢層が高くなっている。[p. 96]
- 【職業】会社員が約3割強で、次いで「家事専従」、「無職」、「アルバイト、パートタイマー」が16%台となっている。[p. 97]
- 【家庭全体の年収】半数以上が500万以上となっている一方、300万円以下は2割強である。[p. 97]
- 【通勤・通学先】「名古屋市」が約4割で前回調査と同様の結果となっている。[p. 98]
- 【住まいの形態】全体の8割弱が持ち家（一戸建て、分譲マンション）となっている。前回調査と比べると、「一戸建て持ち家」が約12ポイント多く、「賃貸マンション・アパート」や「分譲マンション」は少なくなっている。[p. 99]
- 【同居人の状況】「小・中学生」「小学生未満の乳幼児」が2割程度、「65歳以上の高齢者」が3割弱となっている。[p. 100]
- 【家族の形態】「親子（2世代）」が5割強、「夫婦のみ」が25%程度となっている。[p. 101]
- 【居住小学校区】「北小学校区」が2割強、「市が洞小学校区」、「南小学校区」、「西小学校区」が2割弱前後で続いている。「東小学校区」は1割弱となっている。[p. 102]
- 【居住年数】10年未満は3割強、30年以上が3割弱となっている。10年未満の新たな転入者は前回の5割強よりは少なくなっているが、これは前回と回答者の年齢層が異なることに影響していると思われる。[p. 103]
- 【前住所】「名古屋市」が約42%、「名古屋市以外の愛知県内」が約26%で、あわせて愛知県からの転入が7割弱を占めている。「生まれた時から長久手市」は11%である。[p. 105]
- 【居住理由】「住環境がよいため」が2割強で、前回調査より3.4ポイント少なくなっている。「生まれた時から住んでいるため」は1割で、前回調査と比べて約6ポイント多くなっている。[p. 107]

2. 長久手市の住み心地について

(1) 住み心地の評価

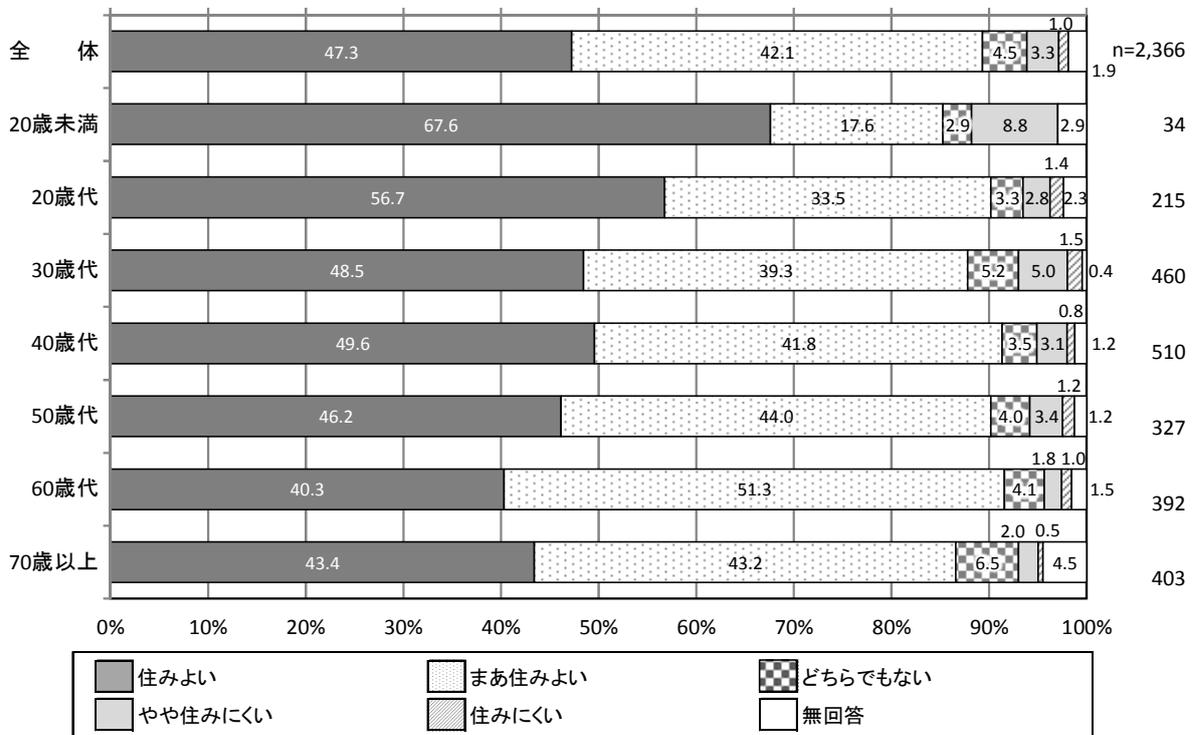
問1 あなたは、長久手市を住みよいまちだと思えますか。【○は1つ】

長久手市の住み心地については、「住みよい」が47.3%、「まあ住みよい」が42.1%となっており、合わせると89.4%となっている。

○年齢別でみると、20歳未満で「住みよい」が67.6%と全体より20.3ポイント多く、60歳代で40.3%と全体より7ポイント少ない。

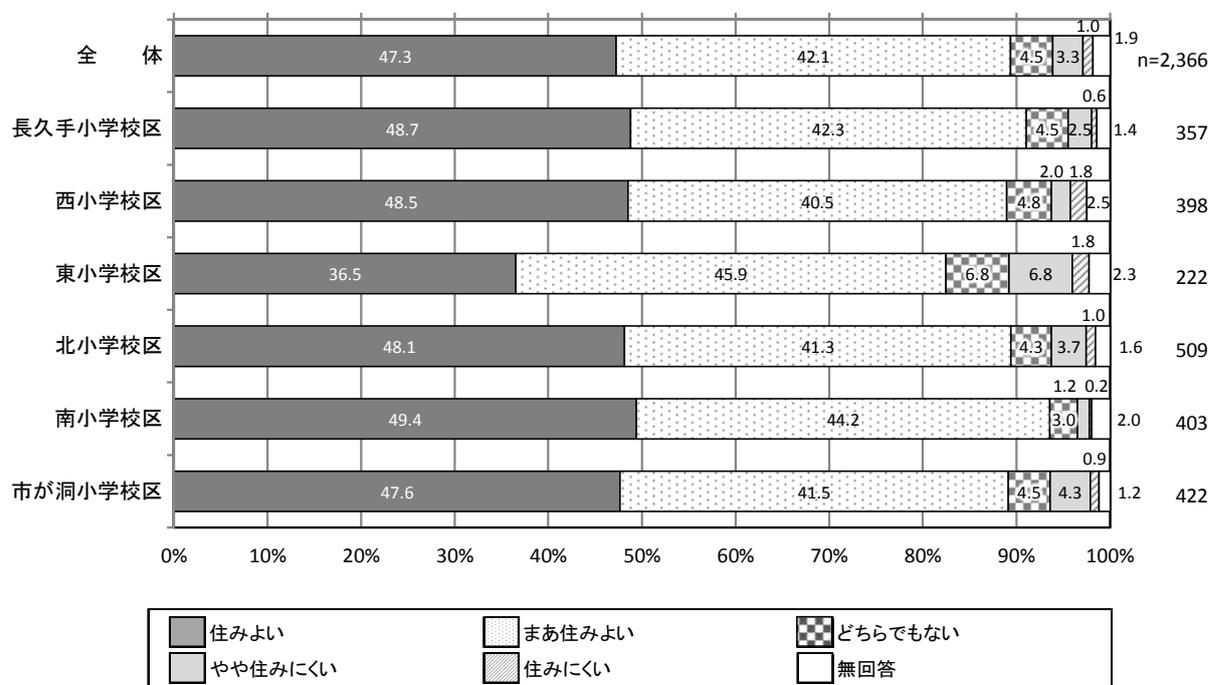
○一方で、20歳未満では、「やや住みにくい」が他の年代より多く、8.8%となっている。

図 2-1-1 住み心地（年齢別）



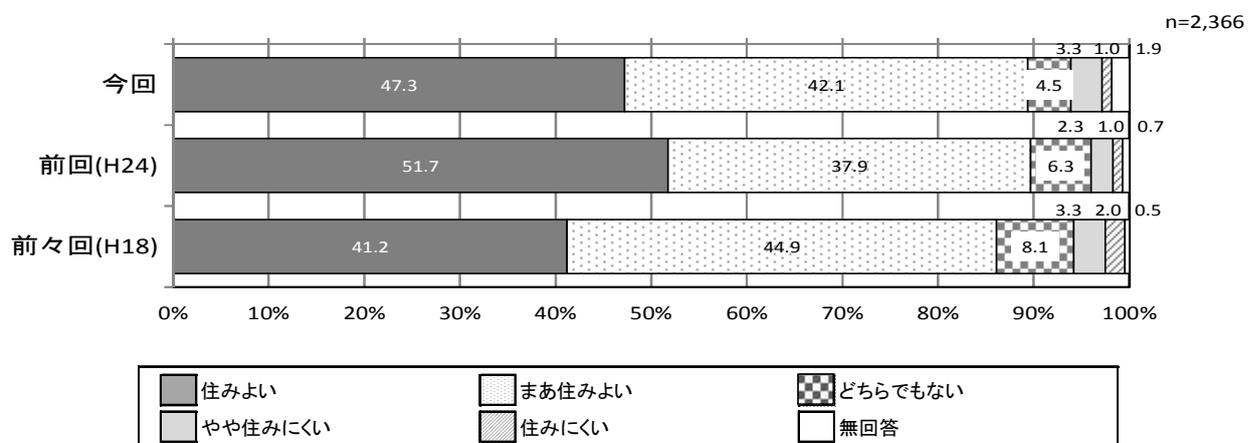
○小学校別でみると、東小学校区で「住みよい」が 36.5%と全体より 10.8 ポイント少なく、「住みよい」、「まあ住みよい」の合計も 82.4%と最も少ない。

図 2-1-2 住み心地（小学校区別）



○過去の調査と比較すると、「住みよい」は前回調査（51.7%）より 4.4 ポイント少ない。一方で、「住みよい」、「まあ住みよい」の合計は前回調査（89.6%）とほぼ同様となっている。

図 2-1-3 住み心地（経年変化）



(2) 定住意向とその理由

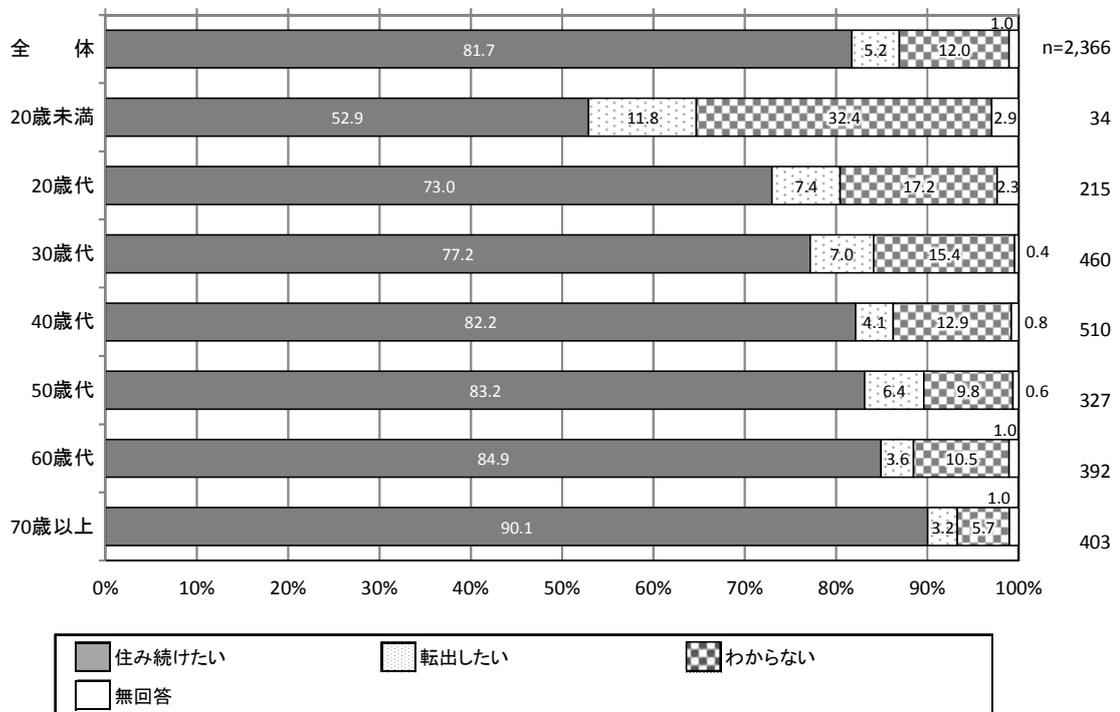
問2 あなたは、今後も長久手市に住み続けたいですか。【○は1つ】

今後の定住意向については、「住み続けたい」が81.7%と約8割であり、「転出したい」は5.2%となっている。

○年齢別でみると、年齢が高くなるほど「住み続けたい」が多くなっている。

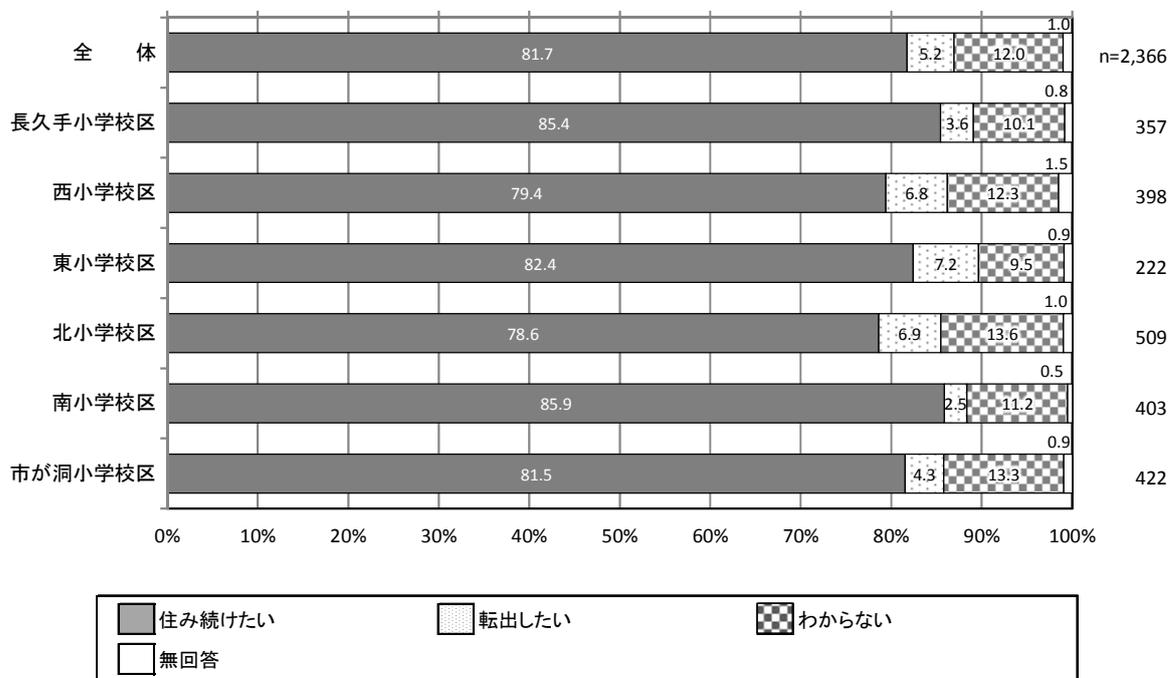
○20歳未満では、「住み続けたい」が52.9%と半数程度であり、「わからない」が32.4%と多くなっている。

図 2-2-1 定住意向（年齢別）



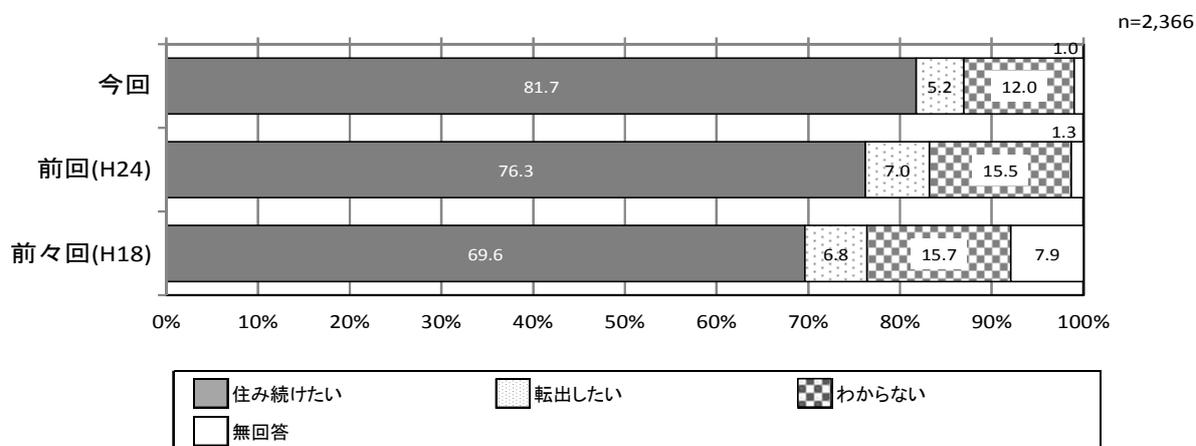
○小学校区別では、長久手小学校区（85.4%）と南小学校区（85.9%）で全体より4ポイント程度多く、北小学校区（78.6%）と西小学校区（79.4%）で全体より3ポイント程度少なくなっている。

図 2-2-2 定住意向（小学校区別）



○過去の調査と比較すると、「住みたい」は、前々回（69.6%）、前回（76.3%）から徐々に多くなっている。

図 2-2-3 定住意向（経年変化）



問2-1 「住み続けたい」と思う理由は何ですか。次の中から選んでください。【〇は3つまで】

「住み続けたい」と回答した方の理由としては、「住み慣れていて愛着がある」が39.7%と最も多く、次いで「買い物に便利」(35.0%)、「緑や田園が多く自然環境がよい」(33.9%)、「交通の便がよい」(26.1%)などが続いている。

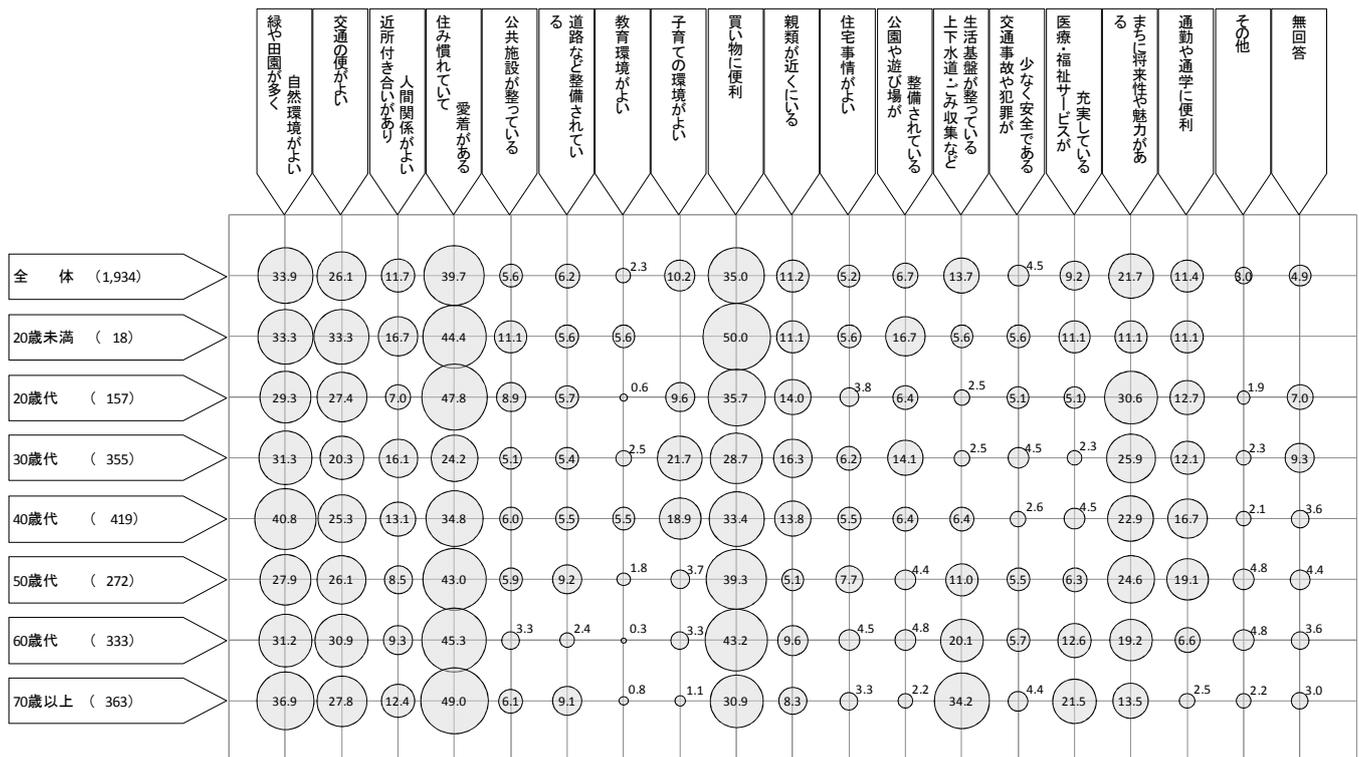
○年齢別でみると、20歳未満では「買い物に便利」(50.0%)が最も多く、30歳代と40歳代では「緑や田園が多く自然環境がよい」が最も多く、20歳代及び50歳代以上では「住み慣れていて愛着がある」が最も多い。

○20歳代では、「まちに将来性や魅力がある」(30.6%)が全体より8.9ポイント多い。

○30歳代と40歳代では「子育ての環境がよい」(それぞれ21.7%、18.9%)が全体より多い一方、「住み慣れていて愛着がある」(それぞれ24.2%、34.8%)は全体より少ない。

○60歳代と70歳以上では「上下水道・ごみ収集など生活基盤が整っている」(それぞれ20.1%、34.2%)が全体より多い。

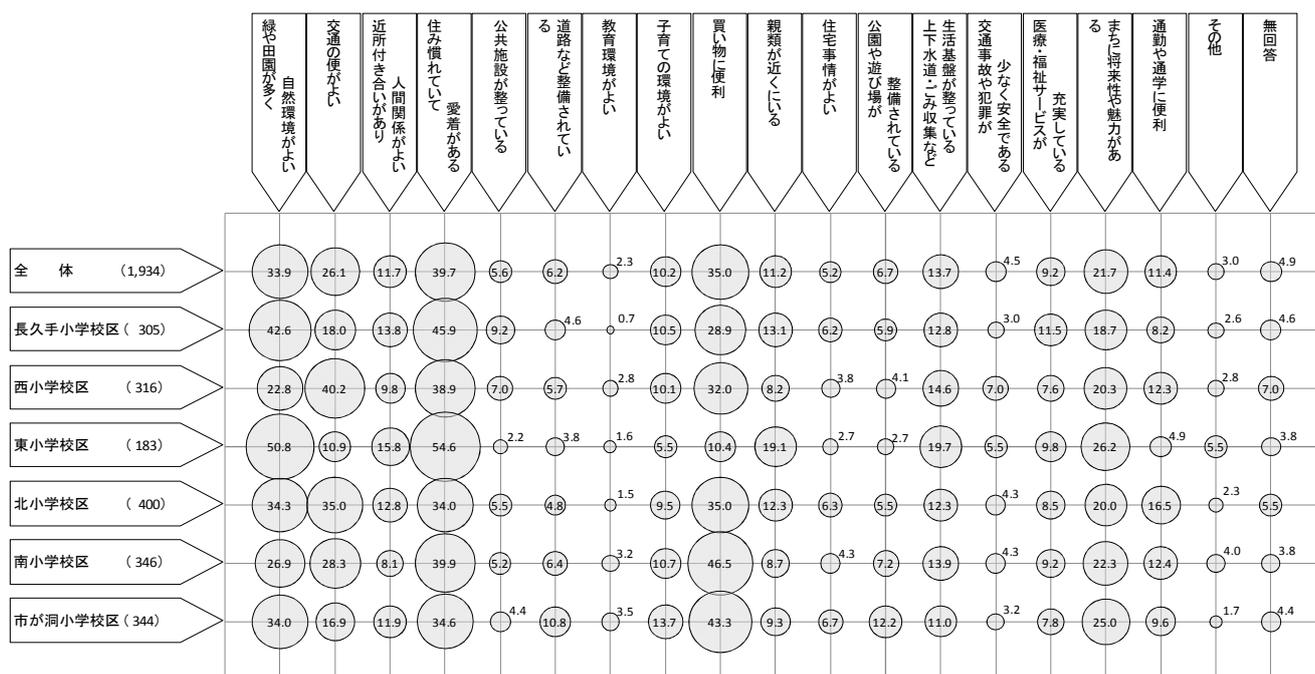
図2-2-4 住み続けたい理由（年齢別）



○小学校区別でみると、長久手小学校区と東小学校区では「住み慣れていて愛着がある」が最も多く、南小学校区、市が洞小学校区では「買い物に便利」が最も多く、西小学校区では「交通の便がよい」が最も多い。北小学校区では、「買い物に便利」と「交通の便がよい」が最も多い。

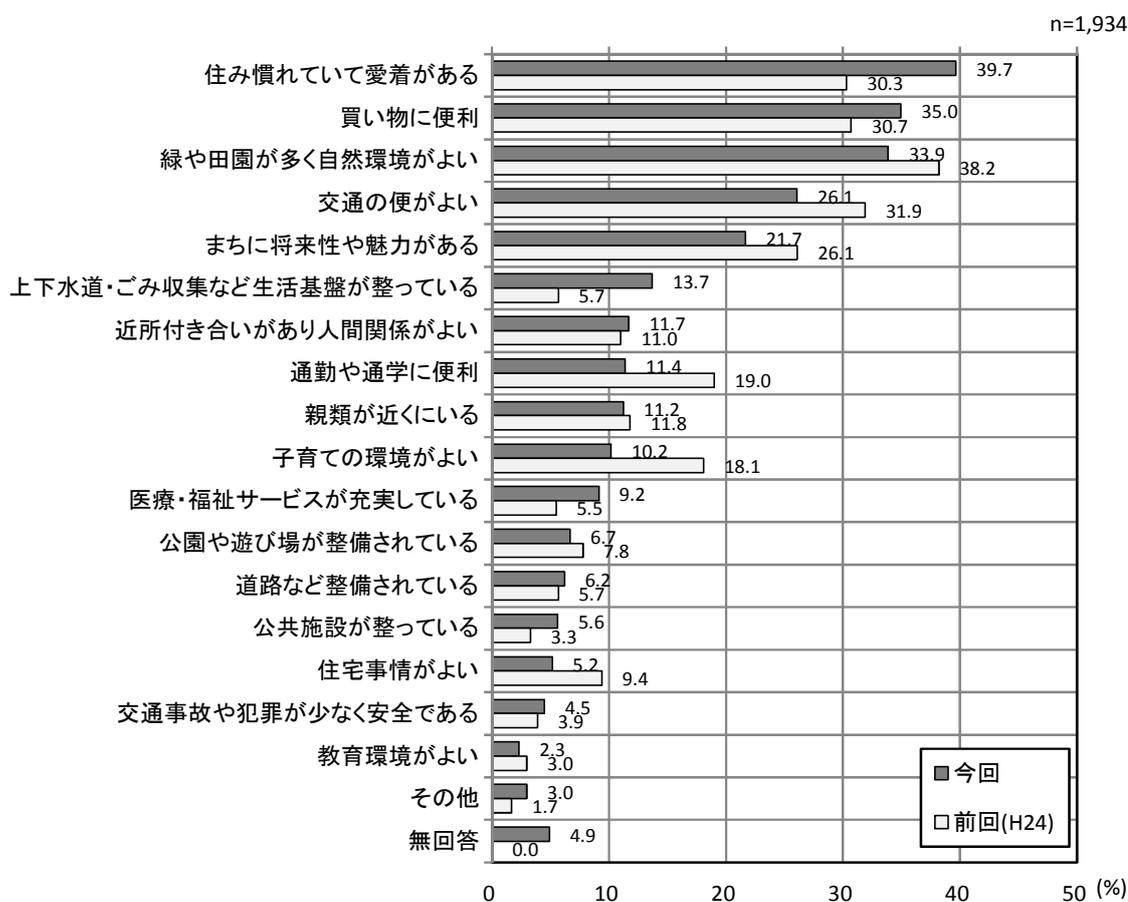
○東小学校区では、「緑や田園が多く自然環境がよい」(50.8%)と「住み慣れていて愛着がある」(54.6%)が全体より15ポイント程度多く、「交通の便がよい」(10.9%)と「買い物に便利」(10.4%)が全体より15ポイント以上少ない。

図 2-2-5 住み続けたい理由 (小学校区別)



- 過去の調査と比較すると、「住み慣れていて愛着がある」(39.7%)は前回調査より9.4ポイント、「買い物に便利」(35.0%)は4.3ポイント、「上下水道・ごみ収集など生活基盤が整っている」(13.7%)は8.0ポイント多くなっている。
- 一方で、「緑や田園が多く自然環境がよい」(33.9%)は前回調査より4.3ポイント、「交通の便がよい」(26.1%)は5.8ポイント、「まちに将来性や魅力がある」(21.7%)が4.4ポイント、「通勤や通学に便利」(11.4%)は7.6ポイント、「子育ての環境がよい」(10.2%)は7.9ポイント少なくなっている。

図 2-2-6 住み続けたい理由（経年変化）



問2-2 「転出したい」と思う理由は何ですか。次の中から選んでください。【○は3つまで】

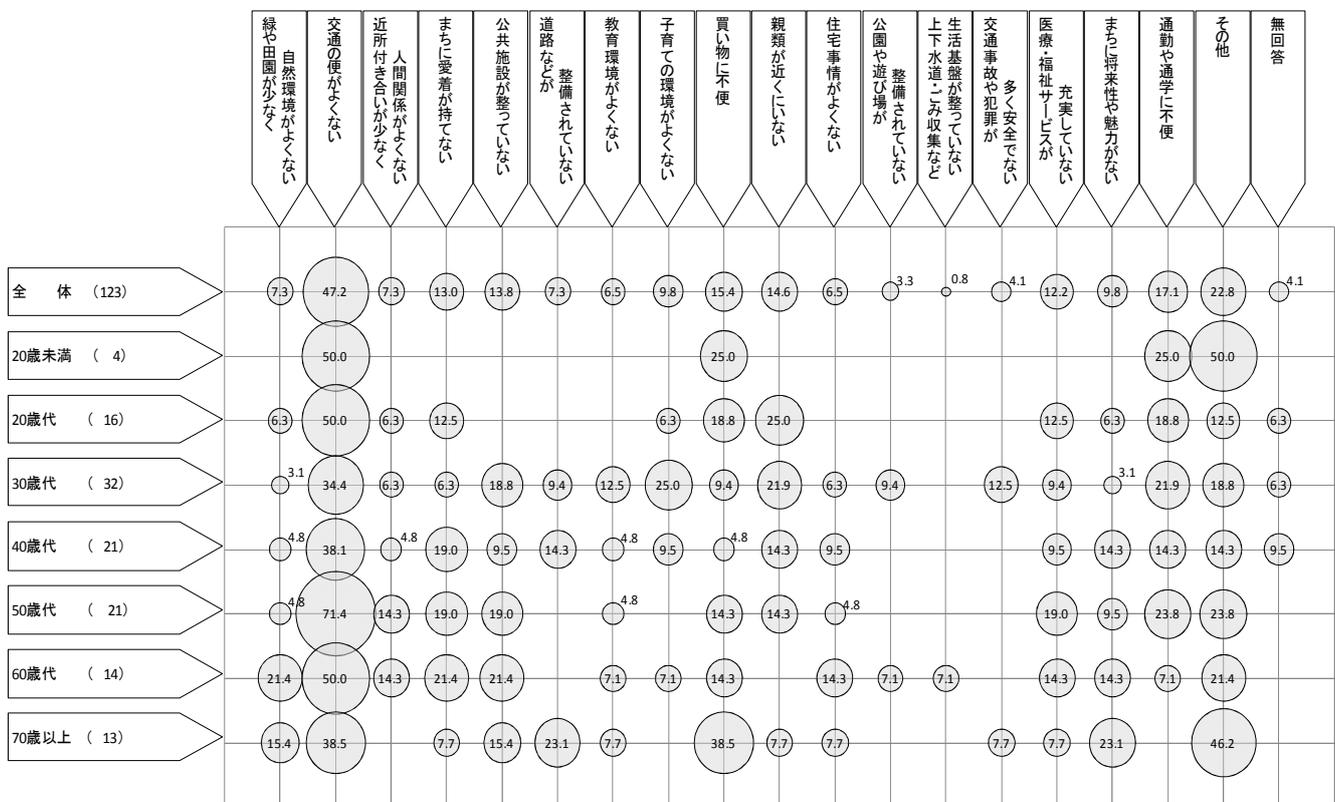
「転出したい」と回答した方の理由としては、「交通の便がよくない」(47.2%)が最も多く、次いで「通勤や通学に不便」(17.1%)、「買い物に不便」(15.4%)、「親類が近くにいない」(14.6%)などが続いている。

○年齢別にみると、いずれの年齢でも「交通の便がよくない」が最も多く、特に50歳代では71.4%と全体より24.2ポイント多い。

○30歳代では「子育ての環境がよくない」(25.0%)が全体より15.2ポイント多い。

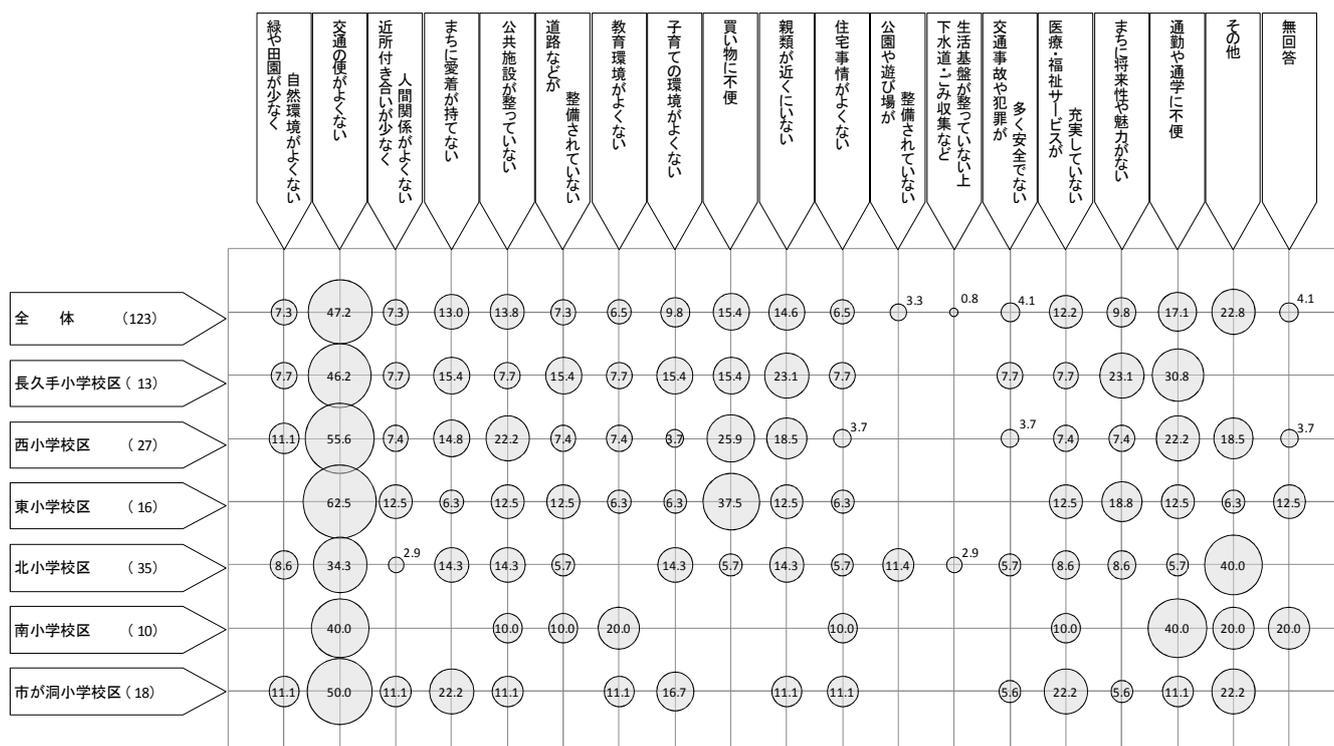
○70歳以上では「買い物に不便」(38.5%)が全体より23.1ポイント多い。

図 2-2-7 転出したい理由（年齢別）



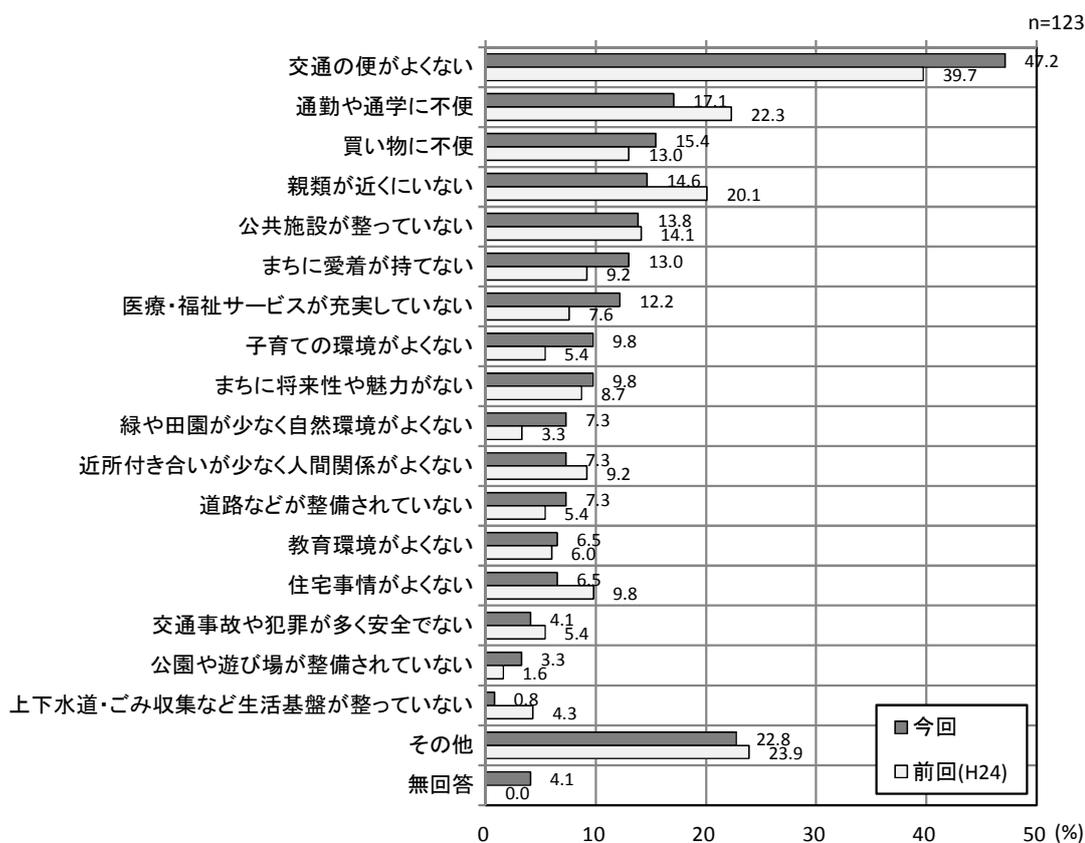
- 小学校区別でみると、いずれの小学校区でも「交通の便がよくない」が最も多く、さらに南小学校では「通勤や通学に不便」(40.0%)も同様に多い。
- 西小学校区と東小学校区では、「買い物に不便」(それぞれ25.9%、37.5%)が全体より多い。
- 西小学校区では「公共施設が整っていない」(22.2%)が全体より8.4ポイント多い。

図 2-2-8 転出したい理由 (小学校区別)



- 過去の調査と比較すると、「交通の便がよくない」(47.2%)は前回調査より7.5ポイント、「まちに愛着が持てない」(13.0%)は3.8ポイント、「医療・福祉サービスが充実していない」(12.2%)は4.6ポイント、「緑や田園が少なく自然環境がよくない」(7.3%)は4.0ポイント多くなっている。
- 一方、「通勤や通学に不便」(17.1%)は5.2ポイント、「親類が近くにいない」(14.6%)は5.5ポイント少なくなっている。

図 2-2-9 転出したい理由（経年変化）



3. 行政サービスについて

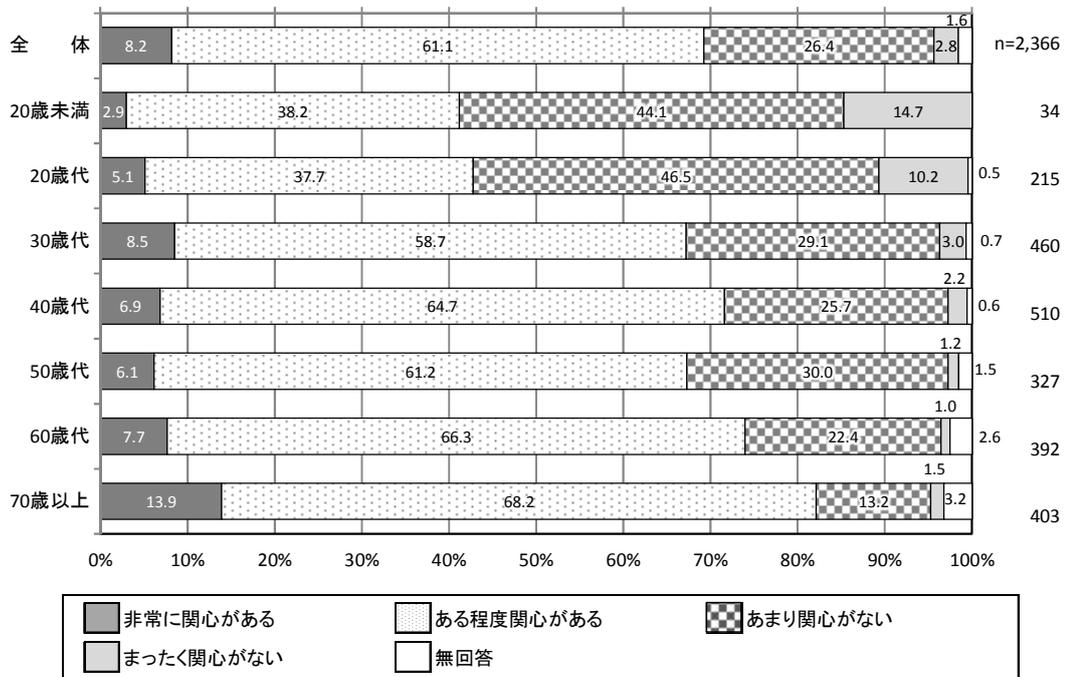
(1) 市政への関心

問3 あなたは、市政にどの程度関心がありますか。【○は1つ】

市政への関心度については、「ある程度関心がある」(61.1%)が最も多く、「非常に関心がある」(8.2%)を合わせると全体の7割弱となっている。一方、「あまり関心がない」(26.4%)と「まったく関心がない」(2.8%)を合わせると全体の3割弱となっている。

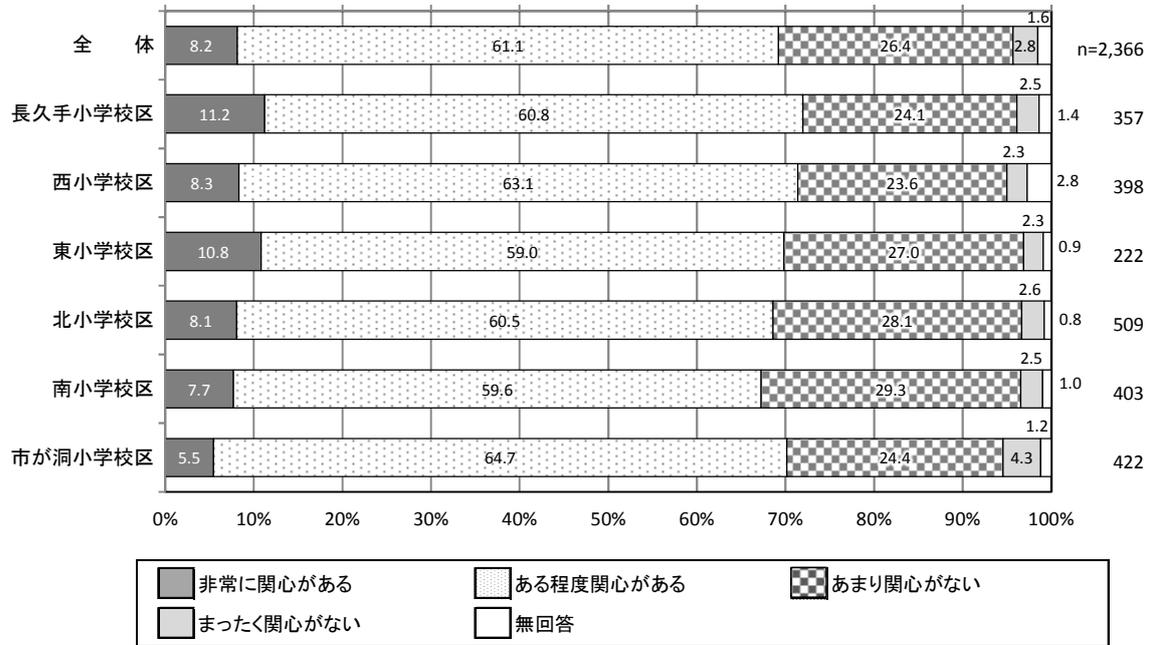
- 年齢別でみると、70歳以上で「非常に関心がある」(13.9%)が全体より5.7ポイント多く、30歳代でも全体より多い。
- 「非常に関心がある」と「ある程度関心がある」を合わせると、70歳以上では82.1%と8割を超えている一方、20歳未満では41.1%、20歳代では42.8%と、半数に満たない。

図 3-1-1 市政への関心度 (年齢別)



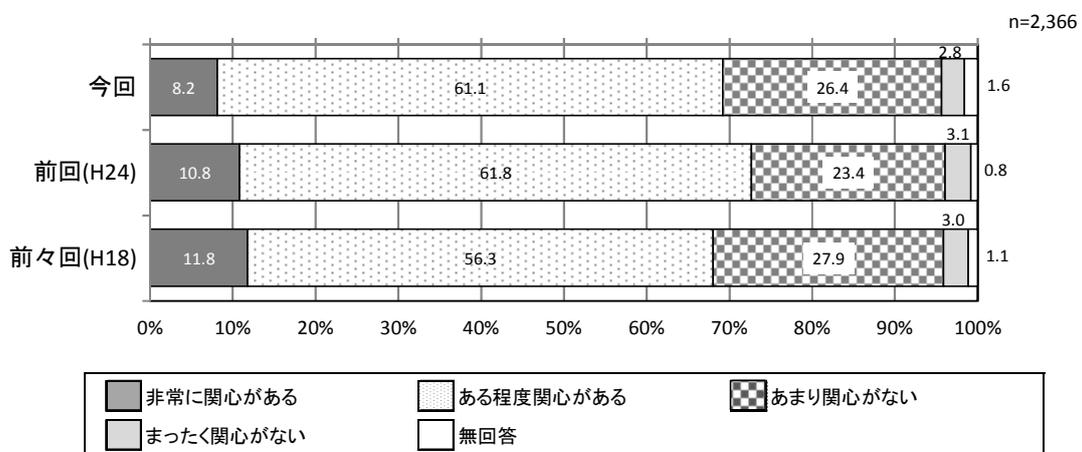
- 小学校区別でみると、「非常に興味がある」は長久手小学校区（11.2%）と東小学校区（10.8%）で全体より2ポイント以上多い。
- 「非常に興味がある」と「ある程度興味がある」の合計では、小学校区間で大きな違いはみられない。

図 3-1-2 市政への関心度（小学校区別）



- 過去の調査と比較すると、「非常に興味がある」は前々回、前回から徐々に少なくなっている。
- 「非常に興味がある」と「ある程度興味がある」の合計（69.3%）は、前回（72.6%）よりも少ないが、前々回（68.1%）よりは多い。

図 3-1-3 市政への関心度（経年変化）



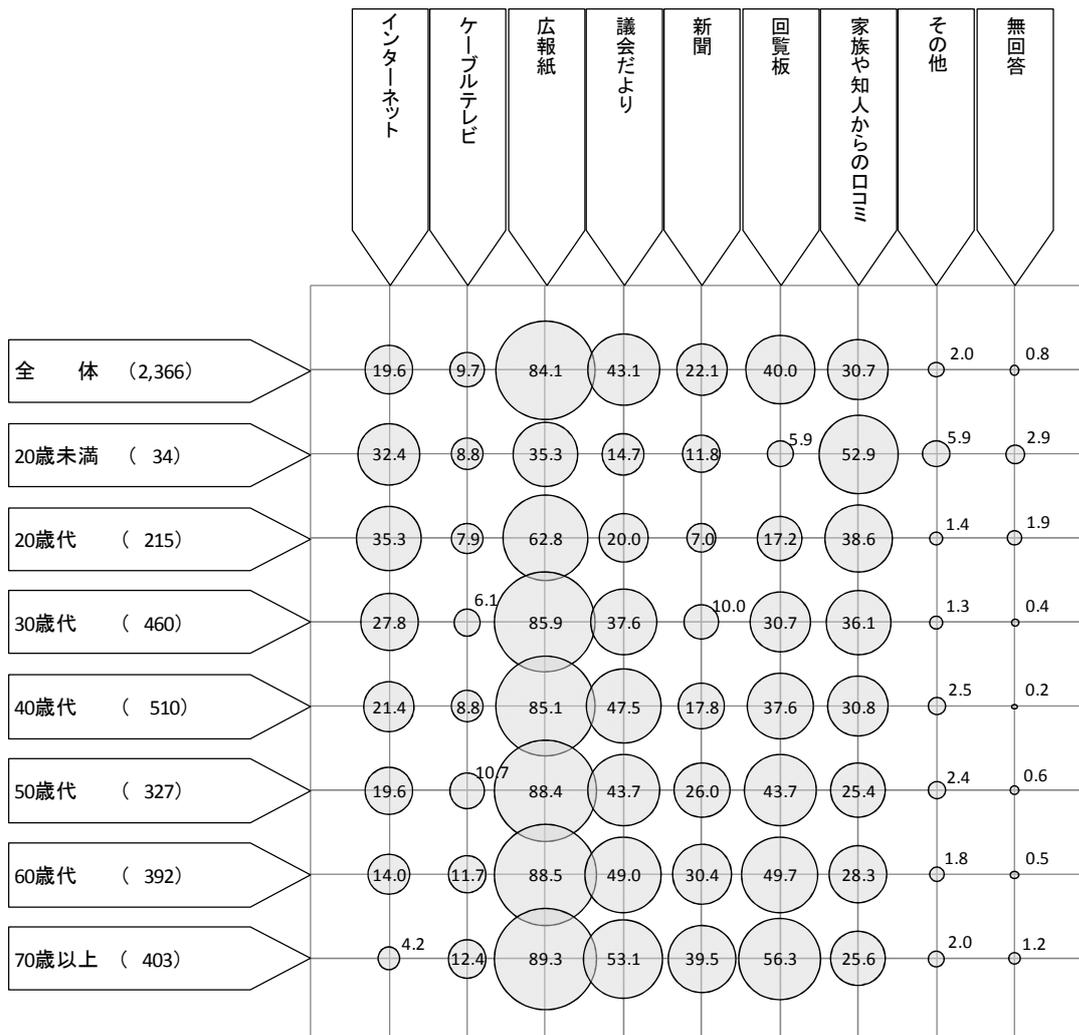
(2) 情報の入手手段

問4 あなたは、長久手市の情報をどのように得ていますか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。【〇はあてはまるものすべて】

行政情報の入手手段については、「広報紙」が84.1%と最も多く、次いで「議会だより」(43.1%)、「回覧板」(40.0%)、「家族や知人からの口コミ」(30.7%)などとなっている。

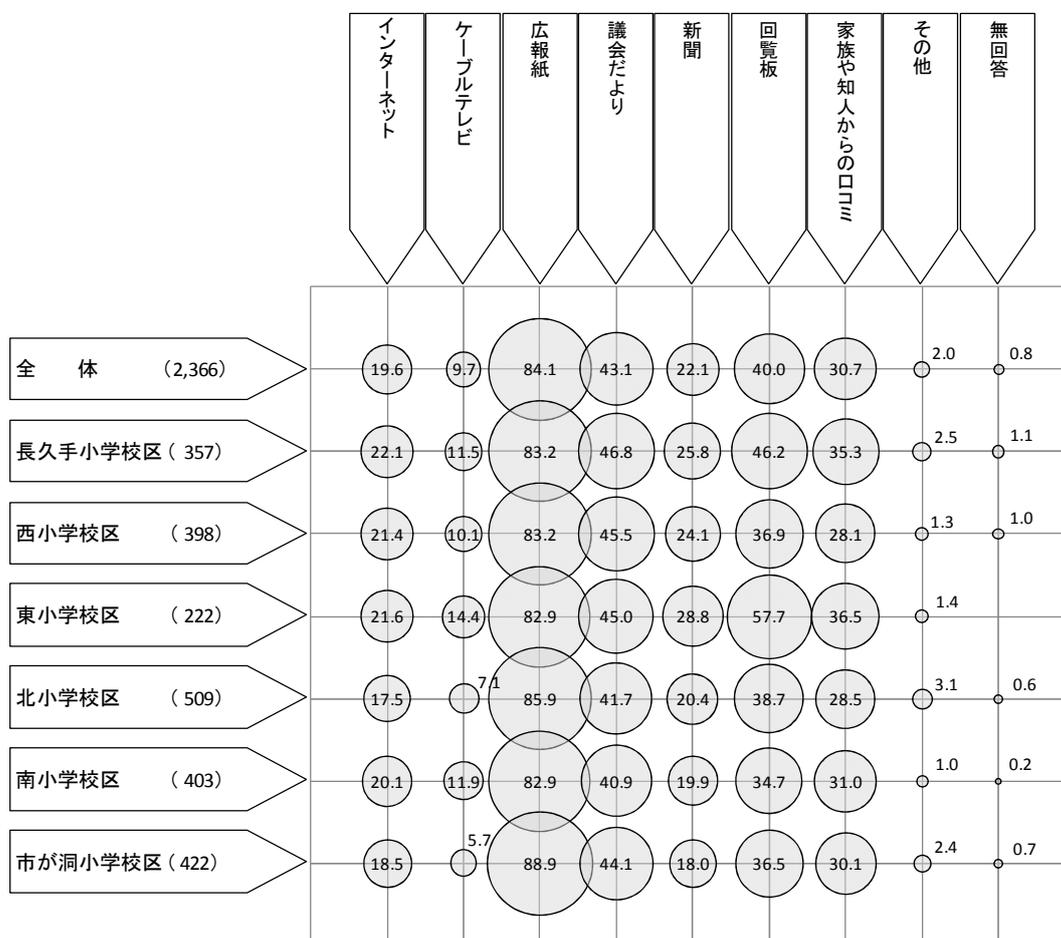
- 年齢別で見ると、20歳代以上では「広報紙」が最も多いが、20歳未満では「家族や知人からのクチコミ」が52.9%と最も多い。
- 「議会だより」、「新聞」、「回覧板」は、おおよそ年齢が高くなるほど多くなっている。
- 「インターネット」は、おおよそ年齢が高くなるほど少なくなっている。
- 20歳未満では、「広報紙」(35.3%)と「議会だより」(14.7%)、「回覧板」(5.9%)が全体より25ポイント以上少なく、20歳代と30歳代では「新聞」(それぞれ7.0%、10.0%)が全体より12ポイント以上少ない。
- 70歳以上では、「インターネット」(4.2%)が全体より15.4ポイント少ない。

図 3-2-1 情報の入手手段 (年齢別)



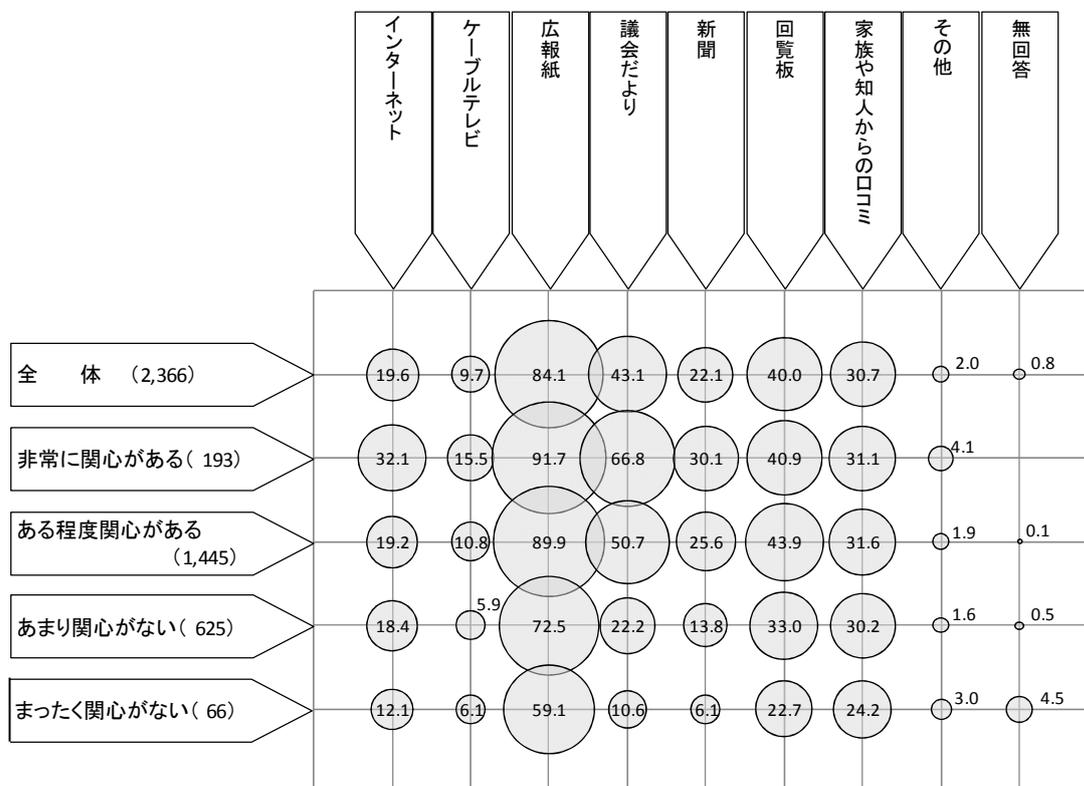
○小学校区別でみると、あまり大きな違いはみられない。

図 3-2-2 情報の入手手段（小学校区別）



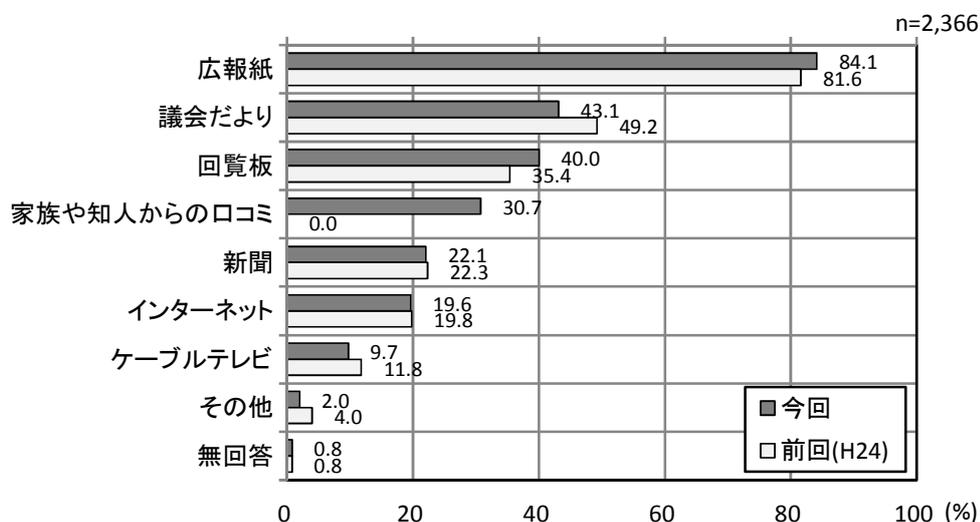
○市政への関心度別でみると、いずれの層でも「広報紙」が最も多い。また、全体的に関心が高いほど、情報媒体の利用が多くなっており、特に「議会だより」は非常に関心がある人では66.8%に対し、まったく関心がない人では10.6%と差が大きい。

図 3-2-3 情報の入手手段（市政への関心度別）



○過去の調査と比較すると、「広報紙」(84.1%)と「回覧板」(40.0%)はそれぞれ2.5ポイント、4.6ポイント多くなっている一方、「議会だより」(43.1%)は6.1ポイント少なくなっている。

図 3-2-4 情報の入手手段（経年変化）



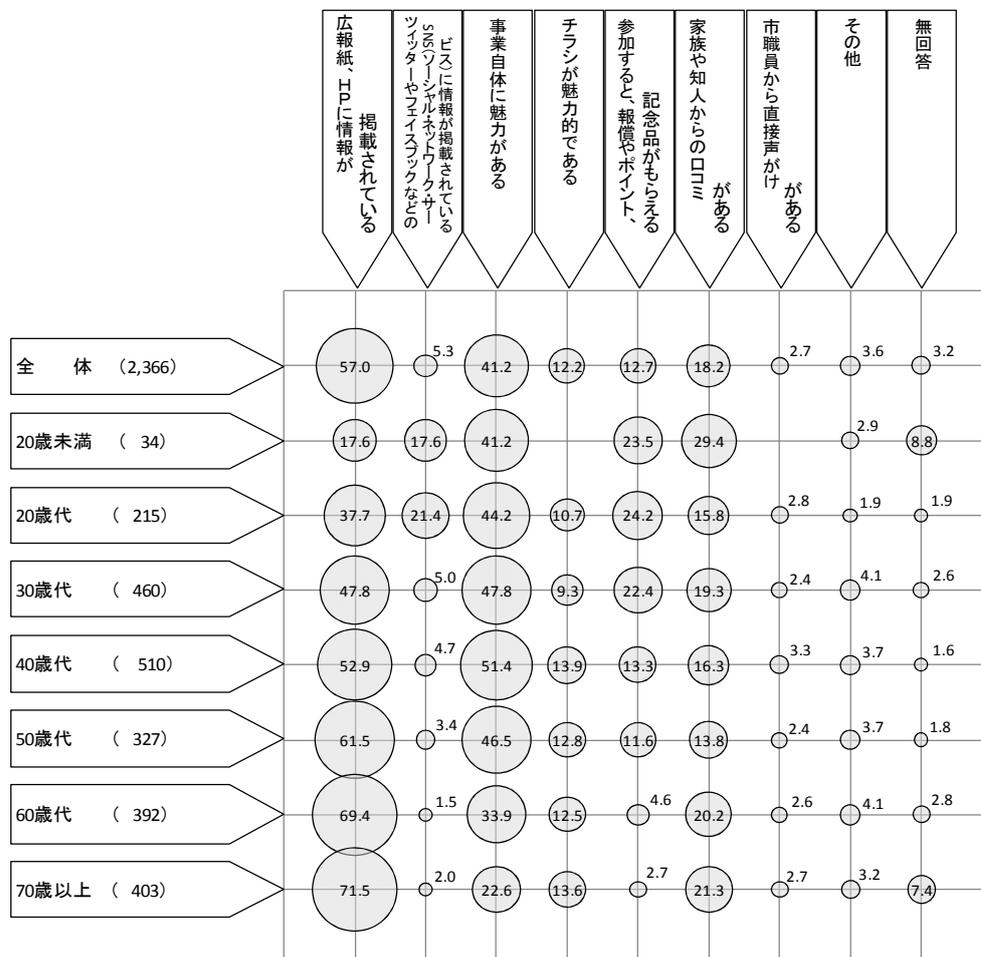
(3) 事業参加の決め手

問5 あなたが、市の行う事業（講演会、イベント、計画策定のためのワークショップ等）に参加するには、どのようなことが決め手となりますか。特に重要だと思うものを次の中から選んでください。
【〇は2つまで】

市の行う事業への参加の決め手としては、「広報紙、HPに情報が掲載されている」が57.0%と最も多く、次いで「事業自体に魅力がある」(41.2%)、「家族や知人からの口コミがある」(18.2%)などとなっている。

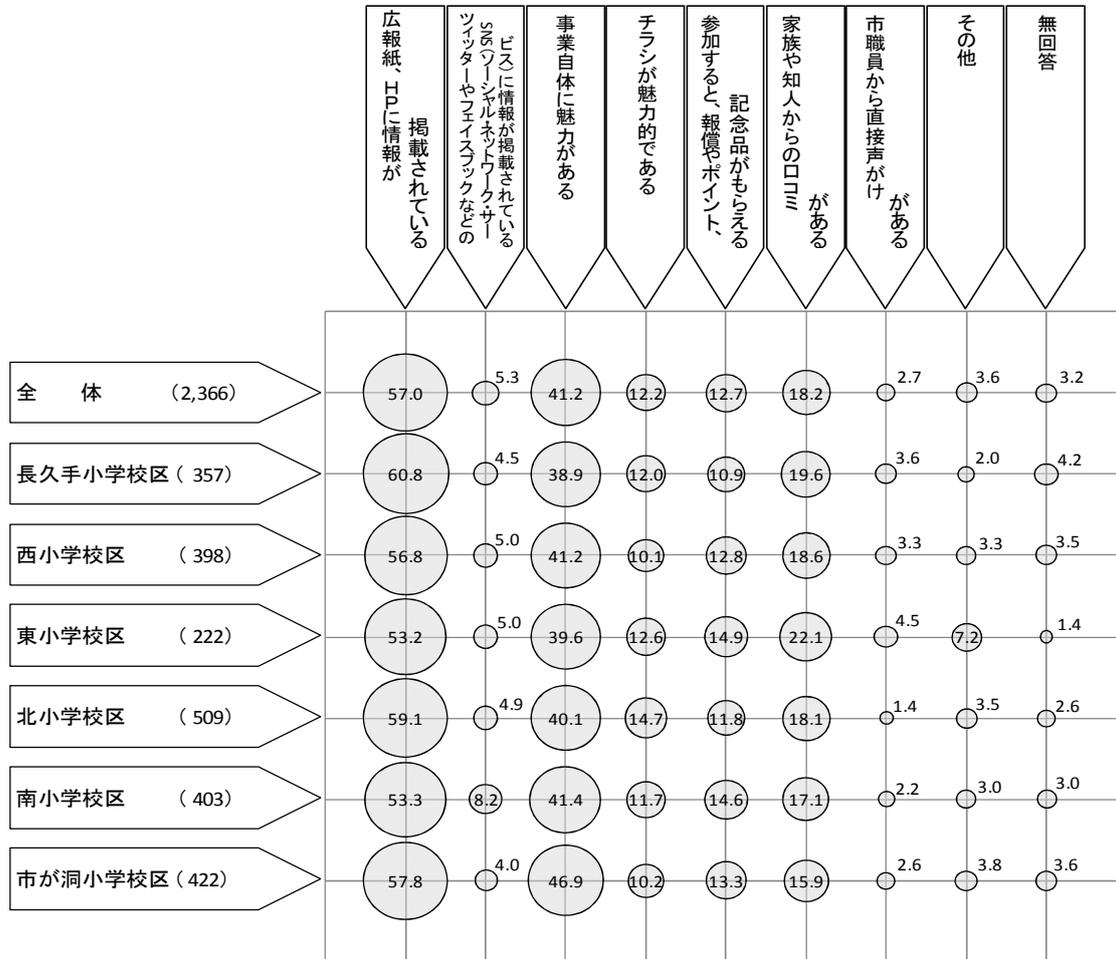
- 年齢別で見ると、20歳未満と20歳代では「事業自体に魅力がある」が最も多く、40歳代以上では「広報紙、HPに情報が掲載されている」が最も多い。また、30歳代では、両者が同様に最も多い。
- 「広報紙、HPに情報が掲載されている」は、年齢が高くなるほど多くなっている。
- 「ツイッターやフェイスブックなどのSNS（ソーシャルネットワーク・サービス）に情報が掲載されている」は、20歳未満と20歳代でそれぞれ17.6%、21.4%と全体より多い。
- 「参加すると、報償やポイント、記念品がもらえる」は、おおよそ年齢が低くなるほど多くなっている。

図 3-3-1 事業参加の決め手（年齢別）



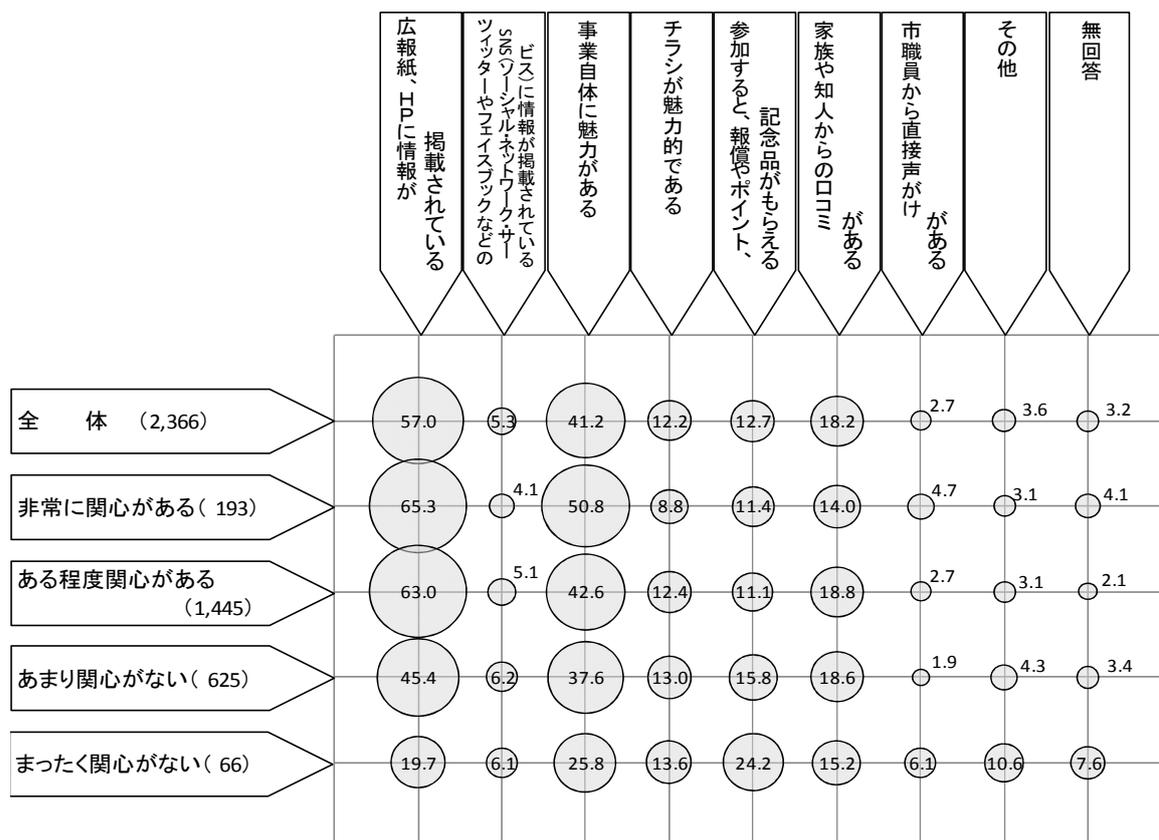
○小学校区別でみると、あまり大きな違いはみられない。

図 3-3-2 事業参加の決め手（小学校区別）



○市政への関心度別で見ると、まったく関心がない人では、「広報紙、HPに情報が掲載されている」、「事業自体に魅力がある」は全体より15ポイント以上少ないが、「参加すると、報酬やポイント、記念品がもらえる」は全体より11.5ポイント多い。

図 3-3-3 事業参加の決め手（市政への関心度別）



4. 市民活動について

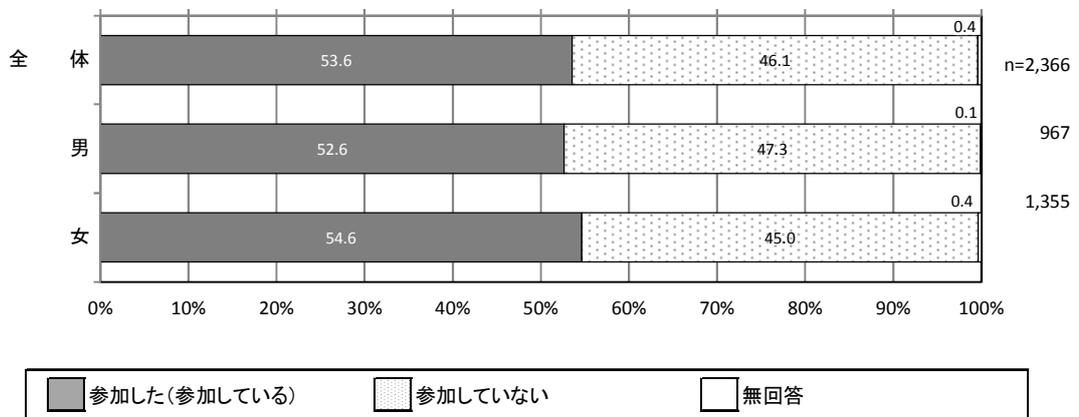
(1) 地域の活動への参加状況とその理由

問6 あなたやあなたのご家族は、過去3年以内に地域の活動に参加しましたか。【○は1つ】

過去3年以内の地域の活動について、「参加した(参加している)」は53.6%、「参加していない」は46.1%となっている。

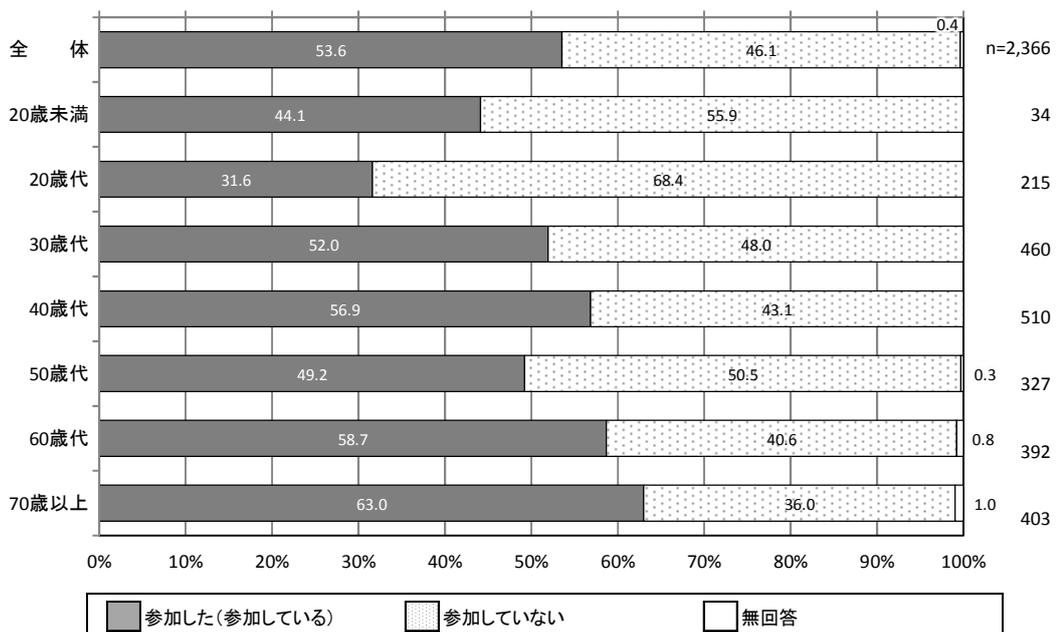
○性別でみると、女性の方がやや参加率が高いが、大きな違いはみられない。

図 4-1-1 地域活動への参加状況 (性別)



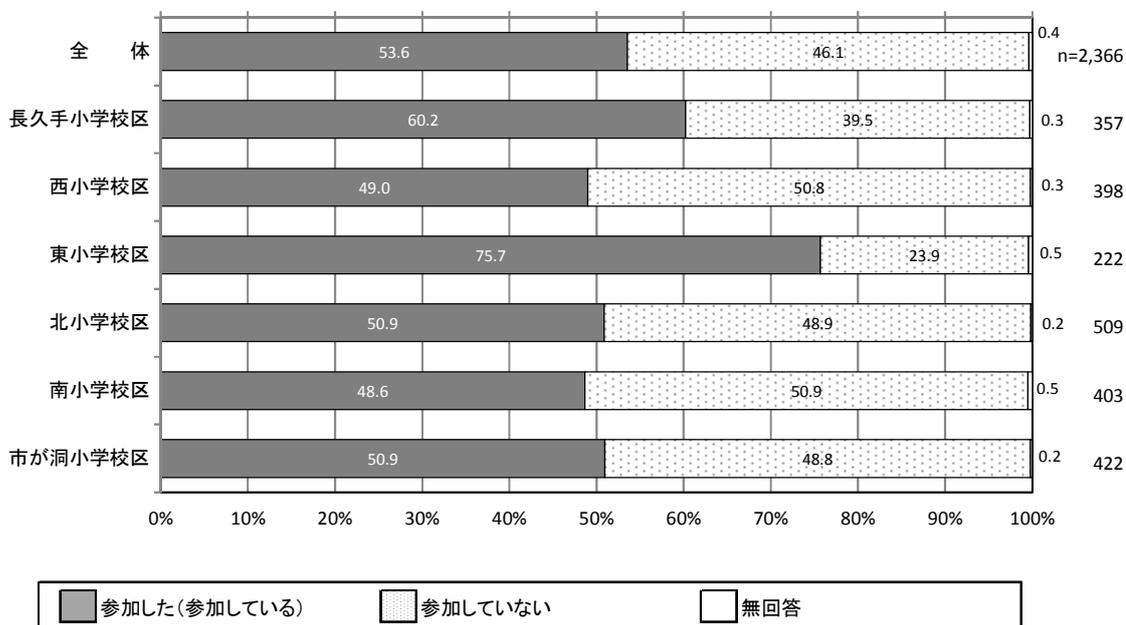
○年齢別でみると、「参加した」は70歳以上(63.0%)、60歳代(58.7%)、40歳代(56.9%)で全体より多い一方、20歳代では31.6%と全体より22ポイント少ない。

図 4-1-2 地域活動への参加状況 (年齢別)



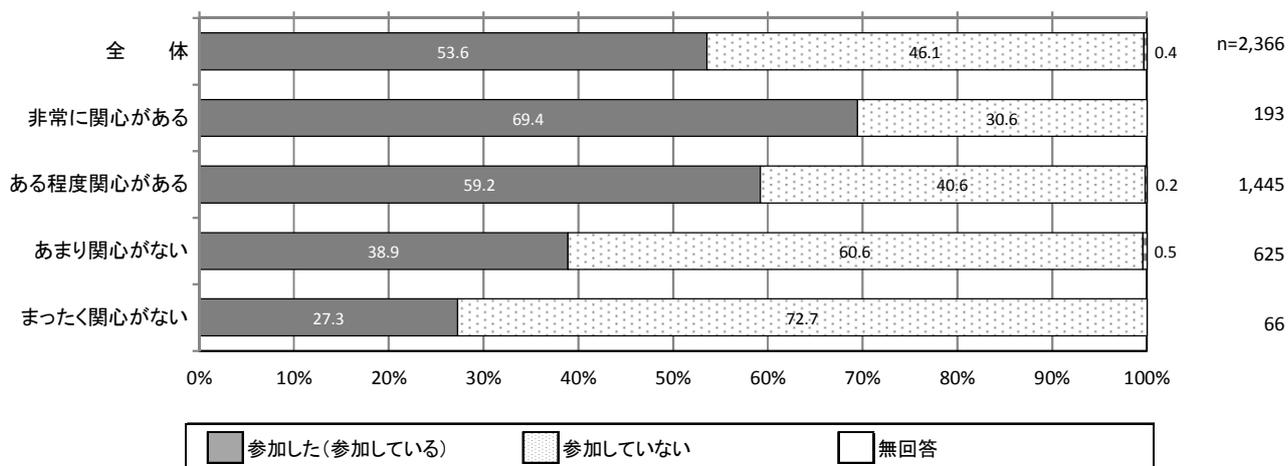
○小学校区別でみると、「参加した」は東小学校区で75.7%と全体より22.1ポイント多い。

図 4-1-3 地域活動への参加状況（小学校区別）



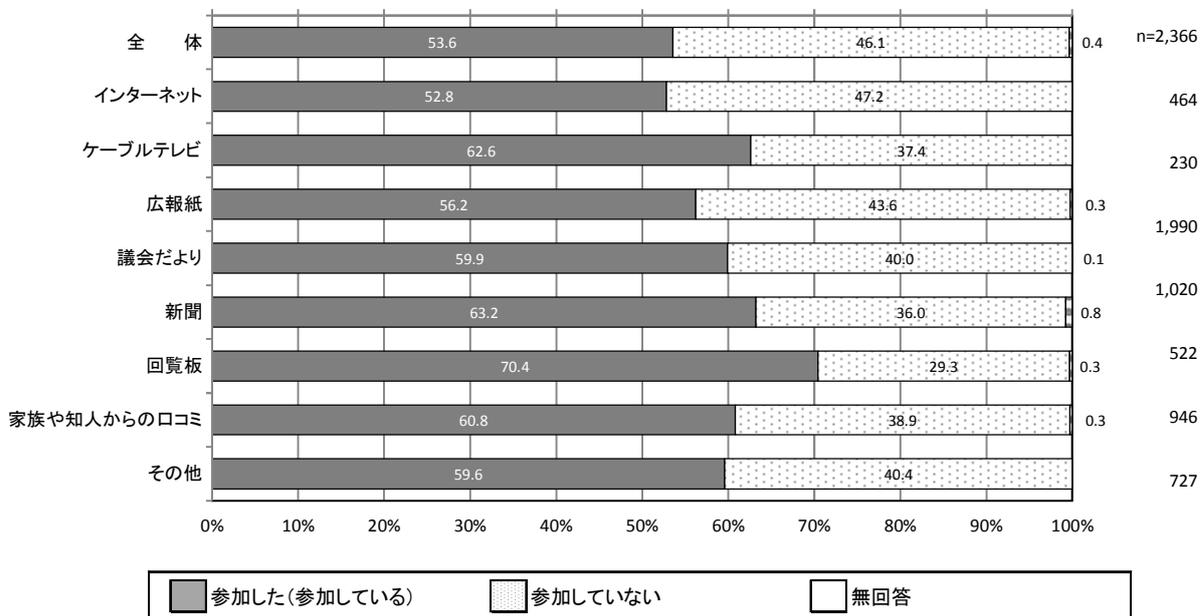
○市政への関心度別でみると、「参加した」は市政への関心が高いほど多く、非常に興味がある人では69.4%、まったく関心がない人では27.3%とその差が42.1ポイントと大きくなっている。

図 4-1-4 地域活動への参加状況（市政への関心度別）



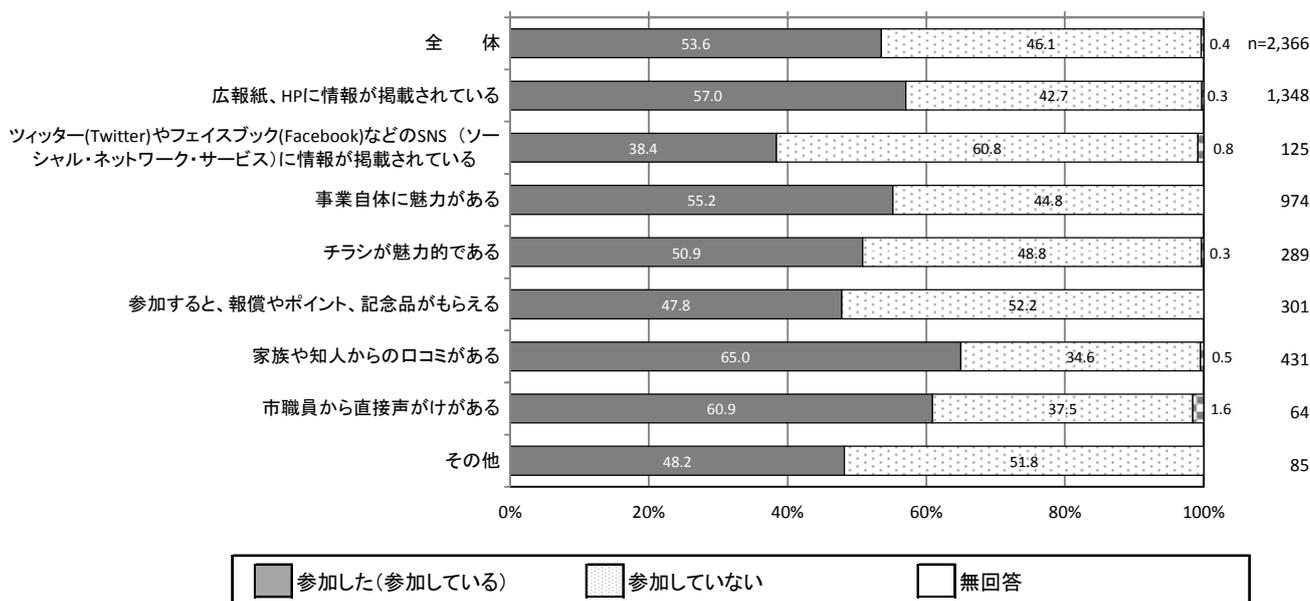
○情報の入手手段別でみると、回覧板で情報を入力している人では「参加した」が70.4%と全体より16.8ポイント多い。

図 4-1-5 地域活動への参加状況（情報の入手手段別）



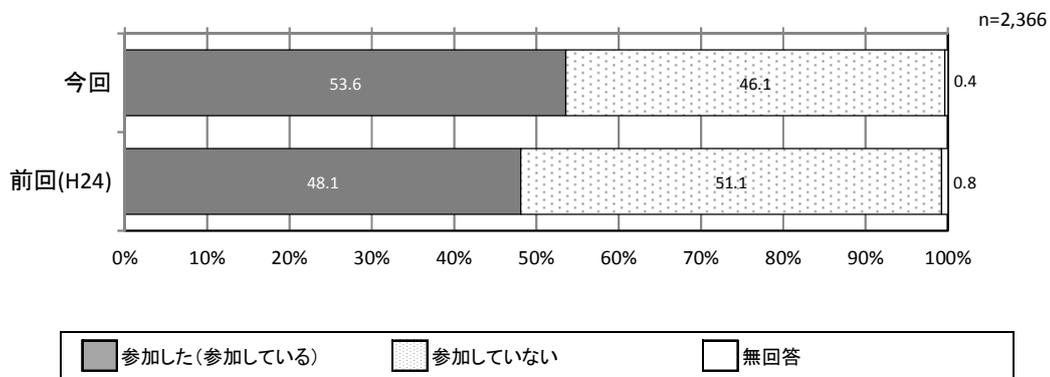
○参加の決め手別でみると、“家族や知人からの口コミがある”（65.0%）や“市職員から直接声がけがある”（60.9%）では「参加した」が6割を超えており全体より多い。一方、“ツイッターやフェイスブックなど SNS に情報が掲載されている”では「参加した」が38.4%と全体より15.2ポイント少ない。

図 4-1-6 地域活動への参加状況（事業参加の決め手別）



○過去の調査と比較すると、「参加した」が前回より 5.5 ポイント多くなっている。

図 4-1-7 地域活動への参加状況（経年変化）

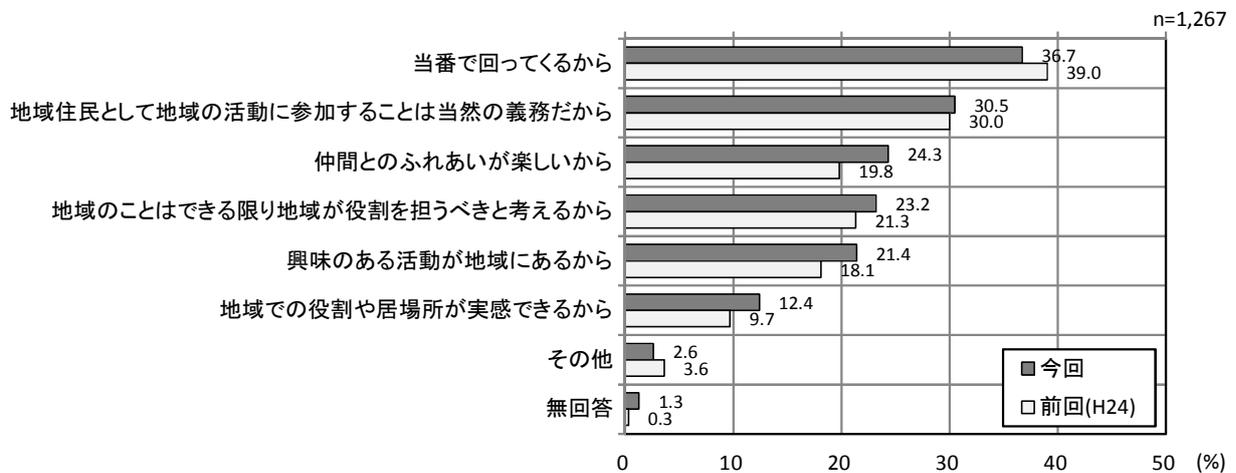


問6-1 「参加した(参加している)」理由は何ですか。【○は2つまで】

参加した方の理由としては、「当番で回ってくるから」が36.7%と最も多く、次いで「地域住民として地域の活動に参加することは当然の義務だから」(30.5%)、「仲間とのふれあいが楽しいから」(24.3%)、「地域のことはできる限り地域が役割を担うべきと考えるから」(23.2%)となっている。

○過去の調査と比較すると、「当番で回ってくるから」(36.7%)は前回調査より2.3ポイント少なく、「仲間とのふれあいが楽しいから」(24.3%)が4.5ポイント、「興味のある活動が地域にあるから」(21.4%)が3.3ポイント多くなっている。

図 4-1-5 参加した理由 (経年変化)

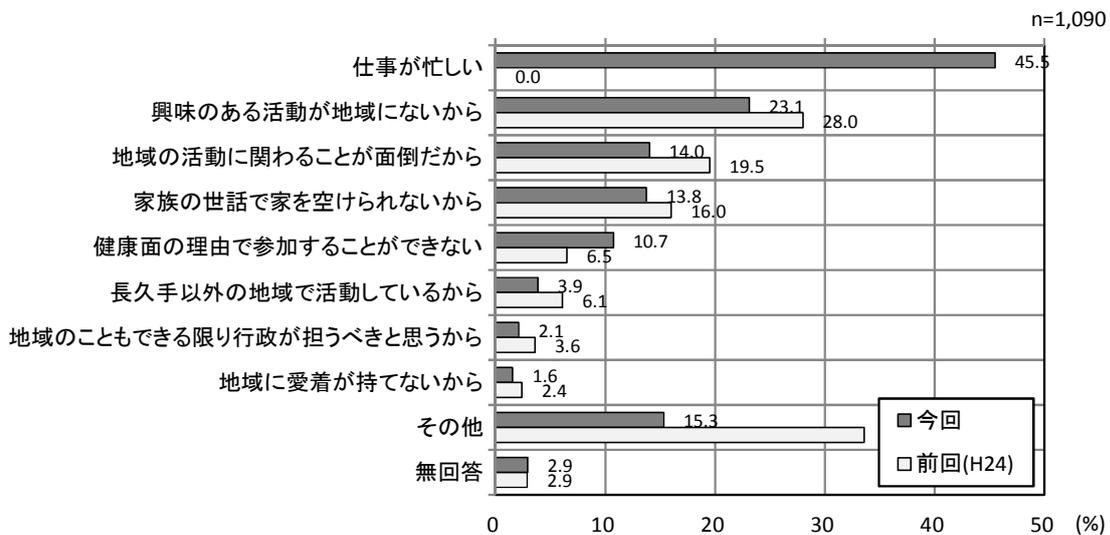


問6-2 「参加していない」理由は何ですか。【○は2つまで】

参加していない方の理由としては、「仕事が忙しい」が45.5%と最も多く、次いで「興味のある活動が地域にないから」(23.1%)、「地域の活動に関わることが面倒だから」(14.0%)、「家族の世話で家を空けられないから」(13.8%)となっている。

○過去の調査と比較すると、今回調査から「仕事が忙しい」という選択肢が増えたことにより前回調査よりポイントが下がる項目が多い中、「健康面の理由で参加することができない」(10.7%)は4.2ポイント多くなっている。

図 4-1-6 参加した理由（経年変化）



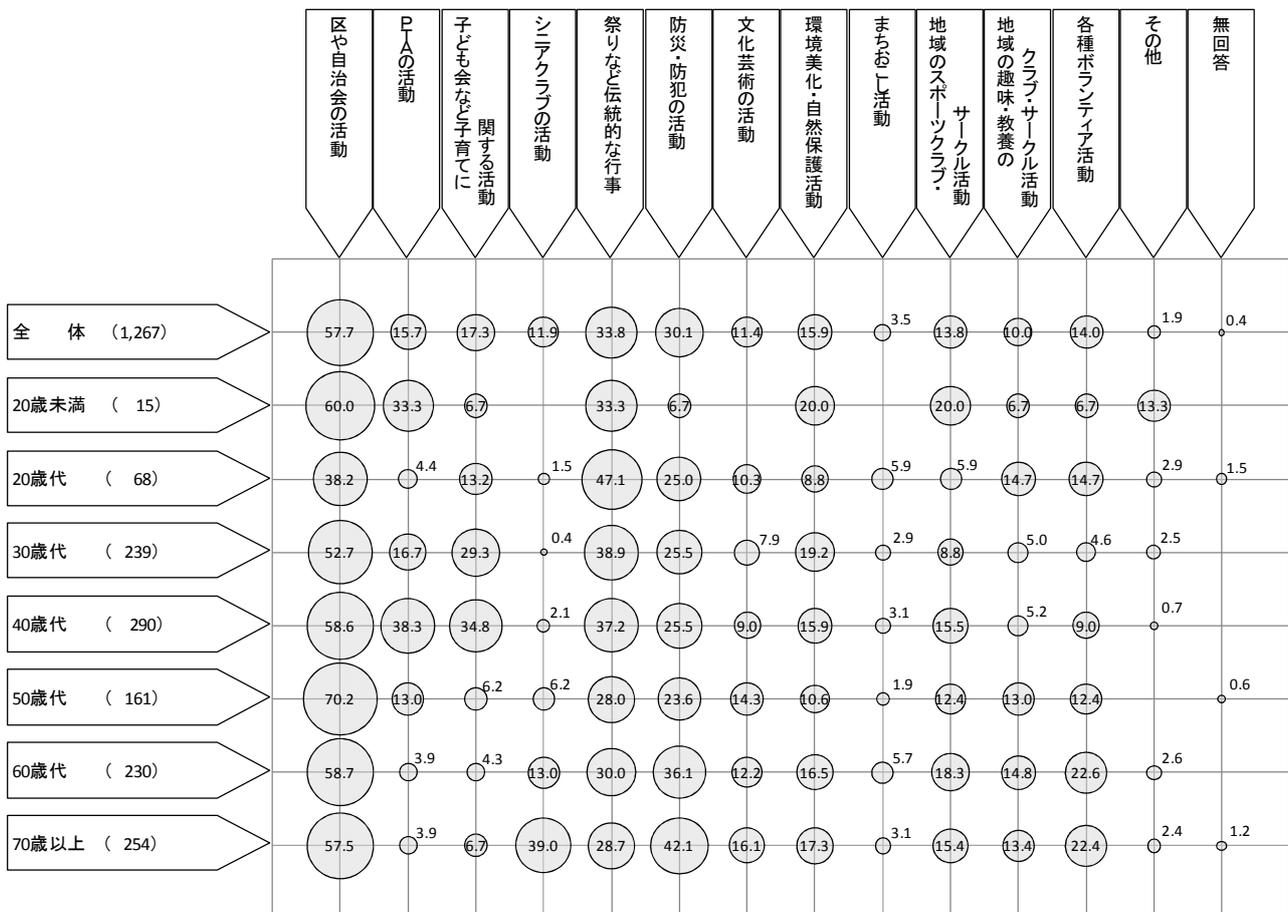
(2) 参加している地域活動の種類

問7 問6で「1 参加した(参加している)」と回答した方にお聞きします。あなたやあなたのご家族は、地域でどのような活動に参加していますか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。【○はあてはまるものすべて】

参加した地域活動の種類としては、「区や自治会の活動」が57.7%と最も多く、次いで「祭りなど伝統的な行事」(33.8%)、「防災・防犯の活動」(30.1%)となっている。

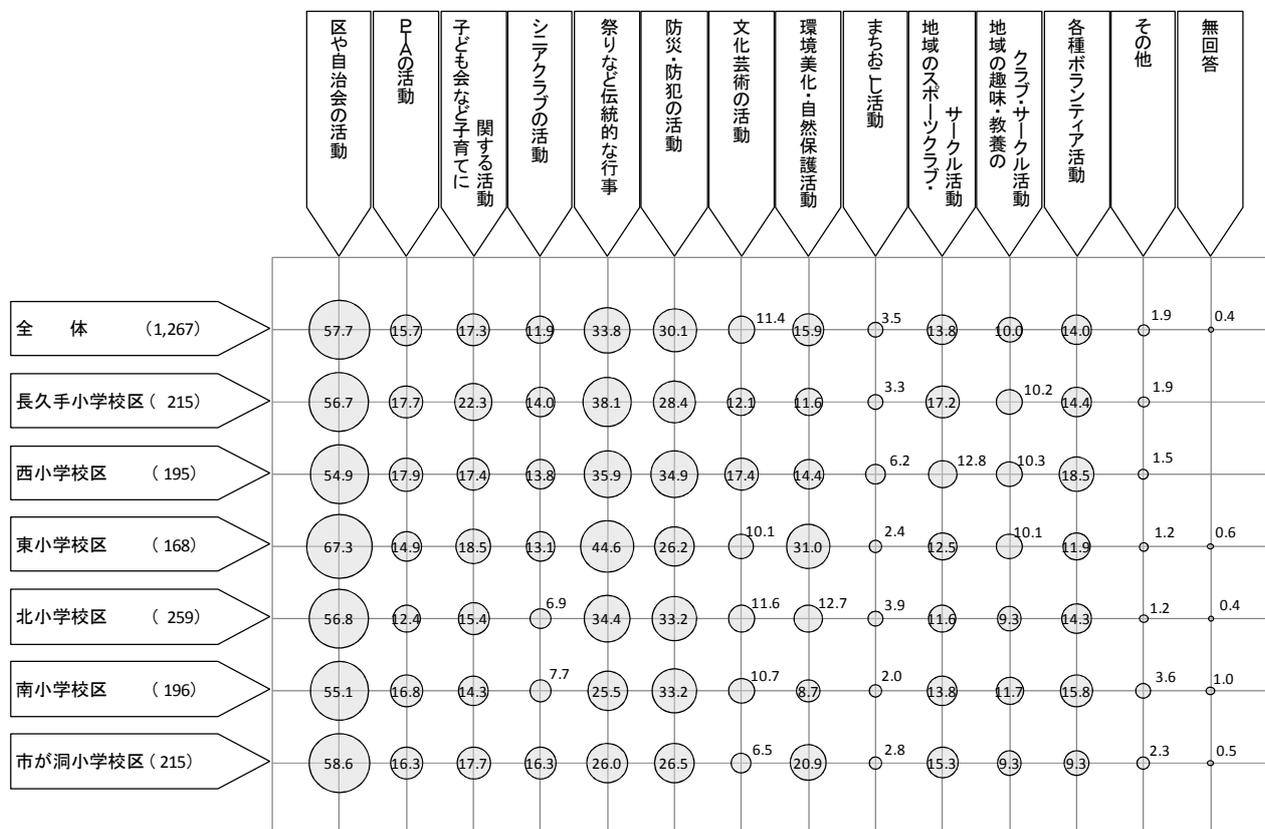
- 年齢別で見ると、20歳代では「祭りなど伝統的な行事」(47.1%)が最も多く、その他の年齢では「区や自治会の活動」が最も多い。
- 20歳未満では、「防災・防犯の活動」(6.7%)が全体より23.4ポイント少ない
- 20歳代では、「区や自治会の活動」(38.2%)が全体より19.5ポイント少ない。
- 30歳代と40歳代では、「PTAの活動」や「子ども会など子育てに関する活動」など子どもに関する活動が全体より多い。
- 50歳以上では、「区や自治会の活動」(70.2%)が全体より12.5ポイント多い。
- 70歳以上では、「シニアクラブの活動」(39.0%)が全体より27.1ポイント多い。

図 4-2-1 参加している地域活動の種類 (年齢別)



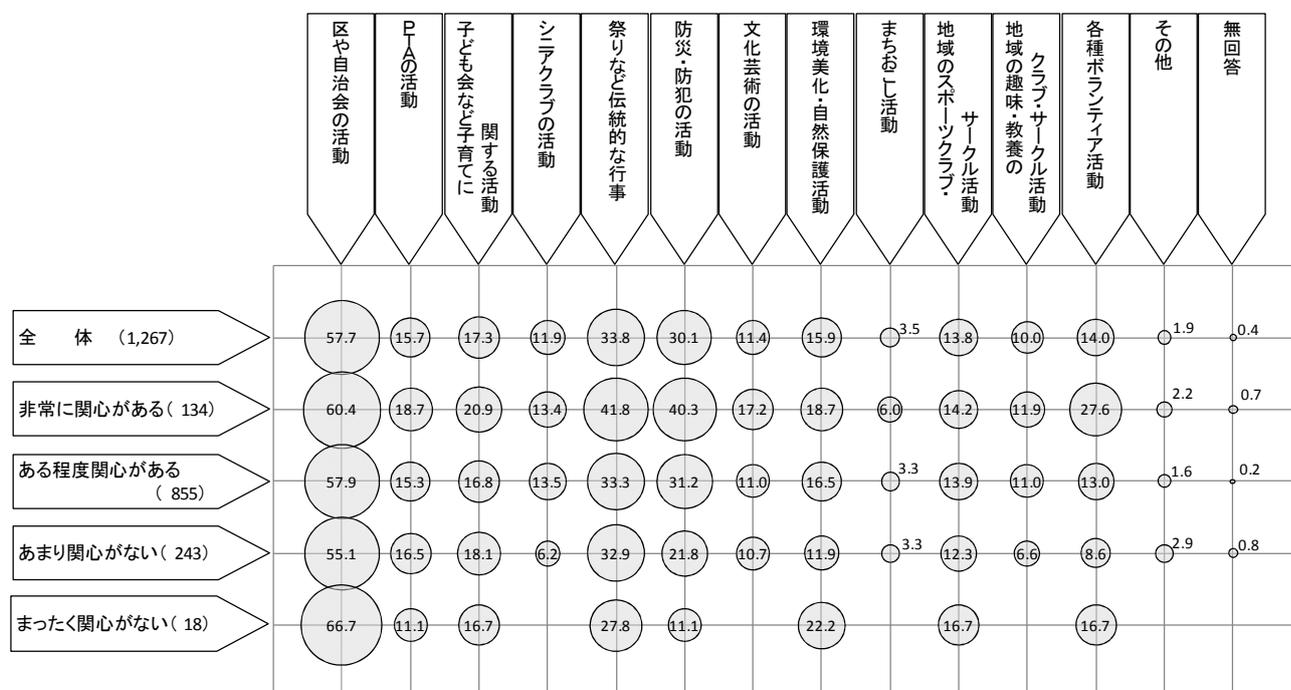
- 小学校区別でみると、東小学校区では「祭りなど伝統的な行事」(44.6%)や「環境美化・自然保護活動」(31.0%)は全体よりそれぞれ10ポイント以上多い。
- 「シニアクラブの活動」は、北小学校区(6.9%)と南小学校区(7.7%)で全体よりそれぞれ4ポイント以上少ない。

図 4-2-2 参加している地域活動の種類(小学校区別)



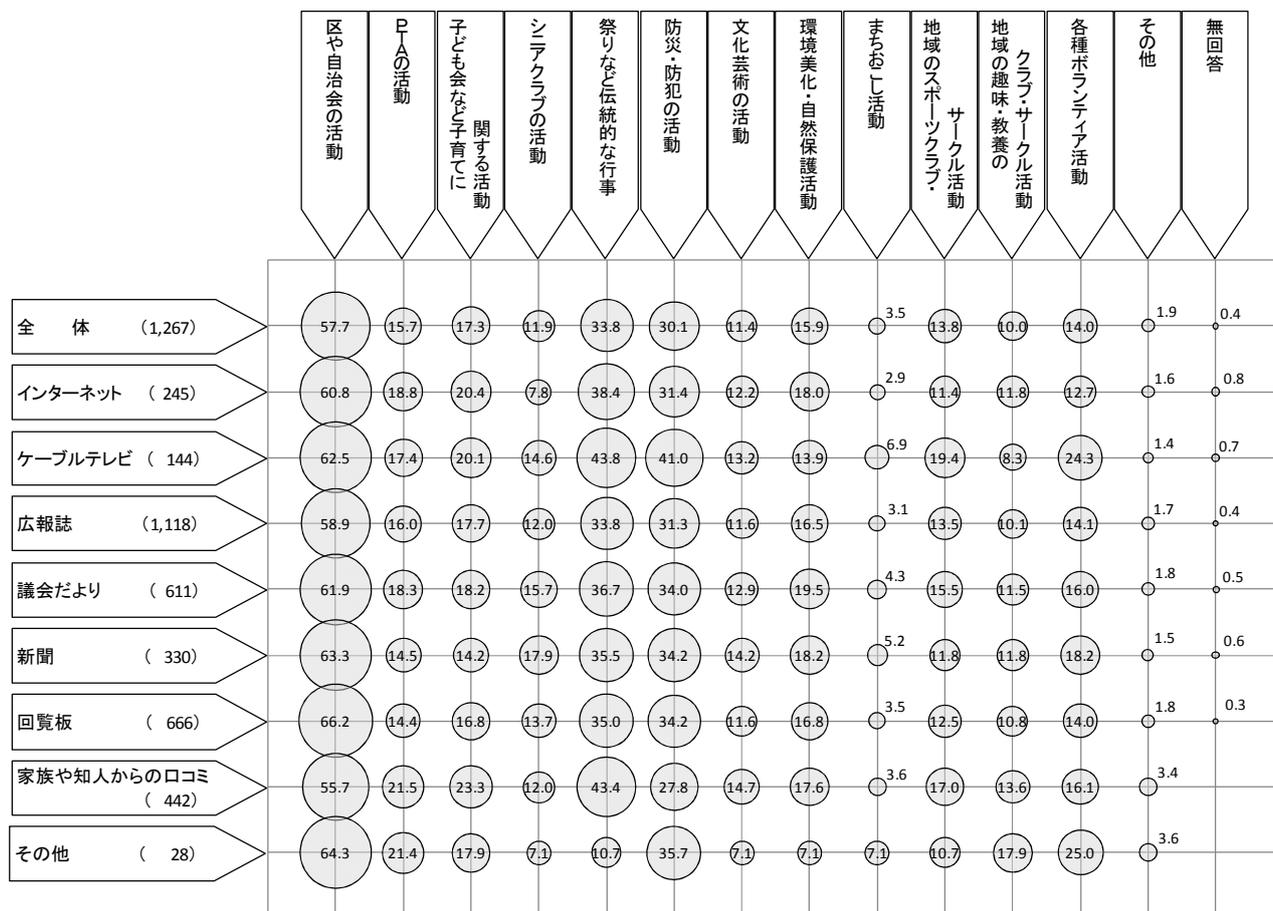
○市政への関心度別でみると、「祭りなど伝統的な行事」と「防災・防犯の活動」は市政への関心が高くなるほど多くなっている。一方、「区や自治会の活動」(66.7%)と「環境美化・自然保護活動」(22.2%)はまったく関心がない人でも、それぞれ6ポイント以上全体より多くなっている。

図 4-2-3 参加している地域活動の種類（市政への関心度別）



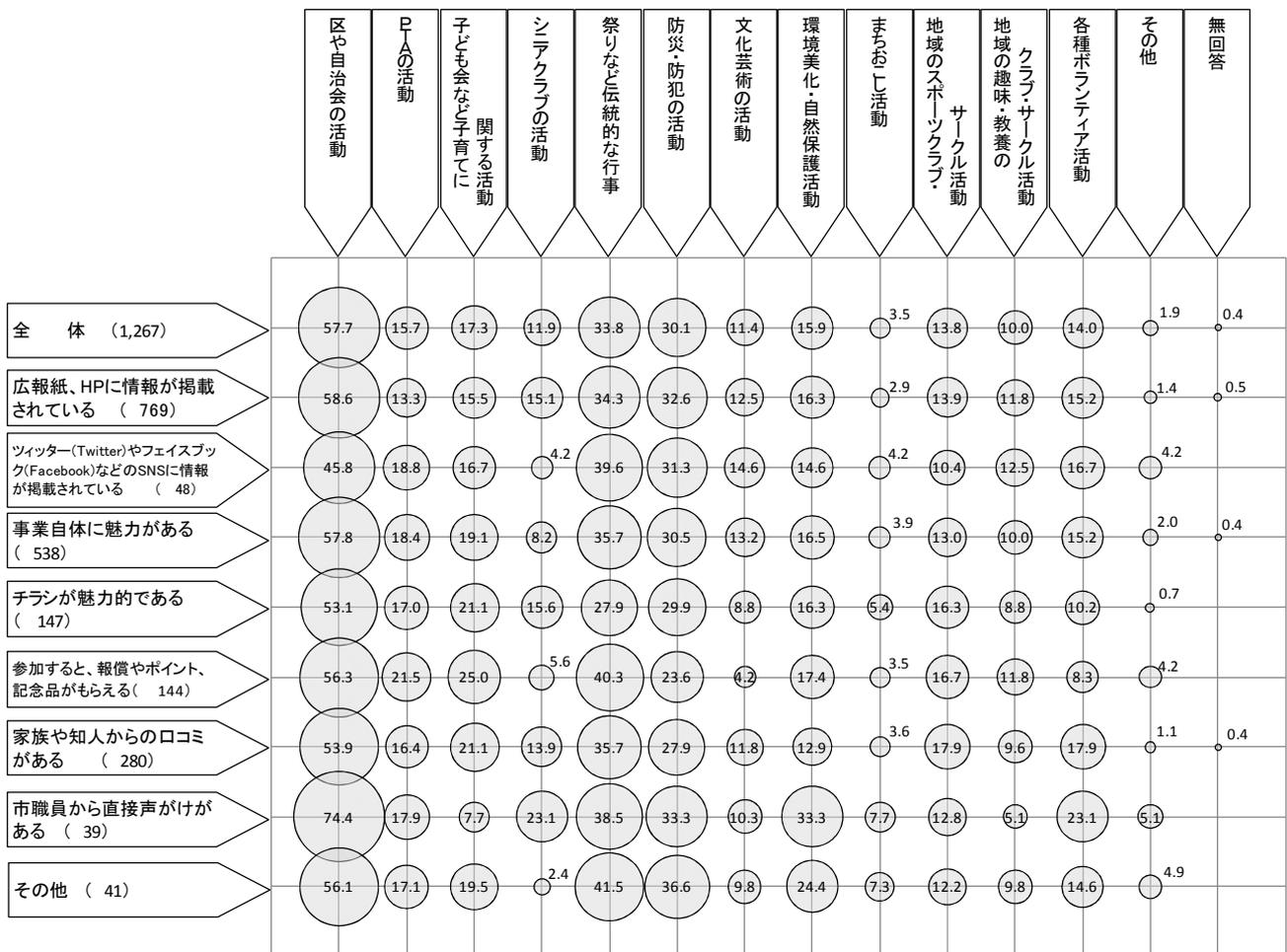
○情報の入手手段別でみると、あまり大きな違いは見られないが、「祭りなど伝統的な行事」では“ケーブルテレビ”（43.8%）と“家族や知人からの口コミ”（43.4%）が全体よりそれぞれ10ポイント以上多く、「防災・防犯の活動」と「各種ボランティア活動」は“ケーブルテレビ”が全体よりそれぞれ10ポイント以上多い。

図 4-2-4 参加している地域活動の種類（情報の入手手段別）



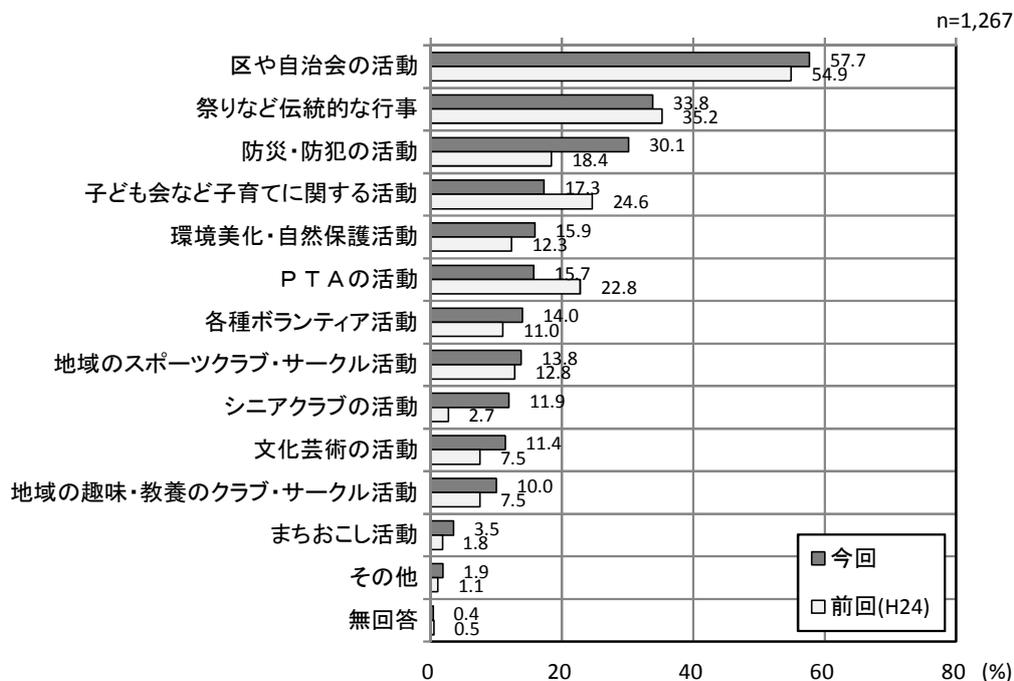
- 事業参加の決め手別でみると、「区や自治会の活動」は“職員から直接声がけがある”（74.4%）が全体より 16.7 ポイント多い。
- 「子ども会など子育てに関する行事」では“参加すると報償やポイント、記念品がもらえる”（25.0%）が全体より 7.7 ポイント多い。
- 「シニアクラブの活動」では“市職員から直接声がけがある”（23.1%）、が全体より 11.2 ポイント多い。

図 4-2-4 参加している地域活動の種類（事業参加の決めで別）



○過去の調査と比較すると、「防災・防犯の活動」(30.1%)が11.7ポイント、「シニアクラブの活動」(11.9%)が9.2ポイント前回調査より多くなっている一方、「子ども会など子育てに関する活動」(17.3%)が7.3ポイント、「PTAの活動」(15.7%)が7.1ポイント少なくなっている。これは、回答者の年齢層が高くなったことによる影響と思われる。

図 4-2-5 参加している地域活動の種類 (経年変化)



(3) 地域活動への参加の頻度

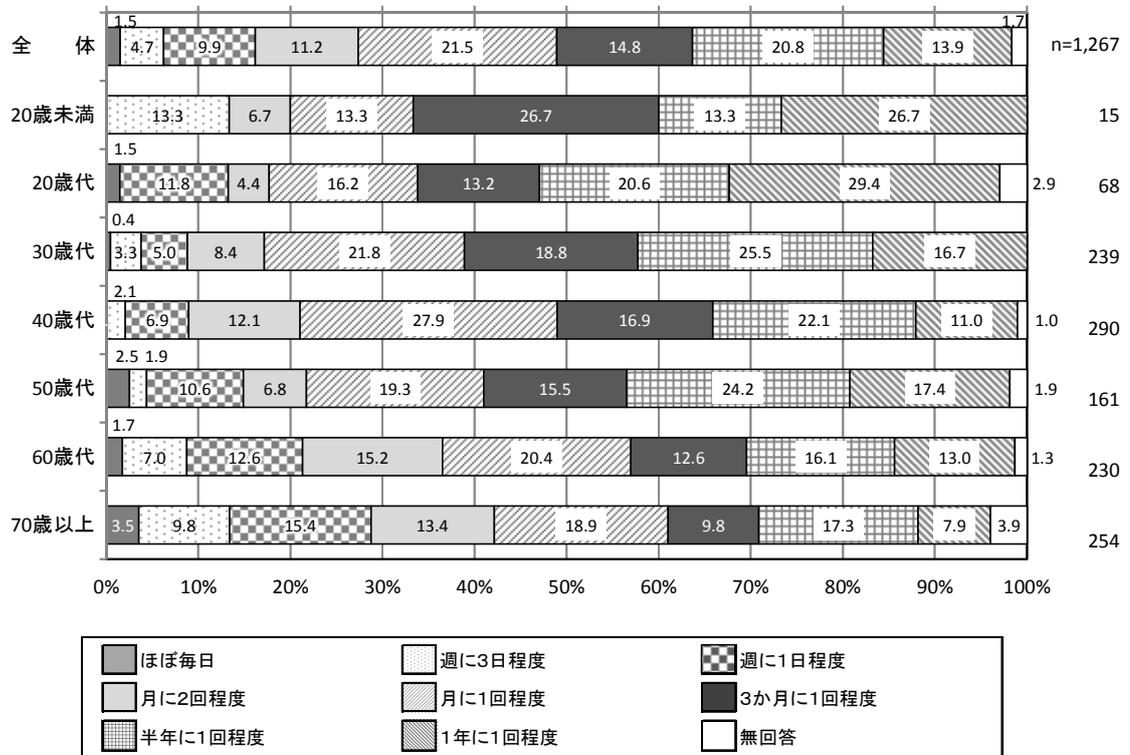
問8 問6で「1参加した(参加している)」と回答した方にお聞きします。あなたやあなたのご家族は、地域の活動にどの程度参加していますか。(ご家族のうち複数の方が地域の活動に参加している場合、最も多く参加している方について回答してください。)【〇は1つ】

参加した方の地域活動への参加頻度としては、「月に1回程度」が21.5%と最も多く、次いで「半年に1回程度」(20.8%)、「3か月に1回程度」(14.8%)となっている。また、「月に1回以上」(「ほぼ毎日」「週に3日程度」「週に1回程度」「月に2回程度」「月に1回程度」の合計)は48.8%と約半数となっている。

○年齢別でみると、「月に2回以上」(「ほぼ毎日」「週に3日程度」「週に1回程度」「月に2回程度」の合計)は30歳代(17.1%)と最も少なく、30歳代を境に年齢が高くなるほど多くなっている。

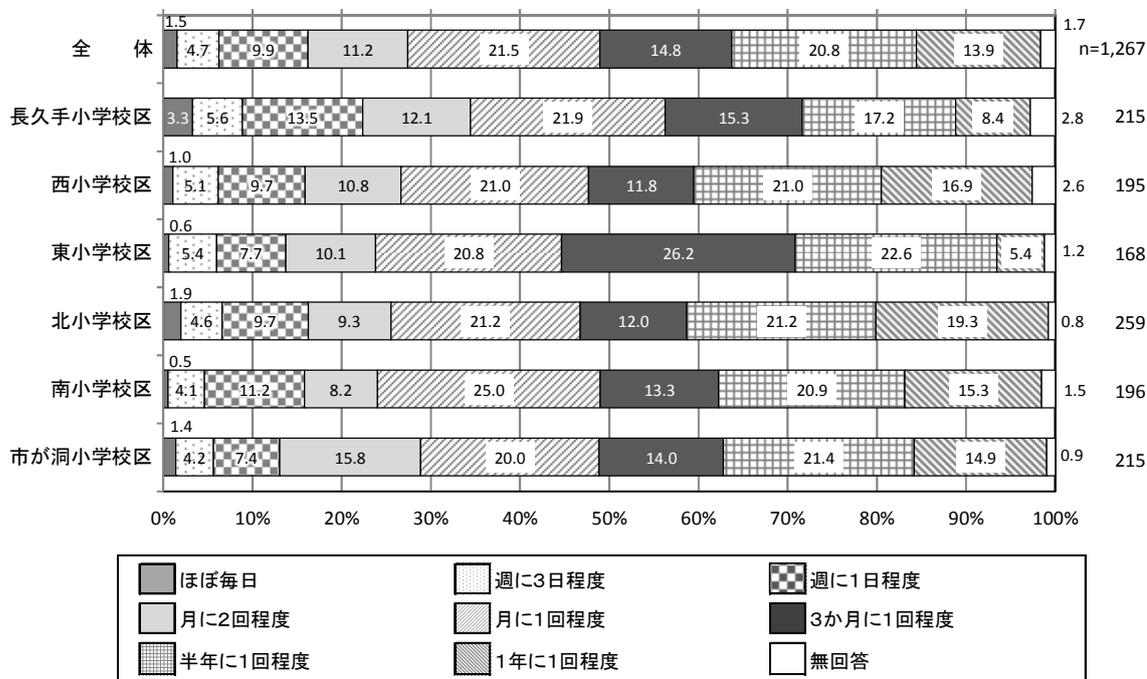
- 20歳未満では「3か月に1回程度」(26.7%)と「1年に1回程度」(26.7%)が多い。
- 20歳代では「1年に1回程度」(29.4%)が最も多く、全体より15.5ポイント多い。
- 30歳代と50歳代では「半年に1回程度」(それぞれ25.5%、24.2%)が最も多い。
- 40歳代では「月に1回程度」(27.9%)が最も多く、全体より6.4ポイント多い。

図 4-3-1 地域活動への参加頻度 (年齢別)



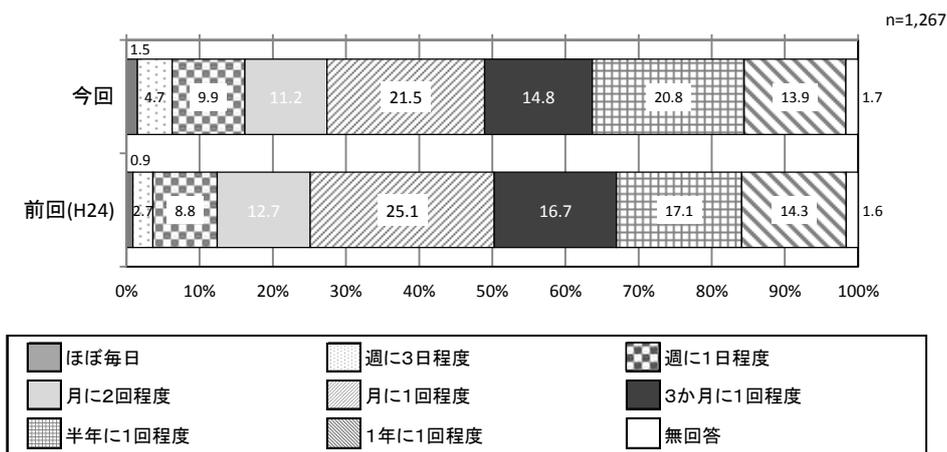
○小学校区別でみると、東小学校区で「3か月に1回程度」(26.2%)、市が洞小学校区で「月に2回程度」(15.8%)が全体より多い。

図 4-3-2 地域活動への参加頻度 (小学校区別)



○過去の調査と比較すると、ほぼ同様の傾向となっている。

図 4-3-3 地域活動への参加頻度 (経年変化)



(4) 市民と行政との協働のあり方

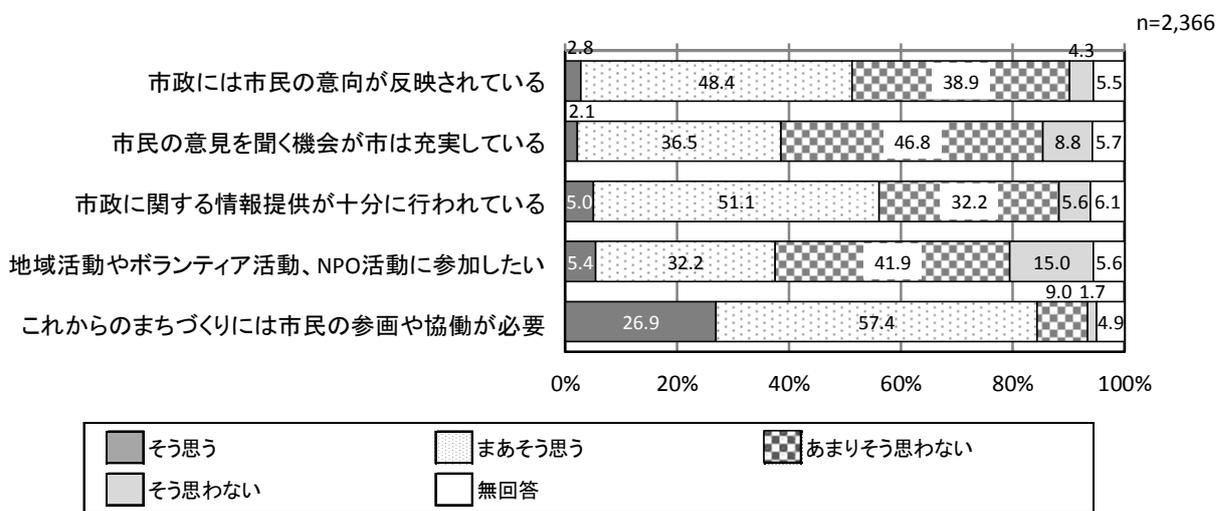
問9 あなたは、市政運営への市民参画や、市民と行政との協働に関してどのように思いますか。

“これからのまちづくりには市民の参画や協働が必要”という考え方について、「そう思う」(26.9%)と「まあそう思う」(57.4%)を合わせると84.3%となっている。

一方、現状に対する評価について「そう思う」及び「まあそう思う」の合計は、“市政には市民の意見が反映されている”(計51.2%)、“市政に関する情報提供が十分に行われている”(計56.1%)が5割を超えており、“市民の意見を聞く機会が市は充実している”は合計38.6%となっている。

また、“地域活動やボランティア活動、NPO活動に参加したい”は「そう思う」(5.4%)と「まあそう思う」(32.2%)は合わせて37.6%となっている。

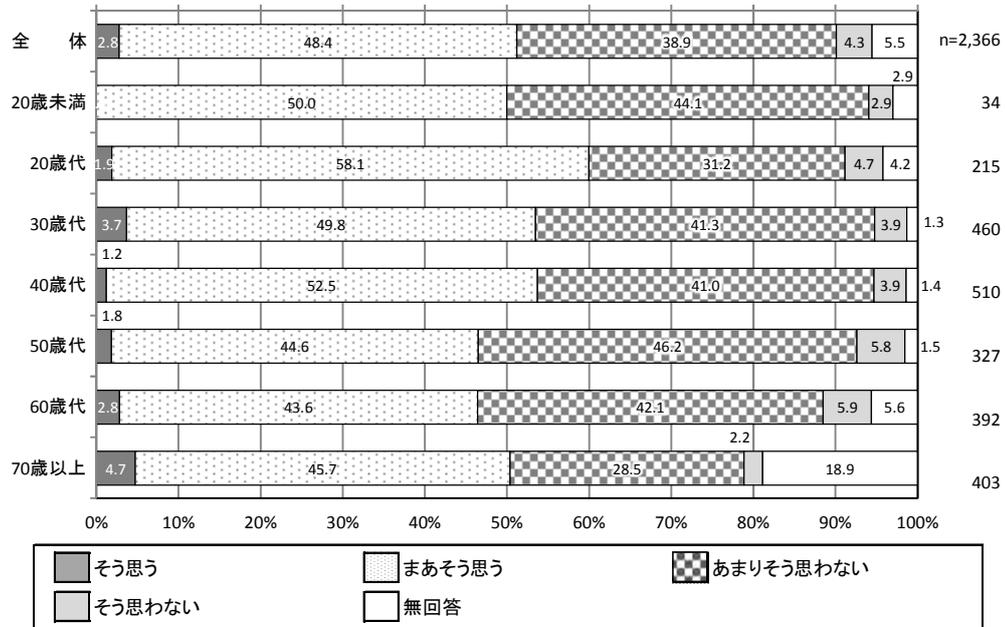
図 4-4-1 市民と行政との協働のあり方



■市政には市民の意向が反映されている

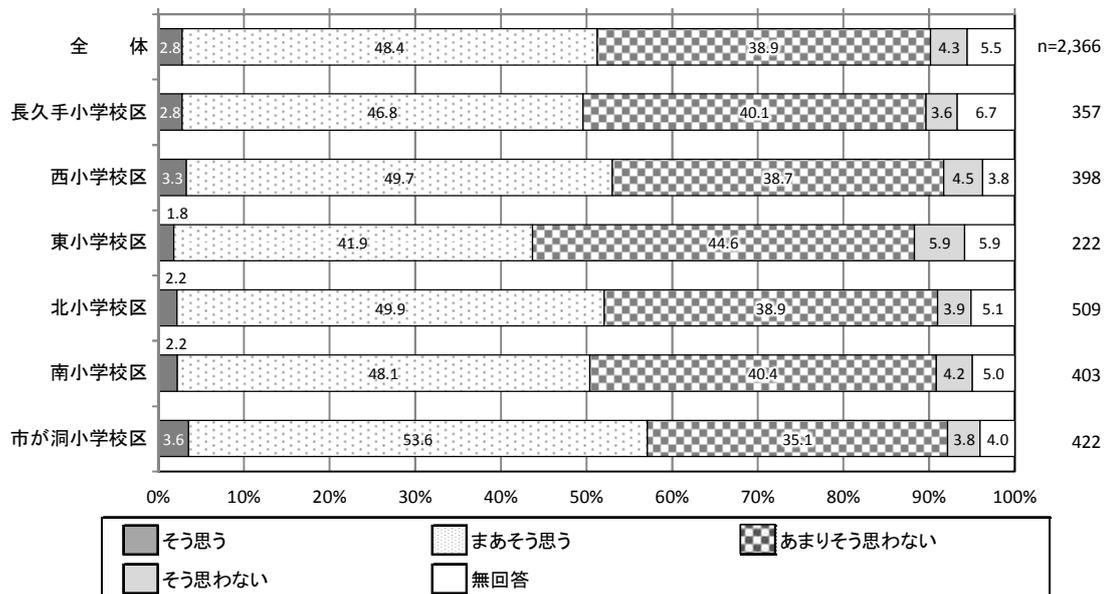
○市政への市民の意向の反映について、年齢別でみると、20歳代で「そう思う」と「まあそう思う」の合計が60.0%と全体より8.8ポイント多く、50歳代と60歳代でそれぞれ46.4%と全体より4.8ポイント少なく半数以下となっている。

図 4-4-2 市政への市民の意向の反映（年齢別）



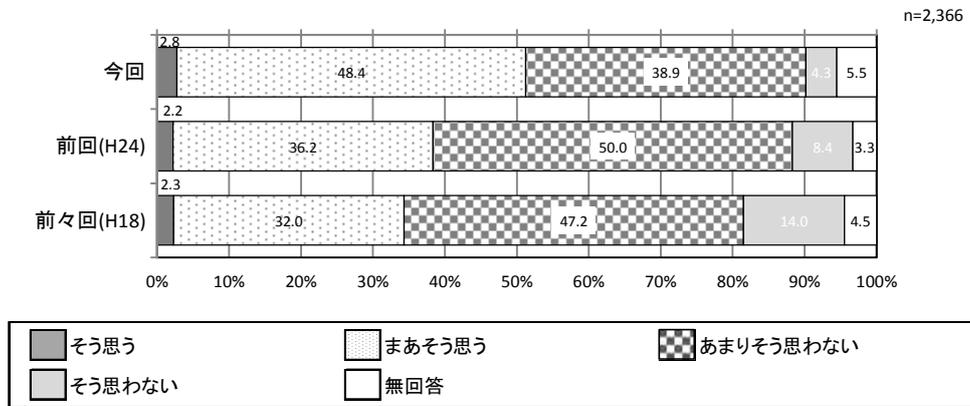
○市政への市民の意向の反映について、小学校区別でみると、市が洞小学校区で「そう思う」と「まあそう思う」の合計が57.2%と全体より6ポイント多く、東小学校区で43.7%と全体より7.5ポイント少ない。

図 4-4-3 市政への市民の意向の反映（小学校区別）



○市政への市民の意向の反映について、過去の調査と比較すると、「そう思う」と「まあそう思う」の合計（51.2%）が前回調査（38.4%）より 12.8 ポイント多くなっている。

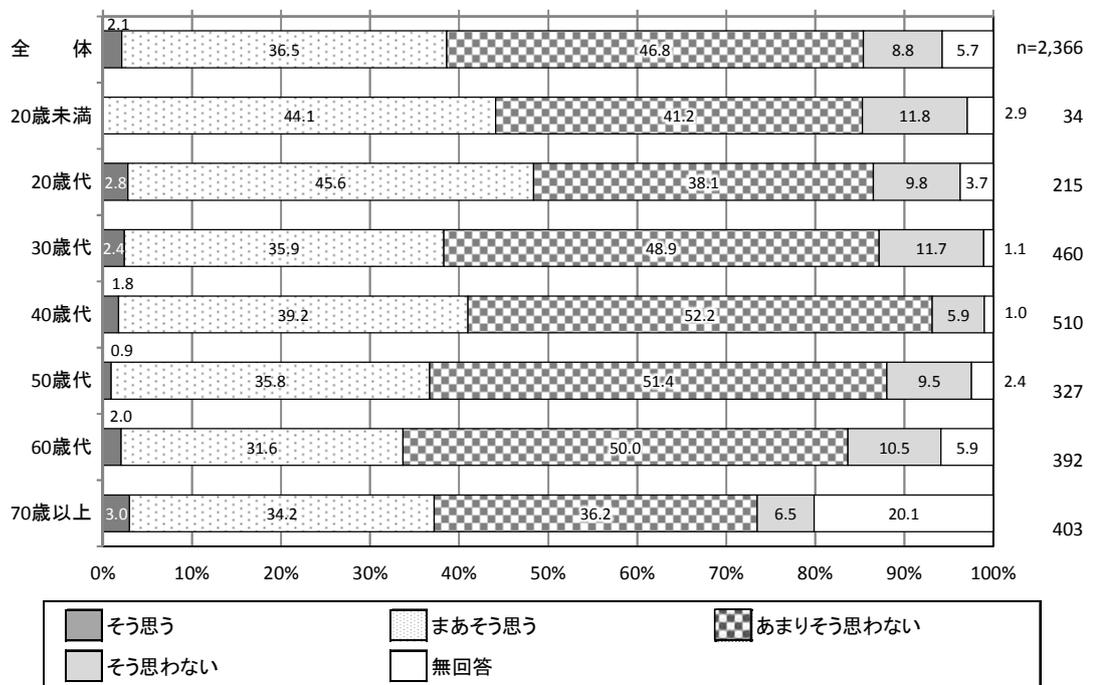
図 4-4-4 市政への市民の意向の反映（経年変化）



■市民の意見を聞く機会が市は充実している

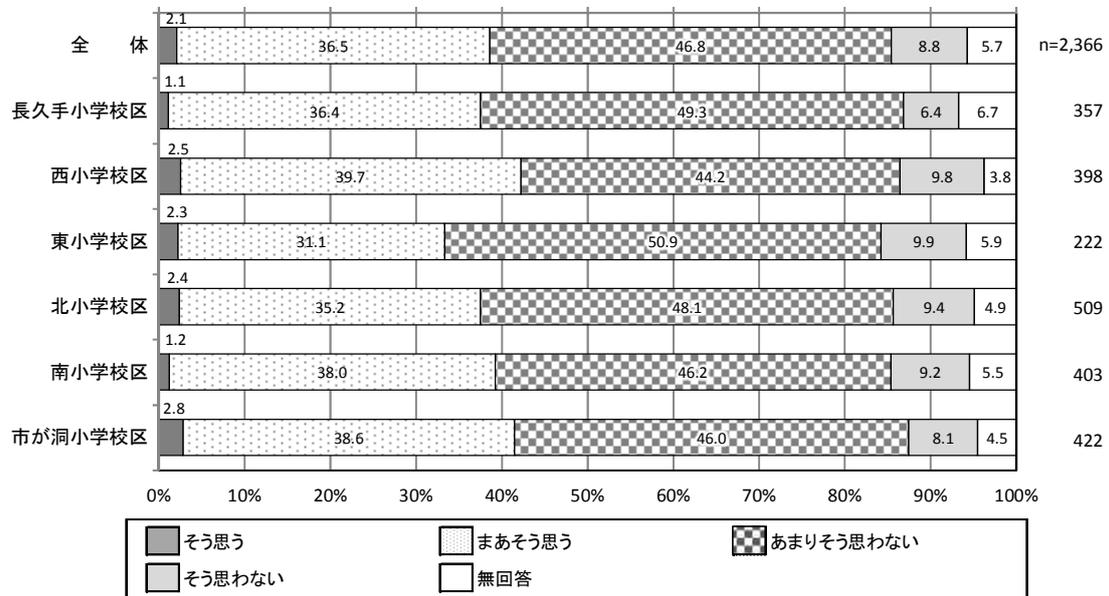
○市民の意見を聞く機会の充実について、年齢別でみると、20歳代で「そう思う」と「まあそう思う」の合計が 48.4%、20歳未満で 44.1%と全体よりそれぞれ 5 ポイント以上多く、60歳代で 33.6%と全体より 5 ポイント少ない。

図 4-4-5 市民の意見を聞く機会の充実（年齢別）



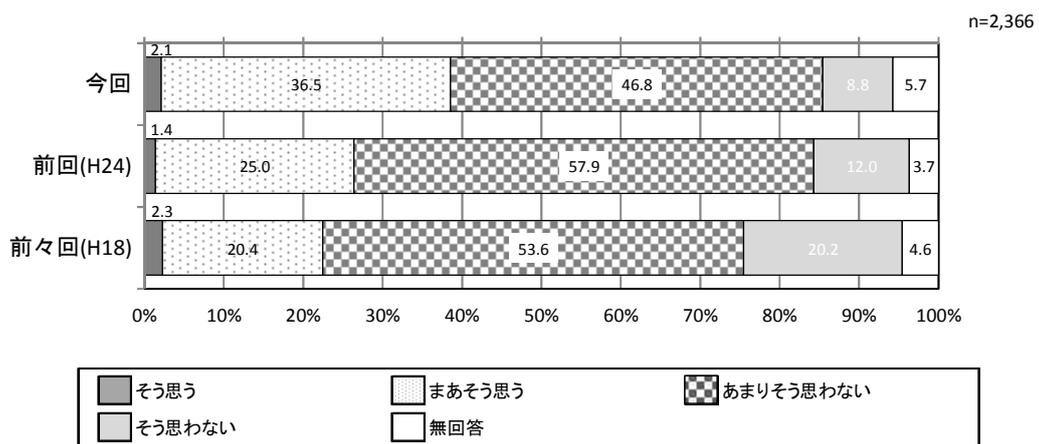
○市民の意見を聞く機会の充実について、小学校区別で見ると、西小学校区と市が洞小学校区で「そう思う」と「まあそう思う」の合計がそれぞれ42.2%、41.4%と全体より3ポイント程度多く、東小学校区で33.4%と全体より5.2ポイント少ない。

図 4-4-6 市民の意見を聞く機会の充実（小学校区別）



○市民の意見を聞く機会の充実について、過去の調査と比較すると、「そう思う」と「まあそう思う」の合計（38.6%）が前回調査（26.4%）より12.2ポイント多くなっている。

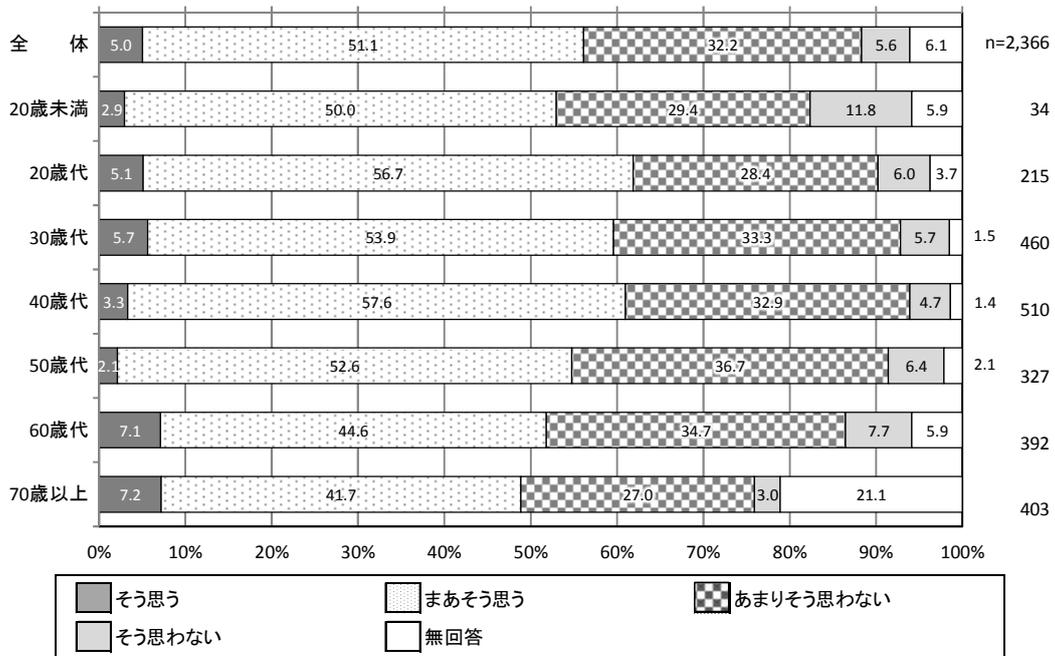
図 4-4-7 市民の意見を聞く機会の充実（経年変化）



■市政に関する情報提供が十分に行われている

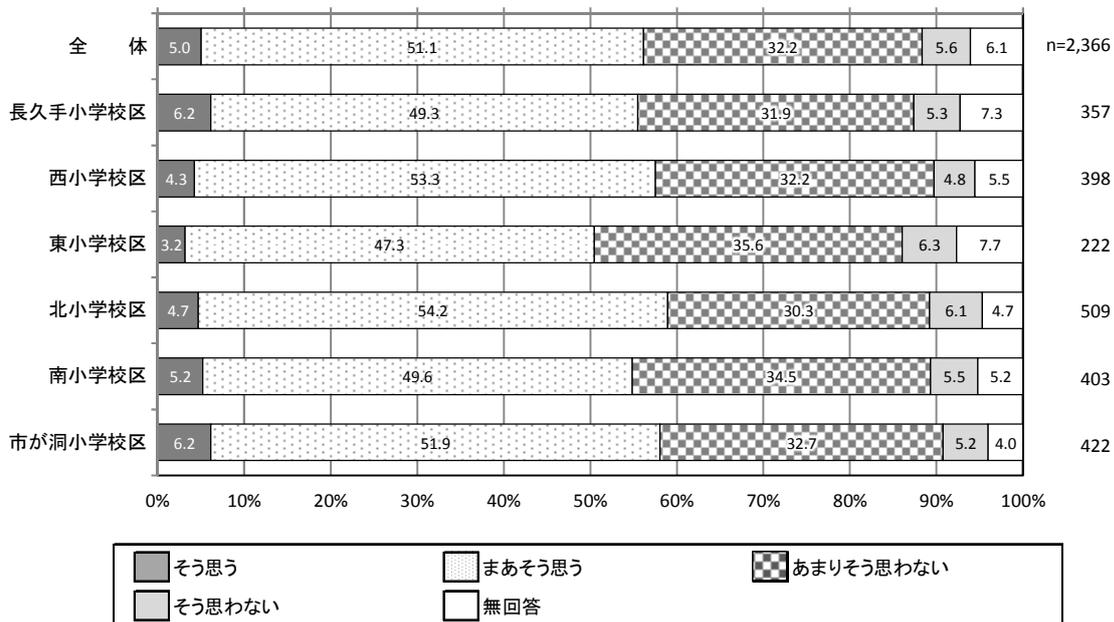
○市政に関する情報提供が十分に行われているかについて、年齢別でみると、20歳代で「そう思う」と「まあそう思う」の合計が61.8%、40歳代で60.9%、30歳代で59.6%と全体より多く、70歳以上で48.9%と全体より7.2ポイント少なく半数以下となっている。

図 4-4-8 市政に関する十分な情報提供（年齢別）



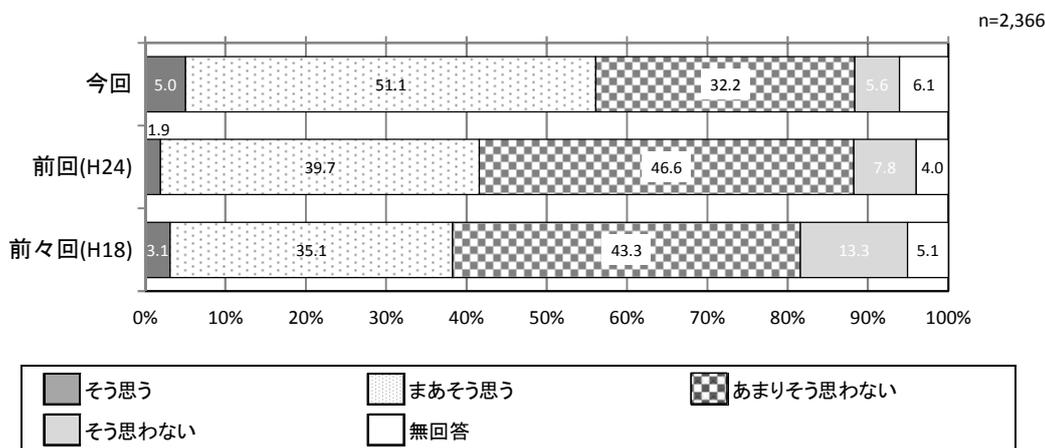
○市政に関する情報提供が十分に行われているかについて、小学校区別でみると、東小学校区で「そう思う」と「まあそう思う」の合計が50.5%と全体より5.6ポイント少ない。

図 4-4-9 市政に関する十分な情報提供（小学校区別）



○市政に関する情報提供が十分行われているかについて、過去の調査と比較すると、「そう思う」と「まあそう思う」の合計（56.1%）が前回調査（41.6%）より14.5ポイント多くなっている。

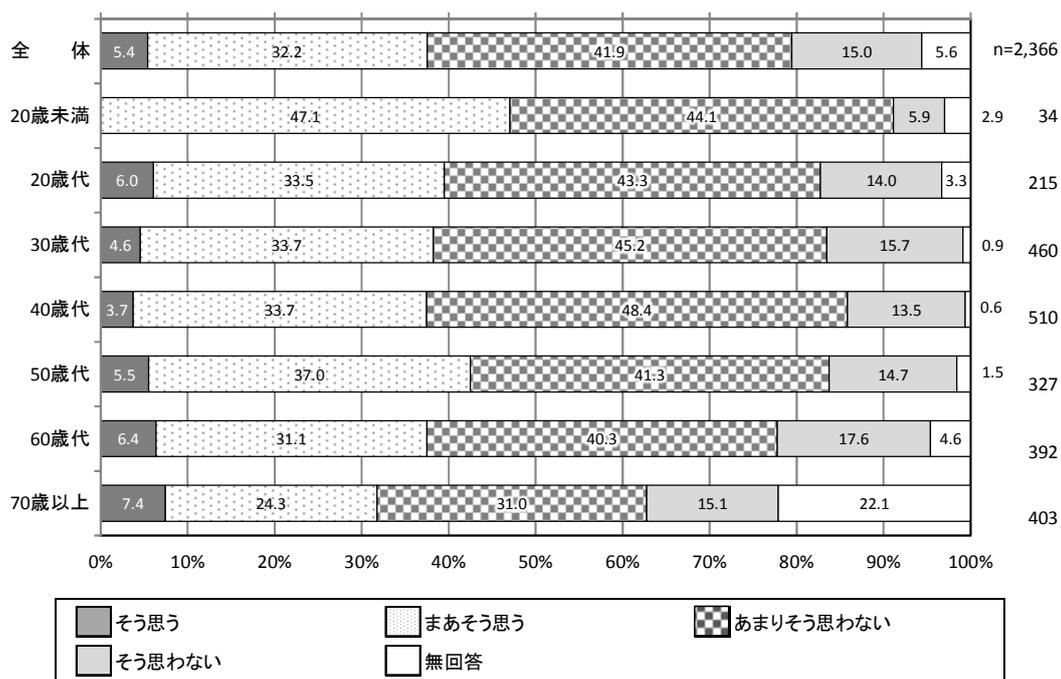
図 4-4-10 市政に関する十分な情報提供（経年変化）



■地域活動やボランティア活動、NPO 活動に参加したい

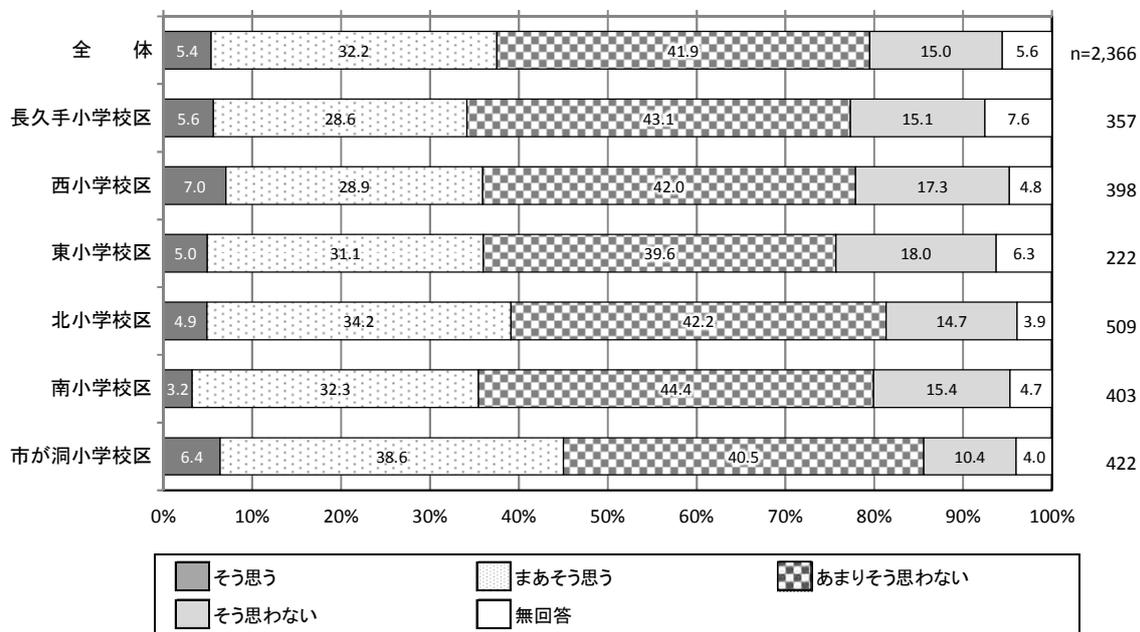
○地域活動やボランティア活動、NPO 活動への参加意向について、年齢別でみると、20歳未満で「そう思う」と「まあそう思う」の合計が47.1%と全体より9.5ポイント多く、70歳以上で31.7%と全体より5.9ポイント少ない。

図 4-4-11 地域活動やボランティア活動、NPO 活動への参加意向（年齢別）



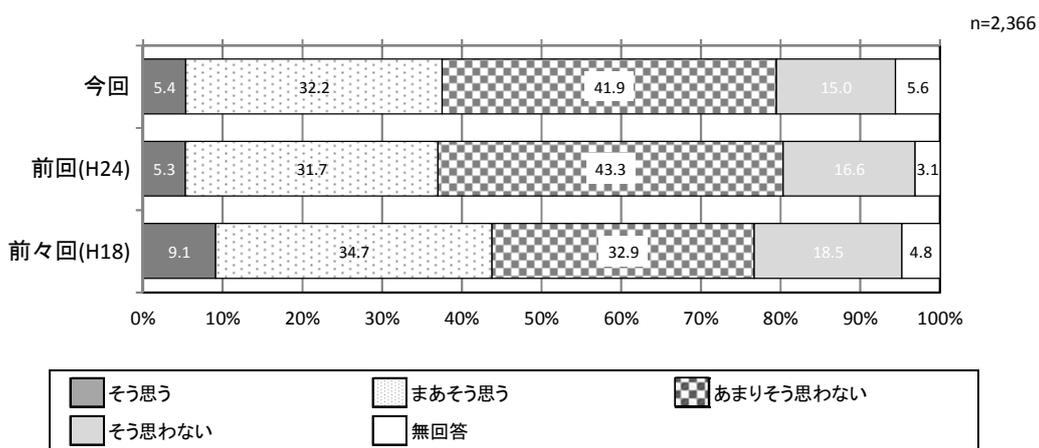
○地域活動やボランティア活動、NPO 活動への参加意向について、小学校区別で見ると、市が洞小学校区で「そう思う」と「まあそう思う」の合計が 45.0%と全体より 7.4 ポイント多い。

図 4-4-12 地域活動やボランティア活動、NPO 活動への参加意向（小学校区別）



○地域活動やボランティア活動、NPO 活動への参加意向について、過去の調査と比較すると、「そう思う」と「まあそう思う」の合計（37.6%）は、前回調査（37.0%）とはほぼ同様の結果となっている。

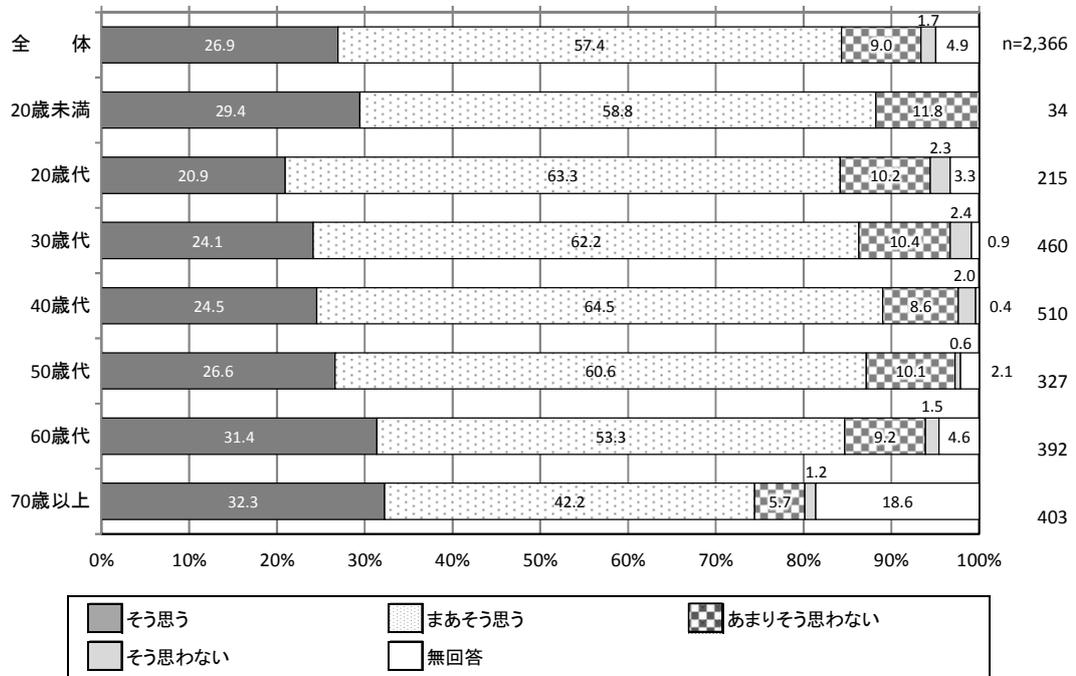
図 4-4-13 地域活動やボランティア活動、NPO 活動への参加意向（経年変化）



■これからのまちづくりには市民の参画や協働が必要

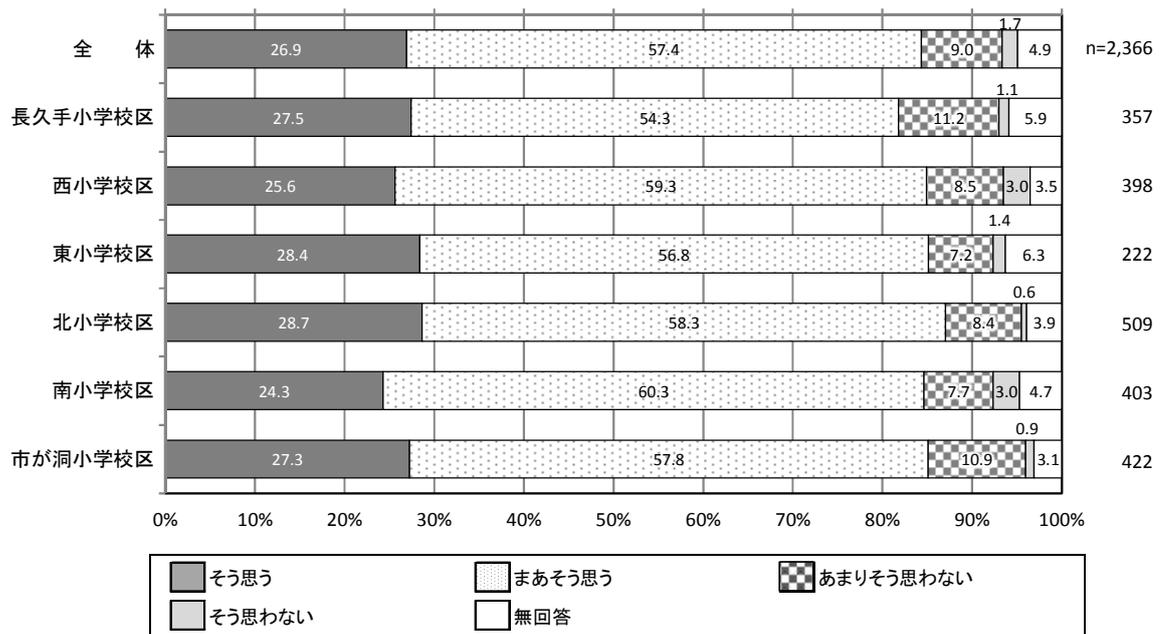
○市民参画や地域協働の必要性について、年齢別でみると、70歳以上以外は「そう思う」と「まあそう思う」の合計が8割を超えている。

図 4-4-14 市民参画や地域協働の必要性（年齢別）



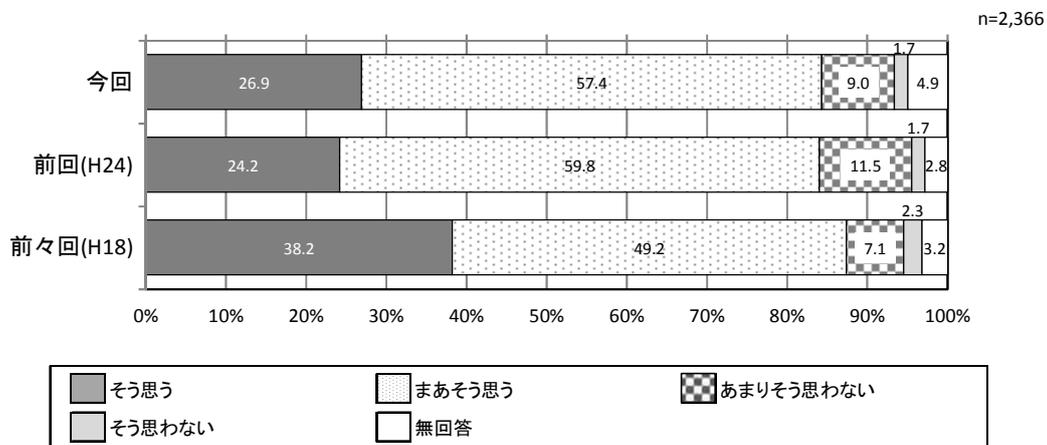
○市民参画や地域協働の必要性について、小学校区別ではあまり大きな違いがみられない。

図 4-4-15 市民参画や地域協働の必要性（小学校区別）



○市民参画や地域協働の必要性について、過去の調査と比較すると、「そう思う」と「まあそう思う」の合計（84.3%）は、前回（84.0%）とはほぼ同様の結果となっている。

図 4-4-16 市民参画や地域協働の必要性（経年変化）



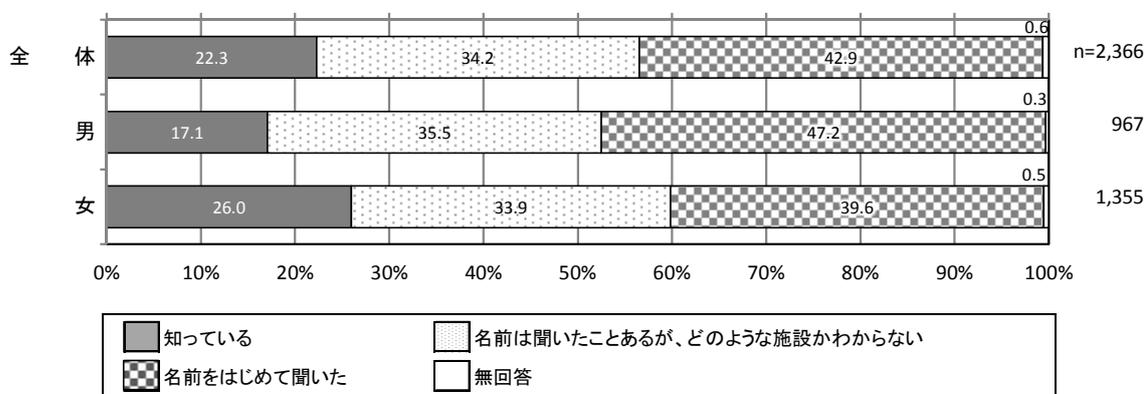
(5) 地域共生ステーションの認知度

問10(1) 長久手市では、市民、市民団体、事業者、行政などが、それぞれの地域で気軽に集い、語り、地域の様々な課題に対する取組みを行うための拠点として、小学校区ごとに「地域共生ステーション」の整備を進めています。あなたは、「地域共生ステーション」について知っていますか。
【〇は1つ】

地域共生ステーションについて、「知っている」は22.3%、「名前は聞いたことがあるが、どのような施設かわからない」は34.2%、「名前をはじめて聞いた」は42.9%となっている。

○性別でみると、「知っている」は男性で17.1%、女性で26.0%と、女性の方が8.9ポイント多い。

図 4-5-1 地域共生ステーションの認知度（性別）

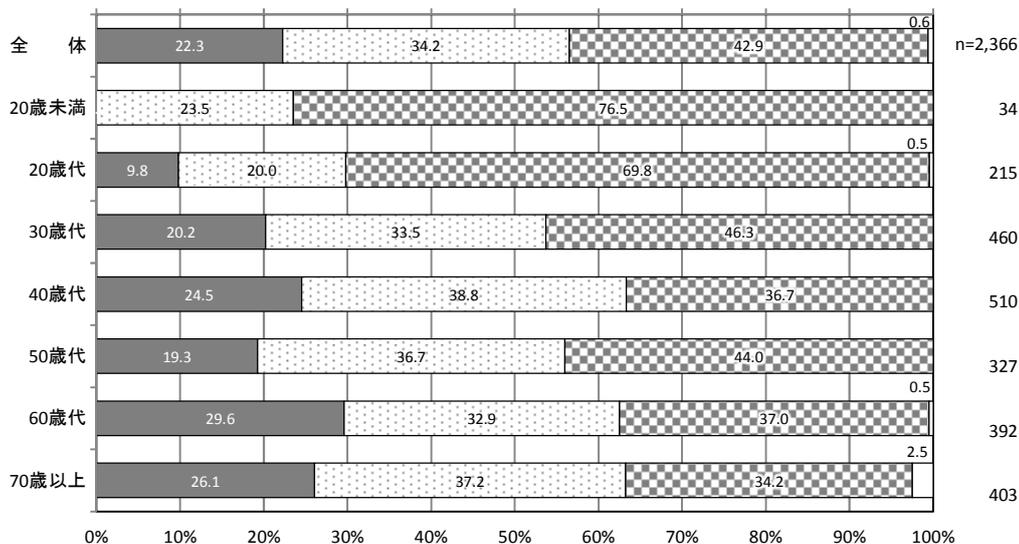


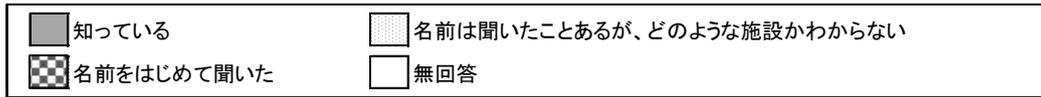
○年齢別でみると、60歳代で「知っている」が29.6%と最も多い。

○20歳未満では「知っている」人はおらず、「名前をはじめて聞いた」が76.5%と多い。

○20歳代では、「知っている」は9.8%と1割に満たず、「名前をはじめて聞いた」が69.8%と多い。

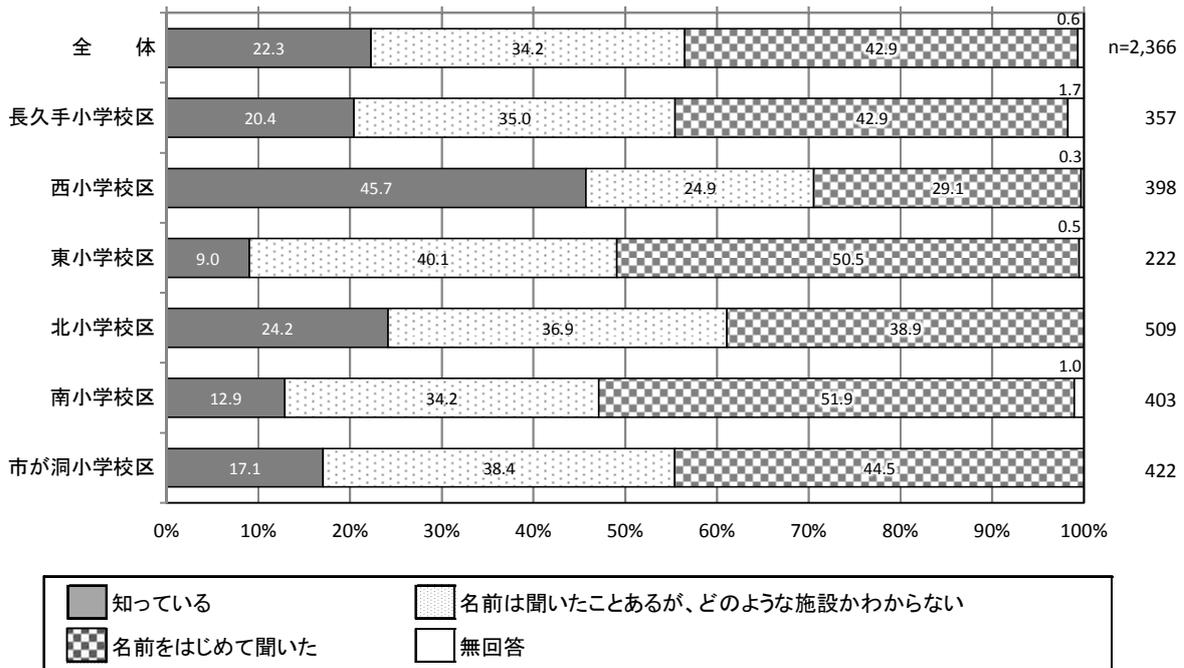
図 4-5-2 地域共生ステーションの認知度（年齢別）





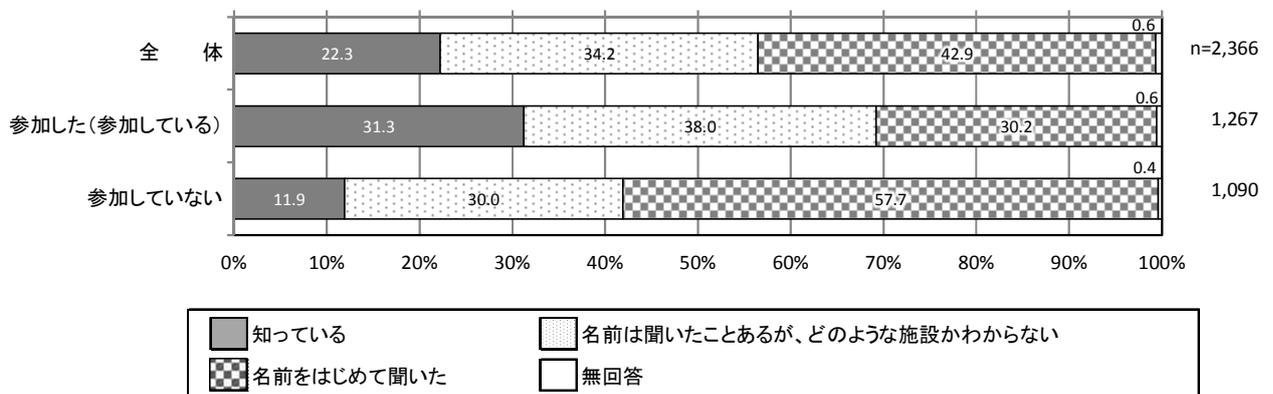
○小学校区別でみると、西小学校区で「知っている」が45.7%と全体より23.4ポイント多い。
 ○東小学校区と南小学校区では「知っている」はそれぞれ9.0%、12.9%と1割程度であり、「名前をはじめて聞いた」はそれぞれ50.5%、51.9%と5割強となっている。

図 4-5-3 地域共生ステーションの認知度（小学校区別）



○地域活動への参加状況別でみると、参加した人では「知っている」が31.3%と、参加していない人(11.9%)と比べて多い。一方で、参加していない人では「名前をはじめて聞いた」が57.7%と半数を超え、参加した人(30.2%)より多く、地域活動に参加した人の方が認知度が高くなっている。

図 4-5-4 地域共生ステーションの認知度（地域活動への参加状況別）

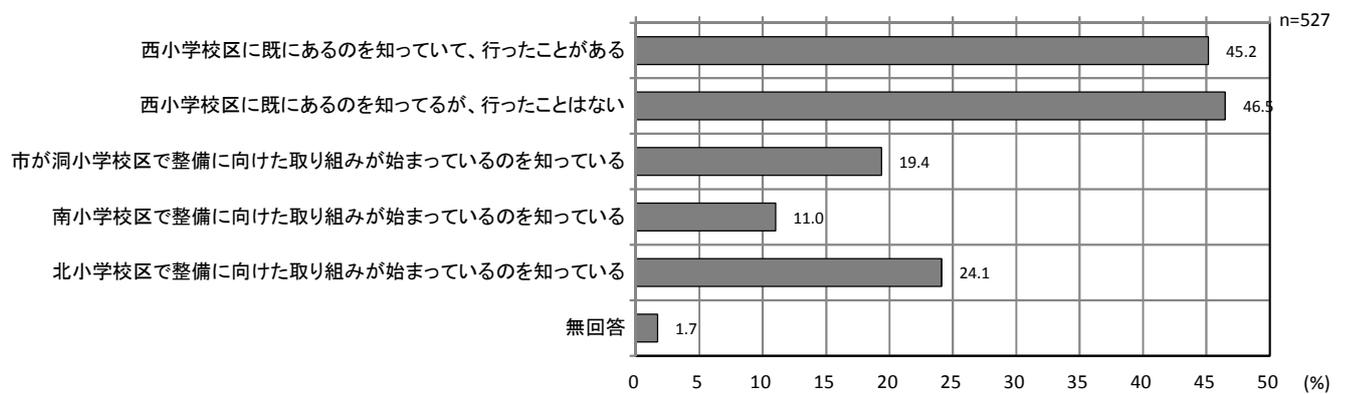


問10(2) 問10(1)で「1 知っている」と回答した方にお聞きします。あなたは、「地域共生ステーション」についてどの程度知っていますか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。【〇はあてはまるものすべて】

地域共生ステーションについて「知っている」と答えた人の中で、「西小学校区に既にあるのを知っていて、行ったことがある」は45.2%、「西小学校区に既にあるのを知っているが、行ったことはない」は46.5%となっている。

また、整備に向けた取り組みの認知度については、「市が洞小学校区」は19.4%、「南小学校区」は11.0%、「北小学校区」は24.1%となっている。

図 4-5-5 地域共生ステーションの認知状況



(6) まちづくり協議会の認知度

問11 長久手市では、小学校区単位で地域の課題を解決するため、自治会のほか、地域に根ざした子ども会やシニアクラブ、企業、NPO、各種活動団体などをネットワーク化した組織「まちづくり協議会」設立のため、準備を進めています。

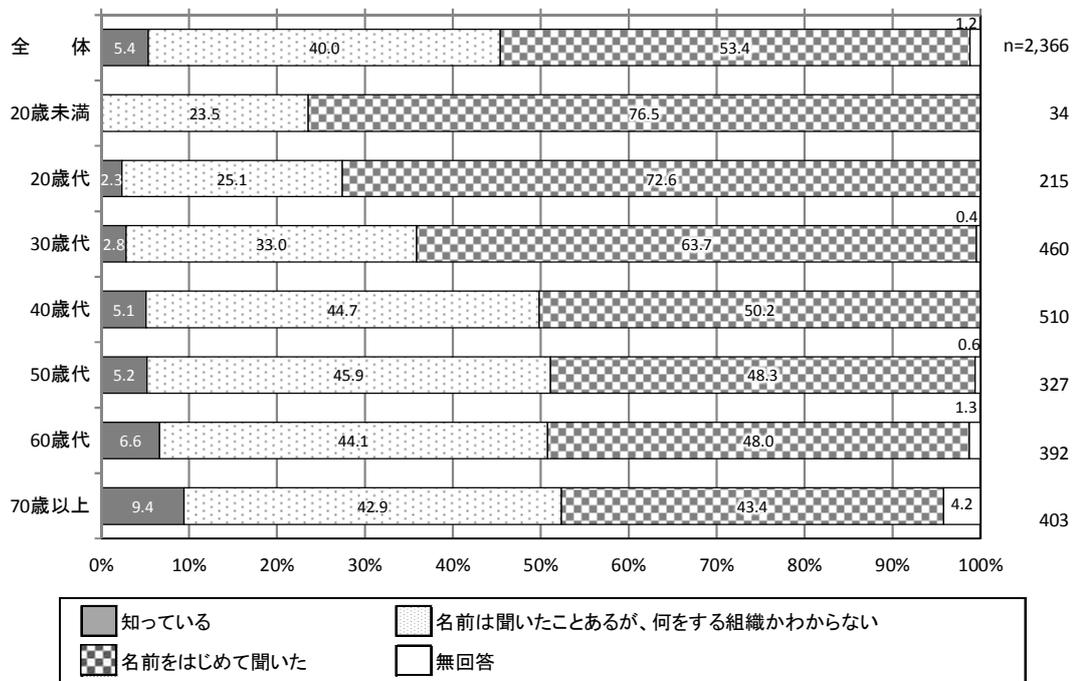
(1) あなたは、「まちづくり協議会」について知っていますか。【〇は1つ】

まちづくり協議会について、「知っている」は5.4%、「名前は聞いたことがあるが、何をする組織かわからない」は40.0%であり、「名前をはじめて聞いた」は53.4%と半数を超えている。

○年齢別で見ると、おおよそ年齢が高くなるほど「知っている」と「名前は聞いたことがあるが、何をする組織かわからない」の合計が多くなっている。

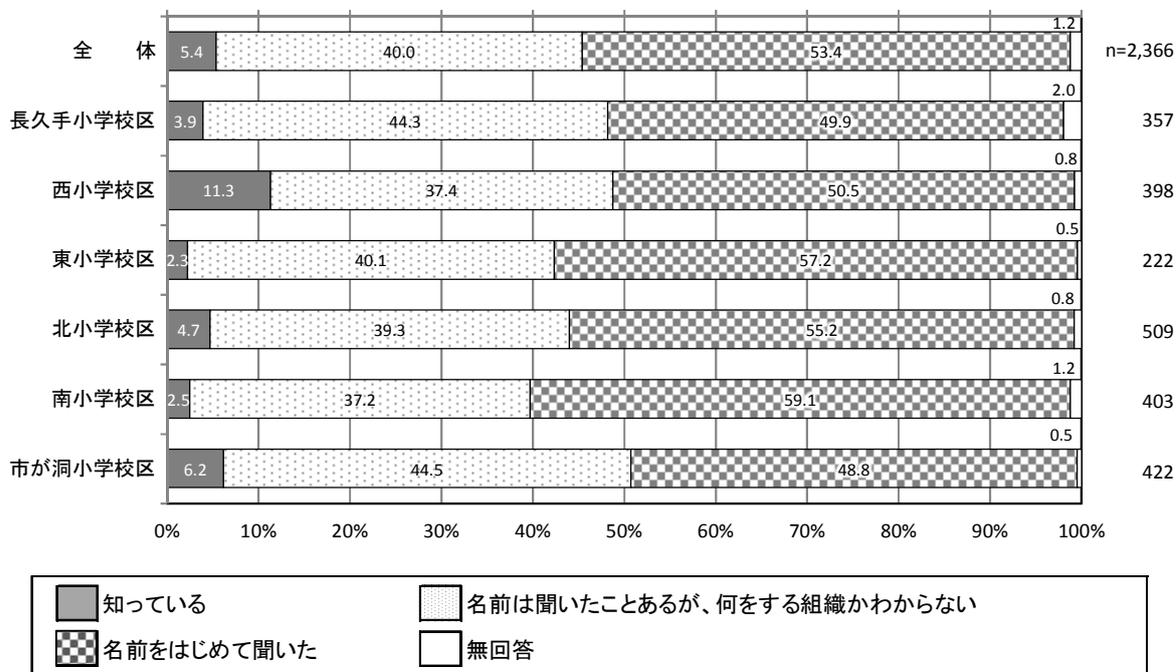
○20歳未満と20歳代では「名前をはじめて聞いた」がそれぞれ7割を超えている。

図4-6-1 まちづくり協議会の認知度（年齢別）



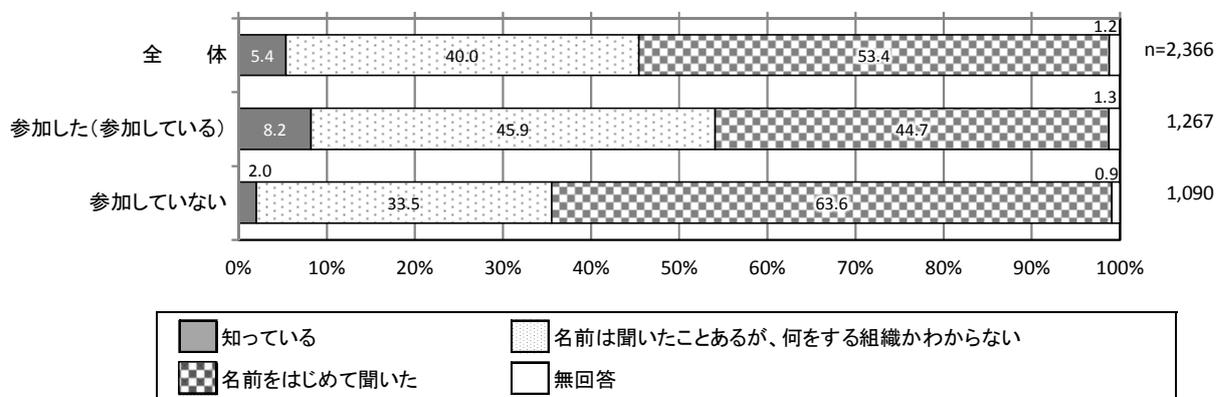
- 小学校区別でみると、西小学校区で「知っている」が11.3%と全体より5.9ポイント多い。
- 東小学校区と南小学校区では「知っている」はそれぞれ2.3%、2.5%と全体より3ポイント程度少ない。

図 4-6-2 まちづくり協議会の認知度（小学校区別）



- 地域活動への参加状況別でみると、参加した人では「知っている」が8.2%と、参加していない人(2.0%)と比べて多い。一方で、参加していない人では「名前をはじめて聞いた」が63.6%と半数を超え、参加した人(44.7%)より多く、地域活動に参加した人の方が認知度が高くなっている。

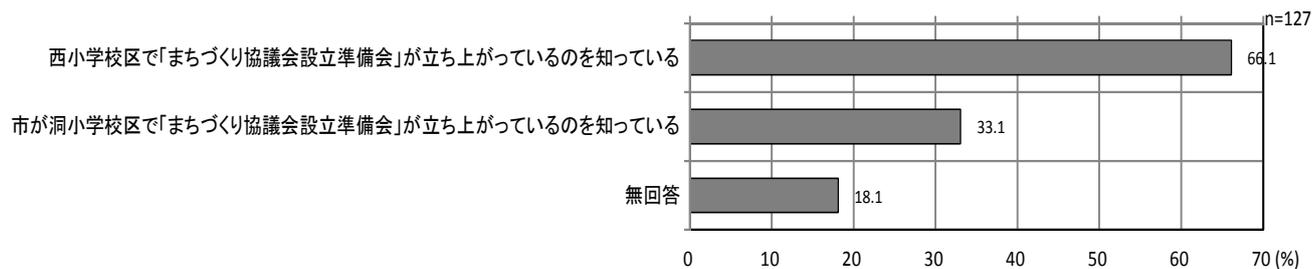
図 4-6-3 まちづくり協議会の認知度（経年変化）



問11(2) 問11(1)で「1 知っている」と回答した方にお聞きします。あなたは、「まちづくり協議会」についてどの程度知っていますか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。
【〇はあてはまるものすべて】

まちづくり協議会について「知っている」と答えた人の中で、「西小学校区でまちづくり協議会設立準備会が立ち上がっているのを知っている」は66.1%、「市が洞小学校区でまちづくり協議会設立準備会が立ち上がっているのを知っている」は33.1%となっている。

図 4-6-4 まちづくり協議会の認知状況



5. 第5次総合計画について

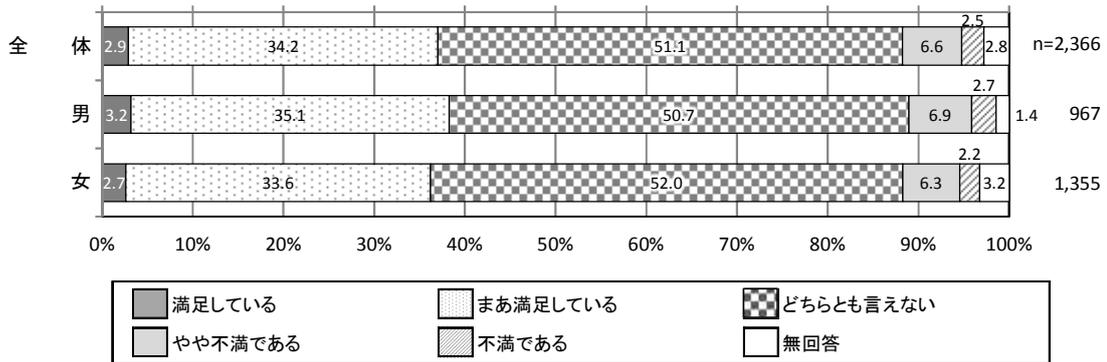
(1) 市政全般の満足度

問12 あなたは、市政全般についてどの程度満足していますか。【○は1つ】

市政全般の満足度については、「どちらとも言えない」が51.1%と最も多い。「満足している」(2.9%)と「まあ満足している」(34.2%)を合わせて37.1%となっている。

○性別でみると、大きな違いはみられない。

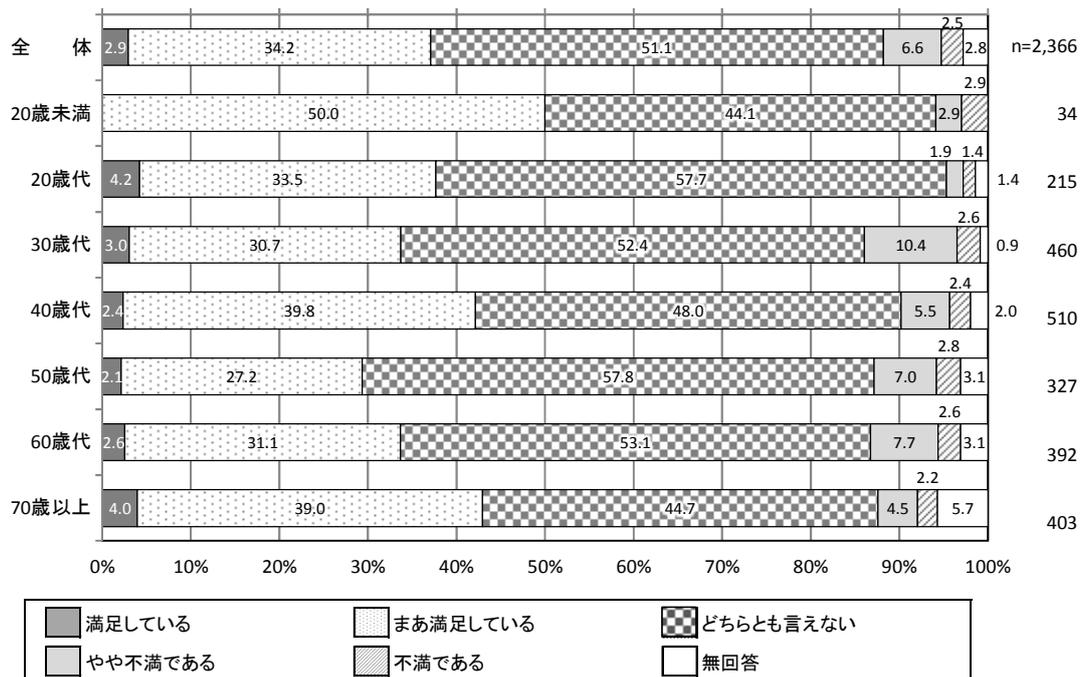
図 5-1-1 市政全般の満足度



○年齢別でみると、「満足している」と「まあ満足している」の合計では、20歳未満で50.0%、70歳以上で43.0%、40歳代で42.2%と全体より多い一方、50歳代で29.3%と全体より少なくなっている。

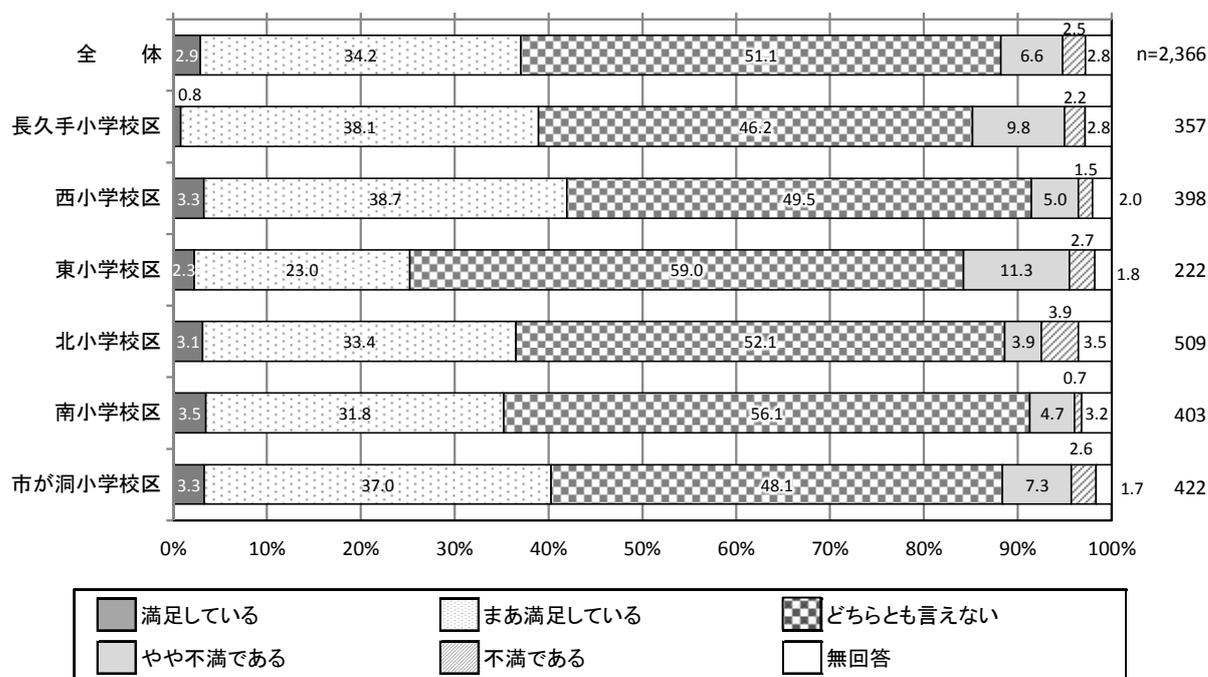
○30歳代では「やや不満である」が10.4%と全体より3.8ポイント多い。

図 5-1-2 市政全般の満足度 (年齢別)



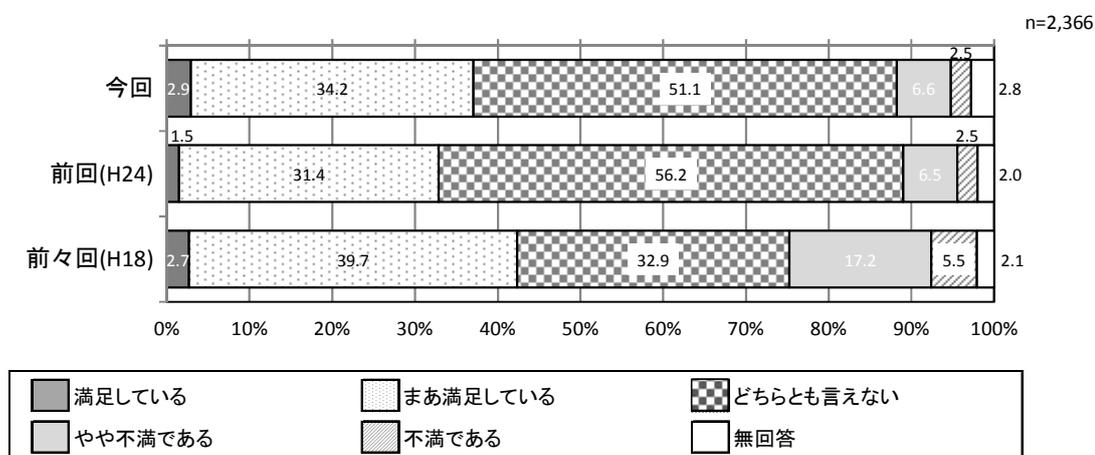
○小学校区別でみると、東小学校区では「満足している」と「まあ満足している」の合計が 25.3% と他の小学校区と全体より 11.8 ポイント少なく、「やや不満である」が 11.3%と全体より 4.7 ポイント多い。

図 5-1-3 市政全般の満足度（小学校区別）



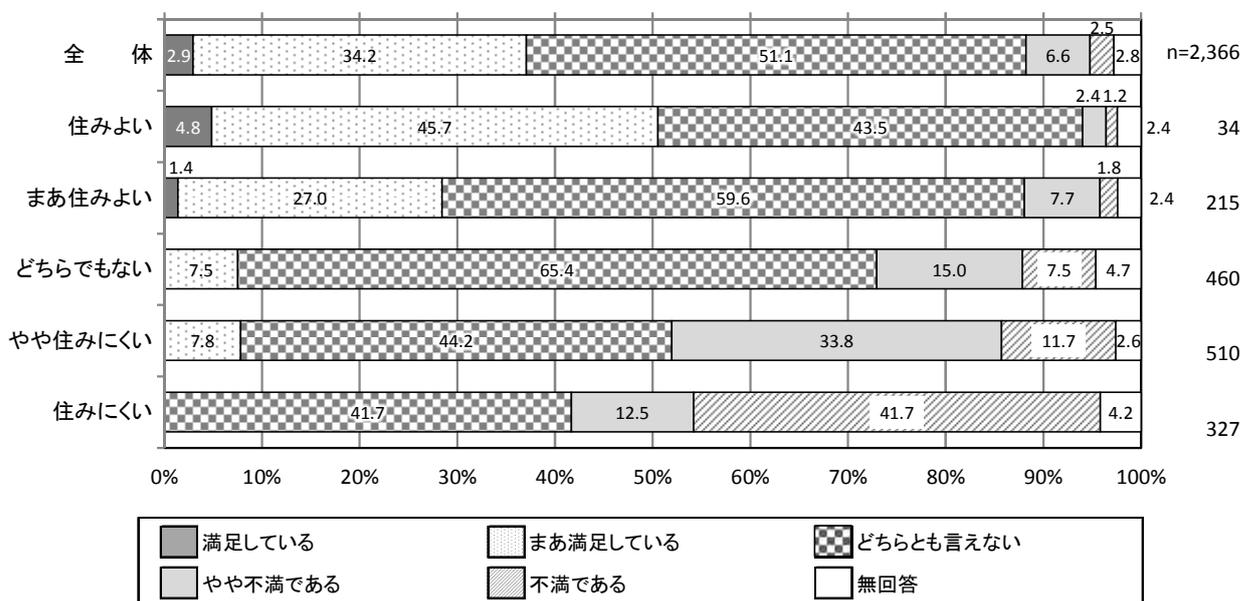
○過去の調査と比較すると、「満足している」と「まあ満足している」の合計（37.1%）は、前回（32.9%）より 4.2 ポイント多くなっている。

図 5-1-4 市政全般の満足度（経年変化）



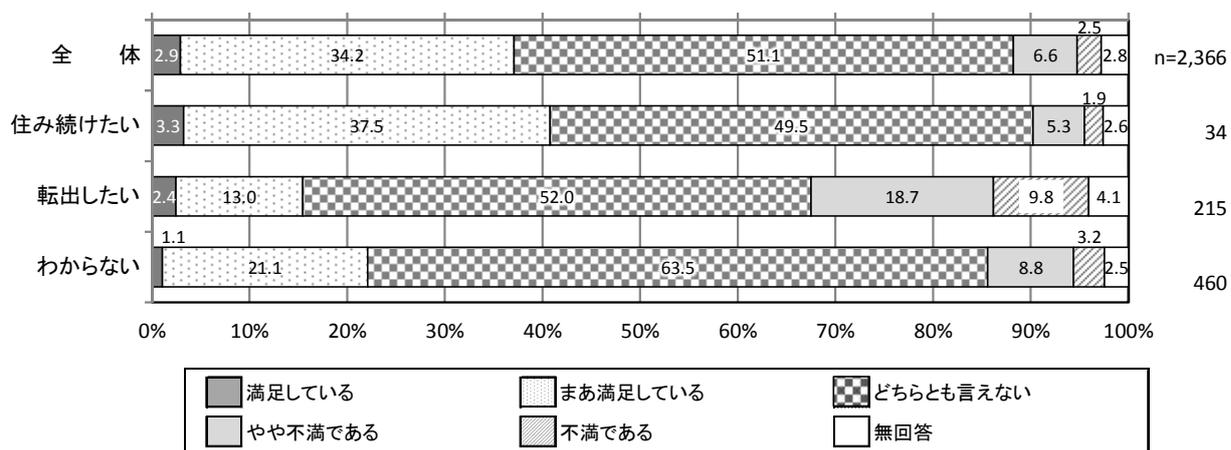
○住み心地別でみると、住み心地がよいと感じているほど、市政への満足度が高い傾向にある。

図 5-1-5 市政全般の満足度（住み心地別）



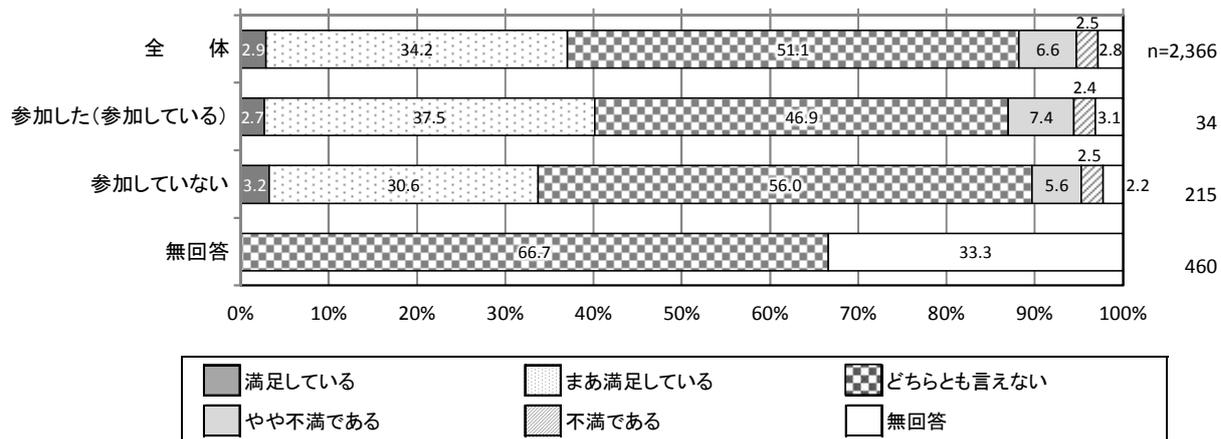
○定住意向別【問2】でみると、“住み続けたい”と思う人では「満足している」と「まあ満足している」の合計が40.8%で、“転出したい”と思う人（15.4%）より満足度が高い。

図 5-1-6 市政全般の満足度（定住意向別）



○地域活動への参加有無別でみると、“参加した”とした回答者では「満足している」と「まあ満足している」の合計が40.6%で、“参加していない”とした回答者（33.8%）より満足度が高い。

図 5-1-7 市政全般の満足度（地域活動への参加有無別）

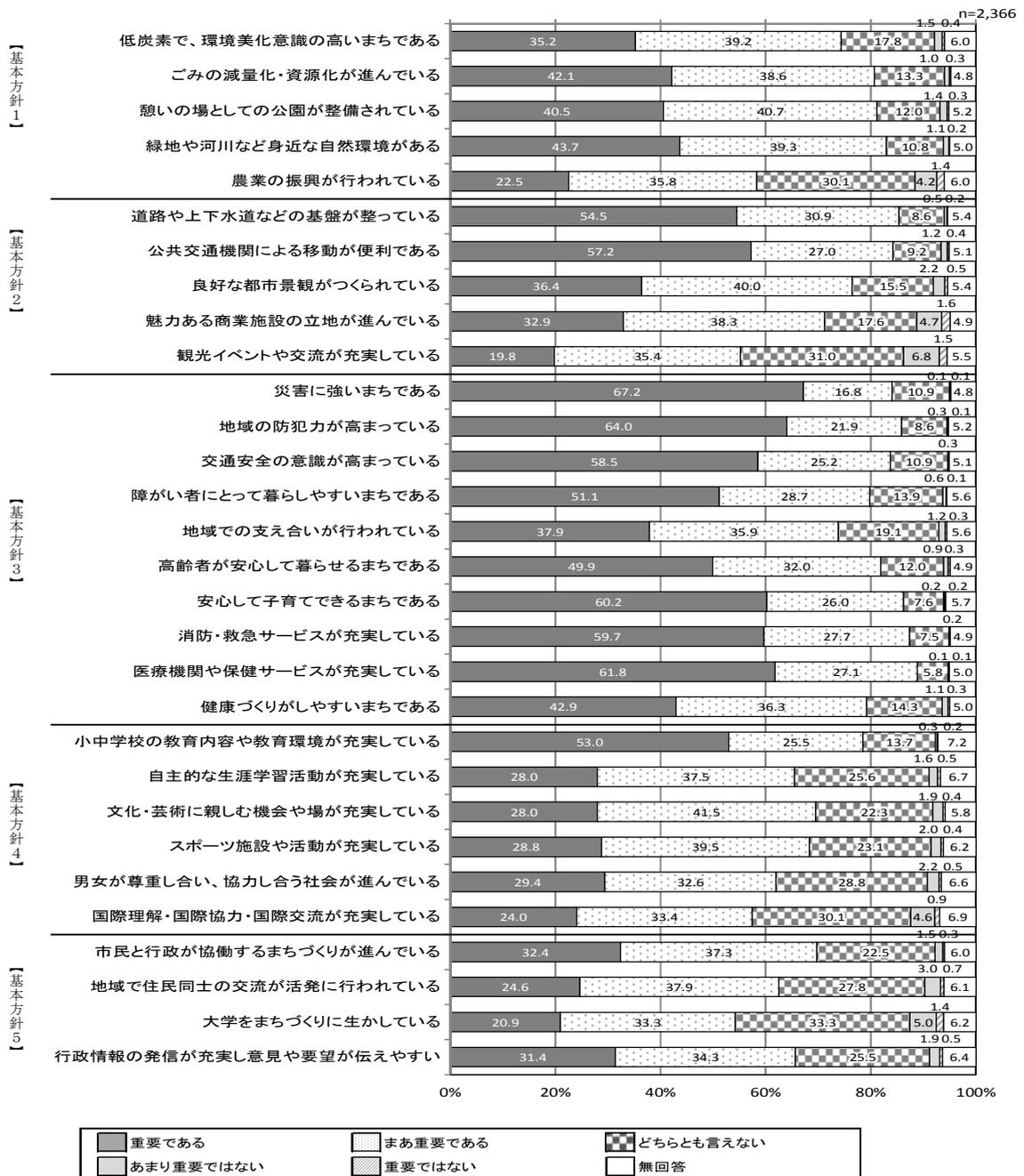


(2) 施策ごとの重要度

問13 長久手市では、平成21年3月に「第5次長久手市総合計画」を策定し、「人が輝き緑があふれる交流都市長久手」を将来目標に、5つの基本方針に基づきまちづくりに取り組んでいます。そこで、以下の30項目について、あなたはどの程度重要と思いますか。また、どの程度進んでいると感じていますか。次の(1)～(30)の項目について、重要度と進捗度を1～5の中から1つずつ選んでください。

基本施策の重要度については、「重要である」が多かった項目は、「災害に強いまちである」(67.2%)が最も多く、次いで「地域の防犯力が高まっている」(64.0%)、「医療機関や保健サービスが充実している」(61.8%)、「安心して子育てできるまちである」(60.2%)、「消防・救急サービスが充実している」(59.7%)の順になっている。

図5-2-1 施策ごとの重要度

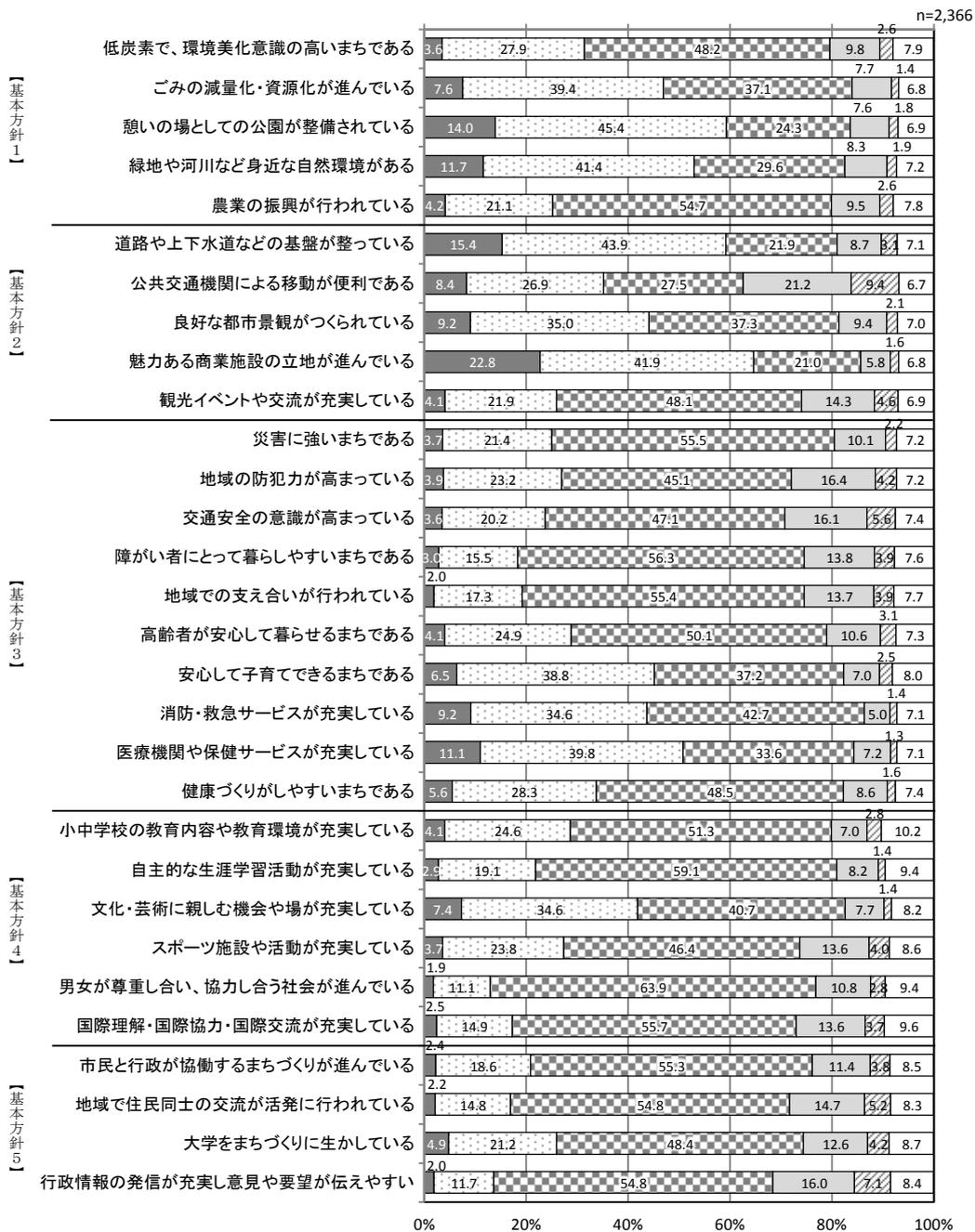


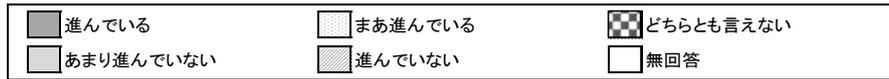
(3) 施策ごとの推進度

基本施策の推進度について、「進んでいる」が多かった項目は、“魅力ある商業施設の立地が進んでいる”が22.8%と最も多く、次いで“道路や上下水道などの基盤が整っている”(15.4%)、“憩いの場としての公園が整備されている”(14.0%)、“緑地や河川など身近な自然環境がある”(11.7%)、“医療機関や保健サービスが充実している”(11.1%)となっている。

また、「進んでいる」と「まあ進んでいる」の合計で見ると、“魅力ある商業施設の立地が進んでいる”が64.7%と最も多く、次いで“憩いの場としての公園が整備されている”(59.4%)、“道路や上下水道などの基盤が整っている”(59.3%)、“緑地や河川など身近な自然環境がある”(53.1%)、“医療機関や保健サービスが充実している”(50.9%)となっている。

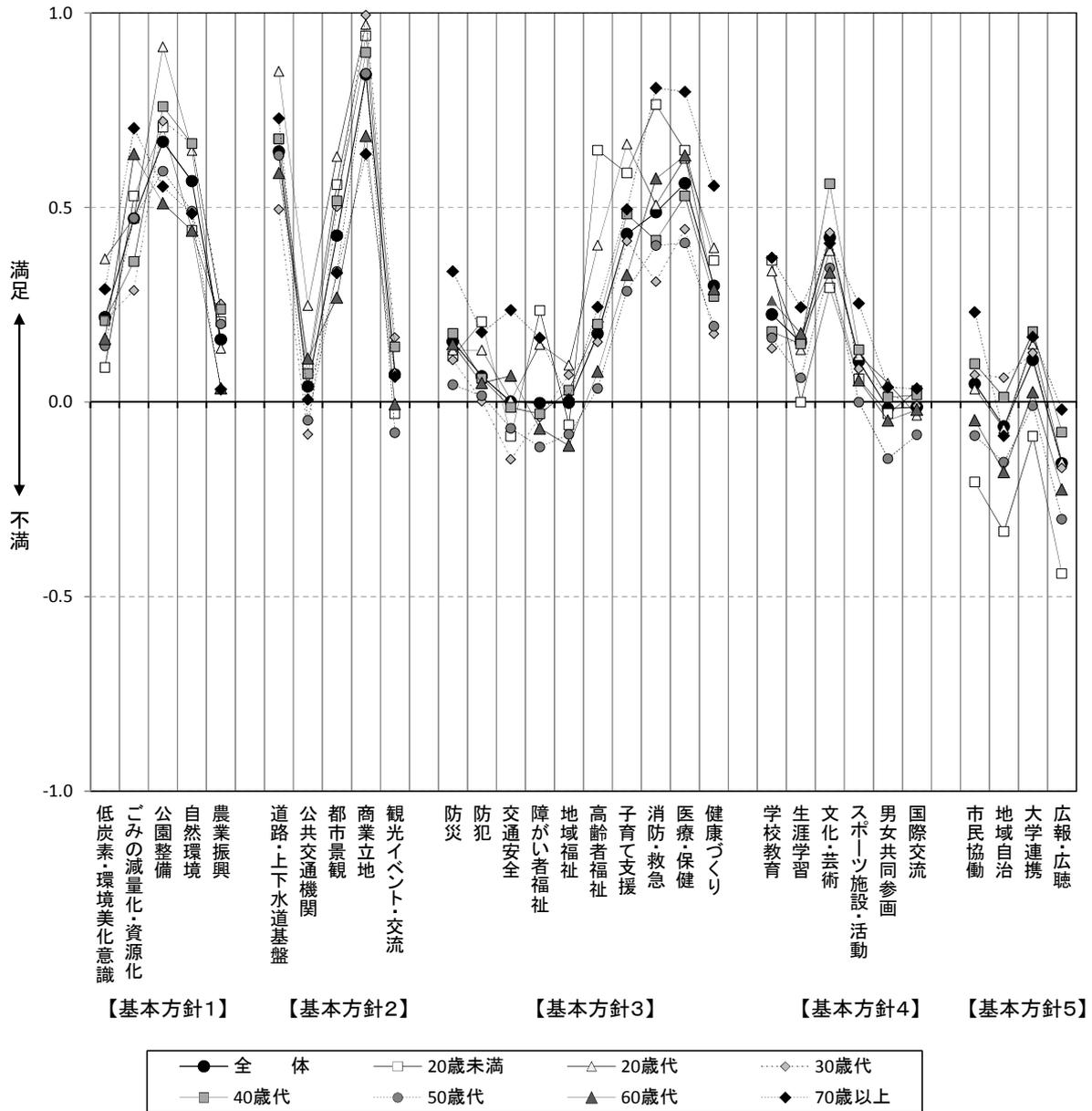
図 5-2-2 施策ごとの推進度





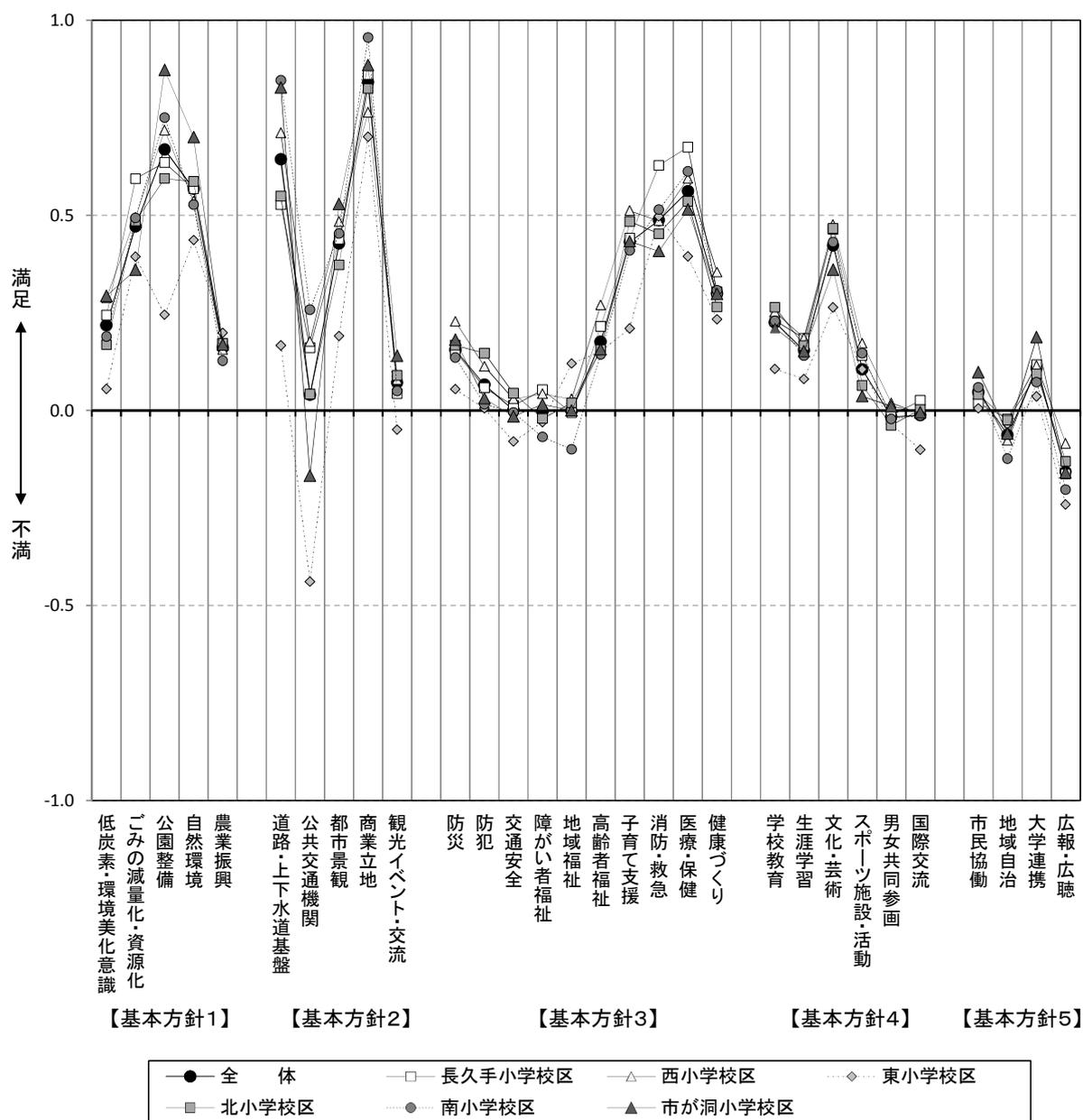
○年齢別の推進度をそれぞれ比較すると、評点にばらつきがある項目で世代によって評価が分かれていることがわかる。

図 5-2-3 施策ごとの推進度（年齢別）



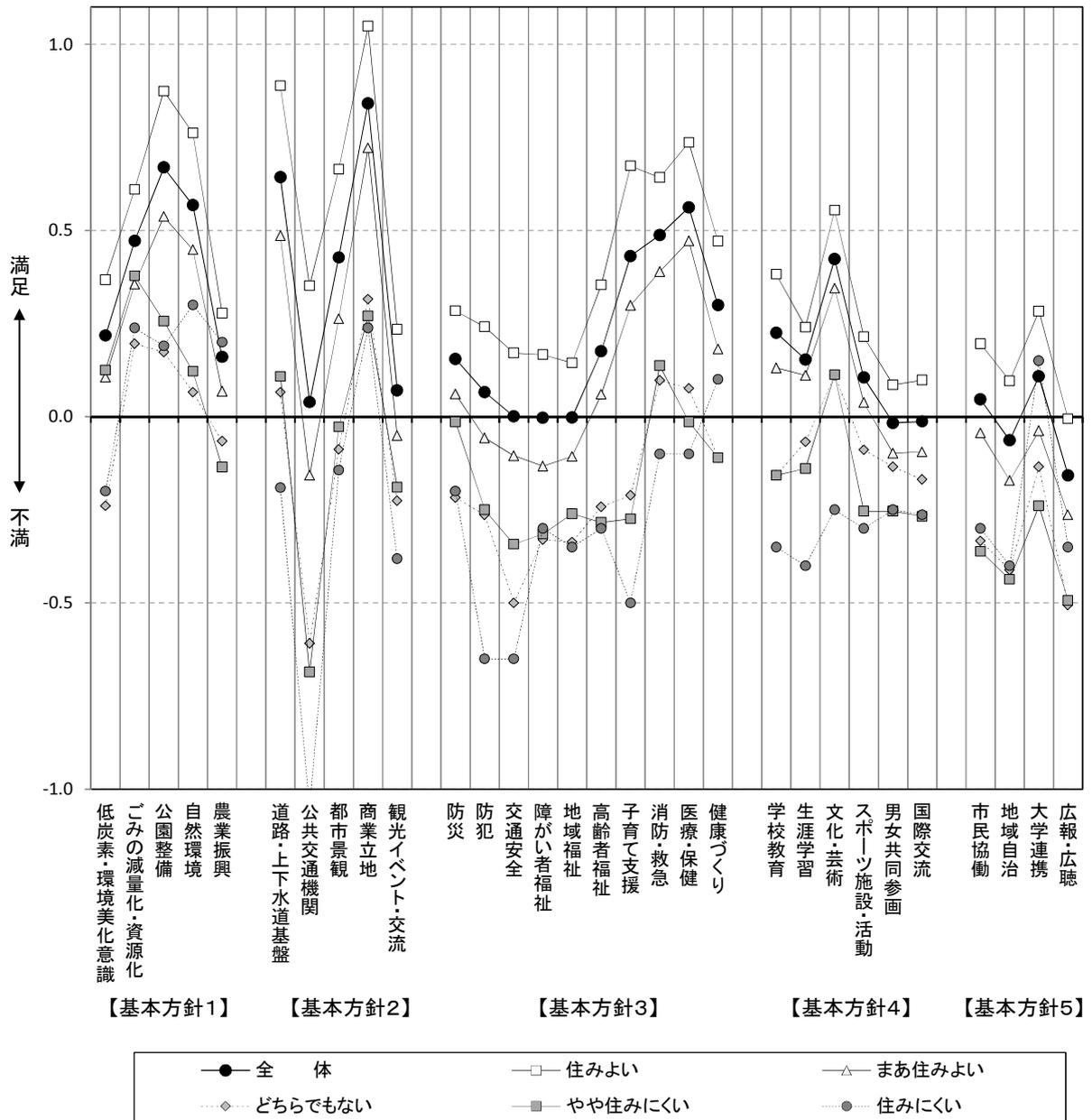
○小学校区別の推進度をそれぞれ比較すると、評点にばらつきがある項目が居住小学校区によって評価が分かれていることがわかる。

図 5-2-4 施策ごとの推進度（小学校区別）



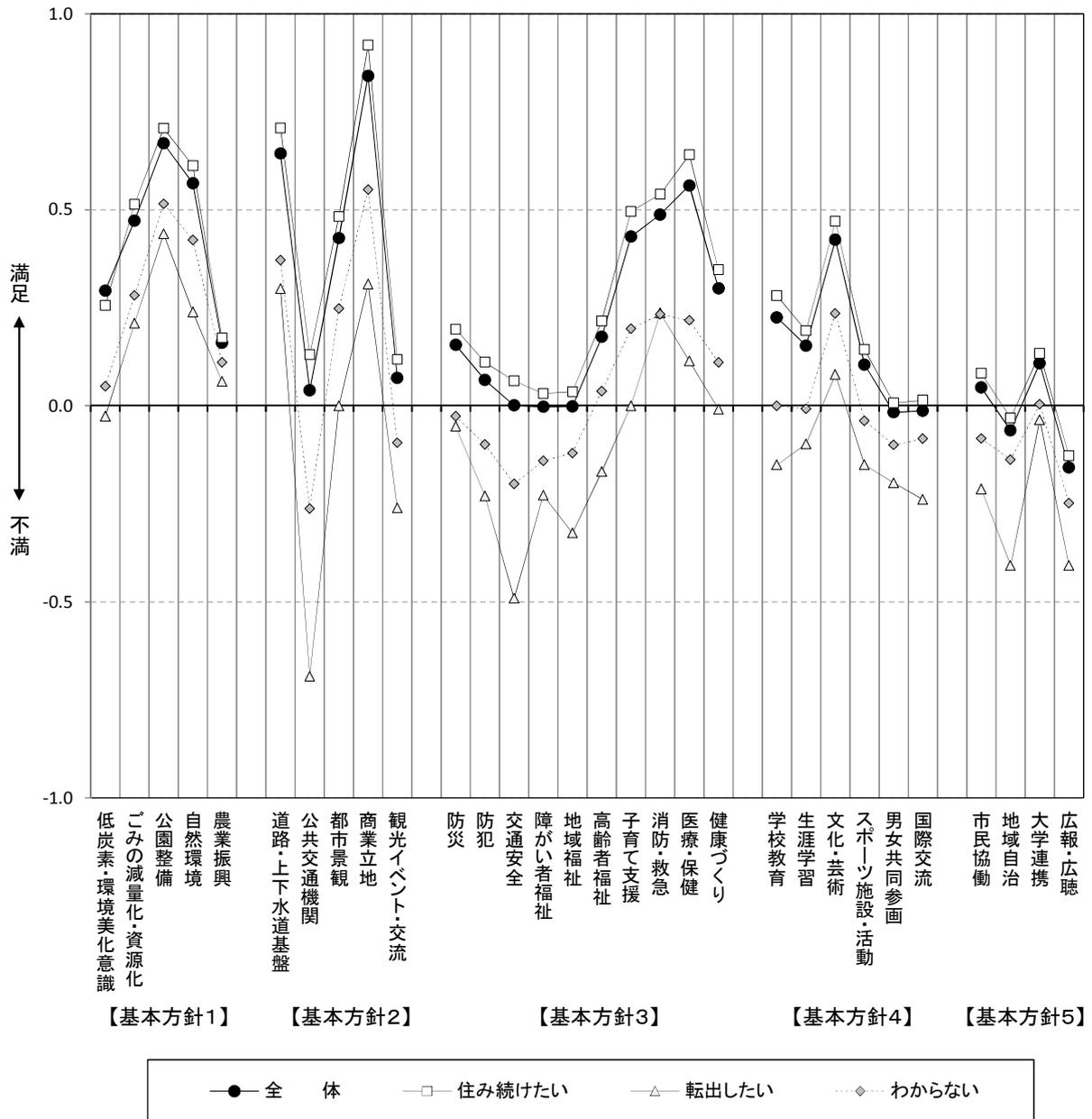
○住み心地別の推進度をそれぞれ比較すると、評点にばらつきがある項目が住み心地の回答によって評価が分かれていることがわかる。

図 5-2-5 施策ごとの推進度（住み心地別）



○定住意向別の推進度をそれぞれ比較すると、評点にばらつきがある項目が定住意向によって評価が分かれていることがわかる

図 5-2-6 施策ごとの推進度（定住意向別）

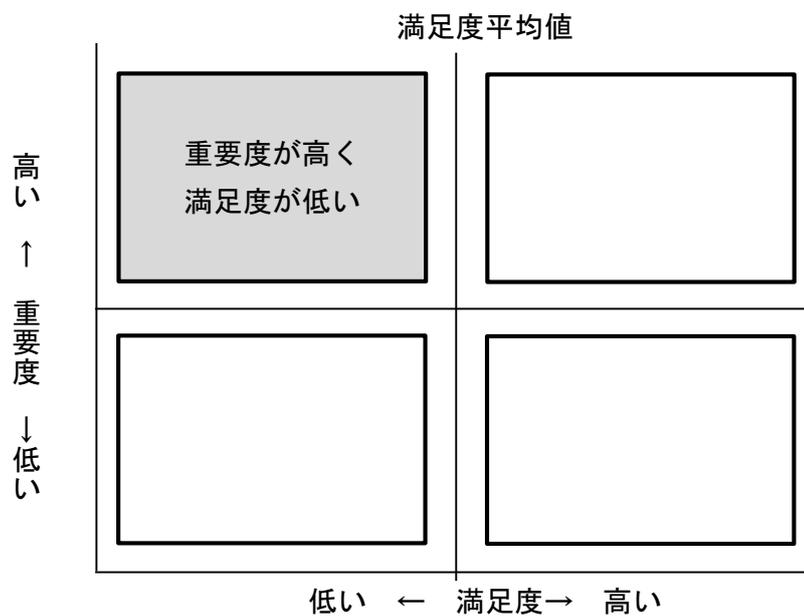


(4) 施策ごとの重要度・推進度の関係

施策の重要度と推進度について、それぞれ「重要である」「進んでいる」を+2点、「まあ重要である」「まあ進んでいる」を+1点、「どちらとも言えない」を0点、「あまり重要でない」「あまり進んでいない」を-1点、「重要でない」「進んでいない」を-2点として集計し、推進度を横軸に、重要度を縦軸にそれぞれ設定して平面座標上に図示したものが図 5-3-1 である。

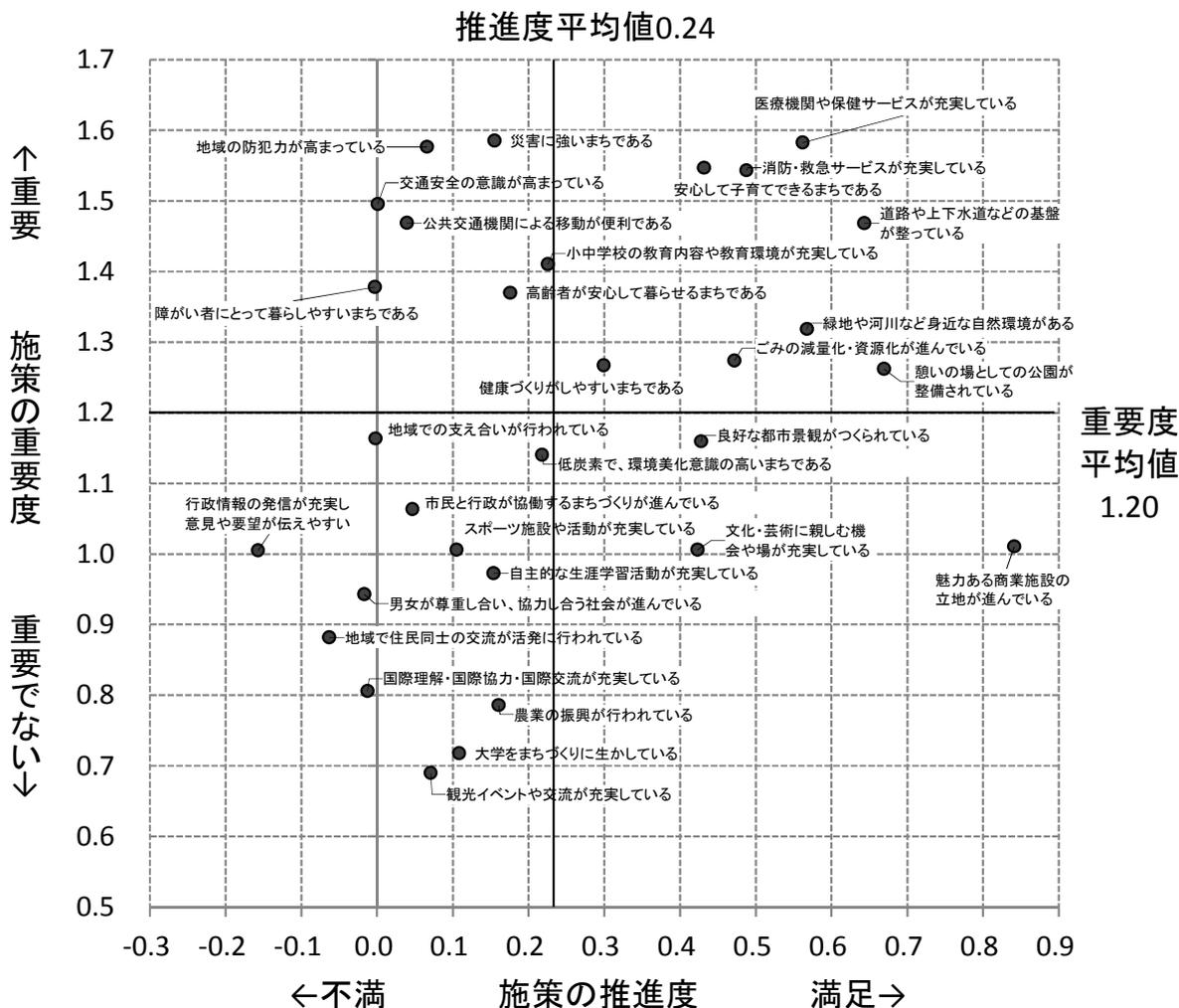
施策の重要度と推進度それぞれの平均値で分割し、4つの領域に区分けした場合、重要度が高く推進度が低い領域は、最優先で改善が求められる項目であるといえる。

図 5-3-1 「施策の満足度と重要度」の模式図



施策の重要度が高く、推進度が低い項目は、“地域の防犯力が高まっている”、“災害に強いまちである”、“交通安全の意識が高まっている”、“公共交通機関による移動が便利である”、“障がい者にとって暮らしやすいまちである”、“小中学校の教育内容や教育環境が充実している”、“高齢者が安心して暮らせるまちである”の7項目である。

図 5-3-2 基本施策の重要度・推進度



○年齢別でみると、施策の重要度が高く、推進度が低い項目はそれぞれ以下のとおりとなっている。

図 5-3-3 基本施策の重要度・推進度（20歳未満）

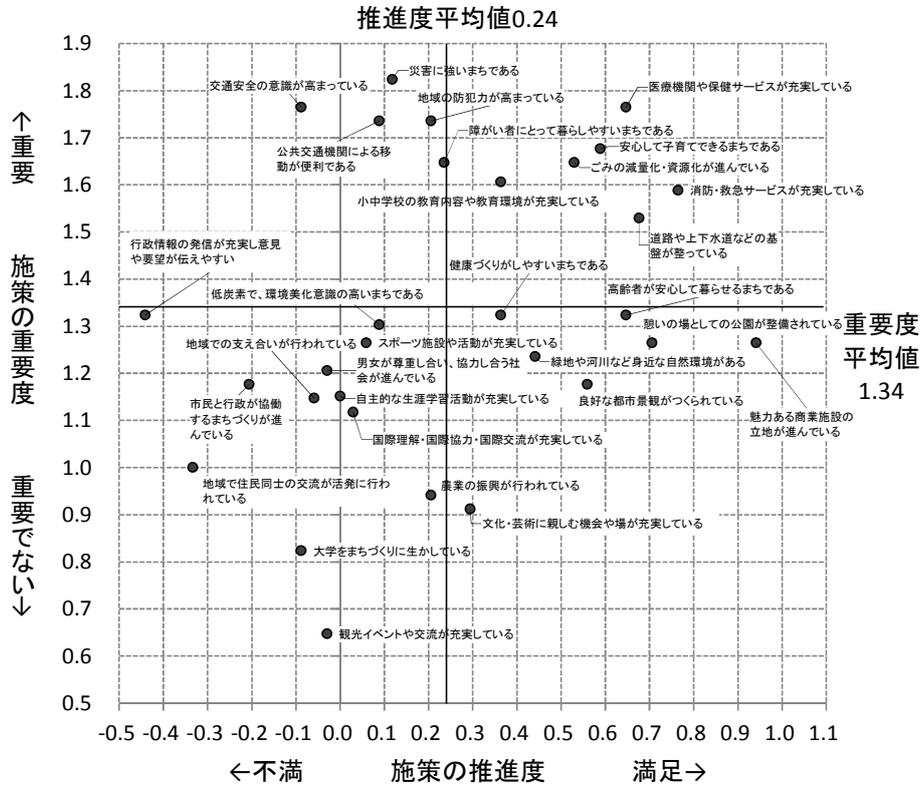


図 5-3-4 基本施策の重要度・推進度（20歳代）

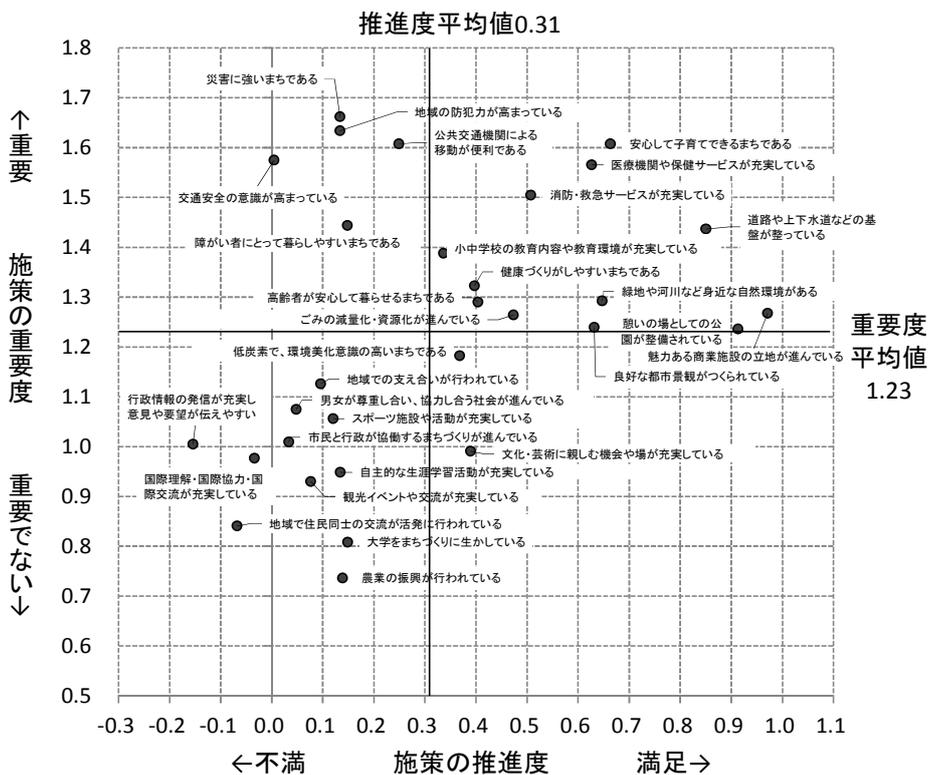


図 5-3-5 基本施策の重要度・推進度 (30 歳代)

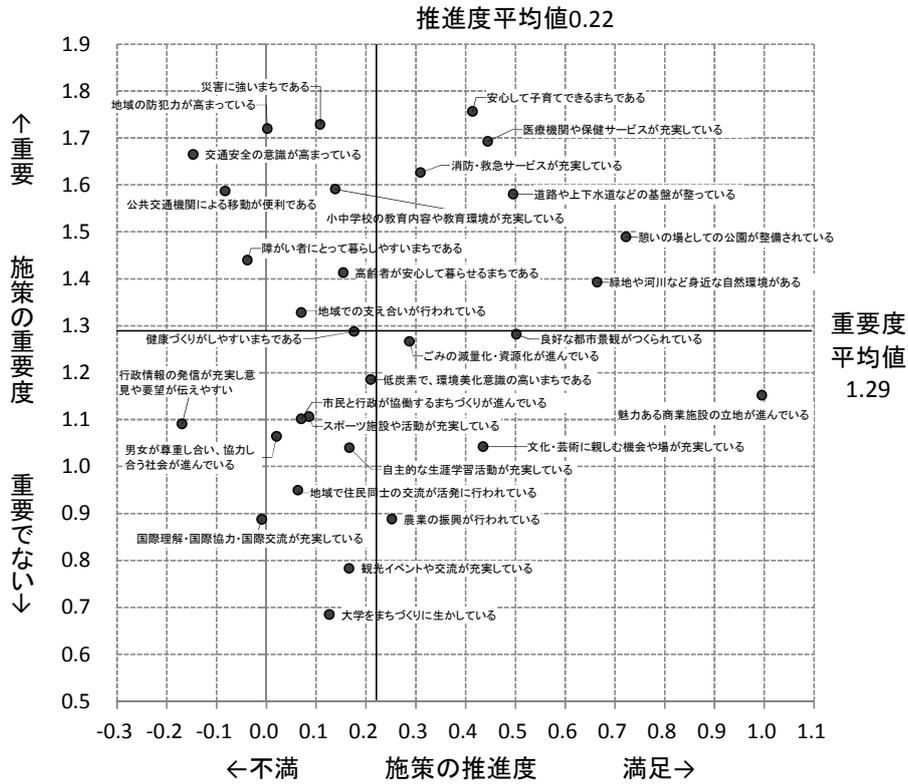


図 5-3-6 基本施策の重要度・推進度 (40 歳代)

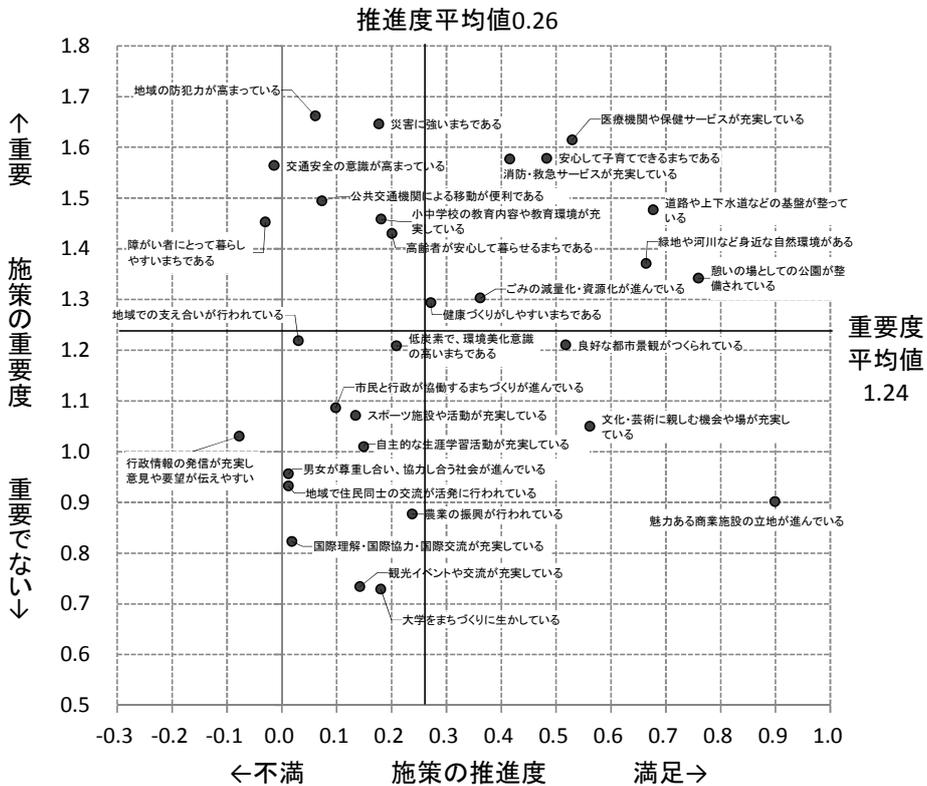


図 5-3-7 基本施策の重要度・推進度 (50 歳代)

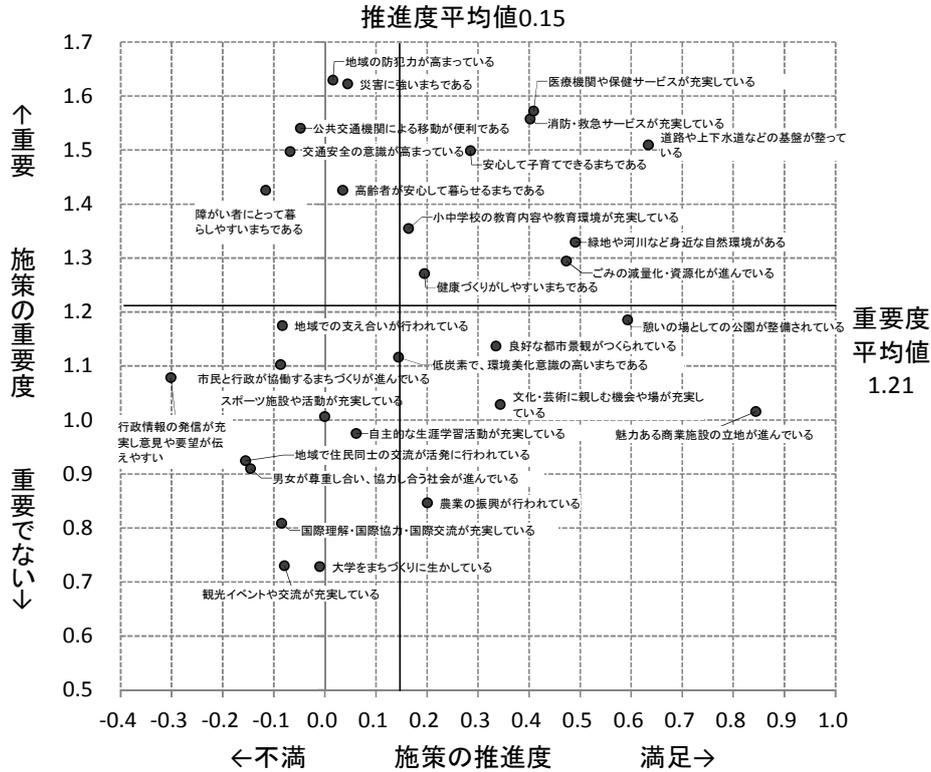


図 5-3-8 基本施策の重要度・推進度 (60 歳代)

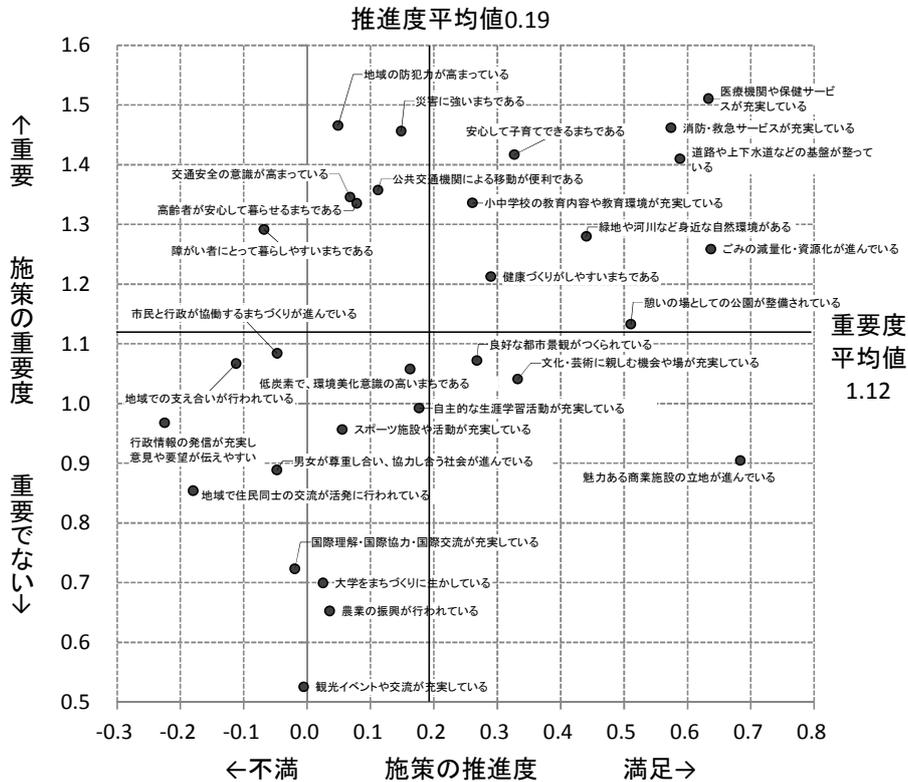
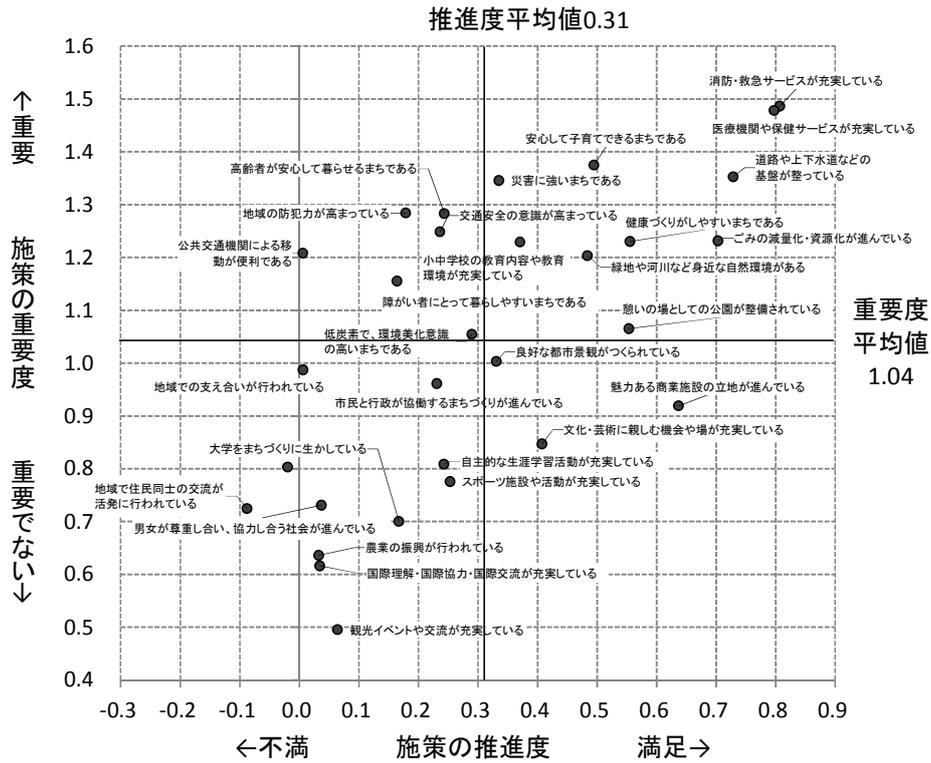


図 5-3-9 基本施策の重要度・推進度 (70 歳以上)



○小学校区別でみると、施策の重要度が高く、推進度が低い項目はそれぞれ以下のとおりとなっている。

図 5-3-10 基本施策の重要度・推進度 (長久手小学校区)

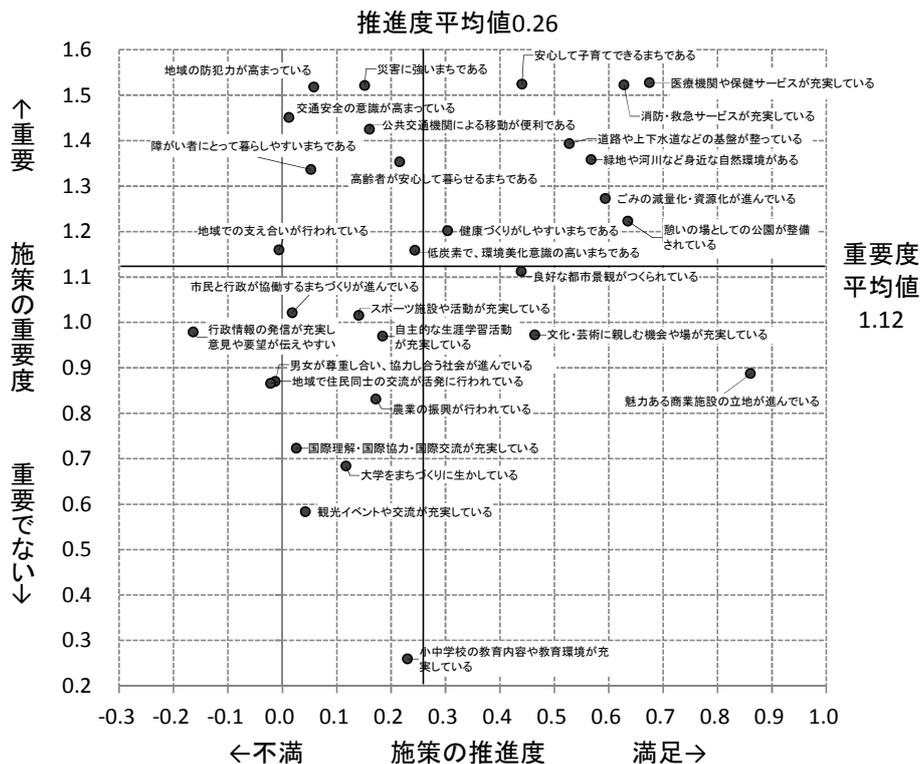


図 5-3-11 基本施策の重要度・推進度（西小学校区）

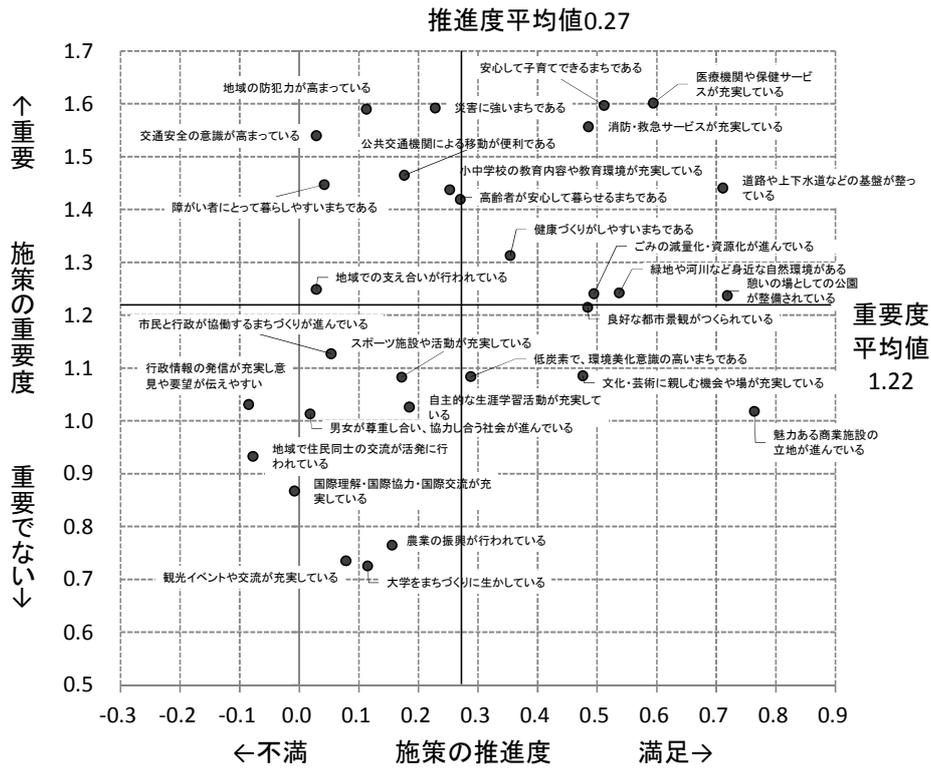


図 5-3-12 基本施策の重要度・推進度（東小学校区）

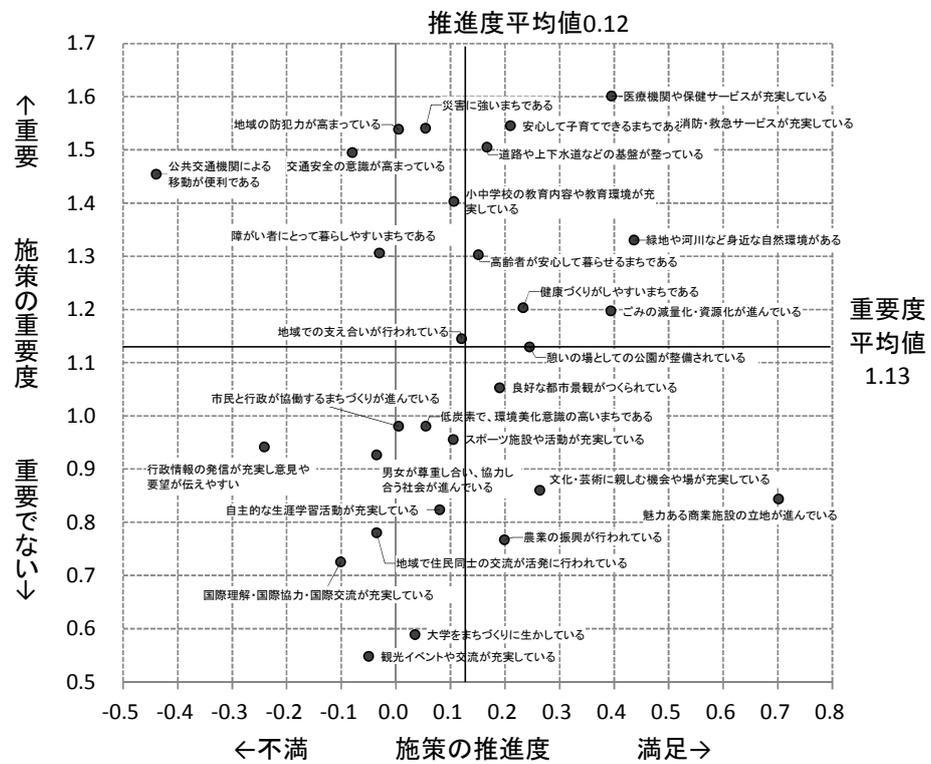


図 5-3-13 基本施策の重要度・推進度（北小学校区）

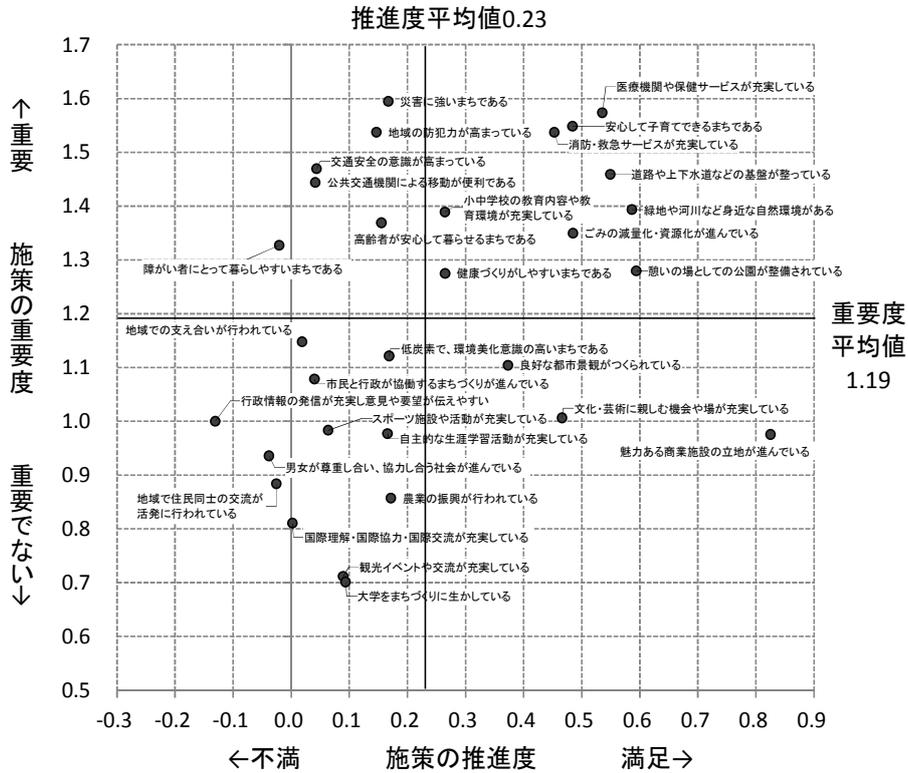


図 5-3-14 基本施策の重要度・推進度（南小学校区）

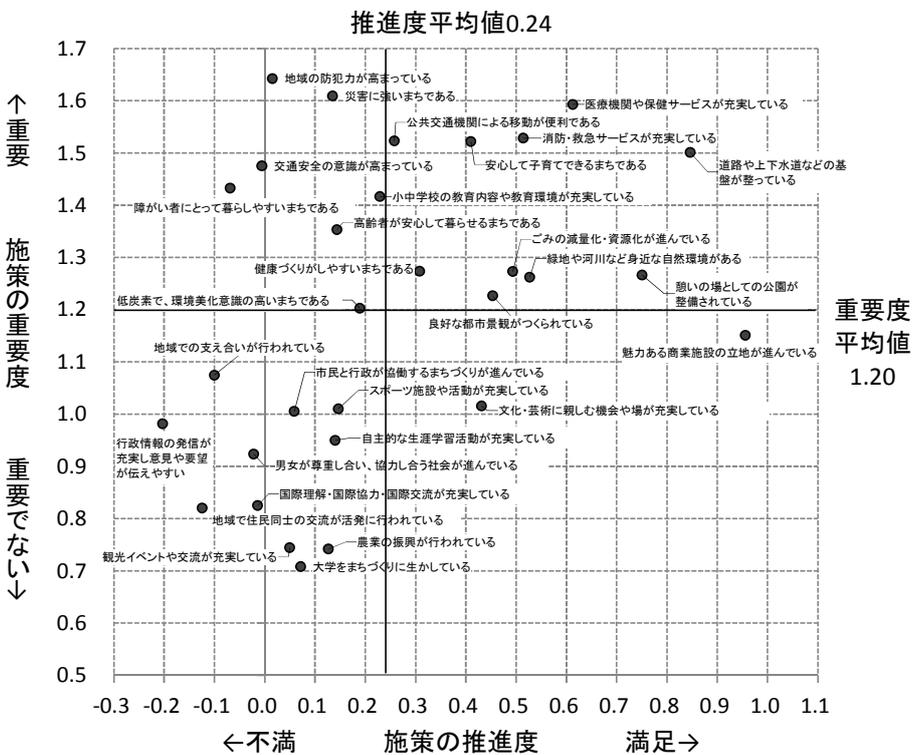
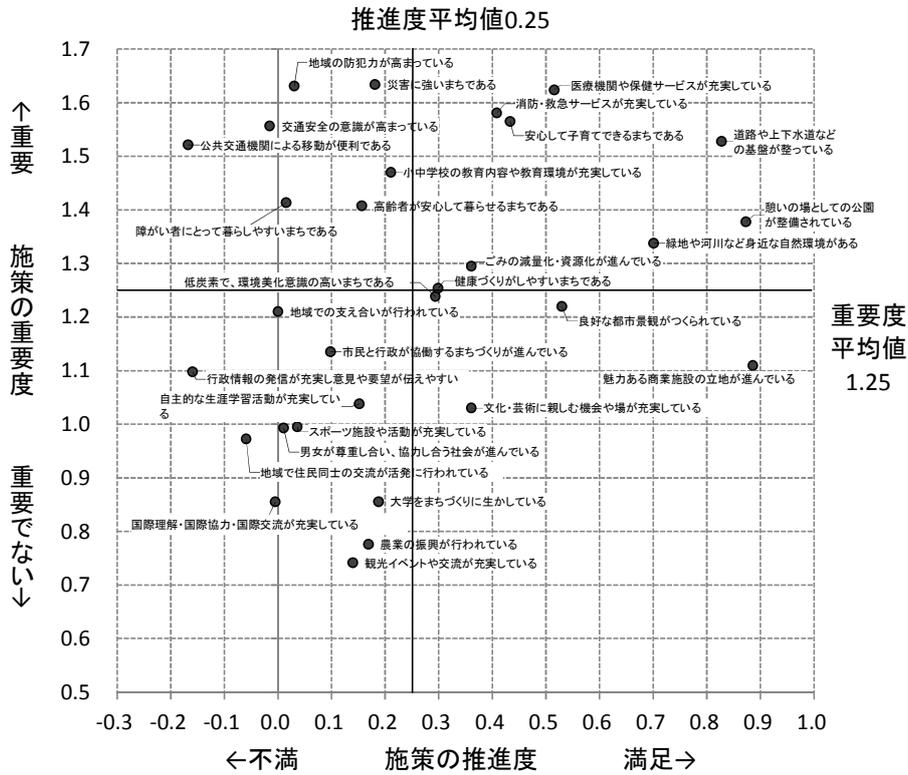


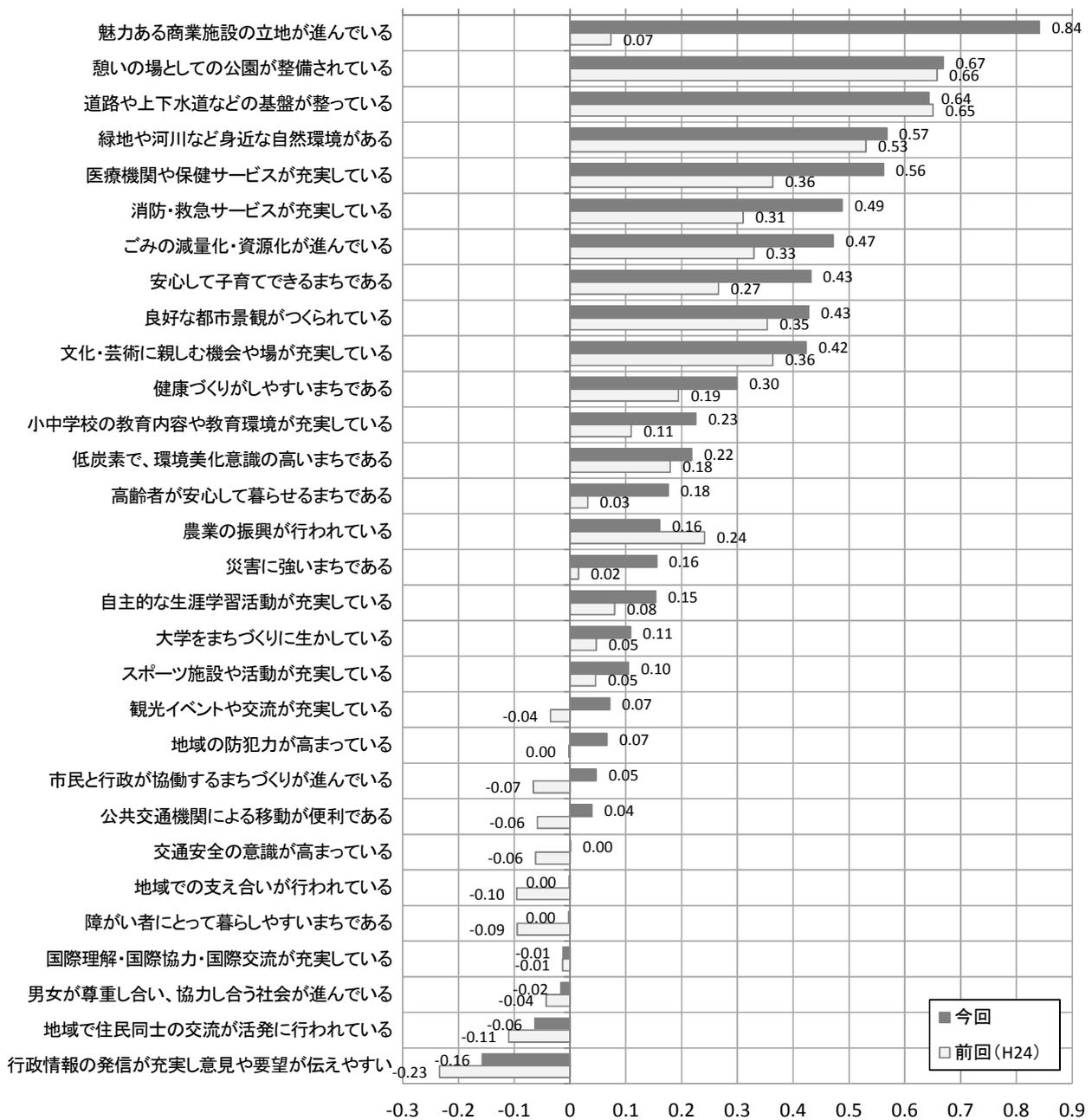
図 5-3-15 基本施策の重要度・推進度（市が洞小学校区）



○基本施策の推進度について、前回調査と比べると、ほとんどの施策において評価が高くなっている。特に、「魅力ある商業施設としての立地が進んでいる」では0.7ポイント以上と特に高くなっている。また、「医療機関や保健サービスが充実している」、「消防・救急サービスが充実している」、「安心して子育てできるまちである」、「高齢者が安心して暮らせるまちである」でも、0.15ポイント以上高くなっている。

一方、「農業の振興が行われている」では0.08ポイント低くなっている。

図 5-3-16 基本施策の推進度（経年変化）



6. 将来のまちづくりについて

(1) 「長久手未来まちづくりビジョン」の認知度

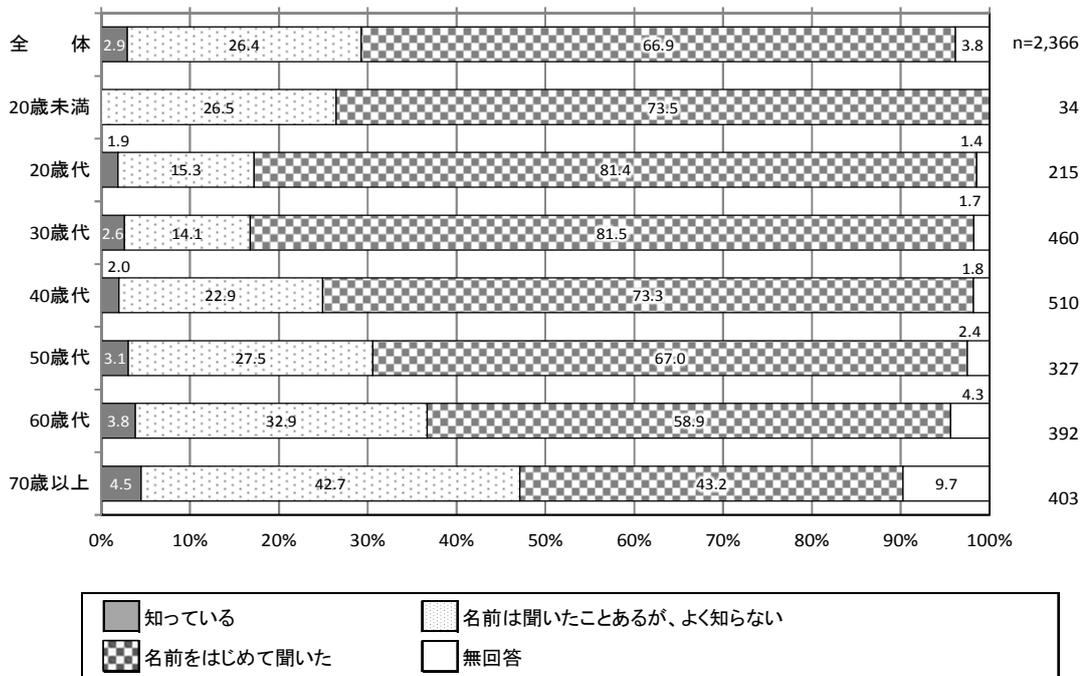
問14(1) あなたは、「長久手未来まちづくりビジョン」を知っていますか。【○は1つ】

「長久手未来まちづくりビジョン」の認知度について、「知っている」は2.9%、「名前は聞いたことがあるが、よく知らない」は26.4%であり、「名前をはじめて聞いた」は66.9%と6割以上となっている。

○年齢別でみると、20歳代以上では、おおよそ年齢が高くなるほど「知っている」も「名前は聞いたことがあるが、よく知らない」も多くなっている。

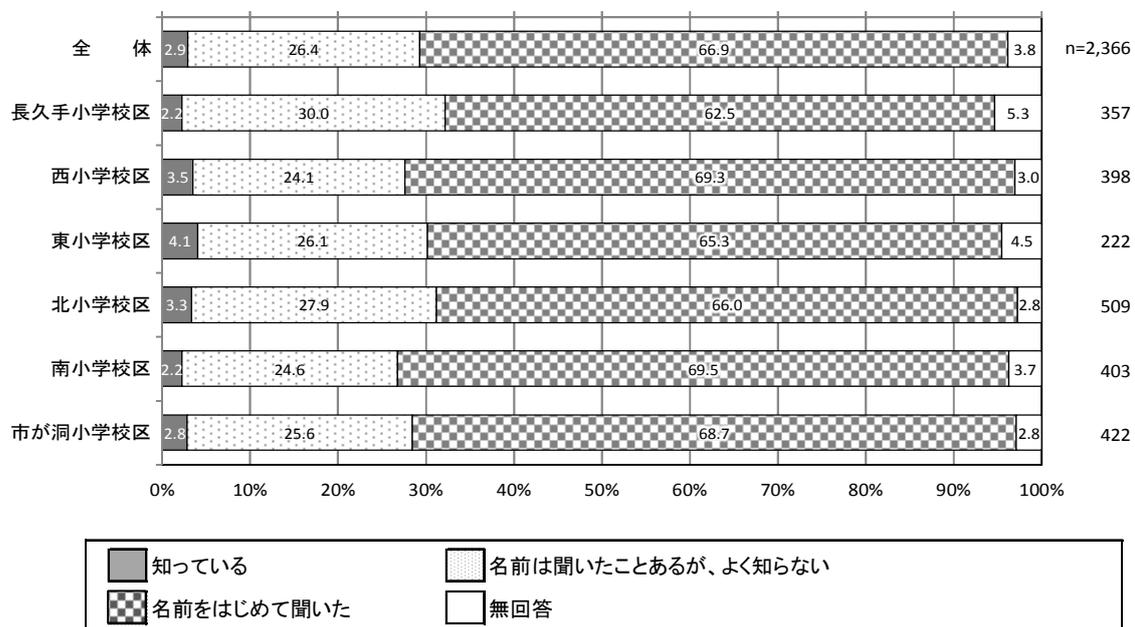
○20歳未満では「知っている」人はおらず、「名前は聞いたことがあるが、よく知らない」は26.5%である。

図6-1-1 長久手未来まちづくりビジョンの認知度（年齢別）



○小学校区別でみると、大きな違いはみられない。

図 6-1-2 長久手未来まちづくりビジョンの認知度（小学校区別）



(2) 将来像の実現のための手段

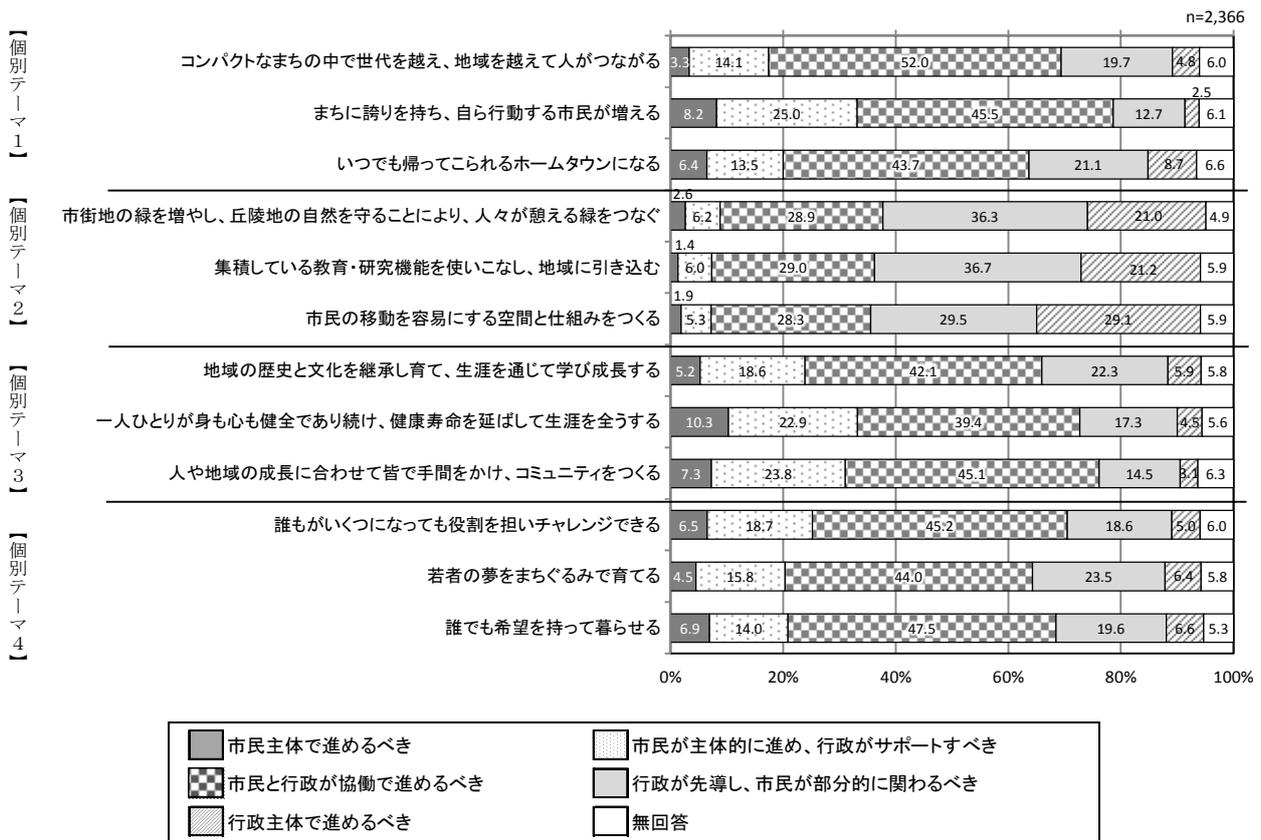
問14(2) 「長久手未来まちづくりビジョン」では、平成62(2050)年頃の長久手市の将来像をイメージしています。ビジョンで描く将来像の実現のため、具体的にどのように進めていくべきだと思いますか。次の(1)～(12)の項目について、1～5の中から1つずつ選んでください。

将来像の実現のための手段としては、どの項目も「市民と行政が協働で進めるべき」が28%から52%と高くなっている。

「行政が先導し、市民が部分的に関わるべき」が最も多いのは、‘集積している教育・研究機能を使いこなし、地域に引き込む’(36.7%)で、次いで‘市街地の緑を増やし、丘陵地の自然を守るにより、人々が憩える緑をつなぐ’(36.3%)、‘市民の移動を容易にする空間と仕組みをつくる’(29.5%)と続いている。

「より市民が主体的に進めるべき」(「市民主体で進めるべき」+「市民が主体的に進め、行政がサポートすべき」)は、‘まちに誇りを持ち、自ら行動する市民が増える’、‘一人ひとりが身も心も健全であり続け、健康寿命を延ばして生涯を全うする’、‘人や地域の成長に合わせて皆で手間をかけ、コミュニティをつくる’で多い。

図 6-2-1 将来像の実現のための手段



○年代別でみると、多くの項目で、20歳未満で「市民主体で進めるべき」や「市民が主体的に進め、行政がサポートすべき」が全体より多く、40歳代で少ない傾向がある。

図 6-2-2 コンパクトなまちの中で世代を越え、地域を越えて人がつながる（年齢別）

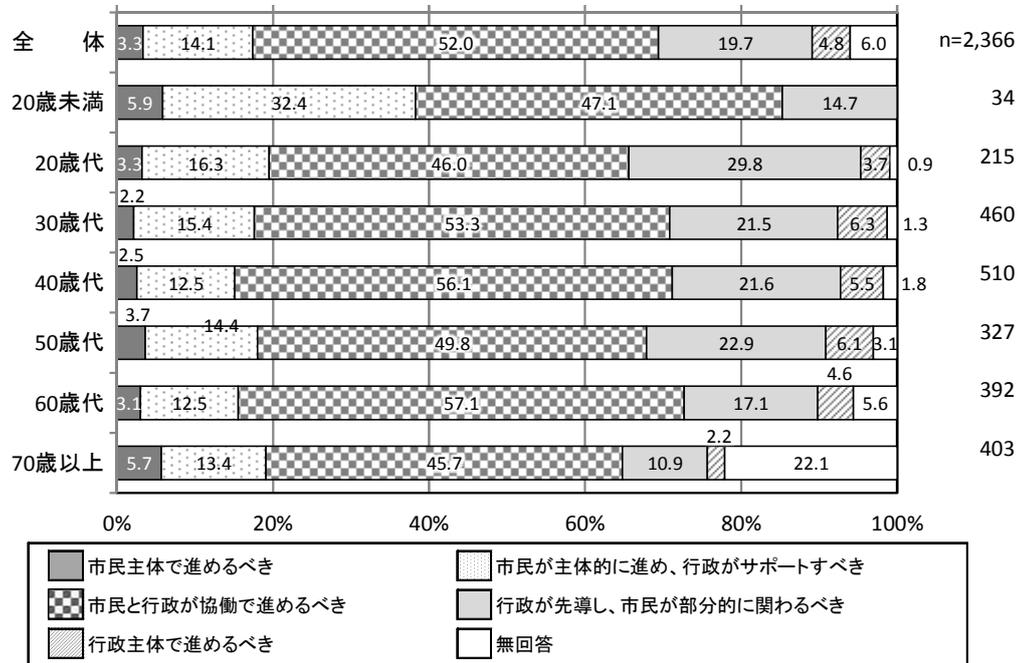


図 6-2-3 まちに誇りを持ち、自ら行動する市民が増える（年齢別）

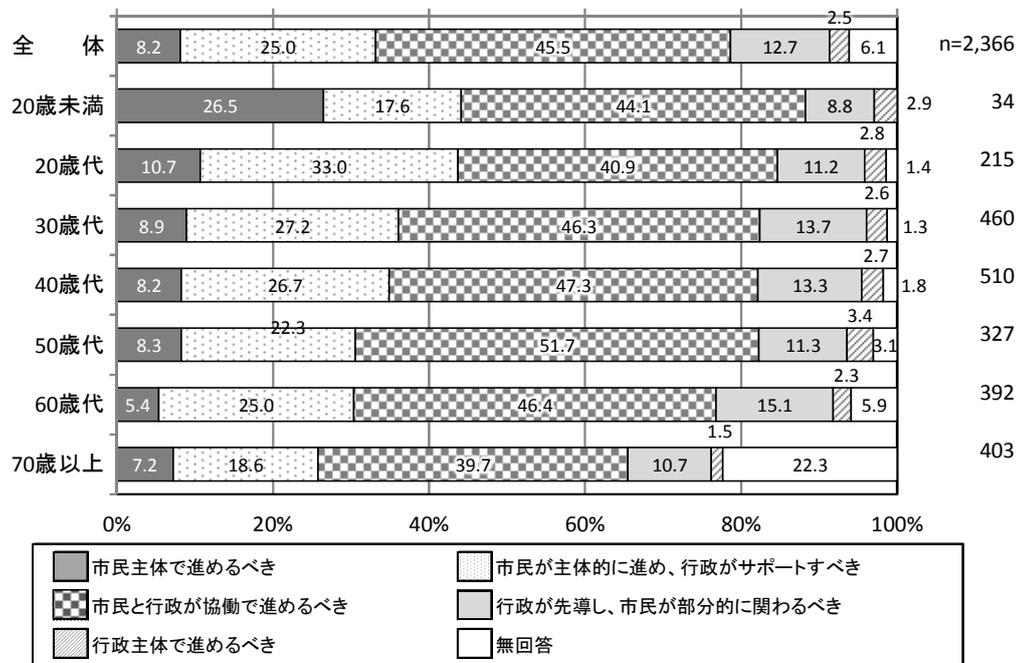


図 6-2-4 いつでも帰ってこられるホームタウンになる (年齢別)

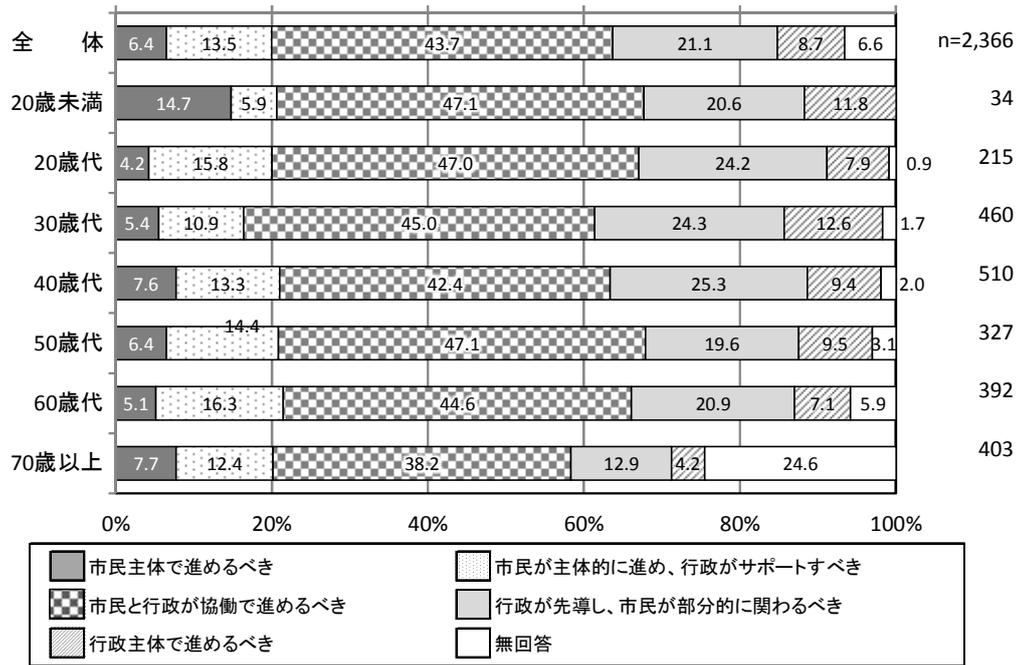


図 6-2-5 市街地の緑を増やし、丘陵地の自然を守ることにより、人々が憩える緑をつなぐ (年齢別)

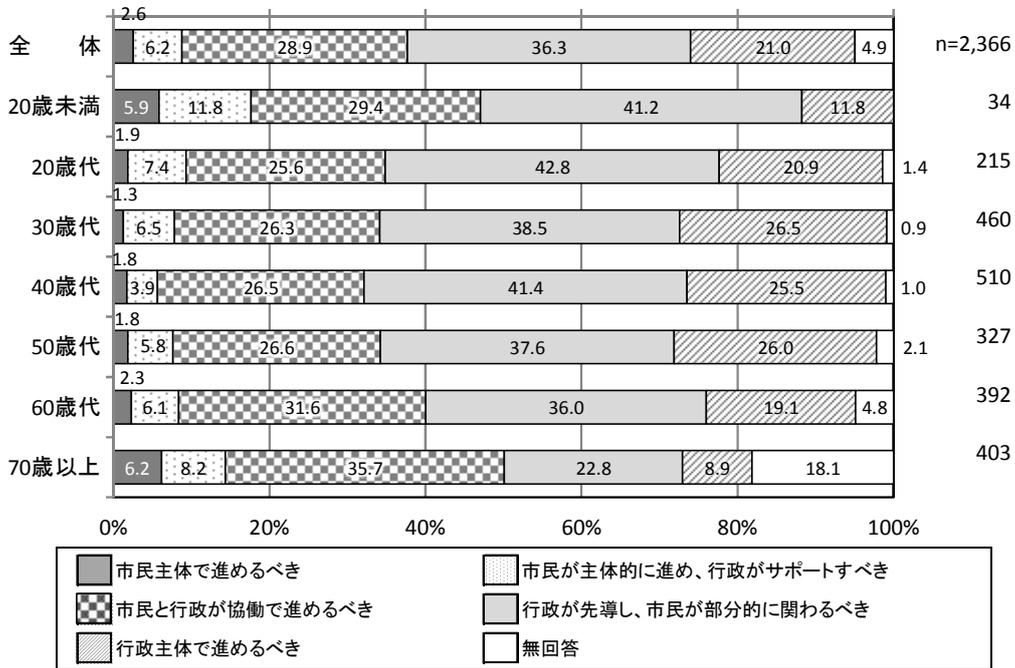


図 6-2-6 集積している教育・研究機能を使いこなし、地域に引き込む（年齢別）

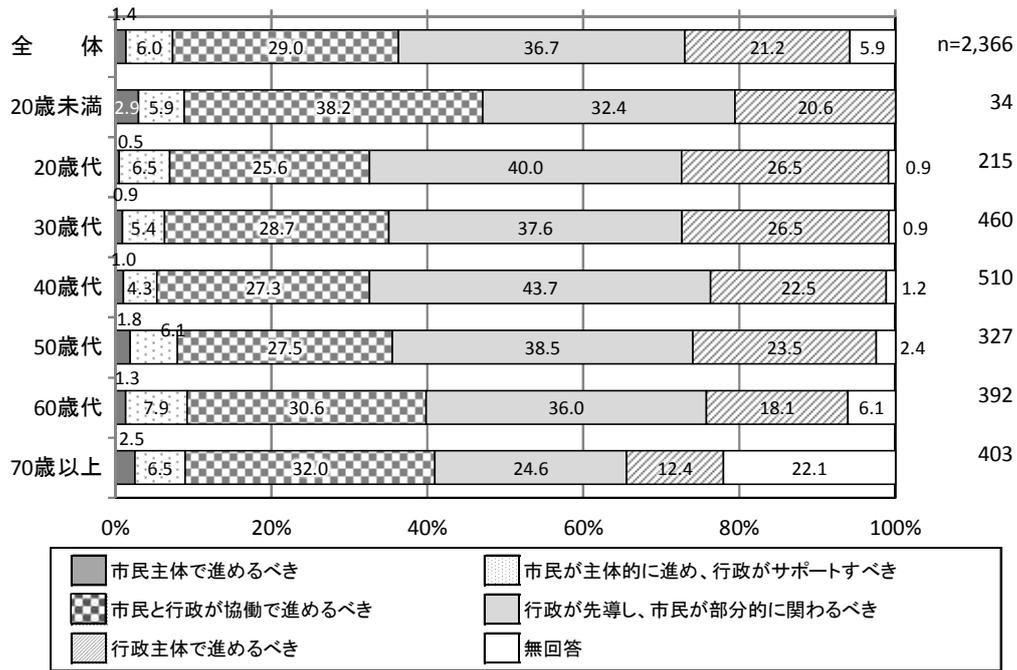


図 6-2-7 市民の移動を容易にする空間と仕組みをつくる（年齢別）

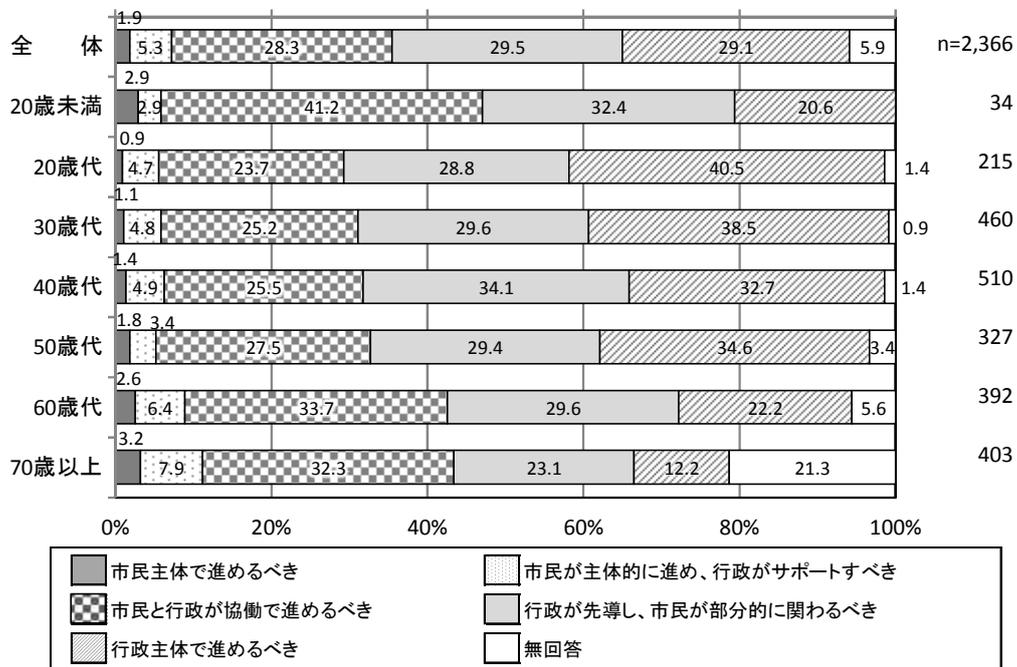


図 6-2-8 地域の歴史と文化を継承し育て、生涯を通じて学び成長する (年齢別)

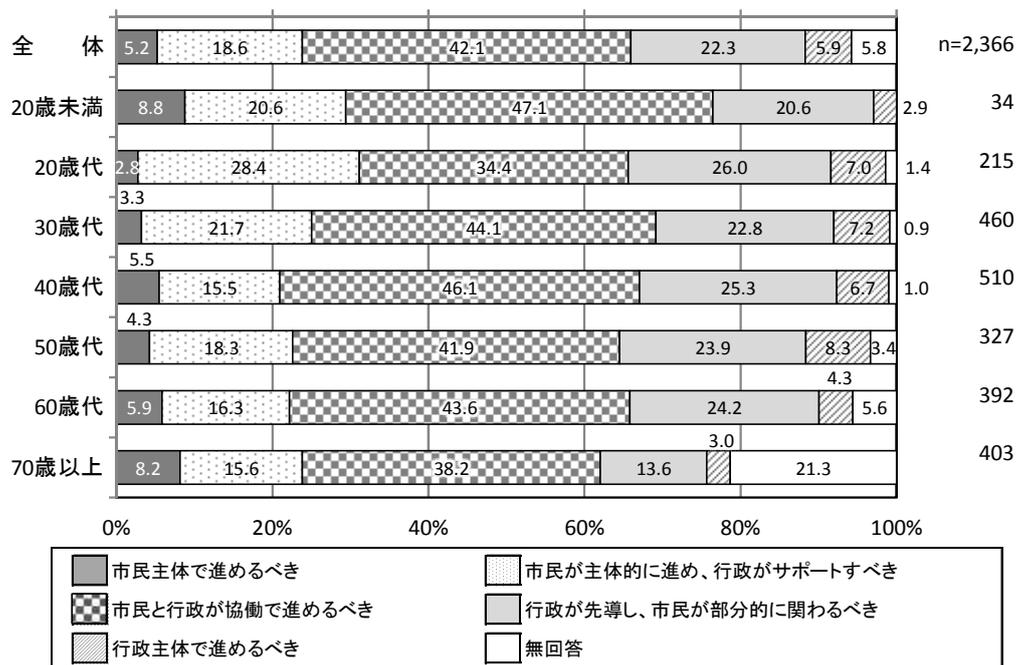


図 6-2-9 一人ひとりが身も心も健全であり続け、健康寿命を延ばして生涯を全うする (年齢別)

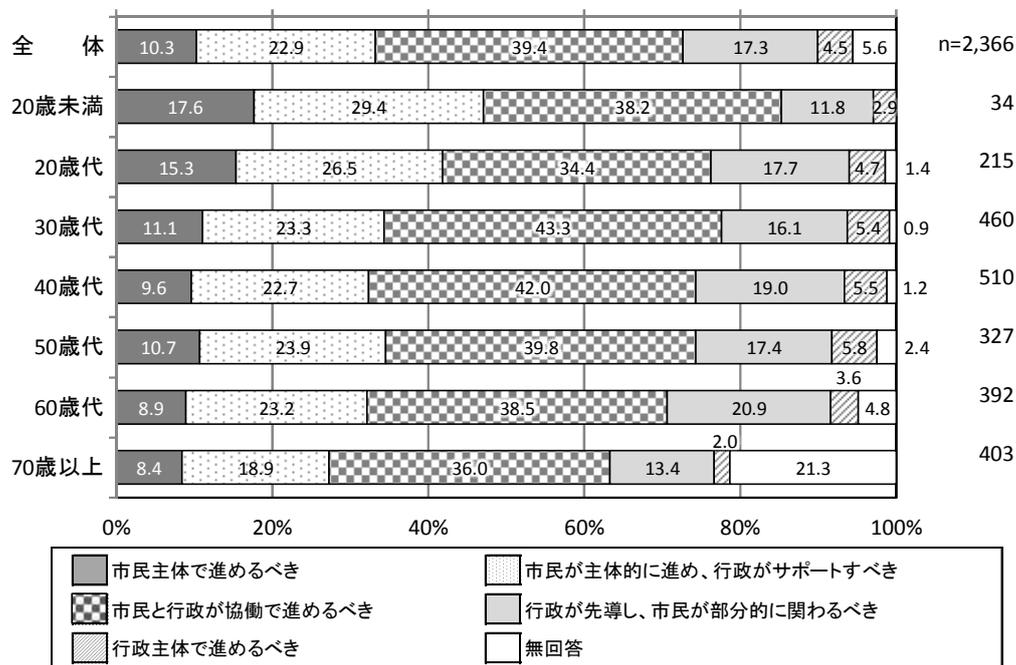


図 6-2-10 人や地域の成長に合わせて皆で手間をかけ、コミュニティをつくる（年齢別）

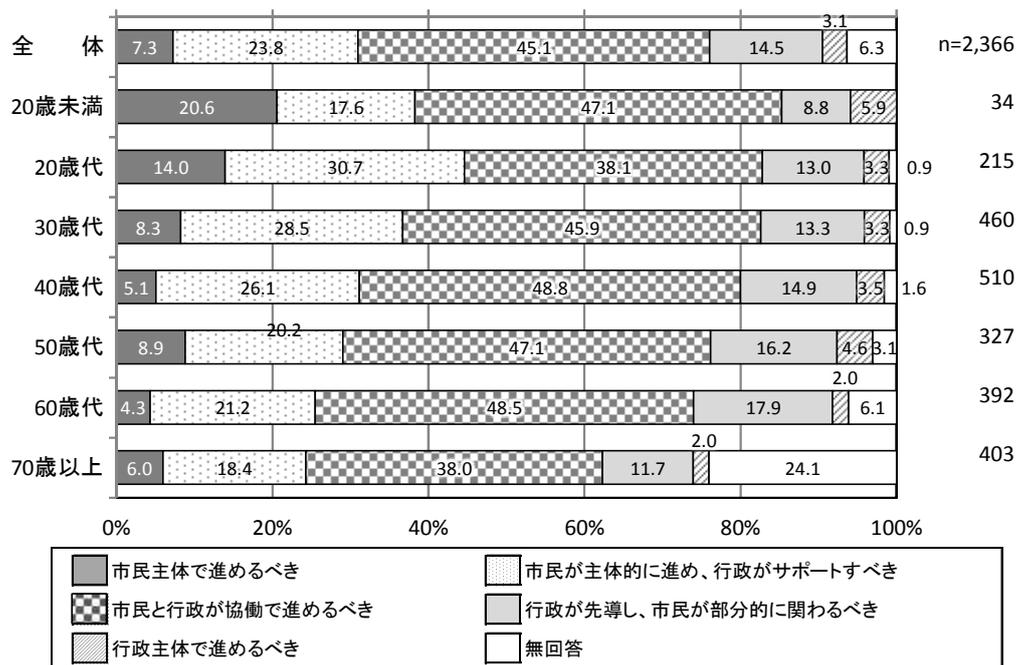


図 6-2-11 誰もがいくつになっても役割を担いチャレンジできる（年齢別）

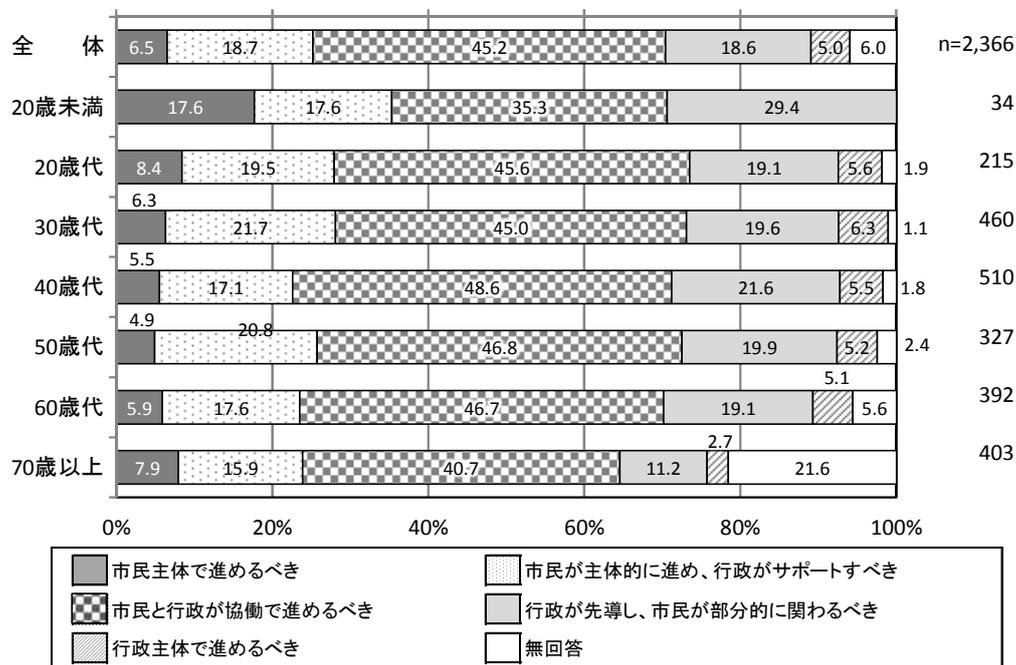


図 6-2-12 若者の夢をまちぐるみで育てる（年齢別）

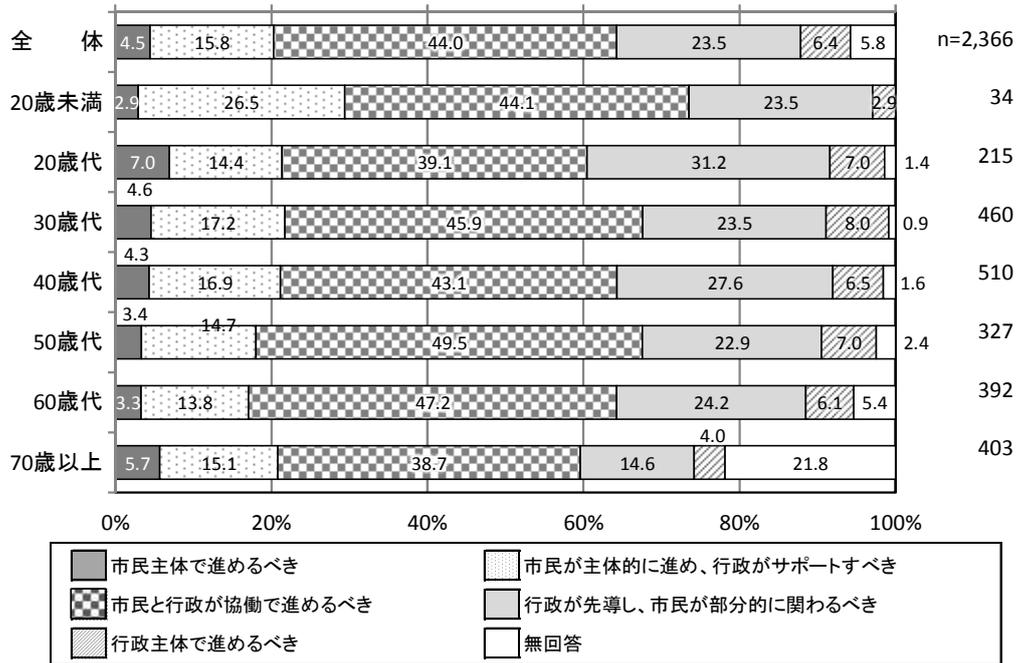
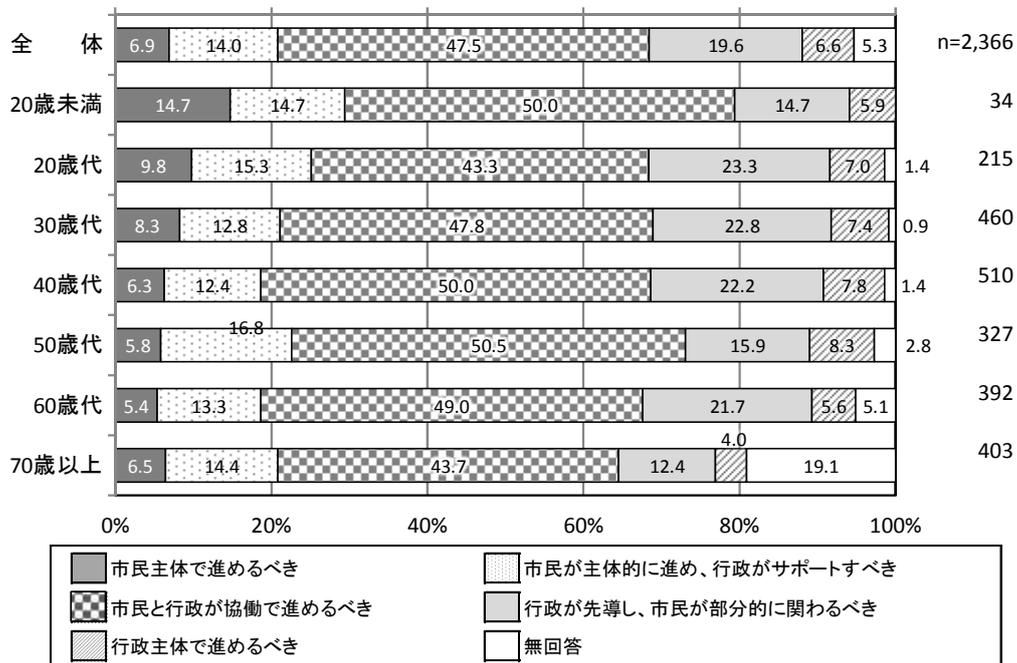


図 6-2-13 誰でも希望を持って暮らせる（年齢別）



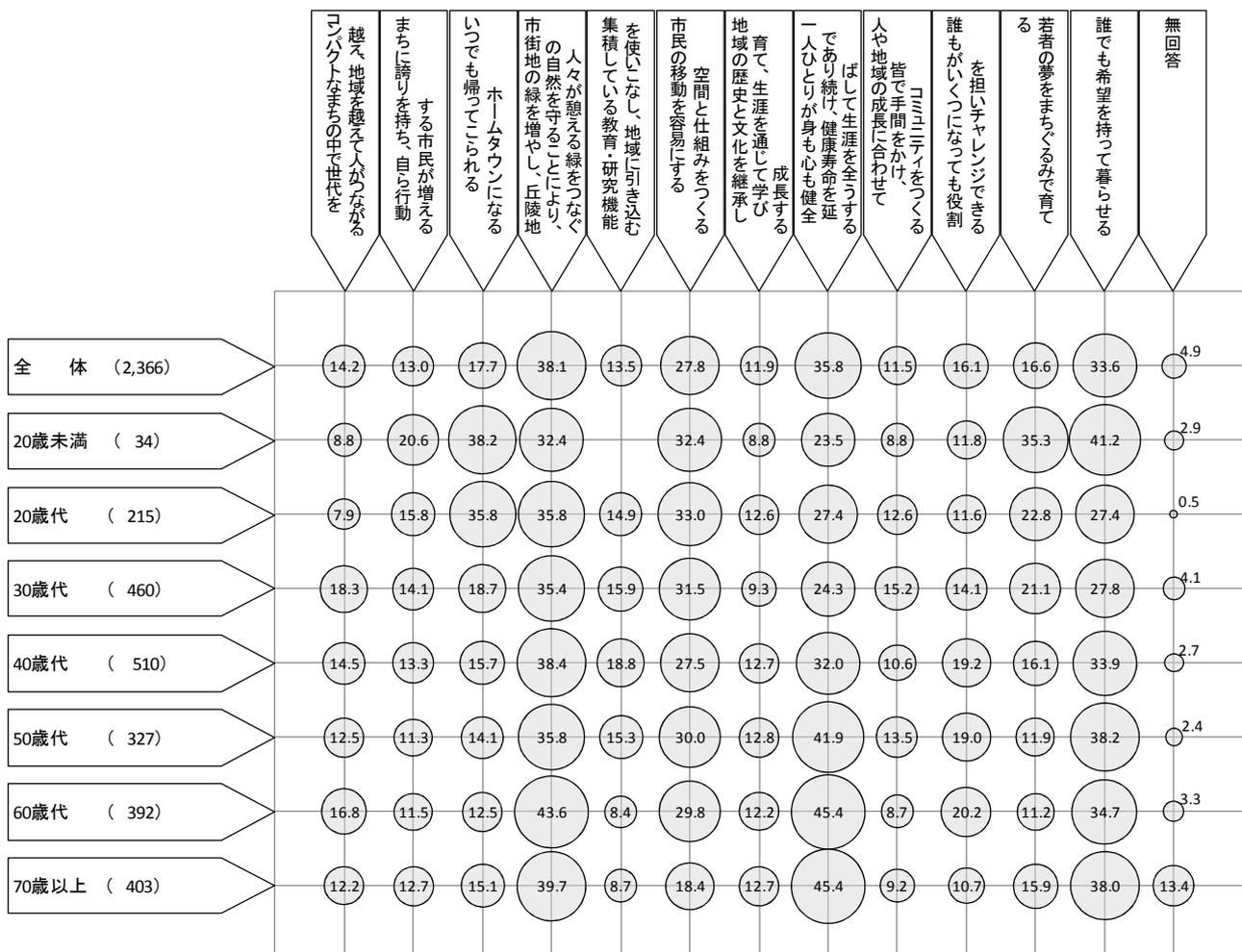
(3) 今後力を入れたい将来像

14(3) 問14(2)で示した(1)～(12)の項目のうち、あなたが、今後特に実現に向けて力を入れたいと考えるものを選択してください。【○は3つまで】

今後、実現に向けて力を入れたい将来像としては、「市街地の緑を増やし、丘陵地の自然を守ることにより、人々が憩える緑をつなぐ」が38.1%と最も多く、次いで「一人ひとりが身も心も健全であり続け、健康寿命を延ばして生涯を全うする」(35.8%)、「誰でも希望を持って暮らせる」(33.6%)となっている。

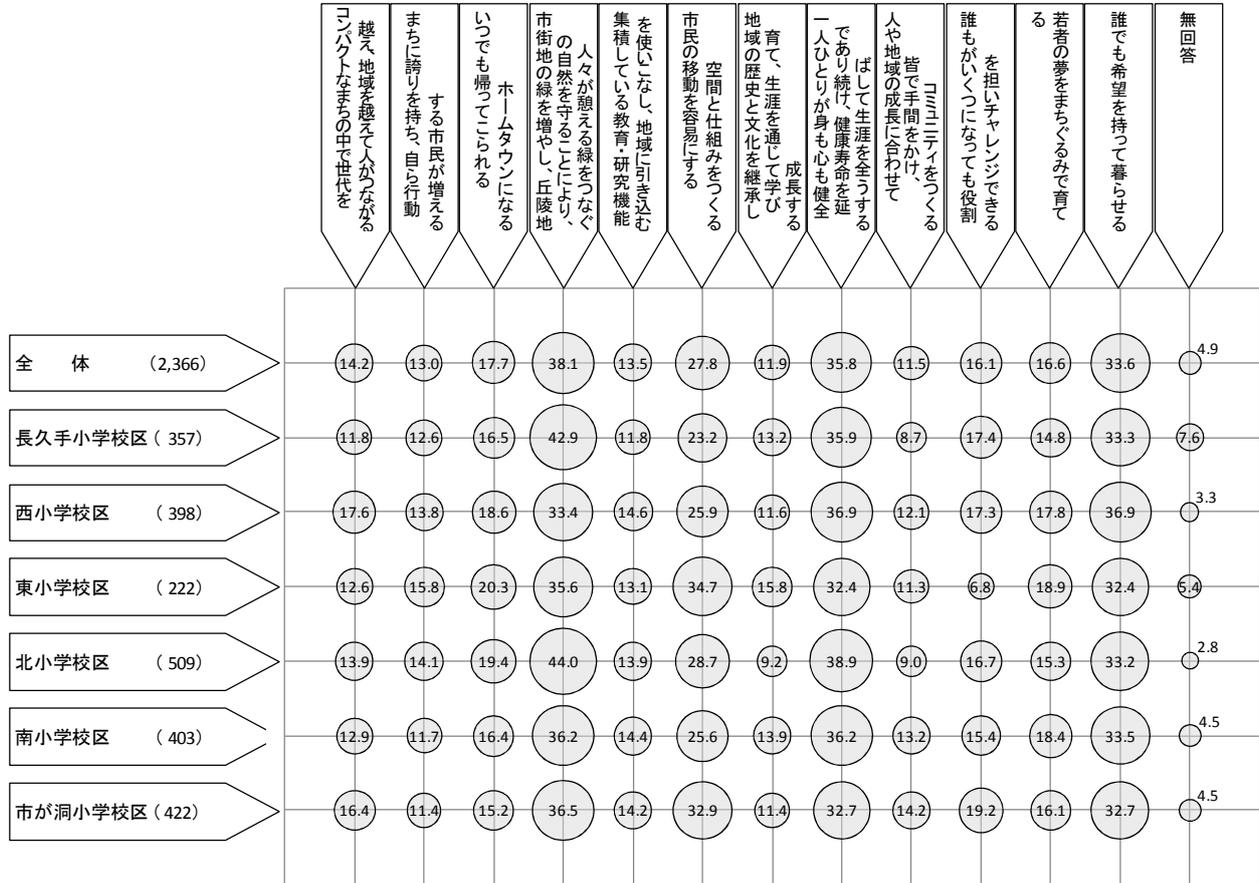
- 年齢別でみると、「まちに誇りを持ち、自ら行動する市民が増える」と「いつでも帰ってこられるホームタウンになる」と「若者の夢をまちぐるみで育てる」では、おおよそ年齢が低いほど多い。
- 「一人ひとりが身も心も健全であり続け、健康寿命を延ばして生涯を全うする」では、おおよそ年齢が高いほど多い。

図 6-3-1 今後力を入れたい将来像 (年齢別)



○小学校区別でみると、あまり大きな違いはみられない。

図 6-3-2 今後力を入れたい将来像（小学校区別）



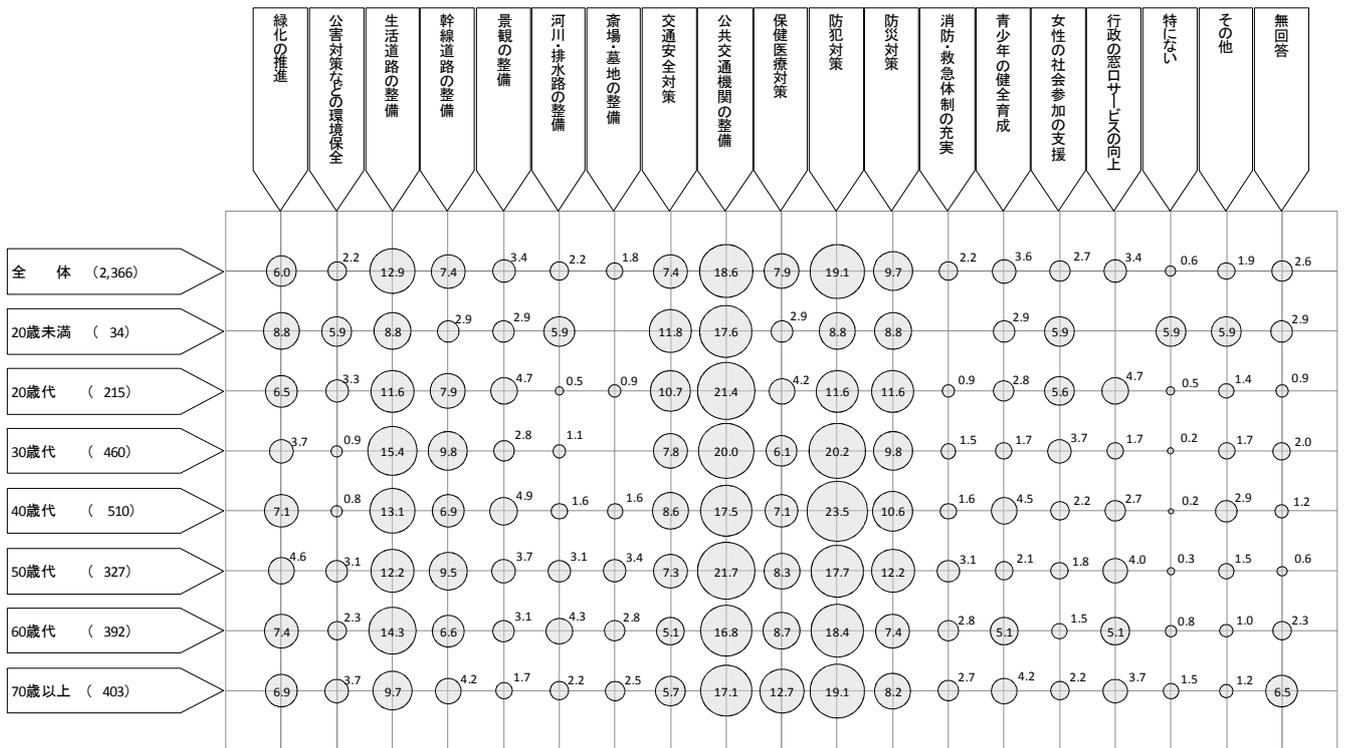
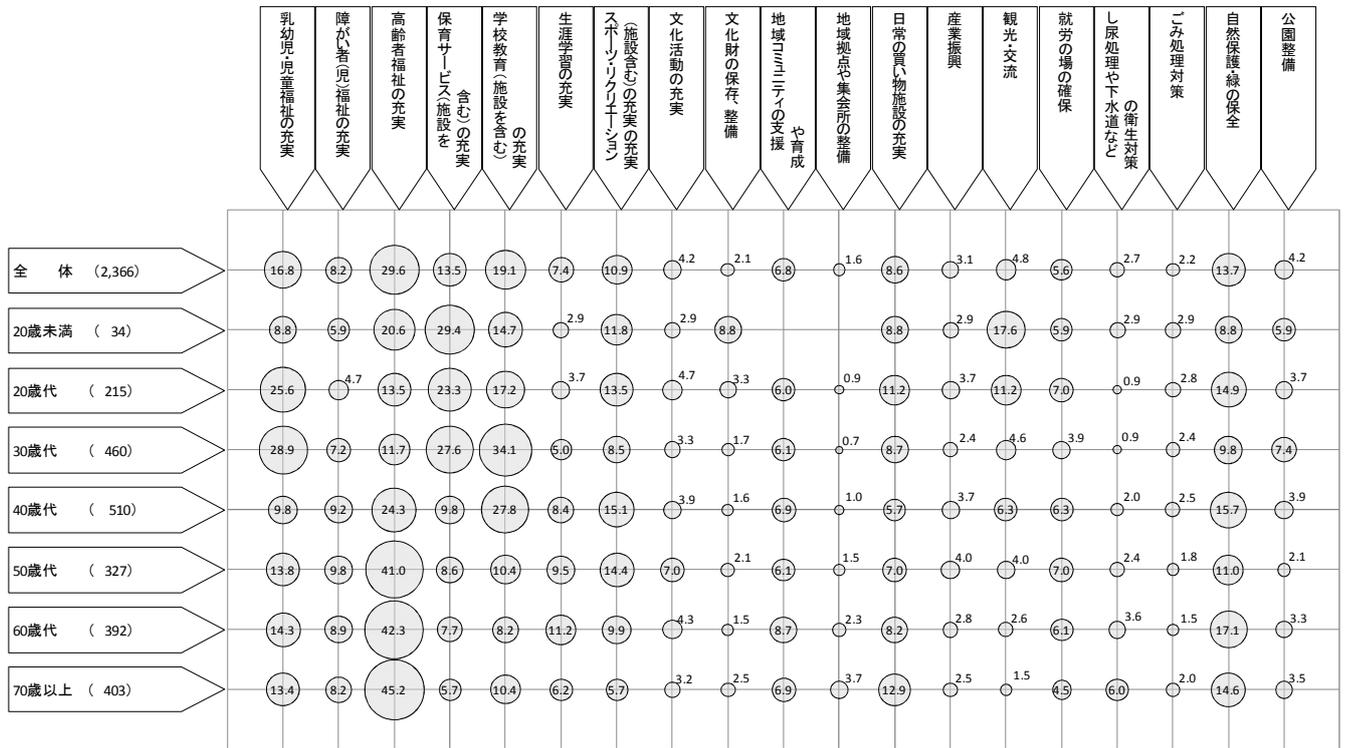
(4) 今後力を入れるべき施策

問15 長久手市は、今後どのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。次の中から選択してください。【〇は3つまで】

長久手市が今後、力を入れていくべき施策については、「高齢者福祉の充実」(29.6%)が最も多く、次いで「学校教育の充実」(19.1%)、「防犯対策」(19.1%)、「公共交通機関の整備」(18.6%)、「乳幼児・児童福祉の充実」(16.8%)などとなっている。

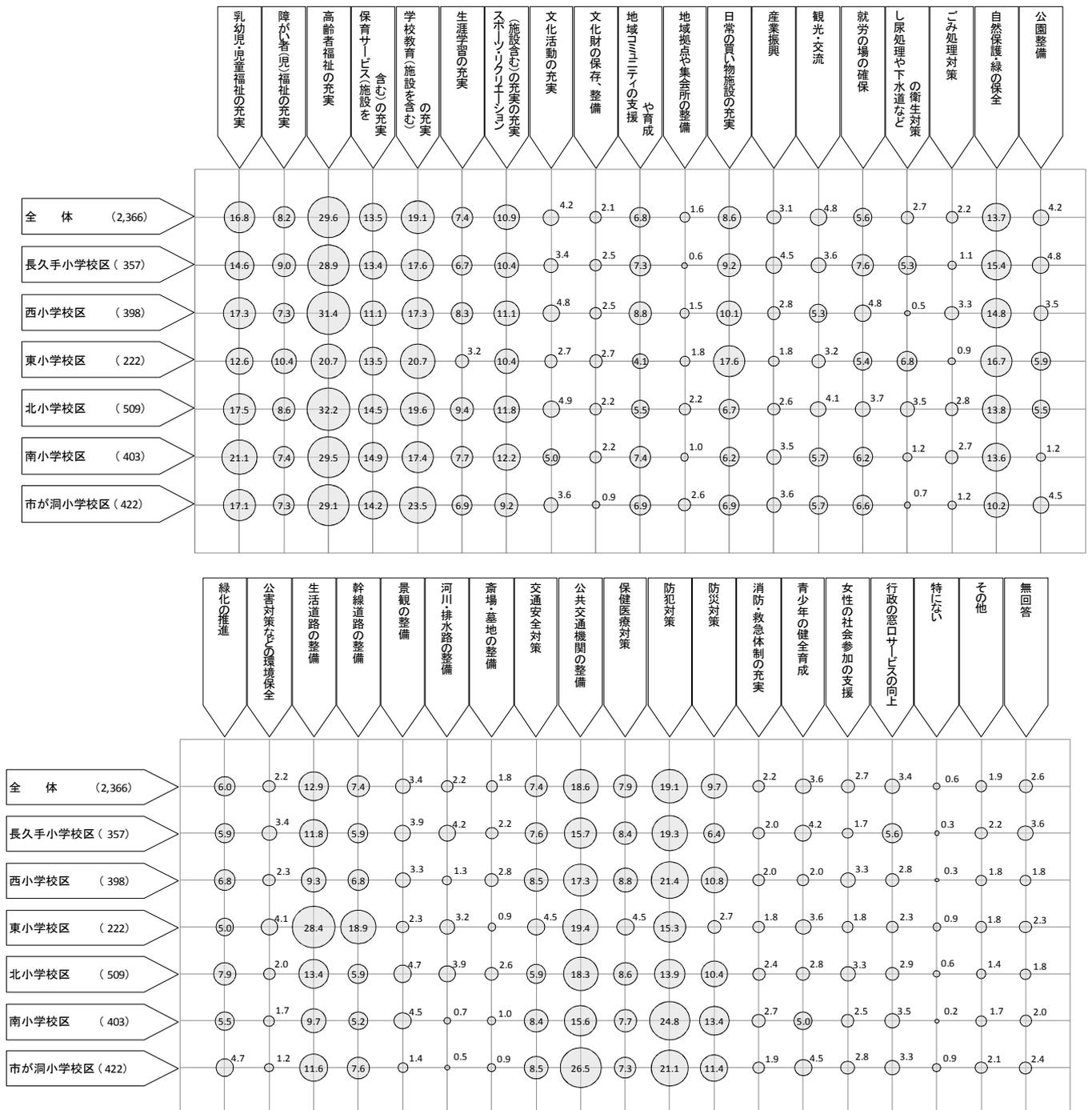
- 年齢別でみると、「高齢者福祉の充実」は、50歳代(41.0%)、60歳代(42.3%)、70歳以上(45.2%)が多い。
- 「乳幼児・児童福祉の充実」は、20歳代(29.6%)、30歳代(28.9%)が多い。
- 「保育サービスの充実」は、20歳未満(29.4%)、30歳代(23.3%)、40歳代(27.6%)が多い。
- 「学校教育の充実」は、30歳代(34.1%)、40歳代(27.8%)が多い。
- 「観光・交流」は20歳未満(17.6%)が多い。
- 「交通安全対策」はおおよそ年齢が低いほど、「保健医療対策」は年齢が高いほど多い。

図 6-4-1 今後力を入れるべき施策（年齢別）



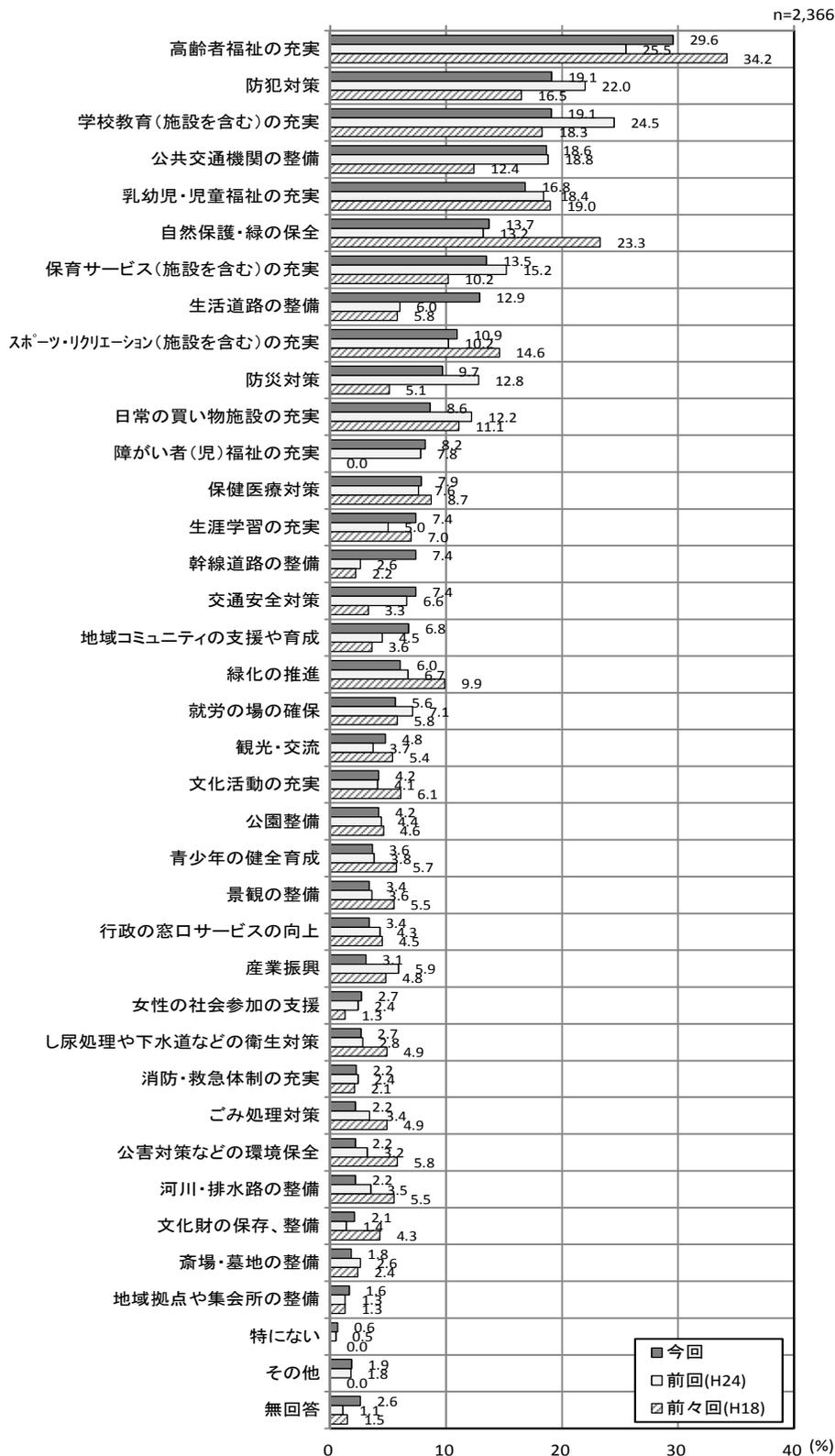
○小学校区別でみると、「日常の買い物施設の充実」、「生活道路の整備」、「幹線道路の整備」は、東小学校区（17.6%、28.4%、18.9%）で多い。

6-4-2 今後力を入れるべき施策（小学校区別）



- 過去の調査と比較すると、前回と比べて「生活道路の整備」が 6.9 ポイント、「幹線道路の整備」が 4.8 ポイント、「高齢者福祉の充実」が 4.1 ポイント多くなっている。
- 一方で、「学校教育の充実」が 5.4 ポイント、「日常の買い物施設の充実」が 3.6 ポイント、「防災対策」が 3.1 ポイント、「防犯対策」が 2.9 ポイント少なくなっている。

図 6-4-3 今後力を入れるべき施策



7. 市政全般について（自由意見）

問16 長久手市のまちづくりについてご意見がありましたら、自由にご記入ください。

長久手市のまちづくりについて、回答者のお考えを自由記述方式でたずねたところ、延べ1,029件のご意見をいただきました。なお、1人で複数の分野にわたりご意見を記入している場合、それぞれの分野（基本施策）に分類しても文脈が損なわれないものは分類し、文脈が損なわれると判断したご意見については、最も多く記述している分野のご意見としました。

第5次総合計画の施策体系に合わせて分類した意見数を下記に示します。また次ページ以降、第5次総合計画の施策体系に合わせ、基本施策に関係する主なご意見を抜粋してご紹介します。

1 万博理念を継承し、自然環境にこだわるまち	136	4 文化をみがき、人が輝くまち	87
11 環境保全	17	41 学校教育	34
12 ごみ対策・リサイクル	18	42 生涯学習	19
13 公害対策	9	43 青少年健全育成	7
14 公園緑地	50	44 文化・芸術	4
15 自然環境保全	27	45 スポーツ	19
16 河川	6	46 男女共同参画社会	1
17 農業(田園バレー)	6	47 国際交流	3
119 その他	3	419 その他	0
2 リンモでにぎわい交流するまち	332	5 みんなの力を結集する自治と協働のまち	108
21 市街地整備	13	51 地域協働	14
22 住宅・宅地	7	52 地域自治	24
23 道路	133	53 大学連携	4
24 上水道	2	54 広報・広聴	22
25 下水道	6	55 行政運営	20
26 公共交通	92	56 人事管理(窓口サービス含む)	13
27 駐車場・駐輪場	10	57 財政運営	8
28 都市景観	7	519 その他	3
29 商工業	27	60 アンケートについて	24
210 観光交流	33	70 市政運営全般に関する意見	122
219 その他	2	80 市政運営以外に関する意見	2
3 人がいきいきとつながるまち	218	全意見数	1,029
31 防災	6		
32 防犯	38		
33 交通安全	28		
34 障がい者福祉	7		
36 地域福祉	6		
37 生活支援	1		
38 高齢者福祉	25		
39 子育て支援	73		
310 消防・救急	2		
311 地域医療	8		
312 保健衛生	2		
313 健康増進	9		
314 食育	2		
315 墓園	2		
316 勤労者福祉	8		
317 消費者保護	0		
319 その他	1		

1 万博理念を継承し、自然環境にこだわるまち

1 環境保全（意見数：17）
自然環境にこだわる街づくりを目指すのであれば、自家用車の不要な街づくりをエコロジーの観点からも目指すべきではないか。すみやすい街という評判をきいて、転入先として決定しましたが、車移動の人ばかりのため道を歩く人が少なく、小学生の子供を一人で歩かせるのも不安です。（女性、40～49歳、北小学校区）
道路、歩道、空き地等にごみの散乱が多いので市全体できれいな町を作って欲しい。（男性、60～64歳、市が洞小学校区）

2 ごみ対策・リサイクル（意見数：18）
ゴミの収集頻度が少ない、プラゴミは毎週回収日がほしい。（女性、20～29歳、西小学校区）
長久手市は新たに移住された住民が多い地域だからかもしれませんが、ゴミ出しのマナーがすごく悪いと思います。これからさらに良く発展していく街の中で生活していく上で、このゴミの状況がすごく目につきます。（女性、30～39歳、東小学校区）

3 公害対策（意見数：9）
家庭でゴミを燃やすのか、時々匂い、煙が気になる。禁止ではないのか。洗濯物に臭いが付着し困る。（女性、40～49歳、北小学校区）

4 公園緑地（意見数：50）
公園で子どもが自由にボール遊び等ができる公園づくり。年齢を問わず、使用できたらいいと思う。（女性、30～39歳、東小学校区）
公園の草刈り等の整備にもっと力を入れてほしい。（男性、40～49歳、北小学校区）
歩道に植木や花を植えてください。（女性、65～69歳、市が洞小学校区）

5 自然環境保全（意見数：27）
長久手は市の東西で住宅地など都市と自然がはっきり分かれると思いますが、「ありのままの自然の良さ」にもう少し手を加えて、市民が楽しめる自然に活かして欲しいと思います。きっと市外の人にも訪れなくなる長久手になるのではと思います。（女性、40～49歳、北小学校区）
長久手に住み始めたころは、自然が残っていて良いと思ったが、都市計画がきちんとできていなかったのか、私有地の開発が個人に任されていて緑がなくなった。猪高の森の長久手側は殆ど住宅になってしまった。里山の保全も十分ではない。（女性、70～74歳、市が洞小学校区）

6 河川（意見数：6）
香流川沿い（図書館辺り～北保育園）とその先が整備されていない。草刈りの回数が少なく、夏は蛇もたくさんいて怖い。環境が素晴らしいのでランニングコースや散歩ができるようになれば、子供からお年寄りまで市民の集いの場所になると思う。（女性、50～59歳、南小学校区）

7 農業（田園バレー）（意見数：6）
農業放棄地の雑木・雑草等で隣接地での農業が困難になっているので、何らかの対策が必要に思う。（男性、65～69歳、市が洞小学校区）

2 リニモでにぎわい交流するまち

1 市街地整備（意見数：13）

リニモ沿線の活性化があまり進んでいないと思います。現在、商業施設を建設中ですが、長久手古戦場駅周辺の「リニモテラス構想」が実現されようとしているのかが、はっきりとはわかりません。また、リニモ沿線を活性化するためには長久手古戦場駅～公園西駅の間にできるだけ早く住宅地を整備していただきたいです。（男性、20～29歳、西小学校区）

街の老化が進み、一度衰退してしまうと、藤が丘のようになかなか復活できません。計画的な街づくりがとても重要だと思います。（女性、50～59歳、南小学校区）

2 住宅・宅地（意見数：7）

リニモ沿線を活性化するためには長久手古戦場駅～公園西駅の間にできるだけ早く住宅地を整備していただきたいです。（男性、20～29歳、西小学校区）

3 道路（意見数：133）

道路を二車線にしてほしい。グリーンロードからモリコロパーク西口の方に向かう道が一車線で、渋滞にはまると動けなくなる。大型商業施設ができてこれがもっとすごくなると思うと心配。（男性、20～29歳、西小学校区）

車道と歩道、自転車道を明確に分けて、できたら完全に分離する等、道路整備をして欲しいです。子供や高齢者をはじめ、車を運転する人にとってもその方が安全でストレスなく住めると思います。（女性、20～29歳、西小学校区）

大型商業施設ができて、道路の混雑によって排気ガスが増えるので、街路樹の設置など環境整備をしてほしいです。（女性、40～49歳、北小学校区）

4 上水道（意見数：2）

岩作蛇洞は水道をひいてないので、ひいてほしい。未だに井戸水で不便。（男性、40～49歳、北小学校区）

5 下水道（意見数：6）

下水道の整備を早くしてほしい。（男性、50～59歳、南小学校区）

6 公共交通（意見数：92）

今後、リニモの利用客増加を考えると、本数を増やしたり、運賃の見直しをするべきだと考えられる。（男性、20～29歳、西小学校区）

Nバスのルートが藤が丘駅、市役所、福祉の家などの主要拠点と効率的につながっているとは思えない。再検討を期待している。（男性、75～79歳、市が洞小学校区）

名古屋市の地下鉄に乗るにあたり、リニモ藤ヶ丘と地下鉄藤ヶ丘の乗り換えがスムーズになれば良いと思う。リニモと地下鉄の直結が望ましい。できなければ、駅も一体化させて欲しい。（男性、40～49歳、北小学校区）

7 駐車場・駐輪場（意見数：10）

文化の家、杵ヶ池公園、図書館へ車で行くことがありますが、住民の増加に伴い、駐車場の空きが少ないと思います。導入にはお金がかかると思うのですが、必要な人の為に有料化を考えても良いのではないかと思います。（女性、40～49歳、北小学校区）

8 都市景観（意見数：7）

景観の良いまちを維持継続してください。（男性、30～39歳、東小学校区）

9 商工業（意見数：27）
商業施設に頼らない街づくりを希望します。（男性, 50～59 歳, 南小学校区）
企業が増えれば雇用も増え、人口も増え、市の収入も増え、やれる事の幅が増えると思います。（男性, 30～39 歳, 東小学校区）

10 観光交流（意見数：33）
モリコロパークでコンサートやイベントを開催して、市外からも人がたくさん集まる環境を作って欲しい。リニモの活性化につながる。（女性, 40～49 歳, 北小学校区）
もう少し歴史ある所なので。他の地域の人にももっと長久手の歴史を知ってもらえるようなアピールをして欲しいです。（女性, 20～29 歳, 西小学校区）

3 人がいきいきとつながるまち

1 防災（意見数：6）
防災の放送が、晴れた昼間であっても全く聞こえない。（チャイムは聞こえるため、何か放送しているのはわかる）。有事の時に車で回って放送内容を伝えているのを目にするが、激甚災害のようなことが起これば、車で回ってくるなんて難しくなる。電気系統が切れたらダメだろうが、車よりははるかに早く情報が伝わるので、市内に聞けないところがでないよう調査し対応してほしい。（女性, 30～39 歳, 東小学校区）

2 防犯（意見数：38）
犯罪発生数を減らせるよう防犯カメラ設置等してほしい。（女性, 30～39 歳, 東小学校区）
人口も増えてきました。青パトがパトロールをしてくださっているのは安心ですが、市民が安心して暮らせる一つの条件として、交番を増やしてほしいと思います。また、市民からの要望についてどのような話し合いがされ、どうなったのかも知りたいものです。（女性, 60～64 歳, 市が洞小学校区）

3 交通安全（意見数：28）
市外からの車が多くなるので、渋滞がとても困る。対策を速く発表してもらいたい。子供の通学路で大きな道路に面しているのにガードレールがない。スピードを出す車も多いので不安です。（女性, 40～49 歳, 北小学校区）
長久手市は交通事故や交通安全に関する意識が低い。（女性, 20～29 歳, 西小学校区）

4 障がい者福祉（意見数：7）
障害の重い子供が通う盲学校、聾学校、特別支援学校はいずれも遠く、毎日の通学の負担は大きい現状です。義務教育の期間の教育は長久手市内の小中学校で行われるようにしたいと思います。大阪市立の「大空小学校」のような学校が理想。市内の小中学校のバリアフリー化を図ると共に、市民の力も借りて全ての子供が市内の小中学校で教育を受けられるようにしてください。また、障害のある子は早期からの望ましい発達を保证するため「児童発達支援センター」の1日も早い設置を図って下さい。（男性, 65～69 歳, 市が洞小学校区）

6 地域福祉（意見数：6）
年々乳幼児や児童福祉に対してはサービスが向上していると感じますが、乳幼児と高齢者の間の層（中・高・大学）を持っている家庭に対するものがない。もっとリハビリできるプールなど高齢者でなくても入れる施設がほしい。ござらっせにある歩行プールはお年寄り専用みたいになっていて若い人が入りにくい。（女性, 20～29 歳, 西小学校区）

7 生活支援（意見数：1）
安心して歳をとることができる生活支援の仕組み。介護する者たちを社会から孤立させないために。（女性, 40～49 歳, 北小学校区）

8 高齢者福祉（意見数：25）

小中学校、保育園の整備も必要だが、今後老人がもっともって増えていくので公共老人施設（各種老人ホーム等）を増やしてほしいものです。公共施設の絶対数が少ない。長久手市が民間施設に頼ろうとしないか、再度考えてほしい。今後親子で同居という昔ながらの家族構成はどんどん減ってきます。老人への予算を教育費と同じくらい重要視してほしいです。長久手市で老いていく老後が心配です。（男性、60～64歳、市が洞小学校区）

名古屋市はバス、地下鉄の無料パスがあるので、長久手市も名古屋に出ていく機会を増やすためにも、無料パスまでいかななくても、少しでも割引できるように考えてほしい。老人健康活性化の為に。 （女性、65～69歳、市が洞小学校区）

9 子育て支援（意見数：73）

若い人が住む、もどってくるということを大切にするなら、子育て世代の問題（保育受入体制の不十分さ、育休中に園で預かってもらえない）などの対策をすべき。何十年後に高齢者が増えるから、そのことも見据えて、園の増設を慎重としているのなら、逆効果でそのようなときが来るからこと、今から若者も暮らしやすいまちづくりをすすめていくべき。（男性、30～39歳、東小学校区）

育児サークルは充実しているし、保健センターの保健師さんは親切だし、助かっている所も多く、いい町だなと感じています。（女性、30～39歳、東小学校区）

名古屋市でやっているトワイライト、長久手でもやってほしいです。小学生のいる家庭で放課後や夏・冬春休みの子供の行き場がなく働きづらいので、名古屋市に住んでいるという友人が居ます。児童クラブも同じ料金を取るなら同じ時間預かって欲しいと思いました。以前住んでいた市町村より子どもを育てながら働くということにお金がかかったり、子供に負担があったりすると思っています。（女性、30～39歳、東小学校区）

10 消防・救急（意見数：2）

長久手市東部へ居住地域が広がっていく中で、長久手消防本署のみで消防、救急をカバーすることは困難ではないか。分署の設立と救急隊の増隊が必要では。（男性、30～39歳、東小学校区）

11 地域医療（意見数：8）

現在長久手市内に大病院は愛知医科大学しかないので、今後ますますの高齢化に備え、医療（病院）の充実を図って欲しいです。（女性、40～49歳、北小学校区）

12 保健衛生（意見数：2）

がん定期健診について、現在のネットでの情報展開ではなく、対象年齢時に市から郵便によるアナウンスをお願いしたい（豊田市では受診率上げる事を目的に概に実施中）。（男性、30～39歳、東小学校区）

13 健康増進（意見数：9）

高齢者の健康維持のために、共生ステーション等通りやすいところに健康器具を設置し、体力向上・維持を推進してはいかがでしょうか。（女性、40～49歳、北小学校区）

14 食育（意見数：2）

小学校の給食を各自で作る事ができれば、もっとせっかくの長久手のとれたものを美味しく子供達が食べる事ができるので、小学校入学のお子さんが増えるかも。（女性、40～49歳、北小学校区）

15 墓園（意見数：2）

墓地の整備は重要。市外の友人から樹木葬のことをよく聞かれます。（女性、50～59歳、南小学校区）

16 勤労者福祉（意見数：8）

子育て世代もだが、これから高齢者も増えるし、高齢者が活躍できる場、高齢者が働ける場が必要だと思う。高齢者でも働いて稼げる雇用も必要。（女性、30～39歳、東小学校区）

4 文化をみがき、人が輝くまち

1 学校教育（意見数：34）

市が洞、片平地区の子供の数が増加してくることから、この地区に中学校の新設を求めます。（男性、20～29歳、西小学校区）

教育小、中、高の学力レベルの向上を。名古屋市を中心としたレベルに劣るのではないか。学ぶ意欲を持たせるにはどうすべきか。子供の力が未来の長久手の支援と思う。（男性、80歳以上、市が洞小学校区）

2 生涯学習（意見数：19）

市民交流の機会をもっと増やしてほしい。無料の文化セミナー等、無料でなくてもいいが、文化の家とかで講演会や市民向けの講座をやってくれるといいなと思います。（ポーラセーツや手芸、裁縫等）。子供同伴も可なら尚良い。（女性、30～39歳、東小学校区）

図書館や市民が利用する施設の充実も必要。（女性、50～59歳、南小学校区）

3 青少年健全育成（意見数：7）

若者を大切に育てる事、大切にすること。多くの若者が国際化に対応する能力、政治・経済、地域の実状を学ぶ色々な仕組みを考えて欲しい。そして地域の良きリーダーを育てて欲しい。（男性、70～74歳、市が洞小学校区）

4 文化・芸術（意見数：4）

市立の美術館が欲しいですが、歴史的財産が有るので博物館を作っても良いかと思います。（女性、60～64歳、市が洞小学校区）

5 スポーツ（意見数：19）

スポーツ施設を作ってほしいです。杵ヶ池体育館のトレーニングジムを利用する事がありますが、施設が小さく、雨漏りもします。もっと広くて充実したスポーツ施設があると良いと思います。高齢者用のスポーツ施設もあると良いです。（女性、40～49歳、北小学校区）

市民が参加出来る講座やスポーツ教室をもっと増やして欲しい。（女性、30～39歳、東小学校区）

6 男女共同参画社会（意見数：1）

同性結婚についてどうお考えでしょうか。同性婚のパートナーシップを取り入れたいはしないのでしょうか。（女性、30～39歳、東小学校区）

7 国際交流（意見数：3）

人選などによって海外留学、ホームステイの受け入れや、海外のホームステイなどを公費で賄うことを考えられないだろうか。（男性、60～64歳、市が洞小学校区）

5 みんなの力を結集する自治と協働のまち

1 地域協働（意見数：14）

市政運営についてとても頑張っていて、非常に住みやすい街になっていると感じております。感謝しています。ありがとうございます。長久手の未来ですが、30～50代の方は仕事等が忙しくなかなか“協働”ができないと考えます。とはいえ、自分たちの町でそれなりの“想い”はあるはずで、もっと気軽に市民の意見やニーズを相互共有できる仕組みがあるとよいと思います。（男性、30～39歳、東小学校区）

今の当事者は誰か。2025年の当事者は誰か。65才の団塊の世代が後期高齢者になる。2050年の当事者は誰か。団塊ジュニアが後期高齢者になる。このことを具体的に分かりやすく説明し、市民全員に当事者意識を持ってもらい、各年代は今日から何をすべきか、考え、行動して貰う事ではないかと思います。（男性、70～74歳、市が洞小学校区）

2 地域自治（意見数：24）

共生ステーションといった場所を提供してもらえるのはとてもありがたいと思います。このような年齢を越えてコミュニティがとれる施設があるのは良いです。（女性、30～39 歳、東小学校区）

長久手市に引っ越しして3年ですが、本当に長久手を選んで良かった。それは、地域の人達がみんな若く活気があるから、あいさつを返してくれる、当たり前のことだけど、名古屋に住んでいた時はその挨拶すらなかった。長久手市は本当に同世代が多く、子どもも同い年が多いので、いつまでも活気のある街にしたい。（男性、30～39 歳、東小学校区）

3 大学連携（意見数：4）

全国的に平均年齢も若いまちがPRポイントでもあり、大学生が多く（一時的）住んで居るため、学生と共同してイベントやまちづくりを学べると良いと思う。学生の力を生かして学びの場をつくり学んだ事を市へ発信できるような環境を作る。（女性、20～29 歳、西小学校区）

4 広報・広聴（意見数：22）

このような意識調査を行う事は、非常によいことだ。幅広く民意を問う取り組みは継続してほしい。一方土日や夜間しか時間のない人から直接ヒアリングする機会はまだ十分とはいえない。そういう層の人々からも是非意見を聞いてほしい。高齢者に焦点が集まりがちだが、子育てしやすい街づくり、健康長寿を目指す、生涯学習がもとめられるような気がする。（男性、50～59 歳、南小学校区）

市政と市民をつなげる為に、スマホなどのモバイルからアクセスしやすい仕組みで市民参加を加速させると良いと思います。そんなアプリがあり、市民全員が簡単にできるようになればと思います。意見提案の集め方もモバイルからでどうでしょうか。（男性、40～49 歳、北小学校区）

5 行政運営（意見数：20）

仕事をしているため、土日祝、夜間の役所窓口業務を充実させてほしい。エコハウスは土日でも利用でき、とても助かっています。ありがとうございます。（女性、20～29 歳、西小学校区）

市役所の建て直しをして欲しい。5万人の行政の中心として、また災害時の拠点としては手狭であり、建て増しの連続でわかりにくい。（男性、70～74 歳、市が洞小学校区）

6 人事管理（窓口サービス含む）（意見数：13）

市役所の職員の方の対応が丁寧、親切でとてもイメージがよいです。（男性、30～39 歳、東小学校区）

市役所職員の教育が全くなっていない。まず日ごろからの教育をしてほしい。先般も電話で質問したら、3回もたらいまわしにされた。しかも電話を回す時、何も言わずに突然保留にしてしまう。こんなこと企業だったら大問題ですよ。市役所職員の部門別教育を定期的に行なってほしい。（男性、70～74 歳、市が洞小学校区）

7 財政運営（意見数：8）

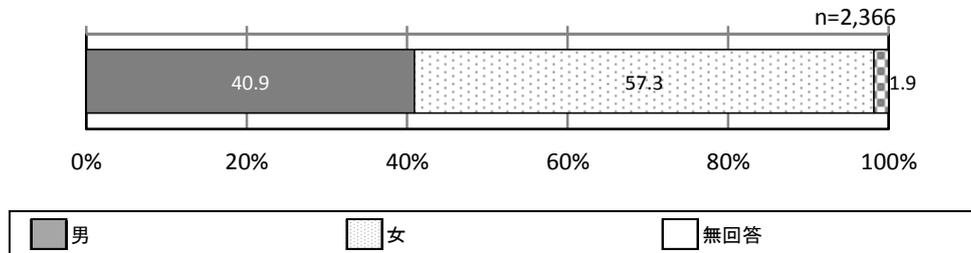
長久手市に人口が増加、流入する傾向が続く中で、土地代が上がり、費用面では負担も増している。市民の負担減をこれからより考えてほしい。（男性、40～49 歳、北小学校区）

8. 回答者の属性

問17(1) あなたの性別は、次のうちどれですか。【○は1つ】

回答者の性別は、男性が40.9%、女性が57.3%となっている。

図8-1 性別

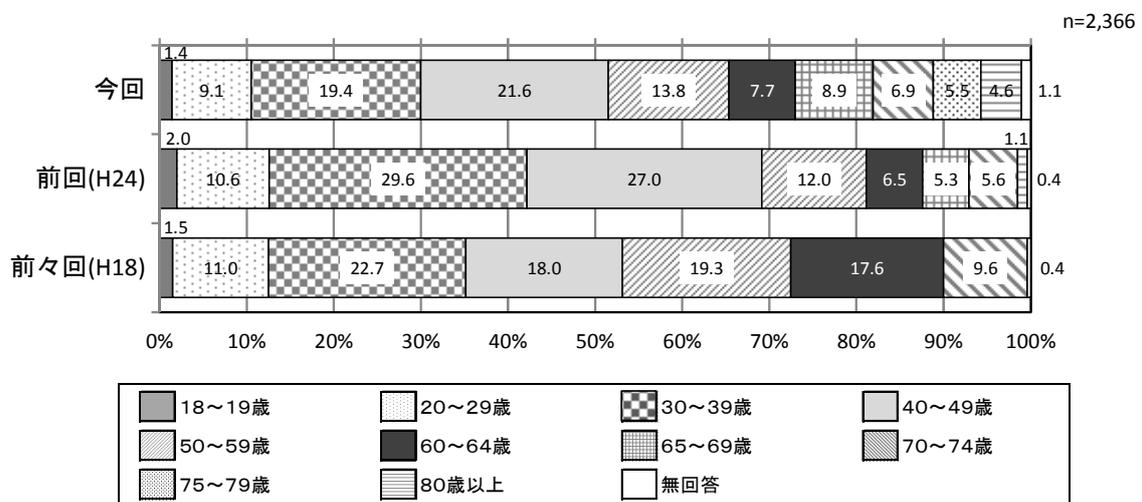


問17(2) あなたの年齢は、次のうちどれですか。【○は1つ】

回答者の年齢は、「40～49歳」が21.6%と最も多く、次いで「30～39歳」(19.4%)となっている。

○過去の調査と比較すると、前回より「30～39歳」が10.2ポイント、「40～49歳」が5.4ポイント少なく、一方で70歳代が6.8ポイント多くなっており、年齢層が高くなっている。

図8-2 年齢（経年変化）



※前回の選択肢：70～74歳の凡例→70～79歳

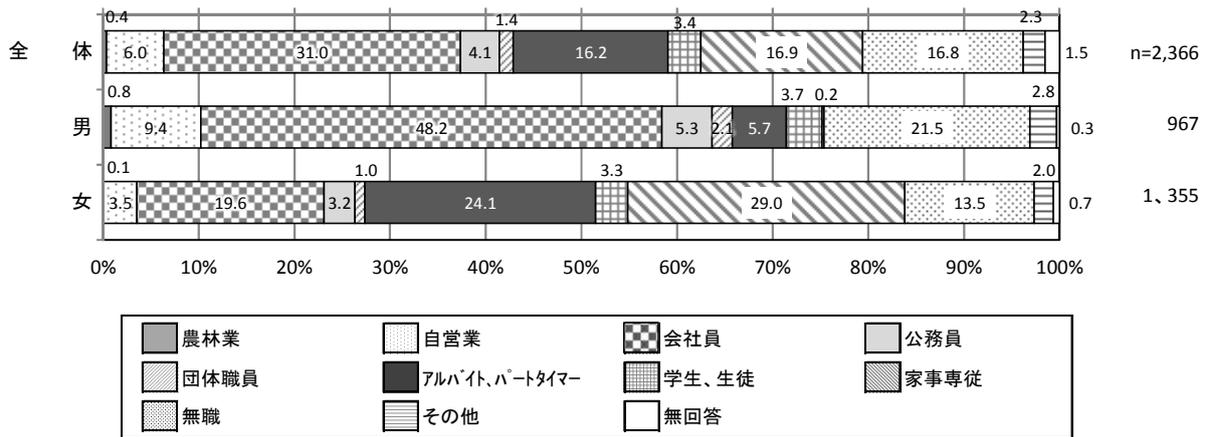
前々回の選択肢：60～64歳の凡例→60～69歳、70～74歳の凡例→70歳以上

問17(3) あなたの職業は、次のうちどれですか。【○は1つ】

回答者の職業は、「会社員」が31.0%と最も多く、次いで「家事専従」(16.9%)、「無職」(16.8%)、「アルバイト、パートタイマー」(16.2%)となっている。

○性別でみると、男性では「会社員」が48.2%と約半数を占めており、女性では「家事専従」が29.0%、「アルバイト、パートタイマー」が24.1%と3割弱となっている。

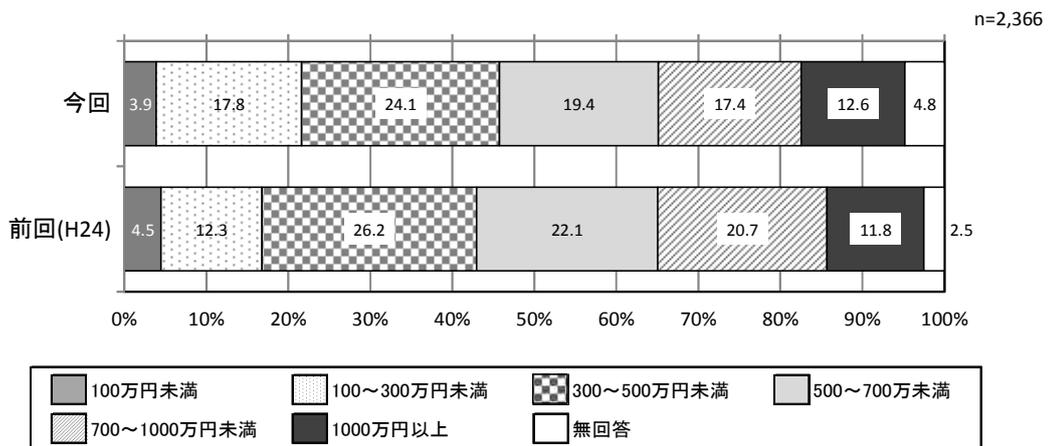
図8-3 職業（性別）



問17(4) あなたの家庭全体の年収はどのくらいですか。【○は1つ】

回答者の家庭全体の年収は、「300～500万円」が24.1%と最も多く、次いで「500～700万円」(19.4%)、「100～300万円」(17.8%)、「700～1,000万円」(17.4%)となっている。

図9-3 家庭全体の年収（経年変化）

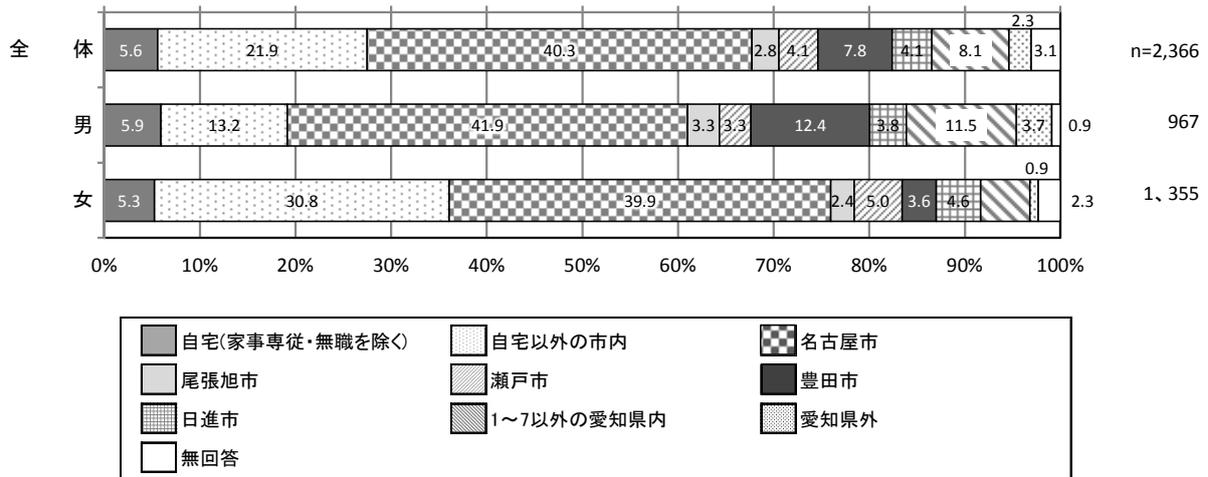


問17(5) あなたの通勤先・通学先は、次のうちどれですか。【○は1つ】

回答者の通勤先・通学先としては、「名古屋市」(40.3%)が最も多く、次いで「自宅以外の市内」(21.9%)、「それ以外の愛知県内」(8.1%)、「豊田市」(7.8%)となっている。

○性別でみると、男性では「豊田市」(12.4%)が女性(3.6%)よりも多く、女性では「自宅以外の市内」(30.8%)が男性(13.2%)よりも多い。

図9-4 通勤先・通学先(性別)

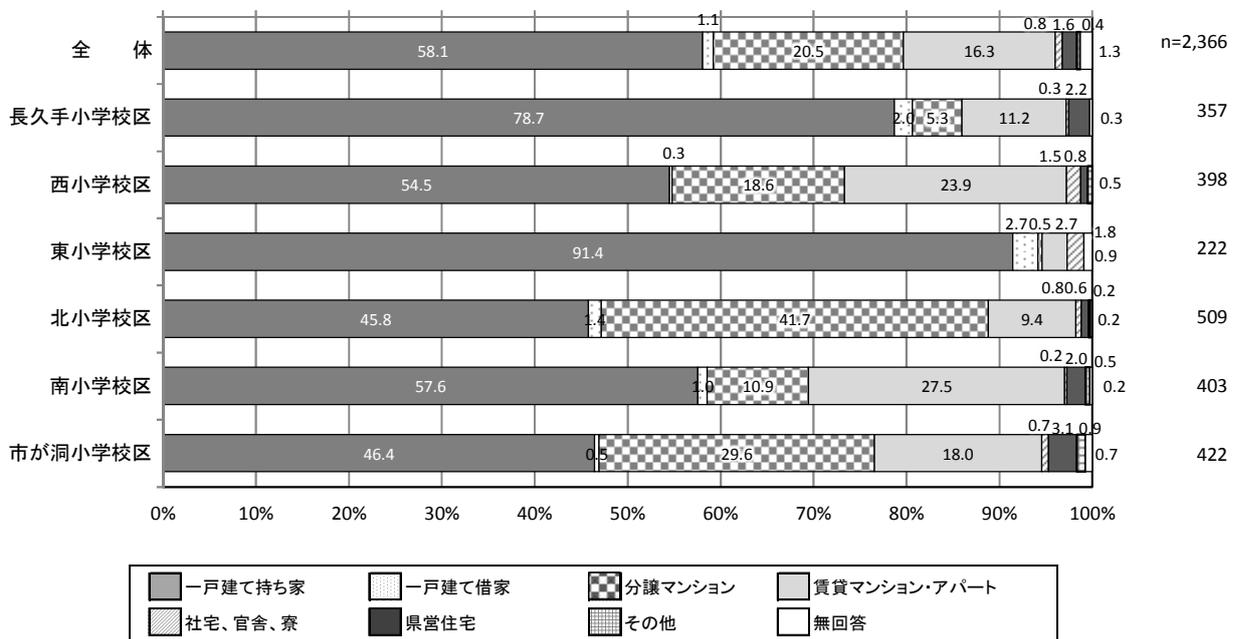


問17(6) あなたのお住まいは、次のうちどれですか。【〇は1つ】

回答者の住まいについて、「一戸建て持ち家」が58.1%と最も多く、次いで「分譲マンション」(20.5%)、「賃貸マンション・アパート」(16.3%)となっている。持ち家の回答を合わせると、全体で78.6%と8割弱となっている。

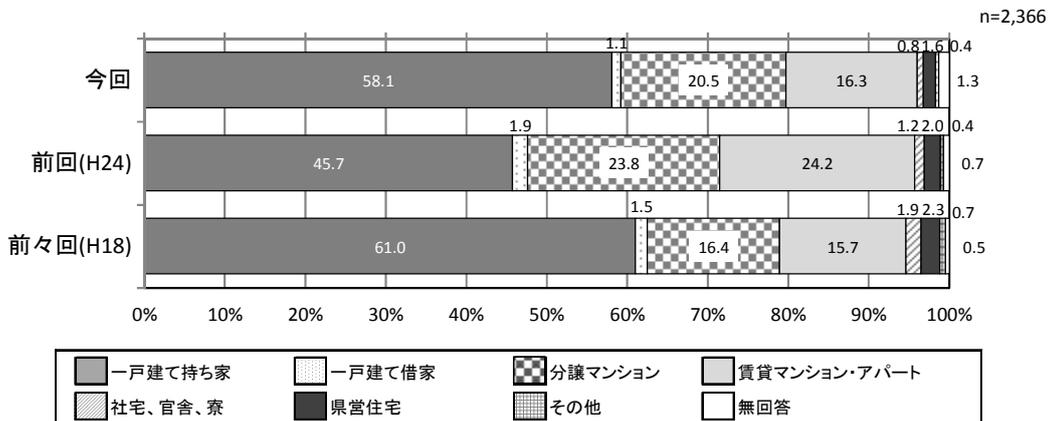
- 小学校区別でみると、東小学校区と長久手小学校区で、一戸建て持ち家がそれぞれ91.4%、78.7%と他の小学校区と比べて非常に多い。
- 北小学校区では、分譲マンション(41.7%)が他の小学校区と比べて多い。
- 南小学校区と西小学校区では、「賃貸マンション」がそれぞれ27.5%、23.9%と他の小学校区と比べて多い。

図9-5 住まいの形態（小学校区別）



○過去の調査と比較すると、前回(45.7%)より「一戸建て持ち家」が12.4ポイント多く、「賃貸マンション」は7.9ポイント少ない。

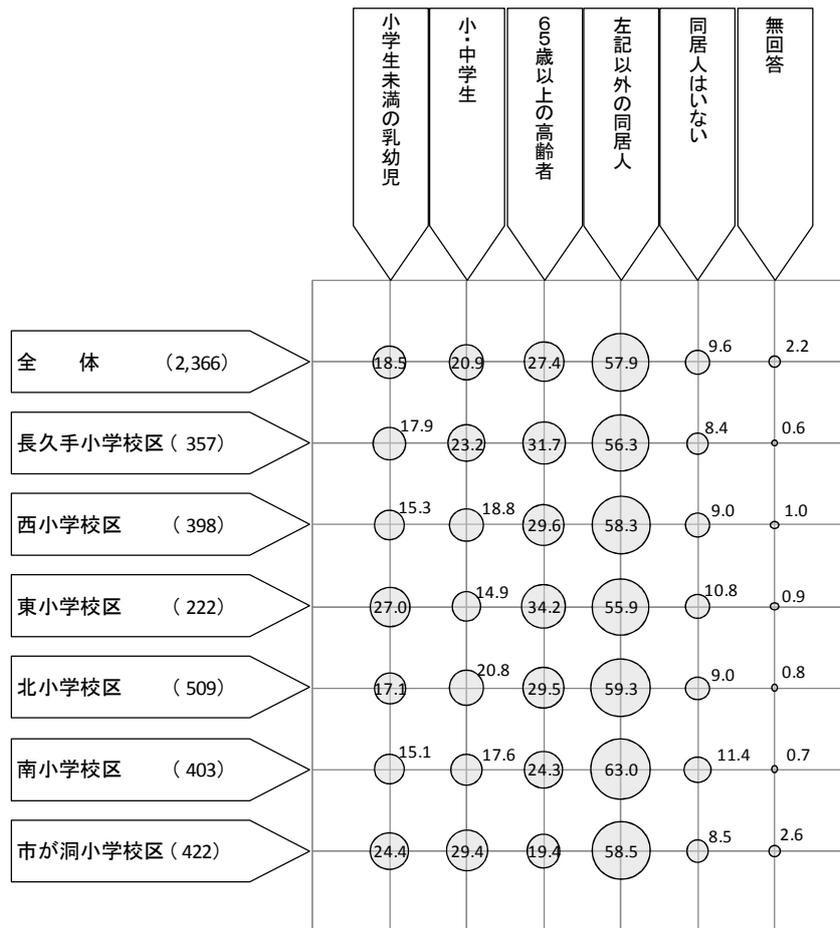
図9-6 住まいの形態（経年変化）



問17(7) あなたのお宅には、どのような方が同居していますか。次のうちあてはまるものをすべて選んでください。【○はあてはまるものすべて】

同居人の状況は、「左記（中学生以下の子ども及び高齢者）以外の同居人」が57.9%と最も多い。また、全回答者のうち2割程度で「小・中学生」（20.9%）、「小学生未満の乳幼児」（18.5%）がいるほか、3割弱の世帯に「65歳以上の高齢者」（27.4%）がいる。

図9-7 同居人の状況（小学校区別）

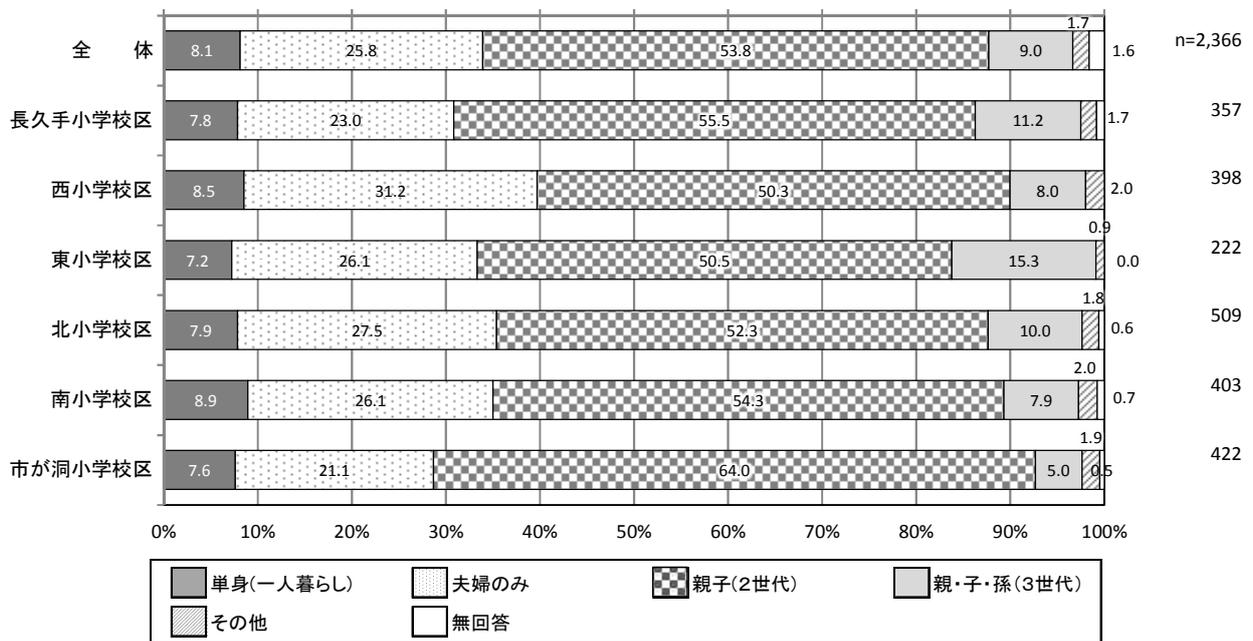


問17(8) あなたのご家族の形態は、次のうちどれですか。【○は1つ】

家族の形態としては、「親子（2世代）」が53.8%と最も多く、次いで「夫婦のみ」（25.8%）となっている。

- 小学校区別で見ると、市が洞小学校区で「親子（2世代）」（64.0%）が多く、「親・子・孫（3世代）」（5.0%）が少ない。
- 東小学校区では、「親・子・孫（3世代）」（15.3%）が全体より多い。
- 西小学校区では、「夫婦のみ」（31.2%）が全体より多い。

図 9-8 家族の形態（小学校区別）

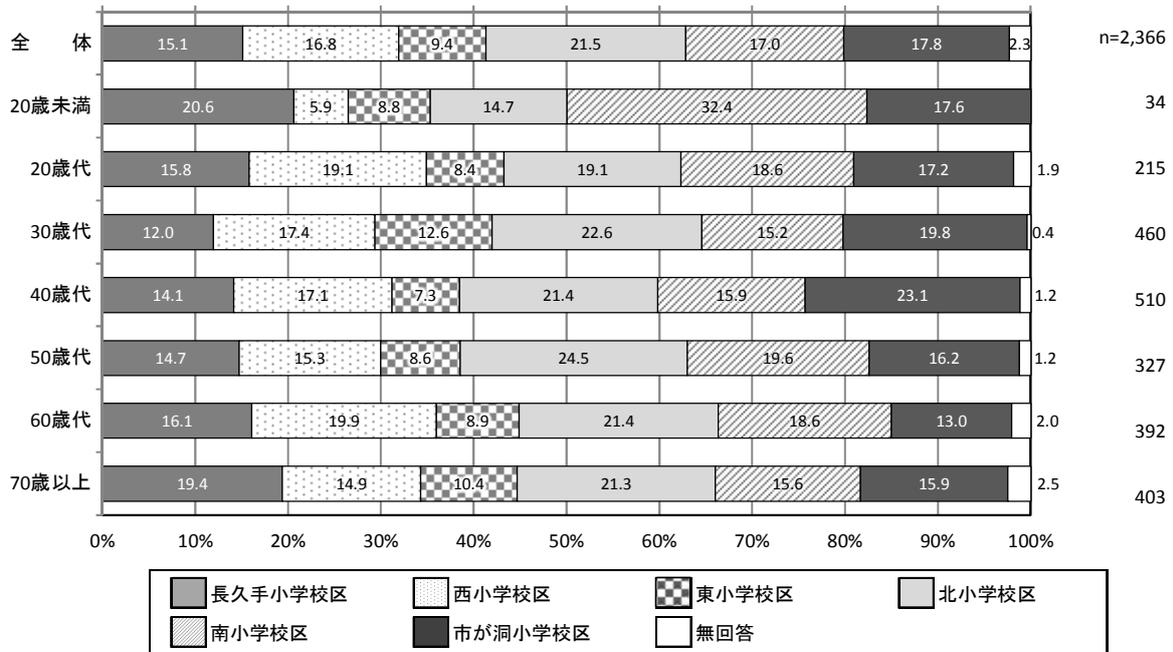


問17(9) あなたの小学校区はどこですか。【○は1つ】

回答者の居住小学校は、「北小学校区」が21.5%と最も多く、次いで「市が洞小学校区」(17.8%)、「南小学校区」(17.0%)、「西小学校区」(16.8%)となっている。

○年齢別でみると、20歳未満では「南小学校区」(32.4%)が最も多く、40歳代で「市が洞小学校区」(23.1%)が多い。

図9-9 小学校区（年齢別）



問17(10) あなたは、長久手市に居住して何年になりますか。【○は1つ】

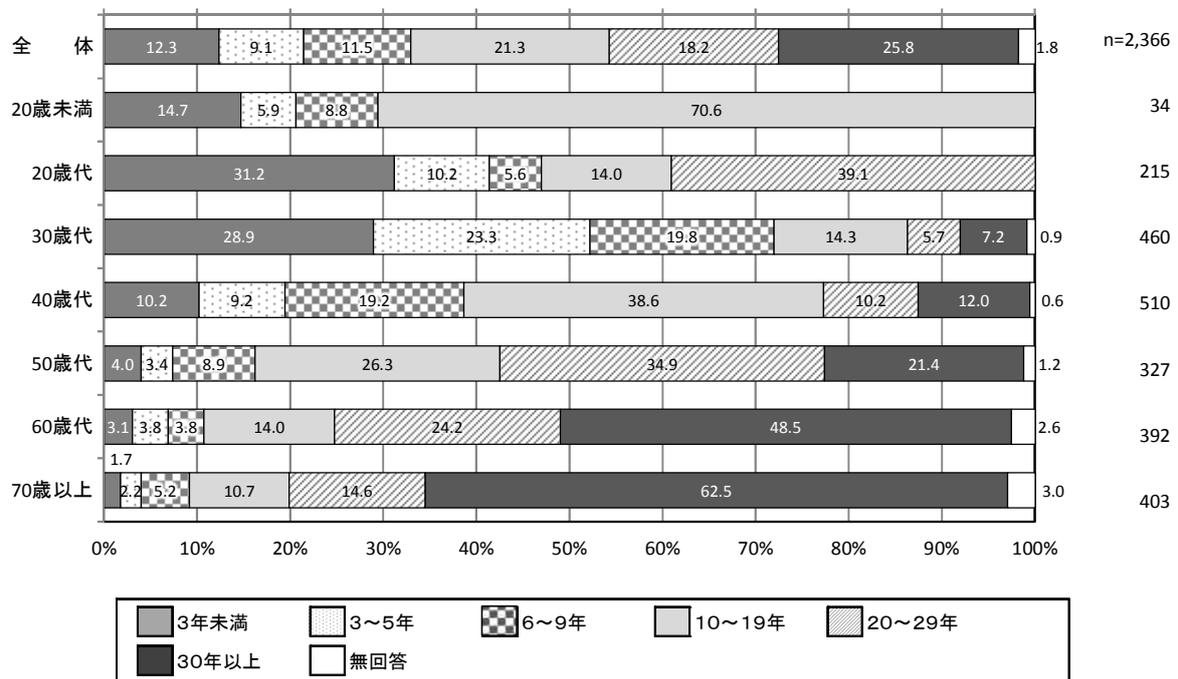
回答者の居住年数は、「30年以上」が25.8%と最も多く、次いで「10～19年」(21.3%)、「20～29年」(18.2%)となっており、10年未満は約3割強となっている。

○年齢別でみると、20歳代では、生まれてからずっと居住している人(20～29年)が39.1%と約4割で、「3年未満」(31.2%)が3割強となっている。

○30歳代では、「3年未満」(28.9%)、「3～5年」(23.3%)、「6～9年」(19.8%)を合わせて、7割強が10年未満となっている。

○40歳以上の世代については、年齢が上がるにつれ、居住年数が増えている。

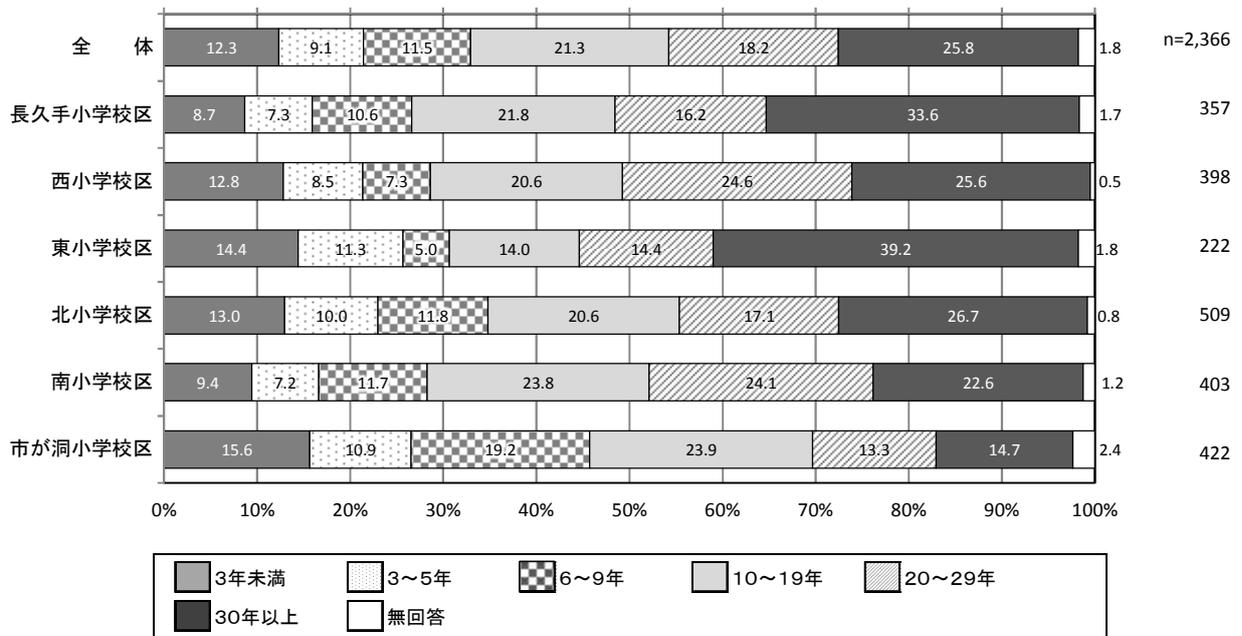
図9-10 居住年数(年齢別)



○小学校区別でみると、東小学校区では「30年以上」が39.2%と他の小学校区より多い。

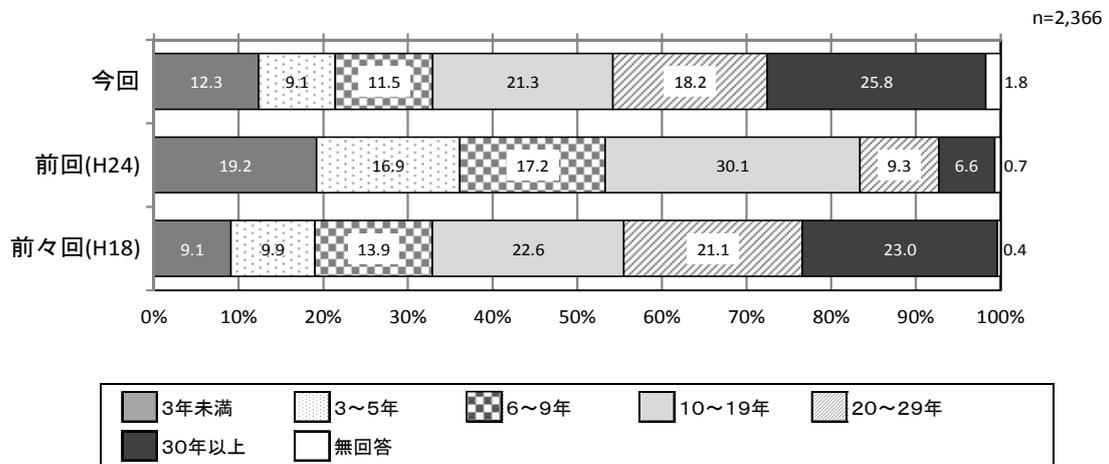
○市が洞小学校区では、10年未満（「3年未満」「3～5年」「6～9年」の合計）が45.7%と全体より多い。

図 9-11 居住年数（小学校区別）



○過去の調査と比較すると、前回より「30年以上」（19.2ポイント増加）、「20～29年」（8.9ポイント増加）が多くなっている一方、「3年未満」（6.9ポイント減少）、「3～5年」（7.8ポイント減少）、「6～9年」（5.7ポイント減少）、「10～19年」（8.8ポイント減少）と20年以下は少なくなっている。

図 9-12 居住年数（経年変化）

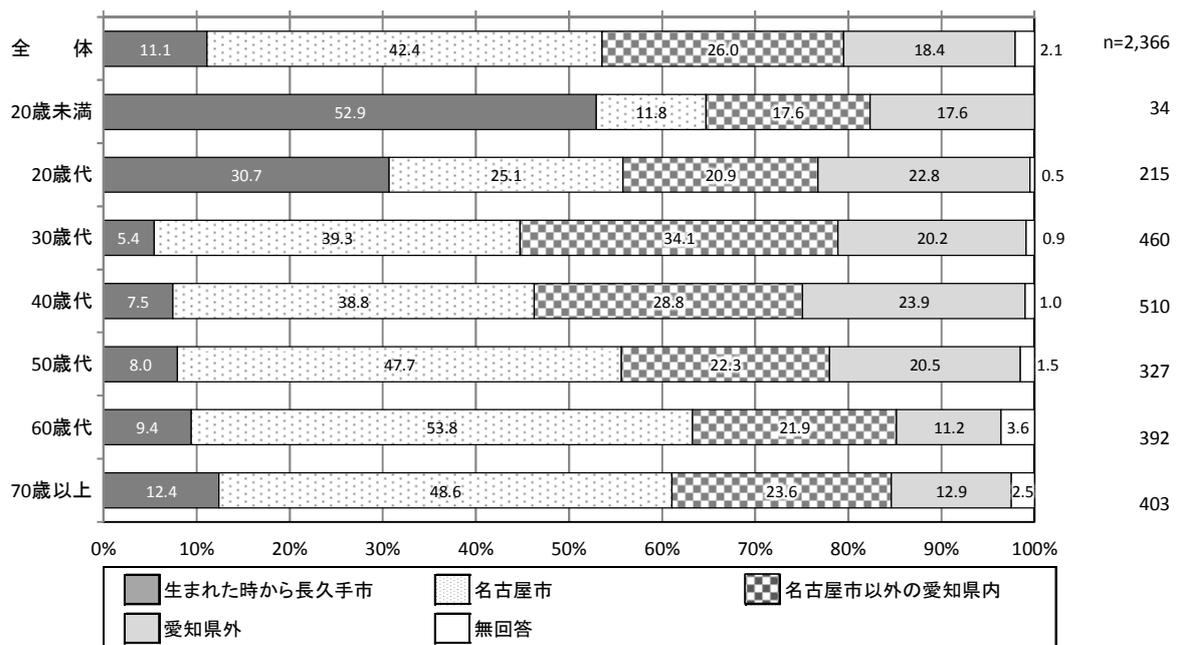


問17(11) あなたは、長久手市に住む以前はどこにお住まいでしたか。【○は1つ】

回答者の前住所は、「名古屋市」が42.4%と最も多く、次いで「名古屋市以外の愛知県内」(26.0%)となっている。一方、「生まれた時から長久手市」は11.1%となっている。

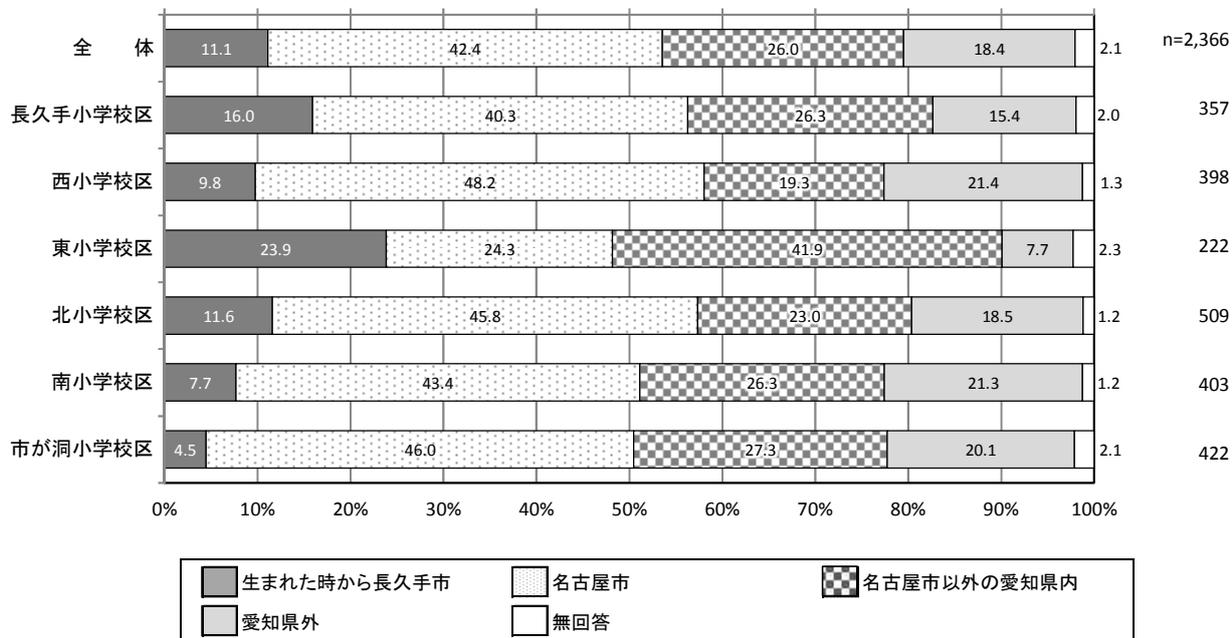
- 年齢別でみると、20歳未満は「生まれた時から長久手市」が52.9%と半数以上となっている。
- 20歳代では、「生まれた時から長久手市」が30.7%と約3割と最も多い。
- 30歳代では、「名古屋市」(39.3%)が4割弱と最も多い。「名古屋市以外の愛知県内」(34.1%)は全体より8.1ポイント多い。
- 40歳代と50歳代では、「名古屋市」がそれぞれ38.8%、47.7%と最も多く、「名古屋市以外の愛知県内」と「愛知県外」はそれぞれ2~3割程度となっている。
- 60歳代と70歳以上では、「名古屋市」がそれぞれ53.8%と48.6%と最も多く、「名古屋市以外の愛知県内」が2割強、「愛知県外」が1割強となっている。

図9-13 以前の住所（年齢別）



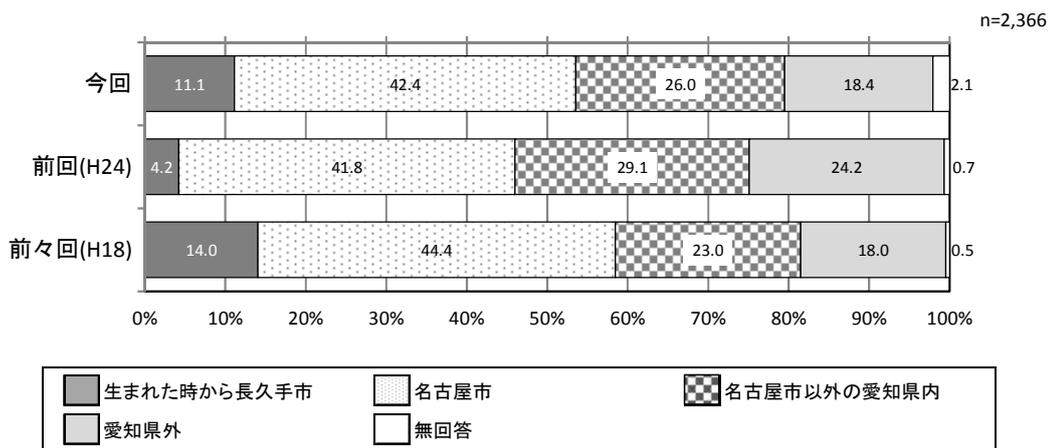
○小学校区別でみると、東小学校区では「生まれた時から長久手市」(23.9%)と「名古屋市以外の愛知県内」(41.9%)が全体より多く、「名古屋市」(24.3%)が少ない。

図 9-14 以前の住所 (小学校区別)



○過去の調査と比較すると、「生まれた時から長久手市」が前回(4.2%)より6.9ポイント多く、「愛知県外」が前回(24.2%)より5.8ポイント少ない。

図 9-15 以前の住所 (経年変化)

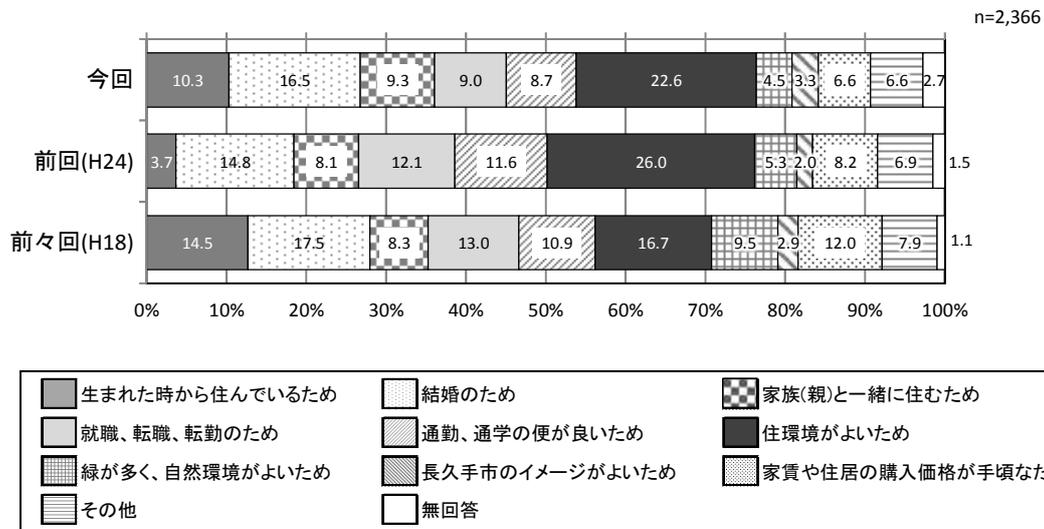


問17(12) あなたが長久手市に住んでいる理由は何ですか。【○は1つ】

長久手市に住んでいる理由は、「住環境がよいため」が22.6%と最も多く、次いで「結婚のため」(16.5%)、「生まれた時から住んでいるため」(10.3%)、「家族(親)と一緒に住むため」(9.3%)、「就職、転職、転勤のため」(9.0%)となっている。

○前回調査と比較すると、「生まれた時から住んでいるため」が前回(3.7%)より6.6ポイント多い。

図9-16 住んでいる理由(経年変化)



參考資料 調查票

長久手市市民意識調査

ご協力をお願い

日ごろから、市政の推進につきまして、格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

長久手市では、平成21年3月に「第5次総合計画」を策定し、町の将来像「人が輝き緑があふれる 交流都市 長久手」を実現するため、まちづくりを進めてきました。

この度、第5次総合計画が平成30年度で終わるため、新たに総合計画を策定し、平成31年度から10年間のまちづくりの方針を定めることとなりました。

ついては、これまでの市政全般の成果の検証や市民の皆さんの今後のまちづくりに対する意向等をお伺いすることにより、今後の策定作業の参考とするため、「長久手市市民意識調査」を実施します。

この調査は、市内にお住まいの満18歳以上の方の中から、無作為に選んだ5,000人の方に協力をお願いするものです。調査の趣旨をご理解になり、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

なお、結果の集計や分析は統計的に処理いたしますので、個人の回答内容が公表されるなど、ご迷惑をおかけすることは決してありません。

平成 28 年 10 月

長久手市長 吉田 一平

ご記入のお願い

●ご記入の際に

- 1 必ず封筒の宛名の**ご本人**がご記入ください。
- 2 質問によっては、**答えの数が1つの場合と複数の場合**があります。
- 3 質問によっては、答える方が限られる場合がありますので、矢印や案内のとおりお答えください。
- 4 回答は、**当てはまる番号に○印を**つけてください。ただし、「その他」を選んだ場合は、()にその内容を具体的にご記入ください。
- 5 9～11ページの回答にあたっては、**同封している「別冊 長久手未来まちづくりビジョン概要版」をご参照ください。**

●調査票の返送について

同封の返送用封筒に入れて、**11月4日(金)までに**ポストへ入れてください。
(切手は不要です)

●調査についての問い合わせ

長久手市市長公室経営企画課経営係 担当：児玉、金子

電話：0561-56-0600（直通）

Eメール：keiei@city.nagakute.lg.jp



長久手市の住み心地についてお答えください。

問1 あなたは、長久手市を住みよいまちだと思いますか。【〇は1つ】

- | | |
|------------|------------|
| 1. 住みよい | 4. やや住みにくい |
| 2. まあ住みよい | 5. 住みにくい |
| 3. どちらでもない | |

問2 あなたは、今後も長久手市に住み続けたいですか。【〇は1つ】

- | | | |
|-----------|----------|----------------|
| 1. 住み続けたい | 2. 転出したい | 3. わからない ⇒ 問3へ |
|-----------|----------|----------------|

「住み続けたい」と思う理由は何ですか。次の中から選んでください。【〇は3つまで】

1. 緑や田園が多く自然環境がよい
2. 交通の便がよい
3. 近所付き合いがあり人間関係がよい
4. 住み慣れていて愛着がある
5. 公共施設が整っている
6. 道路など整備されている
7. 教育環境がよい
8. 子育ての環境がよい
9. 買い物に便利
10. 親類が近くににいる
11. 住宅事情がよい
12. 公園や遊び場が整備されている
13. 上下水道・ごみ収集など生活基盤が整っている
14. 交通事故や犯罪が少なく安全である
15. 医療・福祉サービスが充実している
16. まちに将来性や魅力がある
17. 通勤や通学に便利
18. その他()

「転出したい」と思う理由は何ですか。次の中から選んでください。【〇は3つまで】

1. 緑や田園が少なく自然環境がよくない
2. 交通の便がよくない
3. 近所付き合いが少なく人間関係がよくない
4. まちに愛着が持てない
5. 公共施設が整っていない
6. 道路などが整備されていない
7. 教育環境がよくない
8. 子育ての環境がよくない
9. 買い物に不便
10. 親類が近くにいない
11. 住宅事情がよくない
12. 公園や遊び場が整備されていない
13. 上下水道・ごみ収集など生活基盤が整っていない
14. 交通事故や犯罪が多く安全でない
15. 医療・福祉サービスが充実していない
16. まちに将来性や魅力がない
17. 通勤や通学に不便
18. その他()

行政サービスについてお答えください。

問3 あなたは、市政にどの程度関心がありますか。【〇は1つ】

- | | |
|--------------|--------------|
| 1. 非常に関心がある | 4. あまり関心がない |
| 2. ある程度関心がある | 5. まったく関心がない |

問4 あなたは、長久手市の情報をどのように得ていますか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。

【〇はあてはまるものすべて】

- | | |
|------------|----------------|
| 1. インターネット | 5. 新聞 |
| 2. ケーブルテレビ | 6. 回覧板 |
| 3. 広報紙 | 7. 家族や知人からの口コミ |
| 4. 議会だより | 8. その他 () |

問5 あなたが、市の行う事業（講演会、イベント、計画策定のためのワークショップ等）に参加するには、どのようなことが決め手となりますか。特に重要だと思うものを次の中から選んでください。【〇は2つまで】

- | |
|---|
| 1. 広報紙、HP に情報が掲載されている |
| 2. ツイッター (Twitter) やフェイスブック (Facebook) などの SNS※ (ソーシャル・ネットワーク・サービス) に情報が掲載されている |
| 3. 事業自体に魅力がある |
| 4. チラシが魅力的である |
| 5. 参加すると、報償やポイント、記念品がもらえる |
| 6. 家族や知人からの口コミがある |
| 7. 市職員から直接声がけがある |
| 8. その他 () |



※ インターネットのネットワークを通じて、人と人をつなぎコミュニケーションが図れるように設計された会員制サービス

市民活動についてお答えください。

問6 あなたやあなたのご家族は、過去3年以内に地域の活動に参加しましたか。【〇は1つ】

- | | |
|-----------------|------------|
| 1. 参加した(参加している) | 2. 参加していない |
|-----------------|------------|

「参加した(参加している)理由は何ですか。【〇は2つまで】

1. 地域での役割や居場所が実感できるから
2. 地域住民として地域の活動に参加することは当然の義務だから
3. 仲間とのふれあいが楽しいから
4. 地域のことはできる限り地域が役割を担うべきと考えるから
5. 興味のある活動が地域にあるから
6. 当番で回ってくるから
7. その他()

「参加していない」理由は何ですか。【〇は2つまで】

1. 地域の活動に関わることが面倒だから
2. 家族の世話で家を空けられないから
3. 健康面の理由で参加することができない
4. 地域に愛着が持てないから
5. 長久手以外の地域で活動しているから
6. 興味のある活動が地域にないから
7. 地域のこともできる限り行政が担うべきと思うから
8. 仕事が忙しい
9. その他()

問7 問6で「1 参加した(参加している)」と回答した方にお聞きします。
あなたやあなたのご家族は、地域でどのような活動に参加していますか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。

【〇はあてはまるものすべて】

- | | |
|--------------------|-------------------------|
| 1. 区や自治会の活動 | 8. 環境美化・自然保護活動 |
| 2. PTAの活動 | 9. まちおこし活動 |
| 3. 子ども会など子育てに関する活動 | 10. 地域のスポーツクラブ・サークル活動 |
| 4. シニアクラブの活動 | 11. 地域の趣味・教養のクラブ・サークル活動 |
| 5. 祭りなど伝統的な行事 | 12. 各種ボランティア活動 |
| 6. 防災・防犯の活動 | 13. その他() |
| 7. 文化芸術の活動 | |

問8 問6で「1 参加した(参加している)」と回答した方にお聞きします。
あなたやあなたのご家族は、地域の活動にどの程度参加していますか。
(ご家族のうち複数の方が地域の活動に参加している場合、最も多く参加している方について回答してください。) 【〇は1つ】

- | | |
|-----------|-------------|
| 1. ほぼ毎日 | 5. 月に1回程度 |
| 2. 週に3日程度 | 6. 3か月に1回程度 |
| 3. 週に1日程度 | 7. 半年に1回程度 |
| 4. 月に2回程度 | 8. 1年に1回程度 |

問9 あなたは、市政運営への市民参画や、市民と行政との協働に関してどのように思いますか。
 (1)～(5)の項目について、1～4の中から1つずつ選んでください。

質問項目	回答項目	1	2	3	4
		そう思う	まあそう思う	思わない	あまりそう思う
(1) 市政には市民の意向が反映されている		1	2	3	4
(2) 市民の意見を聞く機会が市は充実している		1	2	3	4
(3) 市政に関する情報提供が十分に行われている		1	2	3	4
(4) 地域活動やボランティア活動、NPO 活動に参加したい		1	2	3	4
(5) これからのまちづくりには市民の参画や協働が必要		1	2	3	4

問10 長久手市では、市民、市民団体、事業者、行政などが、それぞれの地域で気軽に集い、語り、地域の様々な課題に対する取組みを行うための拠点として、小学校区ごとに「地域共生ステーション」の整備を進めています。

(1) あなたは、「地域共生ステーション」について知っていますか。
 【〇は1つ】

- | |
|---|
| 1. 知っている
2. 名前は聞いたことあるが、どのような施設かわからない
3. 名前をはじめて聞いた |
|---|

(2) 問10(1)で「1 知っている」と回答した方にお聞きします。
 あなたは、「地域共生ステーション」についてどの程度知っていますか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。
 【〇はあてはまるものすべて】

- | |
|---|
| 1. 西小学校区に既にあるのを知っていて、行ったことがある。
2. 西小学校区に既にあるのを知ってるが、行ったことはない。
3. 市が洞小学校区で整備に向けた取組みが始まっているのを知っている。
4. 南小学校区で整備に向けた取組みが始まっているのを知っている。
5. 北小学校区で整備に向けた取組みが始まっているのを知っている。 |
|---|

質問項目	重要度					推進度				
	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
回答項目	重要である	まあ重要である	どちらとも言えない	あまり重要ではない	重要ではない	進んでいる	まあ進んでいる	どちらとも言えない	あまり進んでいない	進んでいない

基本方針3 人がいきいきとつながるまち

(11) 災害に強いまちである	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(12) 地域の防犯力が高まっている	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(13) 交通安全の意識が高まっている	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(14) 障がい者にとって暮らしやすいまちである	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(15) 地域での支え合いが行われている	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(16) 高齢者が安心して暮らせるまちである	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(17) 安心して子育てできるまちである	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(18) 消防・救急サービスが充実している	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(19) 医療機関や保健サービスが充実している	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(20) 健康づくりがしやすいまちである	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

基本方針4 文化をみがき、人が輝くまち

(21) 小中学校の教育内容や教育環境が充実している	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(22) 自主的な生涯学習活動が充実している	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(23) 文化・芸術に親しむ機会や場が充実している	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(24) スポーツ施設や活動が充実している	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(25) 男女が尊重し合い、協力し合う社会が進んでいる	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(26) 国際理解・国際協力・国際交流が充実している	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

基本方針5 みんなの力を結集する自治と協働のまち

(27) 市民と行政が協働するまちづくりが進んでいる	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(28) 地域で住民同士の交流が活発に行われている	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(29) 大学をまちづくりに生かしている	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(30) 行政情報の発信が充実し意見や要望が伝えやすい	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

将来のまちづくりについてお答えください。

問14 長久手市は、平成62（2050）年頃までは人口増加を続けると予想されていますが、その後は人口減少期に入り、少子高齢化は本市においても確実に進展します。そこで、今から時間をかけてそれらの課題に対応するため、平成62（2050）年という長期を見据えた「長久手未来まちづくりビジョン」を策定しました。
 （別冊 長久手未来まちづくりビジョン概要版を参照してください）

(1) あなたは、「長久手未来まちづくりビジョン」を知っていますか。
 【〇は1つ】

- | |
|--|
| 1. 知っている
2. 名前は聞いたことあるが、よく知らない
3. 名前をはじめて聞いた |
|--|

(2) 「長久手未来まちづくりビジョン」では、平成62（2050）年頃の長久手市の将来像をイメージしています。（別冊 長久手未来まちづくりビジョン概要版を参照してください）

ビジョンで描く将来像の実現のため、具体的にどのように進めていくべきだと思いますか。次の(1)～(12)の項目について、1～5の中から1つずつ選んでください。

回答項目	具体的な進め方				
	1	2	3	4	5
ビジョンで描く長久手市の将来像のイメージ	市民主体で進めるべき	政がサポートすべき	市民が主体的に進め、行政が協働で進めるべき	市民と行政が協働で進めるべき	行政が主導し、市民が部分的に関わるべき

個別テーマ1 人をつなぐ／老若男女がつながる、顔が見えるまちづくり

【詳細は別冊 P.4 上段を参照してください】

(1) コンパクトなまちの中で世代を越え、地域を越えて人がつながる	1	2	3	4	5
(2) まちに誇りを持ち、自ら行動する市民が増える	1	2	3	4	5
(3) いつでも帰ってこられるホームタウンになる	1	2	3	4	5

回答項目	具体的な進め方				
	1	2	3	4	5
ビジョンで描く 長久手市の将来像 のイメージ	市民主体で進めるべき	市民が主体的に進め、行政がサポートすべき	市民と行政が協働で進めるべき	行政が先導し、市民が部分的に関わるべき	行政主体で進めるべき

個別テーマ2 場をつなぐ/地域資源を見つけ、広げて使う

【詳細は別冊 P.4 下段を参照してください】

(4) 市街地の緑を増やし、丘陵地の自然を守ることにより、人々が憩える緑をつなぐ	1	2	3	4	5
(5) 集積している教育・研究機能を使いこなし、地域に引き込む	1	2	3	4	5
(6) 市民の移動を容易にする空間と仕組みをつくる	1	2	3	4	5

個別テーマ3 時をつなぐ/歴史文化を継ぎ育て、健康福祉を通じて支えあうまちづくり

【詳細は別冊 P.5 上段を参照してください】

(7) 地域の歴史と文化を継承し育て、生涯を通じて学び成長する	1	2	3	4	5
(8) 一人ひとりが身も心も健全であり続け、健康寿命を延ばして生涯を全うする	1	2	3	4	5
(9) 人や地域の成長に合わせて皆で手間をかけ、コミュニティをつくる	1	2	3	4	5

個別テーマ4 夢をはぐくむ/チャレンジする人の想いを支え、希望を育てるまちづくり

【詳細は別冊 P.5 下段を参照してください】

(10) 誰もがいくつになっても役割を担いチャレンジできる	1	2	3	4	5
(11) 若者の夢をまちぐるみで育てる	1	2	3	4	5
(12) 誰でも希望を持って暮らせる	1	2	3	4	5

(3) 問14(2)で示した(1)～(12)の項目のうち、あなたが、
今後特に実現に向けて力を入れたい考えるものを選択してください。
【〇は3つまで】

1. コンパクトなまちの中で世代を越え、地域を越えて人がつながる
2. まちに誇りを持ち、自ら行動する市民が増える
3. いつでも帰ってこられるホームタウンになる
4. 市街地の緑を増やし、丘陵地の自然を守ることにより、人々が憩える緑をつなぐ
5. 集積している教育・研究機能を使いこなし、地域に引き込む
6. 市民の移動を容易にする空間と仕組みをつくる
7. 地域の歴史と文化を継承し育て、生涯を通じて学び成長する
8. 一人ひとりが身も心も健全であり続け、健康寿命を延ばして生涯を全うする
9. 人や地域の成長に合わせて皆で手間をかけ、コミュニティをつくる
10. 誰もがいくつになっても役割を担いチャレンジできる
11. 若者の夢をまちぐるみで育てる
12. 誰でも希望を持って暮らせる

問15 長久手市は、今後どのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。次の中から選択してください。【〇は3つまで】

- | | |
|---------------------------|------------------|
| 1. 乳幼児・児童福祉の充実 | 20. 緑化の推進 |
| 2. 障がい者(児)福祉の充実 | 21. 公害対策などの環境保全 |
| 3. 高齢者福祉の充実 | 22. 生活道路の整備 |
| 4. 保育サービス(施設を含む)の充実 | 23. 幹線道路の整備 |
| 5. 学校教育(施設を含む)の充実 | 24. 景観の整備 |
| 6. 生涯学習の充実 | 25. 河川・排水路の整備 |
| 7. ｽﾎｰﾂ・ﾘｸﾞﾄﾞｰﾝ(施設を含む)の充実 | 26. 斎場・墓地の整備 |
| 8. 文化活動の充実 | 27. 交通安全対策 |
| 9. 文化財の保存、整備 | 28. 公共交通機関の整備 |
| 10. 地域コミュニティの支援や育成 | 29. 保健医療対策 |
| 11. 地域拠点や集会所の整備 | 30. 防犯対策 |
| 12. 日常の買い物施設の充実 | 31. 防災対策 |
| 13. 産業振興 | 32. 消防・救急体制の充実 |
| 14. 観光・交流 | 33. 青少年の健全育成 |
| 15. 就労の場の確保 | 34. 女性の社会参加の支援 |
| 16. し尿処理や下水道などの衛生対策 | 35. 行政の窓口サービスの向上 |
| 17. ごみ処理対策 | 36. 特にない |
| 18. 自然保護・緑の保全 | 37. その他() |
| 19. 公園整備 | |

市政全般についてお答えください。

問16 長久手市のまちづくりについてご意見がありましたら、自由にご記入ください。

[自由意見欄]

あなたご自身についてお答えください。

問17 各質問にあなた自身が該当する項目を選んでください。

(1) あなたの性別は、次のうちどれですか。【Oは1つ】

- | | |
|------|------|
| 1. 男 | 2. 女 |
|------|------|

(2) あなたの年齢は、次のうちどれですか。【Oは1つ】

- | | |
|-----------|-----------|
| 1. 18～19歳 | 6. 60～64歳 |
| 2. 20～29歳 | 7. 65～69歳 |
| 3. 30～39歳 | 8. 70～74歳 |
| 4. 40～49歳 | 9. 75～79歳 |
| 5. 50～59歳 | 10. 80歳以上 |

(3) あなたの職業は、次のうちどれですか。【Oは1つ】

- | | |
|---------|------------------|
| 1. 農林業 | 6. アルバイト、パートタイマー |
| 2. 自営業 | 7. 学生、生徒 |
| 3. 会社員 | 8. 家事専従 |
| 4. 公務員 | 9. 無職 |
| 5. 団体職員 | 10. その他 () |

(4) あなたの家庭全体の年収はどのくらいですか。【〇は 1 つ】

- | | |
|----------------|-----------------|
| 1. 100万円未満 | 4. 500～700万円未満 |
| 2. 100～300万円未満 | 5. 700～1000万円未満 |
| 3. 300～500万円未満 | 6. 1000万円以上 |

(5) あなたの通勤先・通学先は、次のうちどれですか。【〇は 1 つ】

- | | |
|-------------------|---------------|
| 1. 自宅(家事専従・無職を除く) | 6. 豊田市 |
| 2. 自宅以外の市内 | 7. 日進市 |
| 3. 名古屋市 | 8. 1～7以外の愛知県内 |
| 4. 尾張旭市 | 9. 愛知県外 |
| 5. 瀬戸市 | |

(6) あなたのお住まいは、次のうちどれですか。【〇は 1 つ】

- | | |
|-----------------|------------|
| 1. 一戸建て持ち家 | 5. 社宅、官舎、寮 |
| 2. 一戸建て借家 | 6. 県営住宅 |
| 3. 分譲マンション | 7. その他 () |
| 4. 賃貸マンション・アパート | |

(7) あなたのお宅には、どのような方が同居していますか。次のうちあてはまるものをすべて選んでください。【〇はあてはまるものすべて】

- | | |
|--------------|--------------|
| 1. 小学生未満の乳幼児 | 4. 1～3以外の同居人 |
| 2. 小・中学生 | 5. 同居人はいない |
| 3. 65歳上の高齢者 | |

(8) あなたのご家族の形態は、次のうちどれですか。【〇は 1 つ】

- | | |
|--------------|---------------|
| 1. 単身(一人暮らし) | 4. 親・子・孫(3世代) |
| 2. 夫婦のみ | 5. その他 () |
| 3. 親子(2世代) | |

(9) あなたの小学校区はどこですか。【〇は 1 つ】

《※ご不明の方は、15ページを参考にして選んでください。》

- | | |
|------------|------------|
| 1. 長久手小学校区 | 4. 北小学校区 |
| 2. 西小学校区 | 5. 南小学校区 |
| 3. 東小学校区 | 6. 市が洞小学校区 |

(10) あなたは、長久手市に居住して何年になりますか。【〇は1つ】

- | | |
|---------|-----------|
| 1. 3年未満 | 4. 10～19年 |
| 2. 3～5年 | 5. 20～29年 |
| 3. 6～9年 | 6. 30年以上 |

(11) あなたは、長久手市に住む以前はどこにお住まいでしたか。

【〇は1つ】

- | | |
|----------------|----------------|
| 1. 生まれた時から長久手市 | 3. 名古屋市以外の愛知県内 |
| 2. 名古屋市 | 4. 愛知県外 |

(12) あなたが長久手市に住んでいる理由は何ですか。【〇は1つ】

- | | |
|-------------------|---------------------|
| 1. 生まれた時から住んでいるため | 6. 住環境がよいため |
| 2. 結婚のため | 7. 緑が多く、自然環境がよいため |
| 3. 家族(親)と一緒に住むため | 8. 長久手市のイメージがよいため |
| 4. 就職、転職、転勤のため | 9. 家賃や住居の購入価格が手頃なため |
| 5. 通勤、通学の便がよいため | 10. その他() |

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。
この調査票を同封の返送用封筒に入れて、**11月4日(金)までに**ポストへ入れてください。

<参考> 問17(9) 小学校区

学校名	住 所					
長久手 小学校	岩作雁又	岩作丸根	岩作寅山	岩作井戸ヶ根	岩作申立花	
	岩作中立花	岩作西立花	岩作色金	岩作宮後	岩作泥亀首	
	岩作元門	岩作宮前	岩作白針	岩作城の内	岩作五反田	
	岩作塚本	岩作八瀬ノ木	岩作欠花	岩作藪田	岩作西島	
	岩作寺山	岩作平地	岩作長池	岩作中縄手	岩作中島	
	岩作中脇	岩作溝添	岩作平子	岩作南島	岩作東中	
	岩作早稲田	岩作東島	岩作壁ノ本	岩作高根前	岩作向田	
	岩作向畑	岩作蛇洞	岩作権代	岩作狐洞	岩作権田	
	岩作中権代	岩作桃ノ木洞	岩作折戸ヶ平	菅池	深田	
	棒振	丸根	中池	下権田	大久手	
	勝入塚	坊の後	富士浦	先達	香桶	
	仏が根	東浦	宮脇	立花の一部	横道の一部	
	岩作北山の一部	岩作石田の一部	岩作床寒の一部	岩作福井の一部	岩作琵琶ヶ池の一部	
	西 小学校	作田一丁目	作田二丁目	打越	久保山	桜作
		五合池	塚田	西浦	平池の一部	仲田の一部
	東 小学校	岩作三ヶ峯	岩作長鶴	岩作中根原	岩作寺田	岩作中根
岩作下堀越		岩作大根	岩作内万場	岩作高根	前熊下田	
前熊溝下		前熊西脇	前熊根ノ原	前熊志水	前熊広面	
前熊根ノ上		前熊橋ノ本	前熊前山	前熊堀越	前熊中井	
前熊原山		前熊寺田	前熊一ノ井	茨ヶ廻間	石場	
広田		丸山	鯉ヶ廻間	堂脇	神門前	
雨堤		阿畑	汐見坂	神明	葎ヶ廻間	
福井		熊張深田	段留	助六	蛭子	
大日		杖ヶ根	申平	小深	東山	
馬堤		早稲田	観音堂	榎ノ下	小稲葉	
中屋		下田	北熊	東平地	平地	
松杵		東田	杵ノ洞	北浦	溝之杵	
郷前		中井	岩廻間	真行田	立花の一部	
岩作福井の一部		岩作床寒の一部	岩作琵琶ヶ池の一部			
北 小学校		岩作隅田	岩作下田	岩作下島	岩作長筵	岩作落合
		岩作西浦	岩作高山	岩作浮江	櫛木	下川原
	下山	中川原	西原山	東原山	南原山	
	西原	池田	東原	草掛	上川原	
	原山	段の上	原邸	野田農	山桶	
	鴨田	荒田	岩作石田の一部	岩作北山の一部	平池の一部	
	仲田の一部					
南 小学校	よし池	深廻間	氏神前	戸田谷	東狭間	
	城屋敷	武蔵塚	山越	砂子	山野田	
	喜婦嶽	杖ヶ池	長配一丁目	長配二丁目	長配三丁目	
	菖蒲池	横道の一部				
市が洞 小学校	丁子田	片平	根の神	蟹原	井堀	
	熊田	卯塚一丁目	卯塚二丁目	根嶽	市が洞一丁目	
	市が洞二丁目	市が洞三丁目	片平一丁目	片平二丁目		

(以下の記入欄は、**希望者のみ**ご記入ください。こちらで切り取って処理いたします)

—✂— —✂— —✂— —✂— (キ リ ト リ) —✂— —✂— —✂— —✂—

☆最後に…☆

今後、長久手市では、定期的にワークショップ等の話し合いの機会を設け、できるだけ多くの方に計画づくりに参加していただき、みんなでまちの未来について考え、多くの方の想いがつまった総合計画（今後10年間のまちづくりの方針）になるよう、取り組んでまいります。このような話し合いの場への参加に興味を持たれた方は、情報を提供させていただきたいと思っておりますので、お名前、ご住所、メールアドレスをご記入ください。

※個人情報は適正に取り扱い、総合計画に関する情報の提供以外に使用いたしません。
また、お答えいただいた個人情報とアンケート結果は別で処理されますので、個人の回答内容が特定されたり、公表されることは決してありません。

お名前	メールアドレス
ご住所（〒 — ）	

ご協力ありがとうございました。



別冊

長久手未来まちづくりビジョン

人・場・時をつなぎ
夢をはぐくむ長久手

ながくてびと

長久手人こそ私たちの誇り

気長に手をかけ みんなで未来を拓く

概 要 版

長久手市

2015

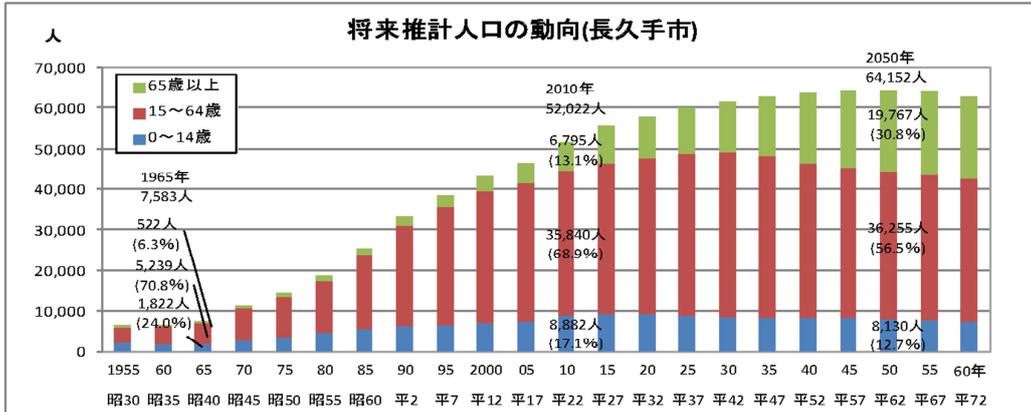
長久手未来まちづくりビジョン 概要版

長久手未来まちづくりビジョンの作成にあたって

平成 62 (2050) 年頃の長久手市、日本はどのような生活になっているのでしょうか。情報技術や人工知能の技術が格段に進歩し、直接人と会わなくても会話ができるのが当たり前になっているかもしれません。その一方で、直接人と会って会話し、歴史文化に触れ、芸術を体験したりすることがより一層大切になるとも考えられます。

長久手市では、このような社会情勢や、今後の人口減少・少子高齢化社会を見据え、コンパクトなまちながら恵まれた社会資本を生かしていけるよう、平成 62 (2050) 年という長期を目標とした「長久手未来まちづくりビジョン」を策定しました。

ビジョンの策定にあたり、学識経験者等で構成された「長久手未来まちづくり懇話会」で検討を重ねました。また、20 歳代から 30 歳代までの若者座談会を開催し、市内中学 2 年生 (平成 26 (2014) 年度時点) を対象に「長久手市の将来」について作文を書いていただきました。



資料：国立社会保障・人口問題研究所の推計に準拠したデータ及び国勢調査を元に作成

恵まれた社会資本

長久手温泉ござらっせ



出典：長久手温泉ござらっせホームページ

愛・地球博記念公園



出典：愛・地球博記念公園ホームページ

文化の家



出典：文化の家

古戦場公園



出典：長久手市観光交流推進会議ホームページ

大学



出典：愛知県立大学ホームページ

リニモ



出典：愛知高速交通(株)ホームページ

今市内に住んでいる人や働いている人、かつては市内に住んでいたり働いたりしたことがある人など、長久手市に関わりがある一人ひとりが「長久手人 (ながくてびと)」。

長久手人が平成 62 (2050) 年にもいきいきと暮らしている姿を想像し、4つの物語をまとめました。

人をつなぐ物語

突然の転勤で長久手市に単身赴任で住むことになった人の物語。いつも気になっていた「ホームタウン (包夢多運) の家」に立ち寄ったことがきっかけで、いろいろな人と知り合い、家族を呼び寄せた。

この一家は、実はシンガポール出身。世界中を移り住んできたこそ、「顔が見えるまちの安心感」がわかる。きっとここが“終の棲家”すなわちホームタウンになる。



「ホームタウン (包夢多運) の家」で日々バイトをしている夫妻の物語。

妻は 60 歳を超えているが、市内の充実した健康・医療サービスを活用し、夫がパートナーとなってフルマラソンに挑戦している。

夫は 70 歳を超え、長久手市生まれではない「よそ者」だけど、地域のまつりの保存会長もやっている。外国人や学生でも気軽に参加できる“伝統あるまつり”を目指している。

時をつなぐ物語

場をつなぐ物語

市内の女子中学生と女子大学生の物語。

女子中学生は、友達と一緒に森に入って「みんなの鳥図鑑」を更新する日々を過ごしている。あるきっかけで、市内の大学で研究できることとなり、調査の方法を学んだ。

一方、女子大学生は、中学校の美術の時間に教えに行ったことがある。日々、長久手市をフィールドに作品づくりをし、海外の企業のCMで使われるチャンスをつかんだ。



長久手市出身で、それぞれ夢を実現した人の物語。

1人は、小さい時からの夢で長久手市でレストランを開き、両親や周辺の農家が作る野菜で“地産地消のレストラン”を実現させた。

もう1人は、夫の理解を得て結婚前からの要望だった海外赴任を実現した。その間、地域で子育てを支えてもらい、今は夫妻とも子育てを支援する側になっている。

夢をはぐくむ物語

全体テーマ

人・場・時をつなぎ 夢をはぐくむ長久手

ながくてびと

長久手人こそ私たちの誇り 気長に手をかけ みんなで未来を拓く

4つの個別テーマ（“幸せを運ぶ”と言われている四つ葉のクローバーをモチーフ）

こんなまちにしたい！

- 「顔が見える」まちに住みたい
- 良好な人間関係をつくりたい
- まちを自分達に合うようつくり変えたい
- まちに誇りをもちたい
- ホームタウンがほしい

人をつなぐ／

老若男女がつながる、顔が見えるまちづくり

- (1) コンパクトなまちの中で世代を越え、地域を越えて人々がつながる。
- (2) まちに誇りを持ち、自ら行動する市民が増える。
- (3) いつでも帰ってこられるホームタウンになる。

こんなまちにしたい！

- 子育てしやすいまちに住みたい
- 歳をとっても安心して暮らしたい
- 歴史文化を引き継いでいきたい
- 終の棲家がほしい
- いつまでも健康でいたい

場をつなぐ／

地域資源を見つけ、広げて使うまちづくり

- (1) 市街地の緑を増やし、丘陵地の自然を守ることにより、人々が憩える緑をつなぐ。
- (2) 集積している教育・研究機能を使いこなし、地域に引きこむ。
- (3) 市民の移動を容易にする空間と仕組みをつくる。

時をつなぐ／

歴史文化を継ぎ育て、健康福祉を通じて支えあうまちづくり

- (1) 地域の歴史と文化を継承し育て、生涯を通じて学び成長する。
- (2) 一人ひとりが身も心も健康であり続け、健康寿命を延ばして生涯を全うする。
- (3) 人や地域の成長に合わせて皆で手間をかけ、コミュニティをつくる。

こんなまちにしたい！

- 自然とともに暮らしたい
- 趣味を深めたい
- 学びの質を高めたい
- 質の高い芸術文化に触れたい
- いつでも、どこへでも行きたい

夢をはぐくむ／

チャレンジする人の想いを支え、希望を育てるまちづくり

- (1) 誰もがいくつになっても役割を担いチャレンジできる。
- (2) 若者の夢をまちぐるみで育てる。
- (3) 誰でも希望を持って暮らせる。

こんなまちにしたい！

- いつまでも人の役に立ちたい
- いつまでも働き続けたい
- 世界に羽ばたきたい
- 起業したい

1 人をつなぐ／老若男女がつながる、顔が見えるまちづくり

<p>(1) コンパクトなまちの中で世代を越え、地域を越えて人々がつながる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●コンパクトな市街地を形成し、「顔が見える」まちづくりを進めていきます。 ●世代や地域を越えて気軽に集まり、市や地域の様々な課題に対して共通認識を持つようにしていきます。 ●全国に発信できる全市民レベルのイベントを皆でつくりあげていきます。
<p>(2) まちに誇りを持ち、自ら行動する市民が増える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●まちに誇りや愛着を持ち、自慢できることが数多くあるまちにしていきます。 ●まちの一員として当事者意識を持ち、自ら行動を起こす市民を増やしていきます。 ●長久手市の様々な計画の策定する際には、策定プロセスの中で市民が主体となって計画を作っていきます。
<p>(3) いつでも帰ってこられるホームタウンになる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●長久手市から一旦市外に出て行っても、帰ってきたいと思えるホームタウンにしていきます。 ●住民同士が交流を深められる環境づくりを進め、温かく送り出し迎え入れるホームタウンにしていきます。

2 場をつなぐ／地域資源を見つけ、広げて使うまちづくり

<p>(1) 市街地の緑を増やし、丘陵地の自然を守ることにより、人々が憩える緑をつなぐ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●市街地で緑を増やし、丘陵地の自然を守り育て、市内全域で人々が憩える緑の空間を広げてつないでいきます。 ●多様な生物が共生できるビオトープ・ネットワーク*1を形成します。 ●都会的発展をし過ぎないように、都市と自然のバランスの取れたまちを目指していきます。
<p>(2) 集積している教育・研究機能を使いこなし、地域に引きこむ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●大学や研究施設の集積を生かし、機能や空間を使いこなすとともに、アウトリーチ活動*2により、市民と連携できる環境を整えていきます。 ●大学や研究施設、文化芸術・スポーツのなどの拠点も市民が使いこなし、それらのアウトリーチ活動を地域に引き込んでいきます。
<p>(3) 市民の移動を容易にする空間と仕組みをつくる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●自家用車を使わず、様々な手段による移動ができるよう道路等の空間づくり、仕組みづくりを進めていきます。 ●遊歩道等の整備を進め、車を心配せずに通行でき、遊べ、憩える多目的な空間づくりを目指していきます。

*1 「ビオトープ・ネットワーク」とは、森林、河川、公園、街路樹など多様な生物の生息場所をつなぐ取組のこと。

*2 「アウトリーチ活動」とは、大学や研究機関の教員や学生、研究者などが研究活動への関心を高めるため、自ら地域に出て活動すること。

3 時をつなぐ／歴史文化を継ぎ育て、健康福祉を通じて支えあうまちづくり

(1) 地域の歴史と文化を継承し育て、生涯を通じて学び成長する。

- 地域の歴史や文化などを子どもの頃から学び、地域の人々とふれあう学習を積極的に導入していきます。
- 伝統的な祭りの伝承や歴史文化の継承に向けて、子ども、大人、高齢者が役割を担って参加し続けていきます。
- 新たな市民も参加し、時代の変化も受け入れて歴史や文化を育てていきます。

(2) 一人ひとりが身も心も健全であり続け、健康寿命を延ばして生涯を全うする。

- いつでもどこでも様々な運動ができる場を整備し、運動をサポートしていく体制をつくっていきます。
- 市民一人ひとりが役割を持ち、コミュニケーションをとれるようサポートしていく体制をつくっていきます。

(3) 人や地域の成長に合わせて皆で手間をかけ、コミュニティをつくる。

- 人や家族の成長変化に合わせて、皆で手間をかけ、地域で支えあうコミュニティをつくっていきます。
- 地域での見守りと良好な人間関係の両方の機能を持ったコミュニティづくりを目指していきます。

4 夢をはぐくむ／チャレンジする人の想いを支え、希望を育てるまちづくり

(1) 誰もがいくつになっても役割を担いチャレンジできる。

- いくつになっても地域コミュニティの中で役割があり、生きがいを持ち暮らしていけるようにしていきます。
- いくつになっても働くことのできる多様な場があるようにしていきます。

(2) 若者の夢をまちぐるみで育てる。

- 意欲があり起業を望んでいる若者に対し、その起業を支援する仕組みをつくっていきます。
- 長久手市に住み続けながら、世界とつながって仕事をする人をまちぐるみで応援していきます。

(3) 誰でも希望を持って暮らせる。

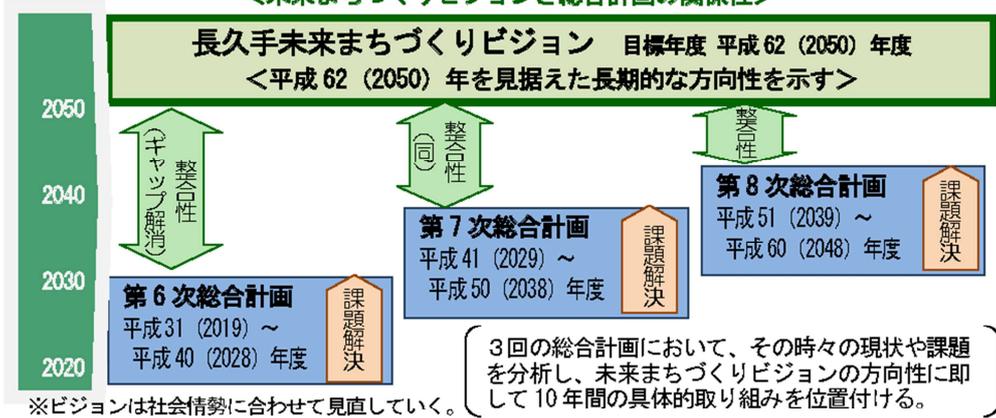
- 誰でも希望が持てるよう、学校教育を通じて子どもの時から育み、大人も地域ぐるみで支援していきます。
- 悩みや生きづらさを抱えている人々に対し、地域の人が寄り添って支えていきます。

3

これからの展開

この未来まちづくりビジョンを実現するため、具体的な施策は今後策定する長久手市総合計画の中で反映させていきます。

＜未来まちづくりビジョンと総合計画の関係性＞

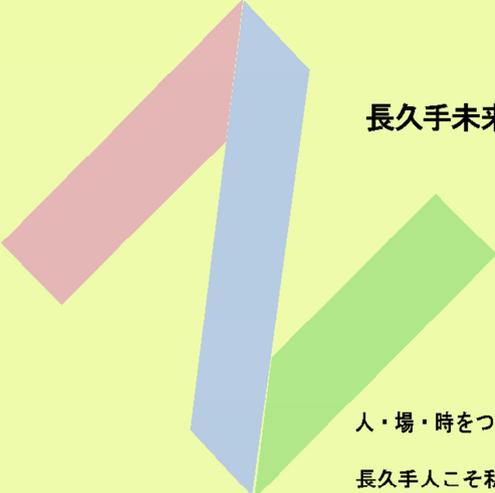


総合計画とは・・・

総合計画は、市の最上位計画として位置づけられています。長久手市では、これまで第1次から第5次の5回にわたって総合計画を策定しています。現行の第5次総合計画では、平成21～30（2009～2018）年度までの10年間を計画期間とし、まちの将来像やまちづくり基本方針、具体的な施策を定めています。



第5次総合計画



長久手未来まちづくりビジョン

概要版

人・場・時をつなぎ 夢をはぐくむ長久手

長久手人こそ私たちの誇り
気長に手をかけ みんなで未来を拓く

平成 27 (2015) 年 10 月
発行 長久手市
編集 市長公室政策秘書課